7/3変更分
・A-17,A-18,A-19を追加しました
・A-27　建具表2にフスマが抜けていたので追加しました
・A-29,30,31サイン図を差し替えました
・A-33部分詳細図２(可動間仕切詳細図)を追加しました
・A-41部分詳細図10を追加しました

西ノ島町コミュニティ図書館新築工事
実施設計図

平成29年　株式会社丹羽建築設計事務所

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL 086-226-1135

設計番号 ―	工事名称 西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-0
図面名称 表紙			縮尺 ―	
所長 丹羽英喜	担当 丹羽雅人	作成者	作成日 ―	通し番号
			他 ―	

図 面 リ ス ト

建　　築			建　　築			建　　築					
図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺			
A－ 1	図面リスト	ー	A－46	家具図４	1:20	S－ 1	木質工事特記仕様書	ー			
A－ 2	建築工事特記仕様書（１）	ー	A－47	家具図５	1:20	S－ 2	木造軸組接合部標準図（１）	ー			
A－ 3	建築工事特記仕様書（２）	ー	A－48	家具図６	1:20	S－ 3	木造軸組接合部標準図（２）	ー			
A－ 4	建築工事特記仕様書（３）	ー	A－49	家具図７	1:20	S－ 4	木造軸組接合部標準図（３）	ー			
A－ 5	建築概要、附近見取図	1:2500	A－50	家具図８	1:20	S－ 5	木造軸組接合部標準図（４）	ー			
A－ 6	配置図	1:100	A－51	家具図９	1:20	S－ 6	木造軸組接合部標準図（５）	ー			
~~A－ 7~~	~~敷地面積表~~	~~1:200~~				S－ 7	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	ー			
~~A－ 8~~	~~面積表~~	~~1:200~~				S－ 8	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	ー			
A－ 9	仕上表ー１	ー				S－ 9	構造設計特記仕様書	ー			
A－10	仕上表ー２	ー				S－10	杭伏図	1:100			
A－11	平面図	1:100				S－11	基礎伏図	1:100			
A－12	天井伏図	1:100				S－12	土台伏図	1:100			
A－13	屋根伏図	1:100				S－13	柱・耐力壁伏図	1:100			
A－14	立面図・断面図１	1:100				S－14	柱頭・柱脚金物伏図	1:100			
A－15	立面図・断面図２	1:100				S－15	小屋伏図１	1:100			
A－16	断面詳細図1	1:50				S－16	下屋根　母屋・構面　伏図	1:100			
A－17	断面詳細図2	1:50				S－17	上屋根　小屋伏図１	1:100			
A－18	平面詳細図１	1:50				S－18	上屋根　小屋伏図２／構面　伏図	1:100			
A－19	平面詳細図２	1:50				S－19	軸組図１	1:100			
A－20	展開図１	1:50				S－20	軸組図２	1:100			
A－21	展開図２	1:50				S－21	軸組図３	1:100			
A－22	展開図３	1:50				S－22	軸組図４	1:100			
A－23	展開図４	1:50				S－23	軸組図５	1:100			
A－24	展開図５	1:50				S－24	軸組図６	1:100			
A－25	建具配置図	1:100				S－25	軸組図７	1:100			
A－26	建具表１	1:50				S－26	断面リスト１	1:20			
A－27	建具表２	1:50				S－27	断面リスト２	1:20			
A－28	カーテン・ブラインド図	1:100				S－28	詳細図1	1:20			
A－29	サイン配置図	1:100				S－29	詳細図２	1:20			
A－30	サイン図１	ー									
A－31	サイン図２	ー									
A－32	部分詳細図１	1:10 1:20									
A－33	部分詳細図２	1:15									
A－34	部分詳細図３	1:2									
A－35	部分詳細図４	1:15									
A－36	部分詳細図５	1:15									
A－37	部分詳細図６	1:15									
A－38	部分詳細図７	1:15									
A－39	部分詳細図８	1:15									
A－40	部分詳細図９	1:15									
A－41	部分詳細図１０	1:15									
A－42	部分詳細図１１	1:15									
A－43	家具図１	1:20									
A－44	家具図２	1:20									
A－45	家具図３	1:20									

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	ー	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事	種別	A-1
図面名称	図面リスト			縮尺	ー
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者		作成日	ー	通し番号	
						他	ー		

木造建築工事特記仕様書

Ⅰ．工 事 概 要

工 事 名 称	西ノ島町コミュニティ図書館新築工事
工 事 場 所	島根県隠岐郡西ノ島町大字浦郷67番地8
敷 地 面 積	○ m2

建物概要		木造	棟、造	棟、造	棟、造	棟、造
床面積 (m2)	1 階	999.00				
	階					
	階					
	小 計	999.00				
	合 計	999.00				999.00 m2
建 築 面 積 (m2)		1236㎡				
消防法施行令別表第一の区分		6項(ロ)				

建ぺい率	60 %	容積率	100 %
用 途 地 域	都市計画区域外	防 火 地 域	指定なし

工 事 範 囲	別 途 工 事
本体建築工事	電気設備工事、機械設備工事、外構工事
書架・造作家具工事（図示部分）、カーテン工事	備品工事

Ⅱ．建築工事仕様

1 共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共木造建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「木標仕」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編・最新版）(以下「標仕」という。）による。「木標仕」及び「標仕」に記載なき事項については、(独)住宅金融支援機構「木造住宅工事仕様書(最新版）」「枠組壁工法住宅工事共通仕様書(最新版）」及び「丸太組構法住宅工事共通仕様書(最新版）」による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

（3）受注者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。

2 特記仕様

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。　○印と◎印のついた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項欄に記載の（ ）内表示番号は木標仕の、また［ ］内表示番号は標仕の、当該事項または当該図表を示す。

（4）☒印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。

（5）標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）を優先する。

（6）関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（7）「監督職員」は「監督員」と読み替える。

章		項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	①	適 用 基 準 等 (1. 3. 5)	・「建築工事標準詳細図」（平成22年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ※「工事写真の撮り方　建築編」（平成24年版）国土交通省大臣官房官庁営繕
	②	電気保安技術者 (1. 3. 6)	・適用する。
	③	工 事 安 全 計 画 書 (1. 3. 7)	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	④	発 生 材 の 処 理 等 (1. 3. 8)	・引渡しを要するもの（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・高度選化を図るもの（建設リサイクル法に係る特定建設資材廃棄物） ・ｺﾝｸﾘｰﾄ、ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材 ・建設発生木材　・ｽﾚｰﾄ系ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ ・建設汚泥
	⑤	環 境 へ の 配 慮 (室内化学物質空気汚染対策) (1. 4. 1)	(a)化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに次の１）から４）を満たすものとする １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒド又はアセトアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 Ⅰ．ホルムアルデヒド放散量　規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料 Ⅱ．ホルムアルデヒド放散量　第三種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料 (b)工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 (c)「グリーン購入法」(平成12年法律第100号)により環境負荷を低減できる材料を選定するよう努める。 (d)環境配慮型建設機械の使用 ※機種及びラベル表示の分かる写真（接写とも）を工事写真帳に添付 低騒音型　※(杭打機・発電機（杭工事）,バックホー（杭工事、土工事）,ブルドーザー（土工事）,振動ローラー・マダカムローラー・タイヤローラー（舗装工事） 排出ガス対策型　※(バックホー（土工事）,振動ローラー・マダカムローラー・タイヤローラー (e)「 公共建築物における県産材等の利用の促進のための施策に関する基本的事項 」 公共建築物を整備するものは、県産材等の積極的な利用に努める。 （県産材とは、岡山県の「 木材素香等登録 」を受けている製材業者が製材・加工した木製品とする。）
	⑥	材 料 の 品 質 等 (1. 4. 2)	１．本工事に使用する材料・機材等（以下、「材料」という。）は、設計図書に定める所要の品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有する新品とする。 ２．使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督職員に提出する。ただし、設計図書でＪＩＳ又はＪＡＳによると指定された材料で、ＪＩＳ又はＪＡＳのマーク表示のあるものを使用する場合及びあらかじめ、監督職員の承諾を受けた場合は、資料の提出を省略することができる。 ３．設計図書でＪＩＳ又はＪＡＳによると品質及び性能が指定された場合に、ＪＩＳ又はＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造業者は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。 （１）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （２）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （３）安定的な供給が可能であるもの （４）法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得しているもの （５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （６）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの精算能力があり、現場での施工体制が整えられているもの） なお、これらの材料を使用する場合は、ＪＩＳ又はＪＡＳに定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する証明資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ４．設計図書でＪＩＳ又はＪＡＳによる以外に特別に指定された材料及び建築材料等指定名簿に記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、上記３と同様に所要の品質及び性能を有することの同等証明資料を監督職員に提出して、その承諾を受けるものとする。
	⑦	特別な材料の工法	木標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

章		項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	⑧	技 能 士 (1. 5. 2)	技能士の職種とその作業の種類は、次による。 技能検定の職種／作業の種類／技能検定の職種／作業の種類 ・建築大工／大工工事作業／・塗装／建築塗装作業 ・とび／とび作業／・表装／壁装作業 ・鉄筋工／鉄筋組立て作業／・内装仕上げ施工／鋼製下地工事作業 ・コンクリート圧送／ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業／カーペット系床仕上げ工事作業 ・型枠施工／型枠工事作業／プラスチック系床仕上げ工事作業 ・かわらぶき／かわらぶき作業／天井ボード仕上げ工事作業 ・建築板金／内外装板金作業／畳作成作業 ・スレート施工／スレート工事作業／・防水施工／シーリング防水工事施工作業 ・左官／左官作業／・石材施工／石張り作業 ・サッシ施工／木造用サッシ施工作業／・タイル張り／タイル張り作業 ・木製建具施工／木製建具施工作業／・造園／造園工事作業 ・ガラス施工／ガラス工事作業／・配管／建築配管作業
	⑧	化学物質の濃度測定 (1. 5. 9)	図示した室のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの室内空気濃度を測定し、厚生労働省の指針値（木特記仕様書14章9）以下であることを確認し、監督職員に報告する。 ※パッシブ型採取機器（拡散方式パッシブ型測定バッジ）を用いて、次の要領で測定及び分析を行う ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。 ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ　②の状態のままで測定する。 ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。 ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による（アクティブ法）
	⑨	完 成 写 真	下記のものを監督職員に提出する 分類・規格／撮影箇所／部数／原版の大きさ（mm） カラー　※２Ｌサイズ（外部）／箇所／２部／※１３０×１８０程度 カラー　※　Ｌサイズ（内部）／箇所／２部／※　８０×１２７程度 ※原版共、カラー、電子データ化（ＣＤ－Ｒ等）し、すべて提出。 完成写真等の撮影者　※監督職員の承諾する撮影者　・監督職員の承諾する撮影業者 上記のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにより撮影し提出すること。 電子データの提出形式及び方法等は監督職員の指示によるものとする。
	⑩	完成時の提出図書 (1. 7. 1~3)	完成図［ＣＡＤデータの提出（※要　・不要）］　保全に関する資料（提出部数　※１部　・　部） 提出書類の詳細については、別途、監督職員の指示による。
	⑪	設備工事との取り合い	施工範囲　※貫通孔、開口部の型枠及び補強筋 ※壁・天井仕上材及び下地材の切込み並びに下地材の補強 施工図　※設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑫	設 計 Ｇ Ｌ	設計ＧＬ（※図示　・（　　））
2 仮設工事	①	足 場 そ の 他	足場を設ける場合は、木標仕2.2.4(b)による。 (2. 2. 4)
	②	監督職員事務所	・使ける　㎡程度(備品等は監督職員の指示により設置)　※設けない (2. 3. 1)
	③	工 事 用 水	構内既存の施設　（・利用できる　（※ 有償　・ 無償）　※利用できない）
	④	工 事 用 電 力	構内既存の施設　（・利用できる　（※ 有償　・ 無償）　※利用できない）
3 土工事・基礎工事	①	埋戻し及び盛土 (3. 2. 3)	種別 ・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 ☒ (3. 2. 1) Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う ※構外指示の場所に処分　・構内指示場所に敷き均し　・構内指示場所に堆積（地盤沈下による近隣家屋への影響に注意）
	②	建設発生土の処理 (3. 2. 5)	
	③	小口径鋼管杭地業	
	④	既製コンクリート杭地業 (4. 3. 2~7)	材料（既製コンクリート杭の種類） (4. 3. 2) ※遠心力高強度コンクリート杭（ＰＨＣ杭）　・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）　ＳＣ杭の鋼管　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０

杭仕様　・図示による　・下記表による

	符号	杭径 (mm)	杭長（m）及び種別	厚さ (mm)	継手数	本数	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度 (Ｎ／mm²)	長期設計支持力 (ｋＮ／本)	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭						
本 杭			上杭 中杭 下杭						

なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする。
杭先端部の形状　※開放形　・半開放形　・閉そく形　杭先端金物　※認定仕様
ネガティブフリクション対策　※不要　・要（構造による）
施工方法
・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法　ｱｰｽｵｰｶﾞｰの支持地盤への掘削深さ・1.5m程度　杭の支持地盤への根入れ深さ・1.0m以上
※特定埋込杭工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝　を採用できる工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・プレボーリング拡大根固め工法（高支持力工法）
杭周固定液の使用　※行う　・行わない
杭の継手　※アーク溶接継手（ＪＩＳ Ａ 7201及びWES 7601による）
溶接材料　・標準仕様書7.2.5(a)(b)による　・構造図による
半自動溶接　※ＪＩＳＺ 3841 SS-2H若しくはSA-2H程度又は日本溶接協会規格WES8106による FP-SS2P若しくはFP-SA-2Pの技量を有する者
溶接のパス数　※建築工事監理指針　表4.3.12による
溶接部の試験　◎浸透探傷試験　※外観検査（全数検査）
・機械式無溶接継手（建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う。
施工は評定等に記された施工管理基準によるものとする。
杭頭の処理　※処理しない　・処理する
処理方法（処理にともなう補強方法含む）　・構造図による
杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様：打設時は凍下防止材で養生）
杭頭接合の方法　※構造図による　支持地盤の位置及び種類(基礎杭の先端の位置含む)　・構造図による
支持地盤の確認方法　※電流計（自動記録計）の数値の確認及びオーガー先端部付着土質の地質調査サンプルとの照合　［写真撮影要（接写とも）］
杭の精度　水平方向ずれ・杭径の1/4かつ100mm以下・　傾斜・1/100・評定又は認定条件
支持地盤の設計支持力度　・（　　）ｋＮ/㎡以上　支持地盤　※構造図による

5	直 接 基 礎		
6	砂 利 地 業 (4. 6. 2~3)	砂利地業材料	・再生クラッシャーラン ☒　・切込砂利及び切込砕石
		厚さ及び使用範囲	厚さ※60mm　使用範囲・基礎下・土間コンクリート下・土に接するスラブ下　・　・図示による
7	捨コンクリート地業 (4. 6. 4)	材料	設計基準強度　※18Ｎ/mm²　・　Ｎ/mm²　スランプ　※15cm　・18cm
		コンクリートの仕様	※種仕　６．コンクリート工事　無筋コンクリート　による
		厚さ及び使用範囲	※60mm（・基礎下・土に接するスラブ下）　・　（・図示による）
		工法	※型枠を組み打設し平たんに仕上げる
8	床 下 防 湿 層 (4. 6. 5)	位置	※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ﾋﾟｯﾄ下は除く。断熱材がある場合はその直下)
		防湿工法	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上　重ね及びのみ込み250mm以上
9	地 盤 改 良 (セメント系固化材を用いた工法による改良)	工法（適用範囲、七様及び肝要、試験は構造図による）	・浅層混合処理工法　・深層混合処理工法　・柱状地盤改良工法
		六価クロム溶出試験	※行う（溶出量基準及び測定方法は H3 環境省告示第46号による）
10	地盤の平板載荷試験	試験箇所数及び試験位置（※図示　・（　　））	
11	置換コンクリート地業	材料	設計基準強度　※18Ｎ/mm²　・　Ｎ/mm²　スランプ　※15cm　・18cm

章		項 目	特 記 事 項
4 木造工事（共通）		（ラップルコンクリート地業）	コンクリートの仕様　※本章　15　無筋コンクリート　による 支持地盤　※構造図による　支持地盤の長期設計支持力　・　ｋＮ/㎡ 形状　※構造図による　型枠使用の有無　※有り　・無し
	⑫	杭頭土の重金属等溶出試験	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレンの６種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、H3環境庁告示第46号による。
	⑬	鉄 筋 (本特記仕様書記載以外の事項は「標仕 5章」による) [5. 3. 4] [5. 3. 5] [5. 3. 7]	鉄筋の種類（※SD295A(D16以下)　※SD345(D19以上)　・（　　）） [5. 2. 1] 鉄筋の継手方法等

部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)
柱、梁の主筋	※ガス圧接　・機械式継手	D19以上
耐力壁の主筋	・重ね継手	
その他の鉄筋（基礎スラブ　）	※重ね継手	D19未満

鉄筋の継手位置　※標準仕様書表5.3.3及び「各部配筋　参考図」による　・構造図による
鉄筋の重ね継手の長さ
柱及び梁の主筋 ※40dと標仕表5.3.2重ね継手長のうち大きい値 ・標仕表5.3.2重ね継手長 ・
耐力壁の鉄筋　※40dと標仕表5.3.2重ね継手長さのうち大きい値 ・40d ・
鉄筋の定着方法、位置、長さ（定着長は以下による）、余長　※標仕「各部配筋　参考図」・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長
※40dと標仕表5.3.4の定着長さのうち大きい値 ・標仕表5.3.2の重ね継手長 ・
※40dと標仕表5.3.4の定着長さのうち大きい値とする ・40d ・
鉄筋の折曲げ形状及び寸法　※標仕表5.3.1　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔　※標仕5.3.5
最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　・標仕表5.3.6による　・
耐久上不利な箇所（塩害等を受ける恐れのある部分等）の最小かぶり厚さ(目地底から計測)
・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面の標仕表5.3.6に加える寸法　※１０　・
各部配筋　・標仕「各部配筋図」による　・図示による（　　）
帯筋　※各部配筋図Ｈ形・図示　壁開口補強　※各部配筋図Ｈ形・図示　梁貫通補強　※各部配筋図Ｈ形・図示
継手部圧接完了試験　※外観試験(全数目視)　※抜取試験(※超音波探傷試験（第三者）・引張試験)
特殊な継手　・機械式継手［標仕5.5.2］　・圧接継手[標仕5.5.3]

	⑭	コ ン ク リ ー ト (本特記仕様書記載以外の事項は「標仕 6章」による) [6. 2. 1~2] [6. 3. 1~2]	レディーミクストコンクリート（ＪＩＳ Ａ 5308）の種別（※Ⅰ型　・Ⅱ型） [6. 2. 1(c)] 設計基準強度（※21Ｎ/mm²　・24Ｎ/mm²　・（　　）） [6. 2. 2(a)] 調合管理強度　※設計基準強度（Ｆｃ）に構造体強度補正値（Ｓ）を加えた値以上 [6. 3. 2(1)] 構造体コンクリート強度　※材齢91日において設計基準強度以上とする。 [6. 2. 2(c)] 気乾単位容積重量　・2.3t/m³程度　[6. 2. 3]　スランプ（・15cm　・18cm） [6. 2. 4(b)] 調合の条件（コンクリートはアルカリ骨材反応の恐れのないものとする） [6. 3. 2(2)] 単位水量の最大値（※185kg/m³・（　　））　単位セメント量の最小値（※270kg/m³・（　　）） 水セメント比の最大値（※65%　・（　　））　所要空気量の目標値（※4.5%　・（　　）） 塩化物の含有量（塩化物イオン量換算）（※0.3kg/m³以下　・（　　）） コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差（※標仕表6.2.3による　・（　　）） セメント及び混和剤の種類（※標仕[6.3.1]による　・（　　）） [6. 3. 1] 骨材の区分（※Ａ アルカリシリカ反応性試験の結果が無害の判定のもの　・Ｂ アルカリ総量規制）
	⑮	無 筋 コ ン ク リ ー ト (本特記仕様書記載以外の事項は「標仕 6章」による) [6. 14. 1~2]	適用箇所（※捨コンクリート　・図示）　暗骨材の最大寸法（※25mm　・（　　）） [6. 14. 2] 設計基準強度（※18Ｎ/mm²　・（　　）Ｎ/mm²）　スランプ（※15cm　・18cm） [6. 14. 1(c)]
	⑯	コンクリートの仕上り	標仕6.2.5による
	⑰	型 枠 の 材 料	せき板の材料　※合板（※12mm　・　　）　その他は標仕6.8.3による
	⑱	コンクリート強度試験 [6. 9. 2~6]	工事現場における構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ強度の推定は、現場水中による材齢28日における管理を基本とし、これを満足しないと想定される場合に、現場封かん養生による材齢28日を超え91日以内の強度を推定する試験を行うものとする。 ※構造体コンクリートの材齢２８日圧縮強度の推定試験及び構造体コンクリートの材齢２８日を超え９１日以内の圧縮強度の推定試験は公的機関において行う。 構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り及びかぶり厚さの確認　※標準仕様書6.9.6により確認を行い監督職員に報告する
	⑲	アンカーセット	※型枠に固定
	⑳	コンクリートの品質管理	納入されたコンクリートが発注した条件に適合していることを、各運搬車の納入書により確認する １類のｺﾝｸﾘｰﾄの場合、品質管理試験結果及び生産者が行うJISA5308品質管理試験結果を監督職員に報告する

4 木造工事（共通）	①	材 料 (4. 1. 1~4)	使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木標仕各章の指定による。 木材及び構造用面材等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を、監督職員に提出する(5~8. 2. 1(a) 木材の断面寸法　木標仕4.1.2による　木材の表面仕上げ　木標仕各章の規定による 材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※規制対象外　・　接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性のものとする 木材の含水率　※木標仕各章の規定による　含水率の測定（4. 1. 4）・全数　・抜取り 木標仕4.1.5による　以下の事項は6章～9章の該当箇所には共通適用する。 (a)各構法工事に用いる木材等の加工工場の加工能力等を示す資料を監督職員に提出する。(5~8. 1. 3(a) (b)選定した木材等の加工工場は、監督職員の承諾を受ける。 (5~8. 1. 3(b) (c)木材等の加工工場における品質管理が適切に行われたことを示す記録を監督職員に提出する。 (5~8. 1. 3(c)
	②	技 術 基 準	
	③	木 材 等 の 加 工 場	
	④	防腐・防蟻処理(材料) (4. 2. 1)	・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材　適用部位：（　　） ※各章の防腐・防蟻処理の特記は、木標及び5章の樹種を共通利用して行う。(共通特記)
			・薬剤（JISK1570同等）の加圧注入（JISA9002）による防腐・防蟻処理 適用部位・保存処理性能区分(K2・K3・K4)：（　　） ※JISA9002による使用薬剤、注入量等の証明書等の記録を監督職員に提出する
			・薬剤（JISK1571同等）の塗布等（薬剤の量：300g/表面積㎡標準）による防腐・防蟻処理 適用部位・処理方法（※木標仕4.2.1(3)(ⅱ)①～⑤による）：（　　） ※処理に使用した薬剤、使用量等の証明書等の記録を監督職員に提出する ・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理　適用部位：（　　）
	⑤	接合金物・接合具等 (5. 2. 4) (7. 2. 3) (8. 2. 5) ※構造図で図示のものを優先とする	木標仕各章の「接合具及び接合金物 」の規定による。ただし、直接雨露がとうとる箇所で使用する接合金物はステンレス製とする。 (公財)日本住宅・木材技術センターが規定する「接合金物規格」又は「木造建築物用接合金物認定規程」に適合する接合金物以外の接合金物を用いる場合(5. 2. 4(a)(ⅱ)6. 2. 4(a)(ⅰ)7. 2. 3(b)(ⅲ)8. 2. 5(a)(ⅱ) ①製作工場の加工能力等を示す資料を監督職員に提出する。②加工図を作成し、監督職員に提出する。 ③表面処理は標仕等による。　④溶接接合は標仕による。 ⑤錆材の品質を証明する資料及び溶接加工所の確認結果を、監督職員に提出する。
	⑥	加 工 図 (5~8. 4. 1)	木材の加工図（又はﾊﾟﾈﾙ製作図・7章関連）を作成し、監督職員に提出する。(5~8章で受ける・6章関連)
	⑦	製 品 確 認 (5. 4. 7)(6. 4. 9)(7. 4. 2)	加工材の断面寸法、長さ、継手位置、接合金物等の取付位置について、全数確認をし記録を監督職員に提出する。
	⑧	材 料 の 搬 入 (5~8. 5. 1(c))	加工材は搬入後建方前に寸法及び含水率（7章関連では木工事に入る前共）について、監督職員の検査を受ける。
	⑨	建 方 精 度 (５章、６章関連) (5. 5. 6)(5. 5. 7)	建入れ直し後の建方精度の許容値（垂直、水平の振差の範囲）　・1/1000以下とする　・ 建方精度の確認は、建入れ直し後に行い、確認記録を監督職員に提出する

5 軸組構法（壁構造系）工事	①	適 用 範 囲 (5. 1. 1)	構造耐力上主要な部分(基礎及び基礎杭を除く。)に、建築基準法施行令第46条4項表1に掲げる軸組構法等以外の一般的に「耐力壁」と総称されるものを用いて、同4項の壁量を満たす**建築物を適用する。**
	②	木 材 (5. 2. 2)	※木材(構造用)は、4章及び木標仕5.2.2による、以下の事項は、6章及び8章の該当箇所には共通適用する。 木材の使用箇所、品質、規格等　・下記特記による　・図示による
		(1) 製 材 (1)～(3) の基準強度は建設省告示による。	「製材の日本農林規格」による製材　※乾燥処理を施した木材　・☒ ・「製材の日本農林規格」による構造用製材（目視等級区分・機械等級区分）（針葉樹製材）

部材名称	樹種	寸法	強度等級 目視等級	強度等級 機械等級	化粧等級 特1等	化粧等級 上小節	含水率 15%以下	含水率 19%以下	開伏材等の適用
軸組									
小屋組									
屋根野地									
床組									
構造材の継手添え板									
せん・くさび・だぼ等									

・「製材の日本農林規格」による下地用製材（針葉樹製材）

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級(材面の品質)	含水率	開伏材等の適用
			・1級　・2級	・20%以下・15%以下	

大引
床束
根太、根太掛、根がらみ
床梁、火打梁

5 軸組構法（壁構造系）工事			・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級(材面の品質)	含水率	開伏材等の適用
			・特等・1等・2等 ・20%以下・15%以下		

※加工前の縦振動ヤング係数の測定による基準強度満足確認の報告書提出は、次項の無等級材と同じ「製材の日本農林規格」以外の製材（無等級材）　※乾燥処理を施した木材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質 (節、集中節、丸身、貫通節、目まわり、繊維、あばれ、狂い、割れ、ﾔﾆ状ﾎﾟｹｯﾄ、その他の欠点)	含水率	開伏材等の適用

※加工前に全数について、含水率、目視による材の欠点等を確認し、報告書を監督職員に提出する。
※加工前に、構造耐力上主要な部分である柱及び横架材全数について、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。
※表は「製材の日本農林規格による構造用製材」の「強度等級」を「材面の品質」と置き換えて代用可

(2)	集 成 材	「集成材の日本農林規格」による集成材　・☒ ・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材　※含水率15%以下

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	強度等級	材面の品質	接着性能 (使用環境)	開伏材等の適用
				・1種・2種・3種	・1・2	
				・1種・2種・3種	・1・2	
				・1種・2種・3種	・1・2	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱　※含水率15%以下

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	開伏材等の適用
				※1.2以上（　　）	

(3)	構造用単板積層材	・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材　※厚さ25mm以上、含水率14%以下　・☒

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	厚さ(mm)	等級	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (並ばり・ラミナ方向)	水平せん断性能	開伏材等の適用
				・特級・1級・2級	・1・2			
集成材等認証品の場合 (適合 有・)								

(4)	丸 太 材	・「丸太材」

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率	末口径	開伏材等の適用

※加工前に全数について、目視による材の欠点のないことを確認した報告書を監督職員に提出する。
※加工前に、構造耐力上主要な部分である柱及び横架材全数について、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。

(5)	木質軸材料、複合ﾊﾟﾈﾙ	・「建設省告示第1446号」による木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断面複合ﾊﾟﾈﾙ、木質接着複合ﾊﾟﾈﾙ

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率	開伏材等の適用

(6)	枠組壁工法構造用材	特記は「7枠組壁工法工事2(a)(ⅰ)(ⅱ)」で行う。「6軸組工法（軸構造系）工事-8丸太組構法工事」も同じ。
3 構造用面材 (5. 2. 3)		構造用面材　・大壁造の面材耐力壁（木標仕5. 9. 3）　・構造用面材による床組（木標仕5. 9. 2） ※構造用面材は、4章及び木標仕5.2.1による。以下の事項は、6章及び8章の該当箇所には共通適用する。 構造用面材の使用箇所、品質、規格等　・下記特記による　・図示による

(1) 構造用合板	・「合板の日本農林規格」による構造用合板　・☒

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の樹種	接着の程度	板面の品質	水セせん断性能	強度等級	防虫処理	開伏材等の適用
				・特類 ・※特類					

(2) パーティクルボード	・「日本工業規格 JIS A 5908」によるパーティクルボード　・☒

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	開伏材等の適用

(3) 構造用パネル	・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	等級

(4) その他のボード	・「その他のボード類」

種類	厚さ (mm)	施工箇所

4	接合金物・接合具等 (5. 2. 4)	※接合金物・接合具等(材料)は、木標仕5.2.4による。 適用(規格、表面処理等)及び特記(材質、種類、形状、寸法、径、長さ、位置、間隔等とも)は図示による。
5	防腐・防蟻処理 (5. 3. 1~4) (5. 5. 8~14)	※接合部及び接合金物・接合具等の工法は木標仕5.5.7~13による。特記は図示による。 ※木材の防腐・防蟻処理は、本仕様書「4 木造工事 4防腐・防蟻処理」及び木標仕4.2.1による。 ４章での共通特記以外に、以下の樹により特記する必要がある場合は、ここに特記する。(各章共通利用)

6	表 面 仕 上 げ (5. 4. 4)	土台の防腐・防蟻処理　※全面処理　・　(

7 枠組壁工法工事

1 適用範囲 (7.1.1)

2 木材等 (7.2.2)

構造耐力上主要な部分(基礎及び基礎杭を除く。)に、枠組壁工法を用いた建築物に適用する。

※木構住7.2.2による。

木材の使用箇所、品質、規格等　・下記特記による　・図示による

構造耐力上主要な部分に用いる枠組材　※(i)～(vi)までの枠組材の品質は木構住表7.2.1による。

(i)枠組壁工法構造用製材（5寸×6寸・8寸×8寸の同じ材は、この欄を共通利用して特記するものとする。）

・「枠組壁工法構造用製材の日本農林規格」による　※乾燥材で含水率19%以下

施工箇所	規格	樹種又は樹種群	寸法記号	等級(品質,MSR材は曲げ応力等級)	開代材等の適用
	甲種枠組材			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	
	乙種枠組材			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	
	MSR製材			・	

(ii)枠組壁工法構造用たて継ぎ材（5寸×6寸・8寸×8寸の同じ材は、この欄を共通利用して特記する。）

・「枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による　※乾燥材で含水率19%以下

施工箇所	規格	樹種又は樹種群	寸法記号	等級(品質)	開代材等の適用
	たて継用たて継ぎ材				
	甲種たて継ぎ材			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	
	乙種たて継ぎ材			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	

(iii)製材　・G

・「製材の日本農林規格」による下地用製材（針葉樹製材）　※乾燥処理を施した木材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級(材面の品質)	含水率	開代材等の適用
筋かい		※1 1級		※20%以下 ・	

(iv)集成材　・G

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材　※含水率15%以下

施工箇所	樹種	寸法(mm)	強度等級	材面の品質	接着性能(使用環境)	開代材等の適用
				・1種 ・2種 ・3種	・1・2	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材　※含水率15%以下

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	開代材等の適用
				※1.2mm以上（　）	

(v)構造用単板積層材　・G

・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材 ※厚さ25mm以上（　）※含水率14%以下

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	接着性能(使用環境)	曲げ性能(ボイラ記号表示)	水平せん断性能	開代材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級	・1・2			

(vi)構造用銅材

・「建築基準法第37条第一号の指定を受けた構造用銅材」のうち「所定の日本工業規格に適合する銅板又は銅帯で冷間成形による曲げ部分又はかしめ部分を有するもの」

施工箇所	種類	形状	板厚(mm)	表面処理	強度
	・JIS G3302 ・JIS G3312 ・JIS G3321 ・JIS G3332				

(vii)木質軸材料、複合パネル

・「建設省告示第1446号」による木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断面複合ﾊﾟﾈﾙ、木質接着複合ﾊﾟﾈﾙ

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率	開代材等の適用

(viii)国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する枠組材

・「建築基準法施行規則第8条の3の認定を受けた耐力壁に使用する枠組材」含水率　・19%以下　・

床、壁及び屋根下地材の材料等　・次による　・図示による　開代材　・適用　構造用合板・G

部材の種類	材料の種類	厚さ(mm)	等 級 (JASによるただし,セッコウラミナボードは次による)	表面の保理	接着の程度	板面の品質	水平せん断性能	強度等級	防虫処理
壁　材 (室内に面する部分又は主要な部分を除く)	・構造用合板		※特級						
	・構造用ﾊﾟﾈﾙ		・1級 ・2級 ・3級 ・4級						
	・								
壁　材 (主要な居室の外壁又は主要な間仕切壁)	・構造用合板		※特級						
	・構造用ﾊﾟﾈﾙ		・1級 ・2級 ・3級 ・4級						
	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ		・構造用1種 ・構造用2種 ・強化						
	・		・						
床又は屋根下地材	・構造用合板		・特級 ・1級						
	・構造用ﾊﾟﾈﾙ		・1級 ・2級 ・3級 ・4級						
	・		・						

・「日本工業規格 JIS A 5908」によるパーティクルボード　・G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	開代材等の適用

3 接合具・接合金物等 (7.2.3) (7.5.6～7)

※接合具・接合金物等（材料）は木構仕7.2.3により、適用（規格、表面処理等）及び特記（材質、種類、形状、寸法、径、長さ、位置、間隔等とも）は図示による。

※接合金物等の工法は木構仕7.5.7により、特記は図示による。

釘及びねじの工法（木構仕7.5.6）　釘の種類　※CNZ釘（JIS打ち込みCN50, 鉄の打ち込みCN75, 平打ち込みCN30）　・

4 防腐・防蟻処理 (7.3.4)

5 アンカーボルトの埋込み (7.5.3)

6 基礎天端及び柱底均しモルタル仕上げ (7.5.4)

7 土台 (7.6.1)

8 床枠組 (7.7.1) (7.7.2)

・プラットフォーム方式による床組

床根太の断面寸法(mm)　厚さ・38以上　幅・140以上　相互の間隔・　・　(7.7.1(i)(ii)(iii))

床に矩形の開口部を設ける場合　開口部の大きさ　※図示　・　(7.7.1(iii)(a))

床版のある部材相互及び床版の枠組材と土台又は頭つなぎとの緊結方法　※図示　(7.7.1(iv)(v))

・床材の継手に設ける受材　※38×40(mm)以上　床材留め付け用釘又はねじの種類及び間隔　※図示

・大引又は床束を用いる場合　(7.7.2)

大引きまたは床束の材料　※木構仕表7.2.1による　大引きの間隔・　床束の間隔・

大引き(樹種・　断面寸法・　)　床束(樹種・　断面寸法・　)

9 壁枠組 (7.8.1)

縦枠,下枠,上枠の断面寸法(mm)　・厚さ38以上,幅89以上　開口部補強材の間隔・455mm・　(7.8.1(a))

耐力壁の種類　・Ⅰ型　・Ⅱ型　・Ⅲ型　・Ⅳ型　・Ⅴ型　・特別　耐力壁の配置等　※図示　・

耐力壁線の梁間方向と桁行方向とが直角に交わらない場合の処理　※図示　・

開口部の補強（使用する部材の寸法形式、金物の配置、釘打ち等）※図示　・　(7.8.1(a))

耐力壁の頭つなぎ　※設ける(緊結方法　※図示　・頭つなぎは上枠と同寸法の断面)　・設けない

まぐさ　※幅90cm以上の開口部の上部に設ける　(7.8.1(a))

断面寸法,取付け方法　・図示　・開口部を構成するたて枠と同寸法以上の断面のまぐさ受けで支持

・壁材の継手に設ける受材　※たて枠と同寸法　取付け方法　※図示　(7.8.1(b))

壁材留め付け用釘又はねじの種類及び間隔　※図示　壁材　※たて張り　・　(7.8.1(b))

部材の断面寸法及び取付け方法　※図示　(7.9.1(a))

まぐさ　※幅90cm以上の開口部の上部に設ける　(7.9.1(a))

断面寸法,取付け方法　・図示　・開口部を構成する部材と同寸法以上の断面のまぐさ受けで支持

小屋組の各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎとの緊結方法　※図示　(7.9.1(a))

垂木又はトラスと頭つなぎ及び上枠との緊結金物の種類及び緊結方法　※図示

垂木方式　垂木及び天井根太の断面寸法(mm)　・厚さ38以上、幅89以上　垂木相互の間隔　・　mm　・

垂木つなぎの断面寸法及び取付け方法　※図示　(7.9.1(a)(b))

トラス方式　仕様及び取付け方法　※図示　(7.9.1(c))

屋根葺方式及び東立方式　垂木断面寸法(mm)　・厚さ38以上 幅89以上　材料及び取付け方法　※図示

屋根下地材の取付け　継手に設ける受材　※38×40(mm)以上　留め付用釘又は木ねじの種類及び間隔　※図示

10 小屋組及び屋根 (7.9.1)

11 上記以外の工法の特記　図示による

8 丸太組構法工事

1 適用範囲 (8.1.1)

2 適用基準 (4.1.5)

3 材料 (1)丸太組壁用木材 ①機械加工木材 ②手加工木材

構造耐力上主要な部分(基礎及び基礎杭を除く。)に丸太組構法を用いた、延べ面積300㎡以下、高さが8.5m以下、地階を除く階数が1以下（小屋裏利用2階建ては可）、耐力壁相互の距離は各以下で、かつ耐力壁線により囲まれた部分の水平投影面積が30㎡以下の小規模な建築物に適用する。

技術基準は、「丸太組構法を用いた建築物又は建築物の構造部分の構造方法に関する安全上重要な技術基準を定める件」（平成14年5月15日　国土交通省告示第411号）による

上記及び木木構仕に記載のない事項項については、下記の基準及び仕様による

「丸太組構法技術基準・同解説」㈱日本建築センター出版部　「丸太組構法住宅工事共通仕様書」㈱住宅金融普及協会

構造耐力上主要な部分に使用する丸太材等の樹種（平成14年5月15日国土交通省告示第411号※枠組壁工法構造用製材の日本農林規格（昭和44年農林省告示第600号）別表2の樹種　又は構造用集成材の日本農林規格（平成8年農水省告示第111号）別記3（7）イ表の樹種

※上記及び木構仕8.2.2による

※機械加工木材は木構仕8.2.2(1)により、手加工木材は木構仕8.2.2(2)による

※丸太の1断面積は105cm²以上、かつ、1400cm²以下とする

※加工前に全数について目視により材の欠点がないことを確認し、報告書を監督職員に提出する

木材の使用箇所、品質、規格等　・下記特記による　・図示による

部位		樹種	断面寸法、径(2のみ)	品質	下段欄記入 含水率 ・G 又は ・K 又は ・その他(　)の乾燥した材を使用
壁体	土台			木構仕8.2.2	
	耐力壁			木構仕8.2.2	
	非耐力壁			木構仕8.2.2	
床組	床梁			木構仕8.2.2	
小屋組	梁			木構仕8.2.2	

(2)丸太組壁以外に用いる木材

(3)構造用面材

4 接合金物・接合具等 (8.2.5)

5 防腐・防蟻処理 (8.3.1～4)

6 丸太組壁用木材の加工 (8.4.1～4)

7 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8.4.5)

8 丸太組壁以外に用いる木材の加工及び表面仕上げ (8.4.6)

9 丸太組壁用木材の継手加工及び継手の補強方法

10 丸太組壁の端部及び開口部周囲の補強方法 (8.4.8)

11 製品確認 (8.4.10)

12 仮組立て

13 アンカーボルトの埋込み(8.5.3)

14 基礎天端及び柱底均しモルタル仕上げ

15 建方

16 だぼの工法 (8.5.6)

17 通しボルトの工法 (8.5.7)

18 ジャッキボルトの工法

19 垂木用スライド金物の工法

20 丸太組壁用木材の欠き込み

21 釘及びねじの工法

22 各種ボルトの工法

23 丸太組壁 (8.6.3)

24 小屋組

25 小屋東方式の工法

26 屋根野地 (8.8.10)

27 床組

28 丸太組壁と取合う造作工事

(1)木材等

(2)接合具等

(3)支柱 (8.9.2)

(4)内壁下地,天井下地,軒天井板

(5)開口段

29 防耐火認定丸太組壁

30 上記以外の工法の特記

9 木工事

(2)造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材（内部の造作に使用する）　・G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　※含水率15%以下

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質 (等級)	開代材等の適用
図示	杉	図示	※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (ｴﾝﾄﾗﾝｽ・居室・廊下)(天井)(上記以外の部屋)　※含水率15%以下

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質(等級)	含水率	開代材等の適用
	・杉・桧・ ・ｽﾌﾟﾙｽ合板厚物面				※1等 ・2等		・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱　※含水率15%以下

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	開代材等の適用
構造図による				※1.2以上（　）	

(3)造作用単板積層材

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材・G　※含水率14%以下

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質(化粧加工)	防虫処理	開代材等の適用
		・有り(・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級：1級 2級 3級)	・適用する ・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 ※目視による材の欠点がないことを全数確認し、報告書を監督職員に提出する

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質(化粧加工)	化粧加工範囲、塗装及び塗装、塗装及び欠点、入り方、の有無、セロハン紙、調色方法、方法 について	防虫処理	含水率	開代材等の適用
		・有り(・天然木加工・塗装加工) ・無し(　)		・適用する ・適用しない	※14%以下	・

(3)合板等 (9.2.3)

※合板等は、木構仕9.2.3による。

(1)下地用合板

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表面の保理	接着の程度	板面の品質(等級)	防虫処理	その他の処理	開代材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・	※広葉樹2等,針葉樹2の以上		・難燃処理 ・防炎処理	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板　・G

施工箇所	厚さ(mm)	等 級	表面の保理	接着の程度	板面の品質	強度等級	防虫処理	開代材等の適用
(内部床下地)	※12.0 ・	※2級以上		※1類 ・特類	※C-D以上 ・			
				※1類 ・特類				

(2)天然木化粧合板

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板単板の樹種名	防虫処理	その他の処理	開代材等の適用
(壁、天井) (化粧野地板)	※4.2 ・3.2 ・6.0 ・	・1類 ・2類	・なら ・シオジ ・		・難燃処理 ・防炎処理	・

(3)特殊加工化粧合板

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	加工面	化粧加工の方法	防虫処理	その他の処理	開代材等の適用
(壁、天井) (化粧野地板)	※4.0 ・	・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW	・表面 ・裏面	・ｴﾝﾎﾞｰｼﾝｸﾞ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装		・難燃処理 ・防炎処理	・

(4)パーティクルボード

・「日本工業規格 JIS A 5908」によるパーティクルボード　・G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	開代材等の適用
(内部床下地)	※15・18		※13ﾌｲﾝ ・	※PVA ・		・

・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等 級	・1級 ・2級 ・3級 ・4級

(4)接合具等 (9.2.4)

(5)耐候性処理 (9.3.1)

(6)防腐・防蟻処理 (9.3.2)

(7)防虫処理 (9.3.3)

※接合具等の材料、工法は木構仕9.2.4による

屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り　「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」18章14節「木材保護塗料塗り(WP)」による

※木材の防腐・防蟻処理は、木構仕9.3.2による。特記は木特記仕様書「4 木造工事 4 防腐・防蟻処理」及び「5 軸組構法（壁構造系） 5 防腐・防蟻処理」の項で行う。

防虫処理　・行う　・行わない

ｼﾛｱﾘ及びなら を使用する場合　※「製材の日本農林規格」の「広葉樹製材の規格」による保存処理K1

部材名称	樹種	寸法	等級(材面の品質)・無節・上小節・小節	形状・指間・角間	含水率 注記	開代材等の適用
屋根回り: 鼻隠し						
破風板						
広小舞・登りよど						
瓦棒貫屋根用小木						
野縁・野縁受け						
吊木・吊木受け						
軒天井板						
回り外部開口部回り: 窓・出入口取付け						
下地材及び受材						
出入口枠材			見え掛り部：その他の部分：			
外部額縁			見え掛り部：その他の部分：			
回り内部開口部回り: 窓・出入口取付け下地材及び受材	ヒバ		上小節	板		
出入口枠材	ヒバ		見え掛り部 上小節 その他の部分：			
内部額縁	ヒバ		見え掛り部：その他の部分：			
下地用合板 (本特記仕様書「3 合板等」で特記)			木構仕9.3.3 (1)			
ﾊｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ(本特記仕様書「3 合板等」で特記)			木構仕9.3.3 (4)			
縁甲板	杉					
フローリング(本特記仕様書「1 [1]室内床工事」で特記)			公共建築標準仕様書19章5節		杉板30厚	
上がり框			見え掛り部 上小節 その他の部分：			
外壁回り: 胴縁						
ラス下地板		※厚さ12mm幅75mm				
下地用合板 (本特記仕様書「3 合板等」で特記)			木構仕9.3.3 (1)			
押縁・下見板張り						
羽目板						
敷目板						
付け土台			見え掛り部：その他の部分：			
雨押え			見え掛り部：その他の部分：			
見切縁・笠木・幼部回縁			見え掛り部：その他の部分：			

特記なき場合,※印による
枠,組縁,敷居,かもい,かまちの部の見え掛り面
※上小節　・
それ以外
※小節　・

9 内部壁・天井

部材名称	樹種	寸法	等級(材面の品質)・無節・上小節・小節	形状・指間・角間	含水率 注記	開代材等の適用
胴縁						
見切縁・笠木						
羽目板						
敷目板						
幅木	杉		見え掛り部 上小節 その他の部分：			
回り縁			見え掛り部： その他の部分：			
吊木受け・吊木						
野縁・野縁受け・板野縁						
敷目板(天井)						
天井板						

9 和室の造作

部材名称	樹種	寸法	等級(材面の品質)・無節・上小節・小節	形状・指間・角間	含水率 注記	開代材等の適用
柱						
敷居						
鴨居						
無目						
一筋敷居・中敷居						
一筋鴨居・中鴨居						
吊束						
方立						
長押						
塗込の貫						
貫下地板						
蛍壁せ						
平幅木(台輪なり)						
巾木						
天井回						
廻り縁(上小節)						
回り縁(上小節)						
内法材						
付鴨居・棚板						
敷居(引違)						
鴨居(引違)						
戸当り						
無目(引違)						

9 階段

部材名称	樹種	寸法	等級(材面の品質)・無節・上小節・小節	形状・指間・角間	含水率 注記	開代材等の適用
側板	杉	厚:30	上小節	板		
段板・けこみ板						
親柱・手摺子・手摺笠木						

9 その他

10 防水工事

1 FRP系塗膜防水 (10.2.2～5)

2 シーリング (10.3.2～5)

3 透質防水ｼｰﾄ,防水ﾃｰﾌﾟ及び改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ工事 (10.4.2～3)

4 ケイ酸質系塗布防水

材料　※木構仕10.2.2による

防水層の工程　(10.2.1)　施工　(10.2.4)　施工管理　(10.2.5)

材料　※木構仕10.3.2による

目地寸法　ｺﾝｸﾘｰﾄ打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地　※幅20mm以上,深さ10mm以上　・

ﾎﾞﾗｽ回り目地 ※16.14.3「ﾎﾞﾗｽ溝の寸法,形状等」による場合を除き,幅,深さとも5mm以上　・

上記以外の箇所の目地　※幅,深さとも10mm以上　・

施工　(10.3.4)　ｼｰﾘﾝｸﾞ材の簡易接着性試験　・行う(外部は原則,行う)　・行わない

透質防水ｼｰﾄ　※JIS A 6111(透湿防水ｼｰﾄ)に規程する透湿防水ｼｰﾄB

両面粘着防水ﾃｰﾌﾟ　幅　※50mm以上　・　使用期間　※製造所が定める使用可能期間以内

性能基準　※表10.4.1の性能基準に適合し,10年間の防水機能を検証したもの

改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ　表10.4.2の品質に適合したもの　ｽﾃｰﾌﾟﾙ　※JIS A 5556(工業用ｽﾃｰﾌﾟﾙ)による

施工　(10.4.3)

「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」9章6節「ｹｲ酸質塗布防水」による

11 石工事

1 材料

2 工法

3 その他

石材　種類　※天然石(JIS A 5003)　・人工石　(10.2.1)

品質　※1等品(床以外)　※2等品(床)　形状、寸法及び仕上　※図示

石材の種類及び表面仕上げ　(表10.2.1～2)

施工箇所	種類(産地、名称)	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

取付け金物　※木構仕10.2.2による　乾式工法用金物方式　・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式　(表10.2.4)

取付用モルタル,既調合目地モルタル,石裏面処理材,裏打ち処理材金物の固定に使用する充填材料等

※石材施工業者の指定する製品（実績等の資料を監督職員に提出する）　・

取付け工法　・外壁湿式工法　・内壁空積工法　・乾式工法（・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式）　・

上記以外は、公共建築工事標準仕様書　10 章　石工事　による。

12 タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

2 施工後の試験 (11.1.5)

3 材料 (11.2.2～4) (11.3.2～4) (11.4.2)

4 その他

位置　※木構仕仕様書表11.1.1による　・図示　(11.1.3)(表11.1.1)

接着力試験　・行わない　※行う（部位：屋外及び屋内の吹抜け部分等　）

外観の試験　※行う　打診による調査　※行う（屋外及び屋内の吹抜け部分等のタイル張り）

タイルの形状、寸法等　種類　・磁器質 G　・せっ器質　・陶器質　G　・適用

施工箇所	主要な用途による区分(注)	形状寸法(mm)	吸水率による区分	よごれ	反り	色			再生材の有無	耐凍害性		障り	備考
			Ⅰ類	普通	無釉	有釉	無	有	標準	特注	適用	有	無	抵抗性	
外壁		235×70													

13 屋根及びとい工事

1 下地及び下葺 (13.2.2～3)

2 金属板葺 (13.3.2～8)

※詳細は図示とする

カラーアルミ長尺葺

溝板：カラーアルミ材t=0.6

桟待：アルミ押出し型材t=1.2

二次電解着色

水密性2400Pa

耐風性8000Pa

3 粘土瓦葺 (13.4.2～3)

(1)材料 (13.4.2)

粘土瓦　桟瓦の種類、大きさ、産地等　※JIS A 5208　※J形、53A、・(　)

役物瓦の種類　※図示・　雪止め瓦　・適用する　・適用しない

瓦桟木　材質　※S以上のひき　寸法(mm)　※幅21高さ15以上　防腐処理　※木構仕4.2.1による(・　)

桟木の取付けに使用する釘　※JIS A 5508(くぎ) ｽﾃﾝﾚｽ製、長さ45mm以上

棟補強用小材　材質　※S以上のひき　寸法(mm)　※幅40高さ30以上　防腐処理　※木構仕4.2.1による(・

瓦取付用釘,緊結線,ボルト,補強用小材取付用ﾎﾞﾙﾄ,ﾊﾟｯｷﾝ付ｽﾃﾝﾚｽねじのﾊﾟｯｷﾝ　※木構仕13.4.2(d)による

留付け用釘、ビス　※SUS304又は銅製(ﾋﾞｽはSUS304)　、振動等で抜けないものの長さ50mm以上

補強に使用する釘及びくぎ　※SUS304　補強金物(瓦留付け,棟補強,山足・心材受金物)等　※SUS304

緊結線　※SUS304製又は合成樹脂被覆銅線、径0.9mm以上　棟補強用心材取付用ﾎﾞﾙﾄ　※SUS304 φ10mm以上

ｽﾃﾝﾚｽ銅ねじ用ﾊﾟｯｷﾝ　※耐塩製性及び耐候性を有しねじを締めても頭部からはみ出さないもの

葺土　※なんばん凍結又はモルタルを含む。なんばん凍結は既調合のものを使用しその調合は製造所の仕様による。ﾓﾙﾀﾙの調合(容積比)はセメント：砂4：混和剤適量とする

建築基準法に基づき定める高圧力及び積雪荷重に対応した工法（耐震性にも配慮し施工計画書に記入）

※適用する(建築基準法に基づき定める高圧力及び積雪荷重の(・1.15 ・1.3)倍に対応)　・適用しない

下葺　※木構仕13.2.3(b)　瓦桟木取付　※釘を用いて垂木毎に行う　棟の工法　※木構仕13.4.3(c)(1)～(5)

瓦取付け　桟瓦　※全数1本以上の釘で瓦桟木に留付け　軒瓦、袖瓦　※全数3ヶ所以上緊結線又は釘で留付け

棟用小木　※取付用ﾎﾞﾙﾄで棟木に約1,000mm間隔で40mm以上埋込み緩みや抜出しのないよう固定する

山形金物・ﾌﾞﾚｰｽﾞ一体型金物の取付けは、野地板へﾋﾞｽで固定する

棟　瓦　粘土瓦葺の工法（　ﾌ寸丸伏せ棟　のし一体棟　のし積み棟）　(9.4.3(a))

※ﾌｯｸ付ｽﾃﾝﾚｽねじで棟用小木に留め付ける(・冠瓦　のし一体棟瓦・冠瓦)

※のし積みの冠瓦には土足で棟木より出した緊結線2条で留め付ける方法による

※のし積み棟のへの瓦は緊結線を用いて互いに緊結する

※その重量に耐えられるように釘及び緊結線で全数入念に緊結する

壁取合い及び谷部の施工　※木構仕13.3.4(d)(4)(5)(・材料は木構仕13.7.2)に準ずる・

・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂(ﾀｲﾌﾟM(P))JISA5706(種類・　外径・　厚さ・　長さ・　)

3 金属板(表13.7.1)(種類、板厚)　・図示　・鋼板JIS H3100 C1201 質別1/4H又は1/2H(板厚mm※0.35・　)

等ぐい　・金属製(種類・　板厚・　)　・製(種類　といに同じ　厚さmm　※0.4・　)

とい受け金物　※市販品(溶融亜鉛めっきしたもの又は、ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304)及び(表13.7.2)による

4 とい (13.7.2～3)

設計者	–	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別	A-3
図面名称	特記仕様書２		縮尺	–	
所長	丹羽雅人	担当	丹羽雅人	作成者	丹羽雅人	作成日		通し番号	**
						他			

14 金属工事

1 軽量鉄骨天井下地 [14. 4. 2~4]

野縁等の種類 屋外 ※25型 ・ 屋内 ※19型 ・ 工法,開口等の補強 ※標仕14.4.4による

屋外の軒天井、ピロティ天井等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法（施工計画書に取りまとめる）
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1 ・1.15 ・1.3)倍に対応）・適用しない

1-2 軽量鉄骨壁下地 図示による

非構造部材の耐震設計・施工指針（JASS）に対応した工法（施工計画書に記入） ・適用する ・適用しない
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 ・ 補強方法 ※図示 ・
野縁受、吊ボルト、インサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部補強の間隔 ・図示 ・ 野縁間隔 ・図示 ・
種別 ※アルミハンドル ・ アルミネル 製法 ・押出 ・ロール ・プレス 寸法(mm) 板幅 板厚
表面処理 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 ・D 伸縮継手 ・設ける ・設けない 形状 ・図示 ・

15 左官工事

1 下地（2節）
(1) ラス系下地 [15. 2. 3]

材料 ラス(JASS15M-101) ※2種波形ラス700(2種リブラス800又は2種防水増付リブラス) ・ [15. 2. 3(b)]
補強用平ラス(JASS15M-101) ※使用する異形ラスと同種 ・ [15. 2. 3(b)]
防水紙 ・改質アスファルトフィルム ・透湿性防水シート ・AWタイプ ※JIS A 6111 タイプ1 [15. 2. 3(b)]
下地材（ラス下地、下地用合板）の種類、厚さ（ 、 ） [11. 2. 3(b)]
ラスシートの材料［JIS A 5524（ラスシート（角波亜鉛鉄板ラス））］ ・以下の場合以外（※LS1 ・
・耐力壁(※LS4以上 ・ ）・外壁部で高さ6mを超える場合、仕上に重量物を指す場合(※LS2 ・ ） [15. 2. 4(a)]
木質系セメント板下地 [15. 2. 4]
・木毛セメント板の種類及び厚さ（・難燃板、厚（ mm） ・断熱板、厚（ mm））
・木片セメント板の種類及び厚さ（・普通木片板、厚さ（ mm） ・（ ））
(2) 材料 [15. 2. 3]
(3) せっこうラスボード ※JIS A 6901 GB-L ・せっこうボード ※JIS A 6901 GB-R [15. 2. 5(a)]
材料 ・開渡し竹（・しのだけの丸竹 ・まだけの割竹） [15. 2. 6(b)]
・小舞竹（・まだけの割竹 ・しのだけの割竹 ・しのだけの丸竹）・小舞縄（・しゅろ ・麻 ・わら縄 ）
木ずり用小幅板の樹種（・杉、心去り材 ・ ） [15. 2. 7(a)]
既調合モルタル ・用いる場合の仕様（ ） [15. 3. 2(d)]
(4) 小舞下地 [15. 2. 6]
(5) 木ずり下地 [15. 2. 7]
2 モルタル塗り（3節） [15. 3. 2~4]
3 しっくい塗り（6節） [15. 5. 2~4]
・既調合しっくいの製造所及び種類（ ）
・木ずりおよび小舞土壁塗り以外の下地（ ）
木ずり下地の場合の仕上げ厚(mm) ※15 ・12 ・18 [表15. 6. 1]
のりの種類 ・土壁用(※つのまた ・) ・砂壁用(※ふのり ・) [15. 6. 2]
上塗りに用いる色土の種類（ ） [15. 7. 2(f)] 色砂の種類（ ） [15. 7. 2(h)]
上塗りの種別（ ） [15. 7. 3] 工程の種別 ※A種 ・B種） [15. 7. 5]
上塗りの種類（・土物仕上げ（ ） ・大津仕上げ（ ）） [15. 7. 7] [15. 7. 8]
建物内部に使用する塗材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
防火材料の指定 ・屋内の壁、天井の仕上材は防火材料(建築基準法に基づく認定品)とする ・図示
仕上塗材の種類 [表15. 8. 1~2]
・薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	耐候性
・外装薄塗材E ・内装薄塗材E ・	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状	・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	・適用する ・適用しない 耐湿性 ・適用する ・適用しない

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	耐候性
・外装厚塗材E ・内装厚塗材E ・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状 ・かき落とし ・ひき起し	・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・適用する ・適用しない

・複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性 ※3耐候3種・ ）		
・複層塗材E	※ゆず肌状	※吹付け	※水系	※アクリル系	・つやあり ・つやなし
・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材RE ・可撓形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・溶剤系 ・弱溶剤系	・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 ・シリカ系	・つやあり ・つやなし ・メタリック
			増塗材 ・適用する ・適用しない		

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量骨材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り

6 所要量等の確認 ※本標仕表15. 8. 4及び単位面積当たりの使用量による [15. 8. 7]

16 建具工事

1 防火戸（16. 1. 3）
2 防犯建物部品（16. 1. 6）
3 鉄骨アルミニウム製建具
(1) 性能及び構造 [16. 2. 2]

・適用 図示(・建具表・平面図 ・) ※提怠知器連動、防火戸保安機構は別途、扉にラッチ受座用切込開口補強
・適用する 図示(・建具表・平面図 ・)
外部に面する建具の性能等級等(建具符号 ※建具表による ・) [表14. 2. 1] [表16. 2. 1]

種別	・A種	・B種	(・C種)
耐風圧性	・S-2（・S-4）	・S-3（※S-5）	(・S-6)
気密性	・A-3（・A-3）	・A-3（・A-4）	(・A-4)
水密性	・W-3（・W-4）	・W-3（※W-5）	(・W-5)

枠見込み(mm) ・建具表による 表面処理 ｱﾙﾏｲﾄ ・B-1種 ・B-2種(・ｱﾉﾏｲｰ ・ｳﾞﾄﾞｰｺｰﾄ ・ｴﾎﾟｷｼｰ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ)
(注)（）内はビル用サッシの値(以下同じ) 建具符号の表示については各種建具共通 内部に面する建具の要求品質 ・C-1種 ・C-2種

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級	・T-1 ・T-2 ・T-3
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(・)	・H-1 ・H-2 ・H-3
(耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・)	

[16. 2. 4~5]
(2) 材料 [16. 2. 3]

結露水の処理方法 ※図示 ・	水切り板、ぜん板 ※図示 ・ 溶ぞり ※SUS304HL
戸（・合成樹脂製、線径0. 25mm、網目16~18メッシュ ・ｶﾞﾗｽ繊維入合成樹脂製 ・ステンレスSUS316製）	
防鳥網（※ステンレス製SUS304線材、線径1. 5mm、網目寸法ø15mm） [16. 2. 3(e)]	

雨掛り部の建具枠周囲に使用するシーリング材 ※10章3節［シーリング］ 目地寸法(mm) ※幅10深さ10以上 ・
ガラス溝の寸法、形状等（外部に面する建具 ※本標仕16. 14. 3による 屋内 ※建具製作所の仕様） [16. 2. 3(i)]
木樋仕16章3節（樋仕16章3節）による
簡易気密型 ・適用する(表16. 4. 1) [16. 4. 2(b)]
外部に面する建具の耐風圧性の等級(表16. 2. 1) ・S-2(S-4) ・S-3(S-5) ・(S-6)
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3
鋼板（鋼板厚の厚さは本標仕表16. 4. 2による。くつずりはSUS304HLとする） [16. 2. 2(a)]
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z12又はF12 ・)
・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Y08 ・) [16. 4. 2~5]
雨掛り部の建具枠周囲に使用するシーリング材 ※10章3節［シーリング］
ガラス溝の寸法、形状等（外部に面する建具 ※本標仕16. 14. 3による 屋内 ※建具製作所の仕様）
簡易気密型 ・適用する A-2（A-3） [16. 5. 2(b)]
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3
鋼板張 ※本標仕16. 5. 3(a)による。ただし、厚さは本標仕表16. 5. 1による。溶ぞりはSUS304HLとする。 [16. 2. 2(a)]
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06,F06又はE24 ・)
・JIS G 3313(電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06,F06又はE24 ・) [16. 4. 2~5]
ｶﾗｰ鋼板 ・JISG3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)又は下地金属板の種類はJISG3313 めっき付着量 ※同上
戸の鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
召合せ、縦小口包み板等の材質 ※亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出形材
ガラス溝の寸法、形状等 ※建具製作所の仕様
簡易気密型 ・適用する(表16. 4. 1)
外部に面する建具の耐風圧性の等級(表16. 2. 1) ・S-2(S-4) ・S-3(S-5) ・(S-6)
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3
ステンレス鋼板(JIS G 4305) ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・SUS430（屋内のみ）当ずり ※SUS304HL
表面仕上げ ※化仕上 ・鏡面仕上 ・バフ仕上 ・曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(・ø角 ・b角 ・c角 [16. 2. 2(a)]
雨掛り部の建具枠周囲に使用するシーリング材 ※10章3節［シーリング］
ガラス溝の寸法、形状等（外部に面する建具 ※本標仕16. 14. 3による 屋内 ※建具製作所の仕様）
建具材の加工、組立時の含水率（木標仕表16. 7. 1） ※B種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※第三種 ・
表面材の合板の種類（ア)ふすまの合板の厚さは2. 5mm
・普通合板(・) 表面の種類 生地、透明塗料塗り(※ラワン ・) 不透明塗料塗り(※しな ・ 板面の品質(・広葉樹 ※1等 ・針葉樹 ※C-D 以上)
接着の程度（※水掛り1類その他2類以上）
・天然木化粧合板 樹種名(・) 接着の程度（・1類 ・2類）
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法(・オーバーレイ ・プリント ・塗装) ポリエステル化粧合板
表面性能(・) ﾀｲﾌﾟ 接着の程度（・1類 ・2類）
かまち又は中骨にむく材を使用する場合の樹種 ・ [表16. 7. 2]
② かまち戸 かまち樹種(・) ﾀﾞﾎﾞｽ 接着の程度(・1類 ・2類) [表16. 7. 2]
上張り紙の種類 ・鳥の子(・) ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・雲花紙（押入等の裏側）） [表16. 7. 3]
材料 ・I型 ・II型
縁仕上・塗り縁(・ｶｽﾝ塗 ※2回 ・3回 ・) ・生地縁(・素地 ・ｳﾚﾝｶﾗｰ塗装)
③ ふすま
(2) 形状及び仕上げ①フラッシュ戸 [16. 7. 3]

見込みの寸法	※本標仕表16. 7. 5による ・ 工法 [表16. 7. 7]
表面板の厚さ	※本標仕表16. 7. 6による ・
見込みの寸法	※36mm ・建具表による ・ 工法 [表16. 7. 8]
見込みの寸法	※19. 5mm ・建具表による ・ 工法 張りの種別(・I型 ・II型) [表16. 7. 9]

9 建具用金物 [16. 8. 2~4]

戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
金物の種類・見掛り部の材質等 ※本標仕表16. 8. 1によるとともに適用は建具表による ・
握玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による ・
樹脂製建具用丁番 ※標仕表16. 8. 3による ・
(品質・性能) 本標仕表16. 8. 1による他、(一社)公共建築協会「建築材料等品質性能評価」基準程度とする
マスターキー ・製作する ○製作しない 鍵和 ・設ける(市販品 ・) ・3回錠 ・60錠用 ・120錠用) ○設けない
性能 ※標仕表16. 9. 1~2による 防錆・適用する 取付け位置 ・床面 ・天井面 ・壁面 ・無目
センサースイッチの種類 ※木標仕表16. 9. 3
・マット ・光線(反射) ・熱線 ・音波 ・光電 ・電波 ・タッチ ・押ボタン ・ペダル ・多機能ﾀｲﾌﾟ
性能 ※本標仕表16. 10. 1による (16. 10. 2~4)
種類 ・一般 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・屋内用防煙
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び誘時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする
耐風圧強度(N/m²) ・一般( ) ・外壁用防火( ) 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
スラットの形状 ※インターロッキング形(・防煙シャッター 設置省令示第2564号適煙性能試験に合格するもの)
シャッターケース(防火、防煙以外) ※設ける ・設けない 障害物感知装置 ※設ける ・設けない
スラット及びジャッター ・JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※Z12,F12 ・) (16. 11. 3)
ガイドレール、まぐさ、雨掛り座板又は座板カバー及びスカッチガラス類表 ※本標仕16. 5. 3(a)のステンレス鋼板
鋼板類の厚さ ※(表16. 11. 2)による ガイドレールの材質 ※ステンレス製(SUS304)厚さ1. 5mm(※中柱共)
開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (表16. 12. 1) 耐風圧強度( )N/m² (16. 12. 2(b))
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラップ ンク形 シャッターケース ※設ける ・設けない (16. 12. 4)
障害物感知装置 ※設ける ・設けない
スラットの材質 ・JISG3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※Z06,F06 ・) (16. 12. 3)
・JISG3322(塗装溶融亜鉛55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※AZ90 ・)
鋼板類の厚さ ※(表16. 12. 2)による
セクション材料による区分(タイプ) ※スチール ・アルミニウム ・ファイバーグラス 耐風圧性能(Pa) ・500 ・750 ・1000
開閉形式による区分 ※パラシュート ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スラットガード形 ・ロールカバー形 ・ハイラリ形 ・バーナ形
ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板(3. 2)(1)(めっき付着量Z27) ・ステンレス鋼板16. 6. 3(a) 厚さ2. 0mm
・合わせガラス

品種	構成種類	性能(類)
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収フロート板合わせガラス	・I
・網入合わせガラス	・網入磨き7ロート板合わせガラス ・網入磨き熱線吸収板合わせガラス	・II-1 ・II-2 ・III

・強化ガラス（ガラス面に刻印要 シール貼りのみは不可）

材料板ガラスによる種類	性能(類)
※フロートガラス ※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I ・II
・型板ガラス ※型板強化ガラス ・網入ガラス	

・複層ガラス

品種	断熱性 日射遮へい性
・断熱複層ガラス	・1種 U-1 ・2種 U-2 ・3種（・U-3-1 ・U-3-2）
・日射断遮へい複層ガラス	・4種 E4 ・5種 E5

・熱線反射板ガラス

品種	色調
※熱線反射ガラス ・高性能反射板ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー

品種	日射遮へい性 耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・1種 A種 ・2種（・A種 ・B種）	
・高性能反射板ガラス	・3種 B種	

反射皮膜面 ※内面 ・外面 映像調整 ※行わない ・行う
・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	・ ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・

16 ガラスの留め材 [表10. 3. 1] [表16. 14. 1]

建具の種類 ・鋼製建具 ・ステンレス製建具 ・木製建具 材種 ※シーリング ・
・アルミニウム製建具 材種 ※シーリング ・ガスケット(ガレイジング チャネル形・台形ガスケット(ガラス押え用)) ・ビード

17 ガラスブロック積み [16. 14. 5]

防火戸のガラス留めずは、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による
製造所 JIS A 5212による 寸法(mm) ・ 表面形状 ・
建築基準法に基く風圧力及び非構造部材の耐震設計施工指針に対応した工法を施工計画書として提出
曲面積の曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、目地幅は外側15mm以下、内側6mm以下とする
力骨 ※SUS304径5. 5mmほしだシ形状複筋及び単筋 目地断力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所仕様による
壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示 ・) 化粧目地モルタルの色 ※標準色 ・特注色
シーリング材種別 ・金属製化粧カバー ・ステンレス製 ・アルミ製 寸法 ・図示 ・ 形状 ・図示 ・
種類 ・第2種 ・ 張り面 ※内張り ・外張り 性能値 ・飛散防止率10 ・
品質 JIS A 5759による 三者（元請・メーカー・フィルム貼り業者）連名の保証書を提出すること

18 ガラス用フィルム

17 塗装工事

1 材料 [18. 1. 3]
2 素地ごしらえ [18. 2. 2~7]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
防火材料の指定 ・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所(:)を除き防火材料とする
素地ごしらえの種別
木部 ・不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 ・透明塗料塗りの場合 ・A種 ※B種 [表18. 2. 1]
鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 [表18. 2. 2] 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 [表18. 2. 3]
モルタル及びプラスター面 ・A種 ※B種 [表18. 2. 4] コンクリート、ALCパネル及び押出成形セメント板面 ・A種 ※B種 [表18. 2. 5~6]
せっこうボード及びその他ボード面 ・縁目処理工法 ※A種・B種 ・その他の場合 ・A種 ※B種 [表18. 2. 7]
鉄鋼面鋲止め塗料の種別 屋外・屋内 ※A種・B種 屋内EP-G ※B種 [表18. 3. 1]
亜鉛めっき鋼面鋲止め塗料の種別 屋外・屋内 ※A種・B種 屋内EP-G ※C種 [表18. 3. 2]
鉄鋼面鋲止め塗料塗りの種類 塗料の種別・A種(屋内) ※JIS K5674 ・B種(屋内EP-G ※JASS18M-111・JIS A5674 [表18. 3. 3]
見え掛り部分 ※A種 ・B種 見隠れ部分 ・A種 ※B種
亜鉛めっき鋼面鋲止め塗料塗りの種類 見え隠れ部分は塗装しない 塗料の種別 ※A種 ・B種 ※C種(EP-G) [表18. 3. 4]
鋼製の建具 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ・A種 ・B種 ※C種

3 鋲止め塗料塗り [18. 3. 2~3]
4 仕上げ塗料塗り [18. 4. 1~4] [表18. 4. 1~表18. 14. 1]

塗装		種別	塗料の種類
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	※1種 ・2種
	木部屋内	※B種 ・A種	※1種 ・2種
	鉄鋼面	※B種 ・A種	※1種 ・2種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書表18. 4. 3	※1種 ・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	標準仕様書表18. 7. 1	上塗り等級(・)塗
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書表18. 7. 2	上塗り等級(・)塗
	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁及び押出成形セメント板	・A種 ・B種 ・C種	上塗り等級(・)塗
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁、ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地ﾎﾞｰﾄﾞ面 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	※B種 ・A種	—
	屋内の木部	標準仕様書表18. 8. 2	—
	屋内の亜鉛めっき面	標準仕様書表18. 8. 3	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・A種	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	—
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種 ・A種	—
・オイルステイン塗り(OS)		標準仕様書表18. 13. 1	—
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	—

5 塗装面の確認等 ・屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装(・)とする。
※標仕表18. 1. 1及び単位面積当たりの使用量による(ただし、工場鋼止め塗装は膜厚検査も行う) [18. 1. 7]

18 内装工事

1 接着剤 [19. 2. 2]
2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り [19. 2. 2~3]

接着剤(可塑剤は難揮発性とする)のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
・ビニル床シート (・) 接着剤は JIS A 5536 による

種類		JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	工法
※発泡層無	・単層	・TS	・無地	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性 ・耐薬品性	※1. 0	・突付け
	・複層	※FS	・マーブル柄		・2. 5 ・3. 0	※熱溶接
・発泡層有	・単発複層	・HS	・無地・柄物		・	

・ビニル床タイル (・)

種類		JIS記号	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)
・接着形	・単層	・TT	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性	※2. 0 ・2. 5 ・3. 0
	・複層	・FT				
	・コンポジション	・KT				
・置敷形	・置敷 ・薄型置敷	-FOA -FOB		・500×500		・3. 0-5. 0

・特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ(mm)	性能
・帯電防止床シート	FS	※2. 0	帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1. 2以上～3. 2未満
・帯電防止床タイル	KT	・	又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1×10⁷～10¹⁰Ω程度

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	材料	色柄
・誘導用床材,注意喚起用床(表面形状JIS T 9251)	・	・300×300・400×400	※塩ビ・合成ゴム	・黄色 ・

ビニール幅木 材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1. 5以上 ・
ゴム床タイル 色柄(・) 厚さ(mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法(mm)(・)

19 断熱・防露、ユニットおよびその他の工事

1 断熱防露材料等 [19. 1. 2]
(1) カーペット敷き [19. 3. 3~4] [表19. 3. 2]

・タイルカーペット(防炎) (・)

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	工法
※第一種	※ループパイル	※500角	※6. 5	・適用しない	※全面接着工法
・第二種	・カットパイル	・	・	・帯電圧3KV未満	(簡易剥ぬ粘着は(難燃))

・ニードルパンチカーペット(防炎) (・) 厚さ(mm)・ 帯電性 ・適用する(性能 ※A1体帯電圧3kv以下 ・) ・不適用
塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [表19. 4. 1~7]

4 合成樹脂塗床 [19. 4. 2~3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・艶消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ 工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床			
・アクリル樹脂塗床(JIS K 5970)		工程	塗布量 kg/㎡ 塗布回数 回 表面仕上げ ・平滑・防滑 溶剤・水性系 ・溶剤系・無溶剤系 仕上色 ・標準色 ・
※常温硬化型二液エポキシ無溶剤型	厨房床	・流しのべ工法・シロア工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ

5 フローリング張り [19. 5. 2~7]

※図示による

単層フローリング(・) ※釘留め工法は接着剤併用

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	壁伏巾寸幅 心違い
・フローリングボード	・釘留め工法(根太張り)	※なら ・	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法(直張り)	※なら ・	・12以上 ・			・
	・接着工法	※なら ・	・12以上 ・			・
・フローリングブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303	・塗装品	・
	・モルタル埋込工法	※なら ・	※15	※303×303	・無塗装品	・
・モザイクパーケット	接着工法	・	・	・	・無塗装・塗装	・

天然木化粧複合フローリング(・) ※釘留め工法は接着剤併用

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	壁伏巾寸幅 心違い
・複合1層フローリング	・釘留め工法(根太張り)	※なら ・	板厚・8以上・ 板幅・75以上・ 板長さ・900以上	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
・複合3層フローリング	・釘留め工法(直張り)	・					・
・複合3層フローリング	・接着工法	※なら ・					・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・
接着工法の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上 ・行う(※ウレタン樹脂ワニス8種 ・OSの上ウックス ・生地種別 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種 (※KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) [表19. 6. 1]
天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、MDF、パーティクルボード のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
木質系セメント板、パーティクルボード、繊維板、化粧合板の原材料 ・ 石こうボード等の種類、厚さ等 ※図示
ボード類の規格 ※標準仕様書表19. 7. 1による 遮音シート ・適用(・シージングトンパウンド) ・不適用
石こうボード等の下地 ※図示 合板類の張付け ※B種・A種 石こうボードの目地工法・仕上げ表による
壁紙はJISA6921(壁紙)により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
施工箇所 ※図示 種類 ・紙・繊維 ・プラスチック ・無機質 ・その他 防火種別 ・不燃 ・準不燃
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ジョイトテープ ※継目部下地(割れ防止)に施工する
モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 張付け工法 ※直張り ・袋張り

1 (1) ボード状断熱材(断熱材打込み工法) [19. 9. 2]
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、スタイロフォームまたはポリエン樹脂使用の断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
断熱材の種類 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 厚さ ・
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキン無) ・2種b ・3種b(・接地部 ・) 厚さ ・25mm ・
・A種硬質ウレタンフォーム保温材 厚さ ・ フェノールフォーム保温材(3種2号除く) 厚さ ・
断熱補修材 ・断熱材と同材 ※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による) 断熱材 ・
(2) 現場発泡断熱材(断熱材現場発泡工法) [19. 9. 3]
ユリア樹脂又はポリエン樹を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・
断熱材の種類 ※A種1かつ難燃性 ・B種1 厚さ ・25 ・30 ・ 施工箇所 ・図示 ・
(品質性能等)標準仕様書による他、(一社)公共建築協会「建築材料等品質性能評価」基準程度とする
(3) 記以外の断熱材、防露材等の種類と厚さは使用量は、表による。 [表19. 1. 1] (19. 1. 2)

断熱材の種類	厚さ又は使用量	施工部位
(マット状ガラスウール断熱材)	( ) ( )	天井 ( )
(マット状ガラスウール断熱材)	(100) ( )	天井 ( )
(マット状ガラスウール断熱材)	(50) ( )	壁 ( )

外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示 ・ [19. 1. 3]
丸太組構法工事の断熱材、防湿材の施工に用いる成型シーリング材等の種類 ・
・大規模木造工事の天井の施工方法 ※図示 ・
・床下換気孔の材質、寸法、位置 ※図示 ・ 小屋裏換気孔の材質、寸法、位置 ※図示 [19. 1. 5(8)(9)]

2 ユニット及びその他の工事
(1) 住宅用ユニット

種類 ・住宅用複合ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ JIS A 4410 (・)
・住宅用浴室ユニット JIS A 4416 (・)
・住宅用便所ユニット JIS A 4417 (・)
・住宅用収納間仕切りユニット JIS A 4414 (・)
・洗面化粧ユニット JIS A 4401 (・)
・ｽﾁｰﾙｷｯﾁﾝの流しユニット JIS A 4420 (・)
部材、部品の材質・形状、寸法等(共通) ※図示による
JIS A 6512よるほか、下記による [20. 2. 3]
構造形式による種類 ※スタッド式(・スタッド露出・スタッド内蔵) ・スタッドパネル式
構成材の種類 ※図示による 表面材質及び厚さ(mm) ※鋼板O. 6 ・鋼板O. 8
パネル表面仕上げ メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付(※常備色 ・指定色)
パネル厚さ(mm) mm程度 遮音性の区分 ・0 ・12 ・20 ・28 ・36
防火性能 ・不燃 合板、接着剤、塗料等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
表面材 ※ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 芯材 ・パーティクルボード ・MDF ・ハニカムドアエッジ材質形状 ※アルミRエッジ ・ 笠木 ※ナカート仕様 ・SUS304 幅木 ※SUS304
合板、接着剤、塗料等のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・
(品質性能等)標準仕様書による他、(一社)公共建築協会「建築材料等品質性能評価」基準程度とする
材種 ステンレス製(SUS304) ・埋込工法 ・接着工法 ※ビス接着剤併用工法)
端部フラットエンド ・有 (※タイヤと同材 ・ステンレス調) ・無
型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ 幅(mm) ※35 ・

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
・集成材	・クリアラッカー ・OSC	・60 ・45 ・40 ・38	・図示
・ステンレスパイプ	・HL ・	・60 ・45 ・40 ・	・図示
・鋼製パイプ	・EP-G ・	・60 ・45 ・40 ・	・図示
・ビニル製			・図示

(3) トイレブース [20. 2. 5]
※学校の場合は岡山市仕様とする
(4) 階段昇り止め [20. 2. 6]
(5) 階段手摺り笠木

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
・集成材	・クリアラッカー ・OSC	・60 ・45 ・40 ・38	・図示
・ステンレスパイプ	・HL ・



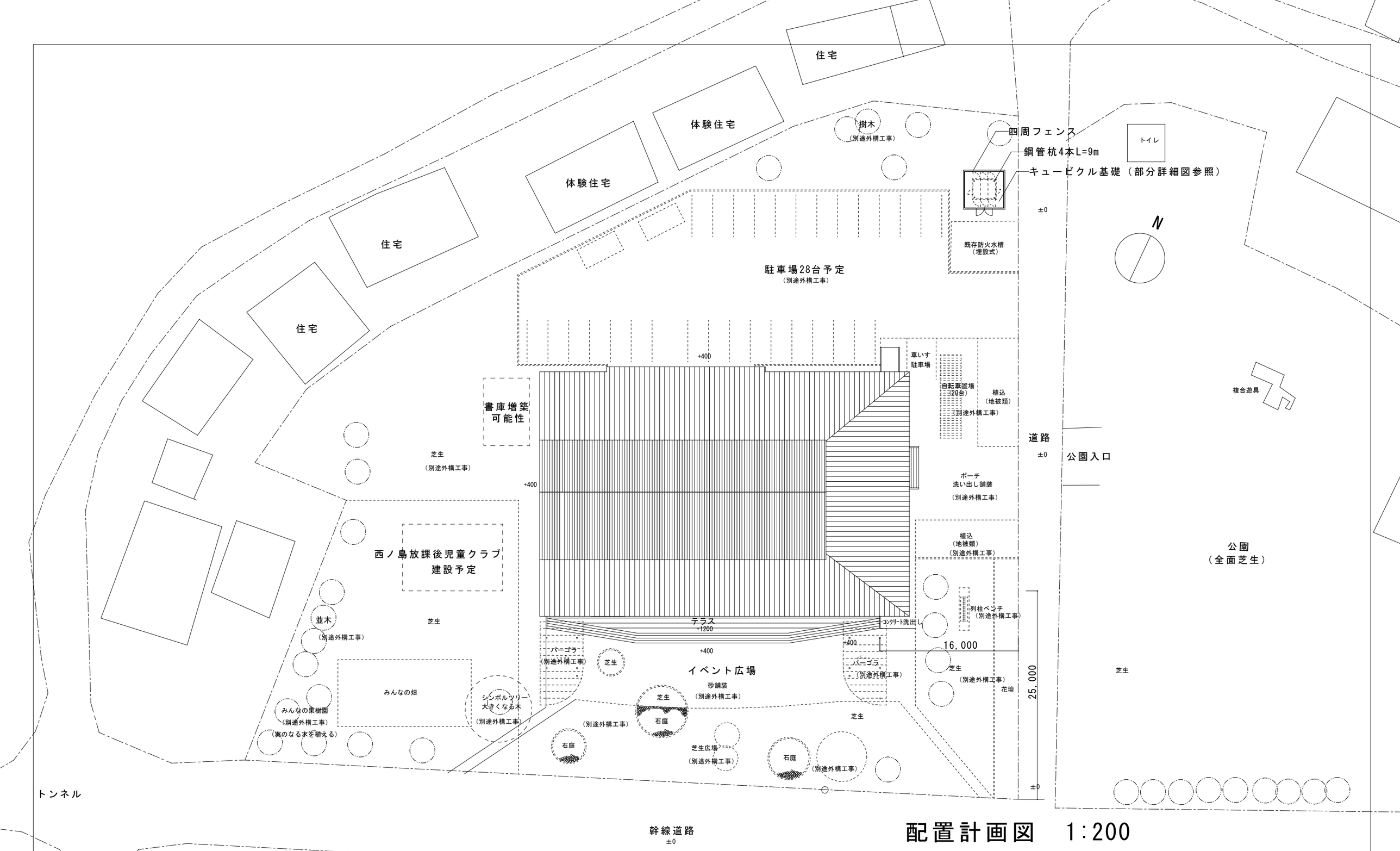
付近見取図

工事概要										
一般事項				建物概要						
工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館新築工事			敷地面積			約5120㎡			
工事場所	島根県隠岐郡西ノ島町大字浦郷６７番地８				既存建物		申請建物		合計	
				建築面積			1136㎡		1136㎡	
地域	用途地域	都市計画区域外		延床面積			999㎡		999㎡	
	防火地域	－		棟別床面積	建築面積	床面積				
	その他の地域	－				1F	2F	3F	4F	5F
建物用途	図書館			1 自動車教習所・寄宿舎	1136㎡	999㎡				
法廷構造	木造					合計：999㎡				
法定建ぺい率	６０％	法定容積率	２００％			最高高さ 9.57m 最高軒高 6.30m				
特記事項				建ぺい率	－%					
				容積率	－%					
				便所の種類	——					
				建築設備	別途工事（家具付照明設備のみ本工事）					

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館新築工事		種別
図面名称	建築概要 附近見取図		縮尺 －	A-5
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽英喜	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**



配置計画図　1:200

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　基本設計			種別 A-6
図面名称	配置図			縮尺 1:200	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他		**

外部仕上表

位置	仕上	位置	仕上	位置	仕上	位置	仕上
屋根等	屋根：石州瓦葺き 瓦用外断熱下地 テラス：杉赤味縁甲板､外部用自然塗料塗布	外壁	外壁１：　杉赤味縁甲板12厚本実加工　外部用自然塗料塗布 外壁２：　構造用合板12厚、防水紙（ﾀｲﾍﾞｯｸｼﾙﾊﾞｰ同等）、ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地の上、本漆喰塗り(一部ﾍﾟﾝｶﾞﾗ漆喰） 一部瓦調300角タイル貼　※本漆喰は辻建材ﾛﾊｽｳｫｰﾙ同等品 軒　裏：杉縁甲板表し　外部用自然塗料塗布 木製縦格子：桧45×45@90　外部用自然塗料塗布 木製ルーバー：桧45×45@90　外部用自然塗料塗布	外構	別途工事：　エントランス前等の階段、スロープと外部テラスまでが本工事
サッシ	外部：アルミサッシ、アルミ/木複合サッシ オーバースライダー 内部：木製建具、一部軽量鋼製サッシ ※建具表参照のこと	樋・手すり	軒樋：　カラーガルバリウム鋼板既製品 竪樋：　カラーガルバリウム鋼板既製品90φ 手すり：部分詳細図参照	備考	
		玄関ポーチ	軒　裏：杉縁甲板表し　外部用自然塗料塗布		
		断 熱 材	壁：　断面詳細図参照 屋根：　断面詳細図参照		

※木材関係は仕上げ材・構造材とも指定はないが、隠岐島木材業製材業協同組合に必ず見積もりをとること

内部仕上表

※　自然粘土塗装は、（株）縄文　クレイペイント同等品とする
※※ビニルクロスは、サンゲツ：リザーブ1000同等とする（共通）

※木部の自然塗料はプラネットカラー１回塗り同等品とする
※焼火焼タイルは西ノ島の焼火窯(08514-6-1151)に問い合わせのこと

階	室名	CH	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考
共通	風除室	2,250	磁器質300角タイル貼 LIXIL　ﾌｫｽｷｰ同等	タイル巾木	PB t=12.5　寒冷紗パテ扱き　自然粘土塗装 南面アクセント壁：焼火焼タイル貼	PB t=9.5　寒冷紗パテ扱き　自然粘土塗装	―	
	男子便所	2,400	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0貼 鋼製床組、構造用合板12厚の上、耐水合板5.5厚捨貼下地	ソフト巾木H=60	PB t=12.5　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	化粧鏡、ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ、面台・ﾗｲﾆﾝｸﾞ L型手すり×1
	女子便所	2,400	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0貼 鋼製床組、構造用合板12厚の上、耐水合板5.5厚捨貼下地	ソフト巾木H=60	PB t=12.5　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	化粧鏡、ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ、面台・ﾗｲﾆﾝｸﾞ L型手すり×1、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ×1
	多目的便所	2,500	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0貼 鋼製床組、構造用合板12厚の上、耐水合板5.5厚捨貼下地	ソフト巾木H=60	PB t=12.5　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	化粧鏡、面台・ﾗｲﾆﾝｸﾞ、ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ L型手すり×1、跳ね上げ手すり×1
コミュニティ部門	多目的交流室	2,700	タイルカーペット貼 鋼製床組、構造用合板12厚下地	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5+12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	PB9.5捨貼の上、化粧岩綿吸音板貼	アルミ	可動間仕切り、壁面に防音用ﾛｯｸｳｰﾙ100厚
	廊下	2,400	タイルカーペット貼 鋼製床組、構造用合板12厚下地	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	PB t=9.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	－	
	コミュニティ土間	2,700	磁器質300角タイル貼 LIXIL　ﾌｫｽｷｰ同等	タイル巾木	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	杉縁甲板9厚　自然塗料塗布	－	
	まつりごとｻﾎﾟｰﾄﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ （郷土展示＋郷土資料）	2,700	磁器質300角タイル貼 LIXIL　ﾌｫｽｷｰ同等	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白) 腰壁：焼火焼タイル貼H=600	PB t=9.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	－	壁面棚（大工工事）
	娯楽室	2,400	縁なし畳　一部地松フローリング15厚　自然塗料塗布 一部地松フローリング15厚　自然塗料塗布	畳寄せ	PB12.5下地　じゅらく壁	杉縁甲板9厚　自然塗料塗布	－	
	押入	2,500	シナ合板15厚　自然塗料塗布	―	PB t=12.5　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5　通気性ビニルクロス貼	－	
	ｸｯｷﾝｸﾞｽﾀｼﾞｵ・ものづくり	2,550	既製複合フローリング15厚　構造用合板12厚捨貼	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	角形有孔石こうボード9.5厚下地　自然粘土塗料塗布	－	ｱｲﾗﾝﾄﾞｷｯﾁﾝ、壁面収納(家具図参照)
	自動販売機コーナー	2,550	地松フローリング15厚　自然塗料塗布 LIXIL　ﾌｫｽｷｰ同等	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	杉縁甲板9厚　自然塗料塗布	－	ガラス間仕切り（展開図参照）
	縁側コミュニティカフェ	2,500	地松フローリング15厚　自然塗料塗布 構造用合板12厚捨貼	―	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	PB9.5捨貼の上、化粧岩綿吸音板貼 下り天井部　PB t=9.5　寒冷紗パテ扱き　自然粘土塗装	－	
	給湯ｽﾍﾟｰｽ	2,550	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0貼 鋼製床組、構造用合板12厚の上、耐水合板5.5厚捨貼下地	ソフト巾木H=60	耐水PB t=12.5（不燃）　不燃ビニルクロス貼	PBt=9.5（不燃）　不燃ビニルクロス貼	塩ビ	二槽シンク他、吊り戸棚、レンジフード 手洗い器用面台・ライニング
	キッズスペース	2,550	タイルカーペット貼 構造用合板12厚下地	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテ扱き自然粘土塗装(白)	角形有孔石こうボード9.5厚下地　自然粘土塗料塗布	塩ビ	絵本書架（家具図参照）
	授乳室	2,550	タイルカーペット貼 構造用合板12厚下地	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	耐水PB t=12.5（不燃）　不燃ビニルクロス貼	PBt=9.5　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	
	乳児用トイレ	2,550	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0貼 構造用合板12厚の上、耐水合板6厚捨貼下地	木製巾木　H=60　自然塗料塗布	耐水PB t=12.5（不燃）　不燃ビニルクロス貼	PBt=9.5　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	

※使用材料は、仕上げ・下地ともすべて☆☆☆☆とする。（天井裏、床下に使用の材料も同様に☆☆☆☆とすること）
※※特記なきビニルクロスはすべて準不燃以上とする。他の壁（FL+1200以上）・天井の使用材料もすべて準不燃以上。
※※※天井のPB9.5厚は基本的に不燃とする

特記共通事項
―
―

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	工事名称 西ノ島町コミュニティ図書館　実施設計	種別 A-9
図面名称	仕上表－1	縮尺 ―
所長 丹羽芙喜	担当 丹羽雅人 / 作成者	作成日 ― / 他	通し番号

内部仕上表

※自然粘土塗装は（株）縄文　クレイペイント同等品とする
漆喰のような塗料です。

※ビニルクロスはサンゲツリザーブ1000同等品とする

階	室名	CH	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考
図書館部門	開架書架	—	タイルカーペット 鋼製床組　構造用合板15+15下地	木製巾木H=60　自然塗料塗布	PB t=9.5+12.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白）	杉縁甲板12厚程度　自然塗料塗布	—	壁面書架、既製書架、各種テーブル 木製製作書架など家具図参照
	縁側読書コーナー 書斎スペース	2,550	地松フローリング15厚　自然塗料塗布 鋼製床組　構造用合板12厚下地	木製巾木H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白）	PB t=9.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白） 下り天井：角形有孔PB9.5下地　自然粘土塗料塗布	—	集成材カウンター、壁付本棚
	掘りごたつコーナー	2,550	縁なし畳敷き　一部地松フローリング15厚　自然塗料塗布 鋼製床組　構造用合板12厚下地	木製巾木H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白）	PB t=9.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白） 下り天井：角形有孔PB9.5下地　自然粘土塗料塗布	—	堀こたつ（家具図参照）
	未来の図書館	2,700	タイルカーペット 鋼製床組　構造用合板115+15厚下地	木製巾木H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白）	杉縁甲板12厚程度　自然塗料塗布	木製	壁面書架、独立書架など（家具図参照）
	事務室	2,700	タイルカーペット 鋼製床組　構造用合板12厚下地	ソフト巾木　H=60	PB t=12.5下地　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5捨て貼りの上、化粧岩綿吸音板貼	塩ビ	
	更衣室１	2,500	タイルカーペット 鋼製床組　構造用合板12厚下地	ソフト巾木　H=60	PB t=12.5下地（不燃）不燃ビニルクロス貼	PB t=9.5下地　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	
	更衣室２	2,500	タイルカーペット 鋼製床組　構造用合板12厚下地	ソフト巾木　H=60	PB t=12.5下地（不燃）不燃ビニルクロス貼	PB t=9.5下地　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	
	休憩室	2,400	縁なし畳敷き　一部地松フローリング15厚　自然塗料塗布 鋼製床組　構造用合板12厚下地	畳寄せ	PB t=12.5下地　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5下地　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	キッチンL=1500（給湯ｺｰﾅｰ）
	押入	2,400	シナベニヤ15厚貼	—	PB t=12.5下地　通気性ビニルクロス貼	PB t=9.5下地　通気性ビニルクロス貼	塩ビ	
	倉庫	2,500	ビニル床タイル貼 鋼製床組　構造用合板12厚の上、耐水合板6厚捨貼下地	ソフト巾木　H=60	PB t=12.5下地（不燃）不燃ビニルクロス貼	化粧石こうボードt=9.5直貼（900角）	塩ビ	
	サービス車駐車スペース	3,600	コンクリートコテ押え　表面硬化剤塗布	—	上部：耐水PB t=12.5の上ケイカル板6厚目透し貼　EP塗装 下部：コンクリート打放し（基礎表し）撥水材塗布	耐水PB9.5捨貼の上、ケイカル板6厚目透し貼　EP塗装	—	
	公開書庫	2,700	既製複合フローリング15厚 鋼製床組　構造用合板115+15厚下地	木製巾木H=60　自然塗料塗布	PB t=12.5寒冷紗パテしごき自然粘土塗装（白）	PB t=9.5　寒冷紗パテしごき　自然粘土塗装（白）	—	

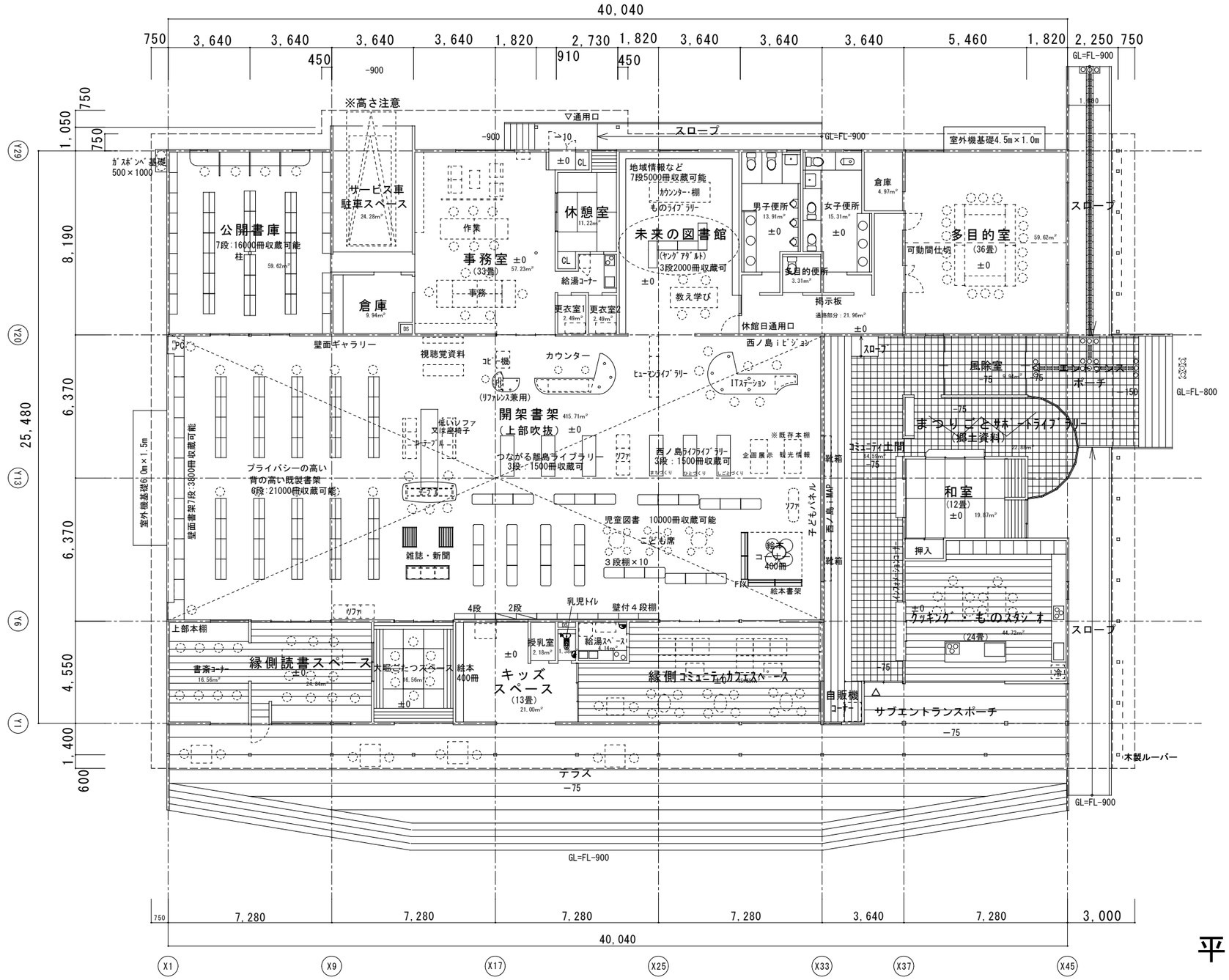
※使用材料は、仕上げ・下地ともすべて☆☆☆☆とする。（天井裏、床下に使用の材料も同様に☆☆☆☆とすること）
※※特記なきビニルクロスはすべて準不燃以上とする。・天井の使用材料もすべて準不燃以上。

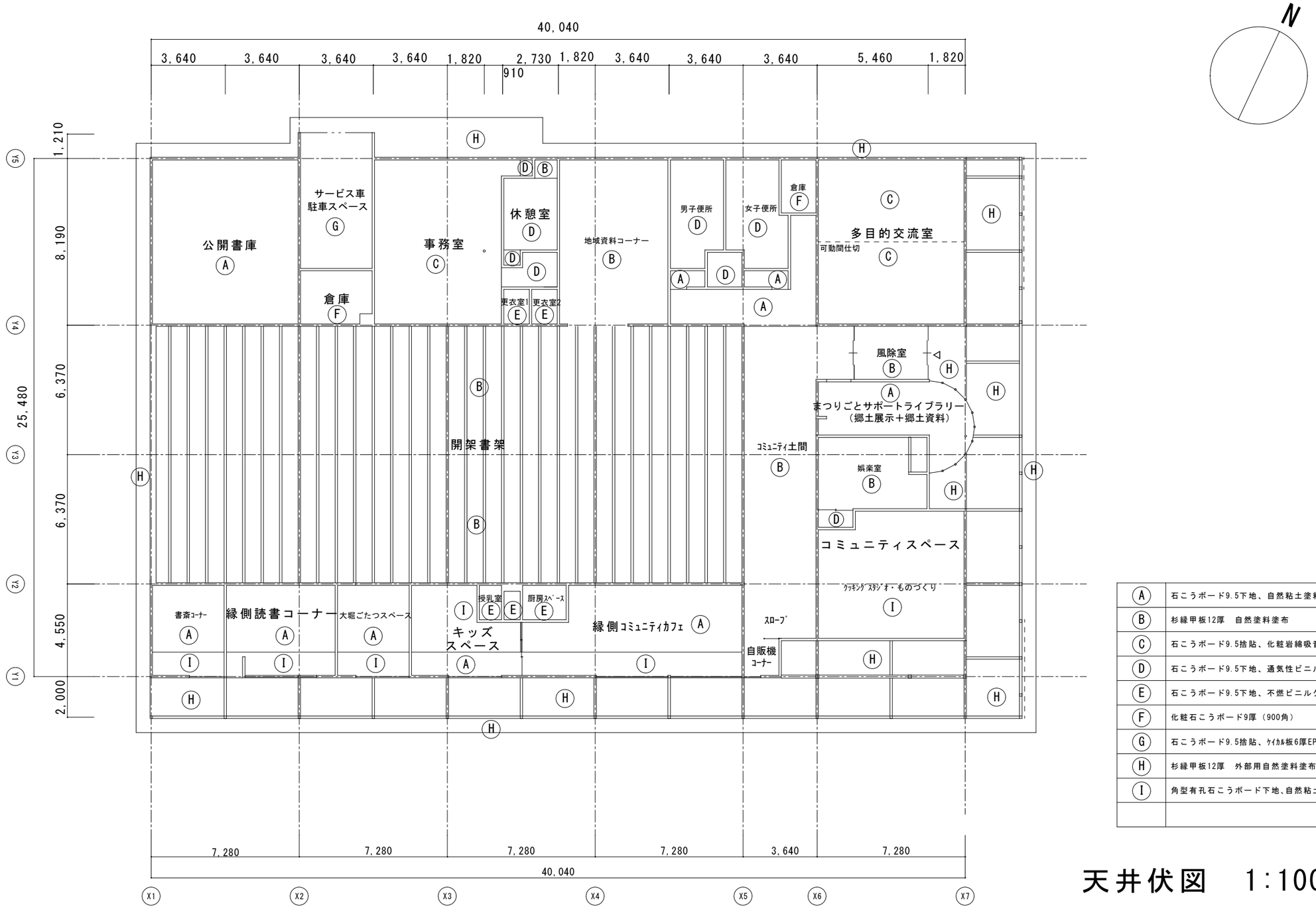
—

特記共通事項　—

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	2016-01	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館新築工事	種別	A-10
図面名称	仕上表 — 2			縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者	
作成日	—	他		通し番号	


40,040
750
3,640
3,640
3,640
3,640
1,820
2,730
1,820
3,640
3,640
3,640
5,460
1,820
2,250
750
450
910
450
-900
GL=FL-900
※高さ注意
▽通用口
スロープ
室外機基礎4.5m×1.0m
ガスボンベ基礎 500×1000
公開書庫
7段:16000冊収蔵可能
柱
59.62m²
サービス車
駐車スペース
24.28m²
作業
事務室 ±0
(33畳)
57.23m²
事務
倉庫
9.94m²
休憩室
11.22m²
給湯コーナー
更衣室1
2.49m²
更衣室2
2.49m²
地域情報など
7段5000冊収蔵可能
カウンター・棚
もののライブラリー
未来の図書館
(ヤング アダルト)
3段2000冊収蔵可
教え学び
男子便所
13.91m²
女子便所
15.31m²
多目的便所
3.31m²
掲示板
通路部分：21.96m²
休館日通用口
倉庫
4.97m²
多目的室
(36畳)
±0
59.62m²
可動間仕切
壁面ギャラリー
視聴覚資料
コピー機
(リファレンス兼用)
カウンター
西ノ島ビジョン
ヒューマンライブラリー
ITステーション
開架書架 415.71m²
(上部吹抜) ±0
つながる離島ライブラリー
3段：1500冊収蔵可
ソファ
西ノ島ライブラリー
3段：1500冊収蔵可
企画展示
観光情報
※既存本棚
靴箱
プライバシーの高い
背の高い既製書架
6段:21000冊収蔵可能
座卓
児童図書 10000冊収蔵可能
こども席
3段棚×10
雑誌・新聞
絵本
コーナー
400冊
絵本書架
FIX
子どもパネル
西ノ島MAP
風除室
8.94m²
ポーチ
GL=FL-800
まつりごとサポートライブラリー
(郷土資料)
コミュニティ土間
34.58m²
22.99m²
和室
(12畳)
±0
19.87m²
押入
ソファ
ソファ
ソファ



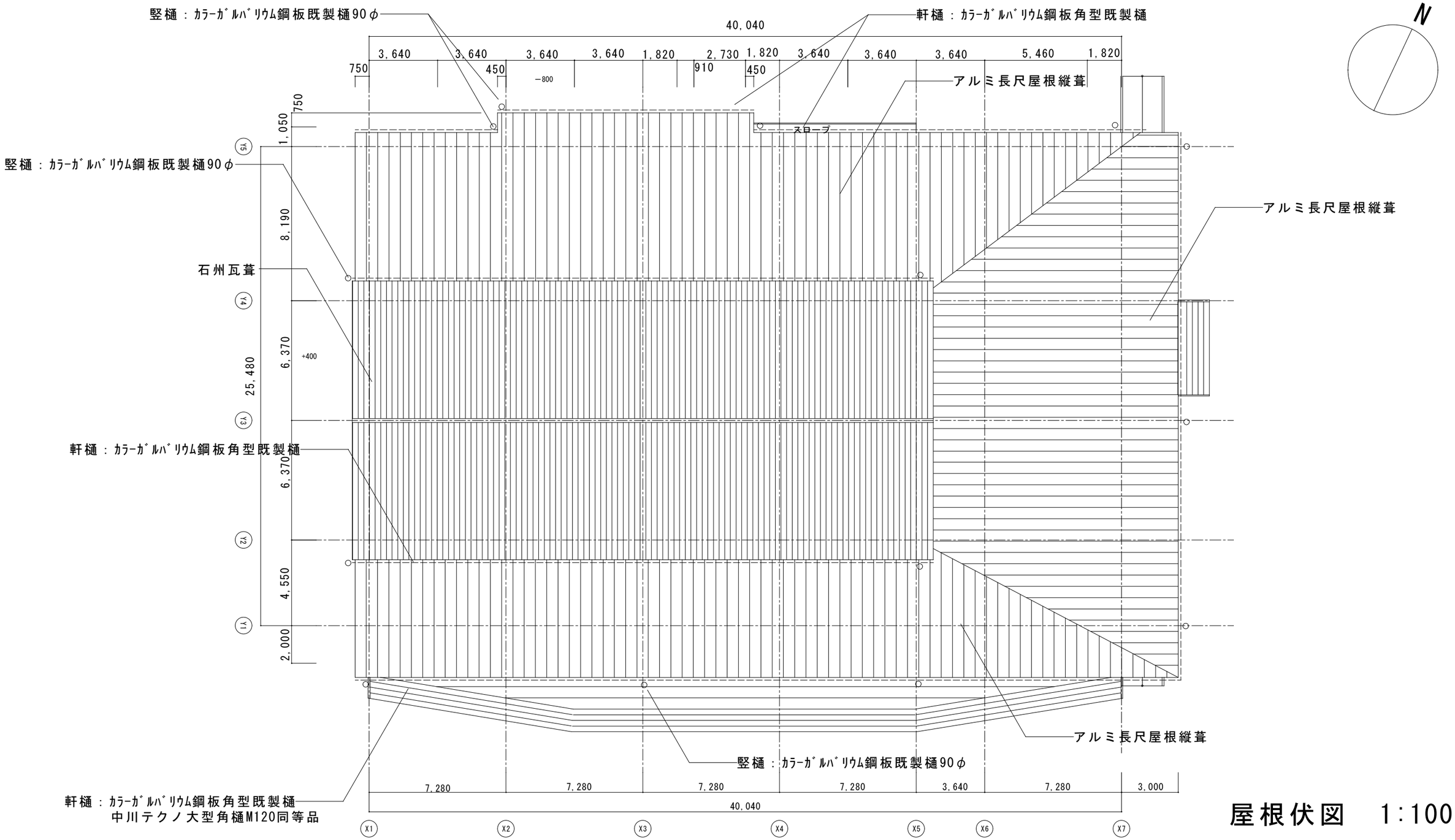
A	石こうボード9.5下地、自然粘土塗料塗布
B	杉縁甲板12厚　自然塗料塗布
C	石こうボード9.5捨貼、化粧岩綿吸音板貼
D	石こうボード9.5下地、通気性ビニルクロス
E	石こうボード9.5下地、不燃ビニルクロス
F	化粧石こうボード9厚（900角）
G	石こうボード9.5捨貼、ｹｲｶﾙ板6厚EP塗装
H	杉縁甲板12厚　外部用自然塗料塗布
I	角型有孔石こうボード下地、自然粘土塗料塗布

天井伏図　1:100

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館新築工事			種別 A-12
図面名称	天井伏図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

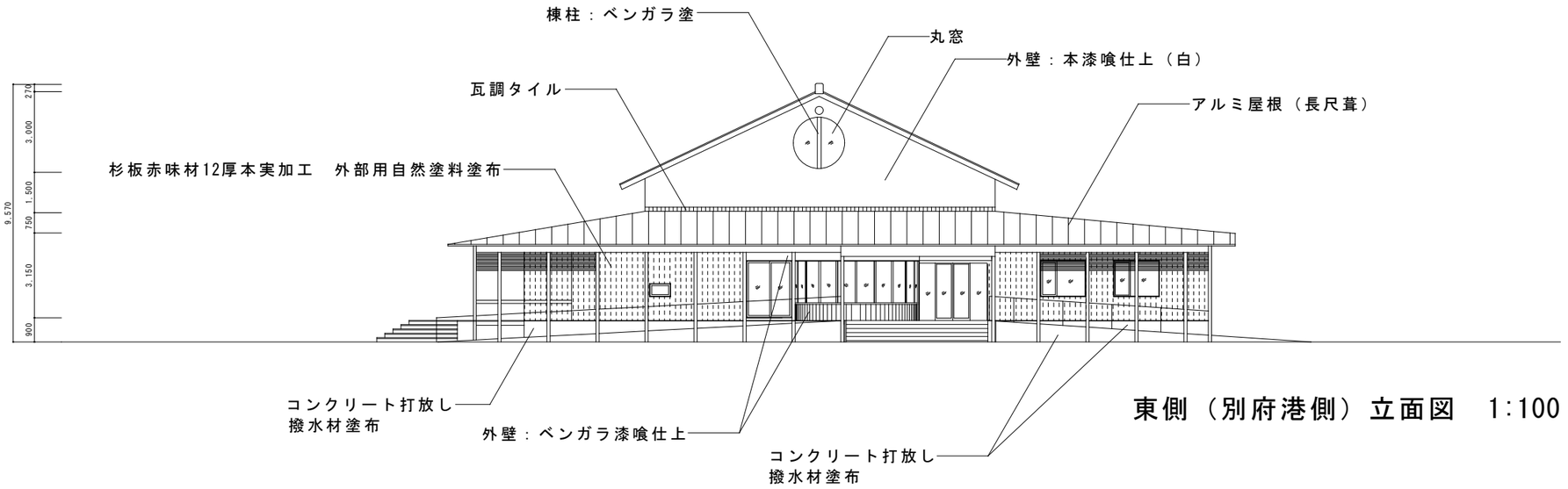


屋根伏図　1:100

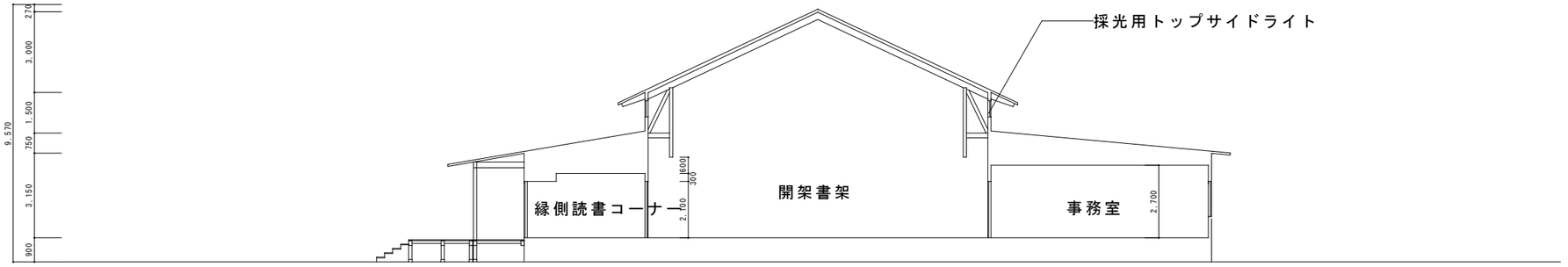
特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

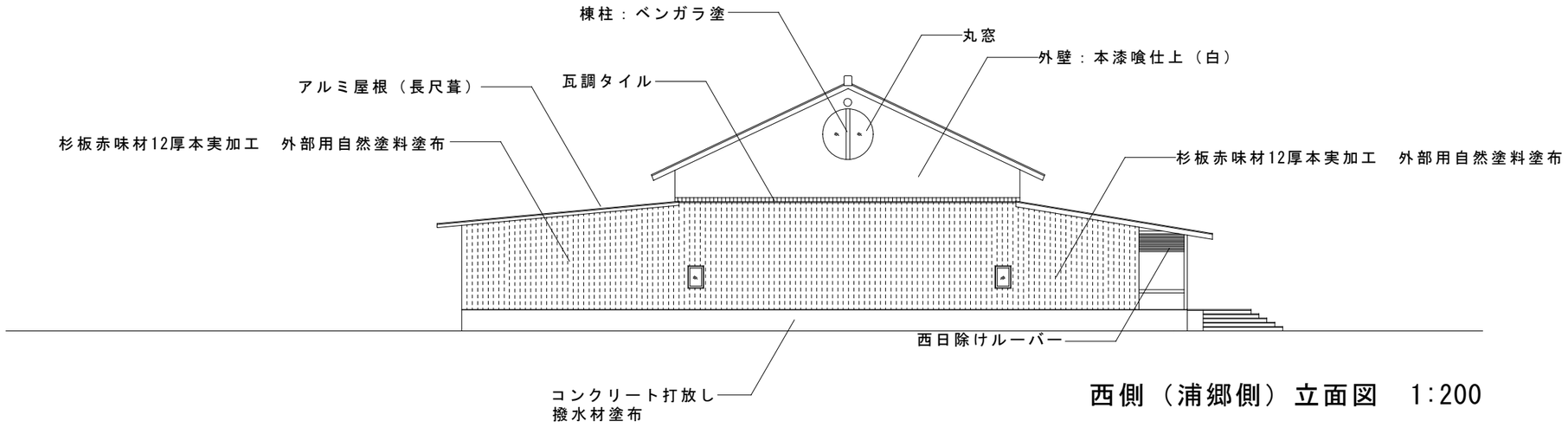
設計番号	−	西ノ島町コミュニティ図書館　基本設計			種別 A-11
図面名称	平面図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	



東側（別府港側）立面図　1:100



断面図　1:200

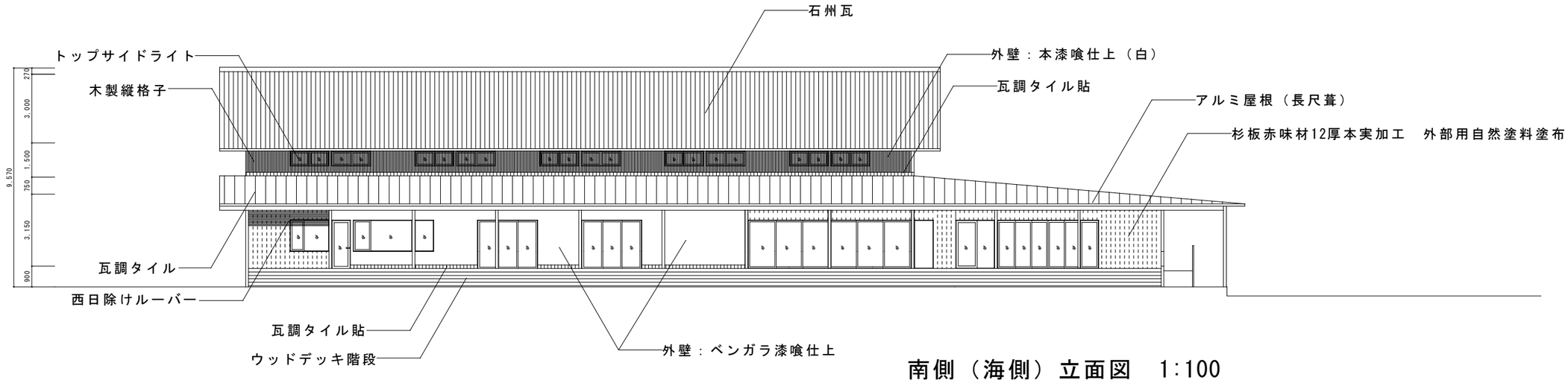


西側（浦郷側）立面図　1:200

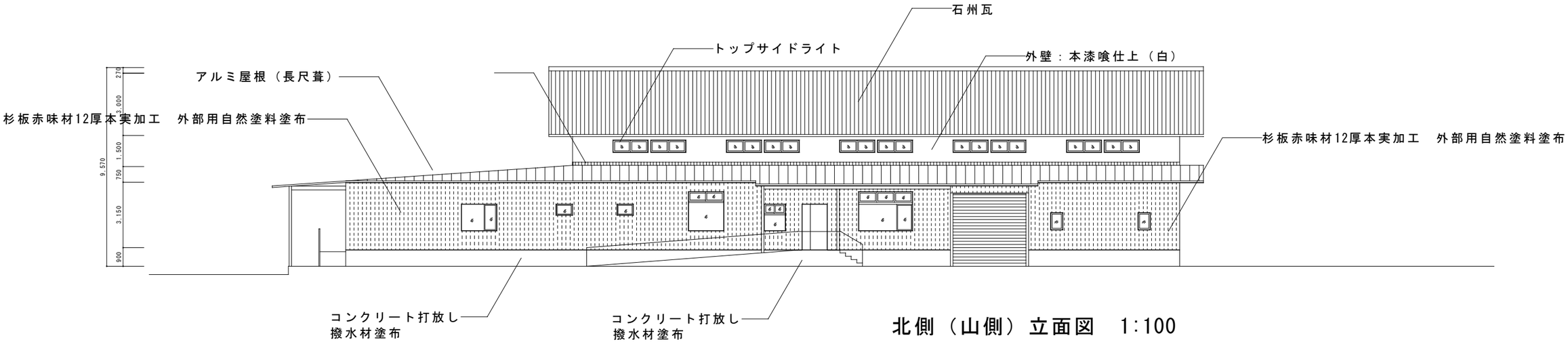
特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　基本設計			種別 A-14
図面名称	立面図・断面図 1			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他		＊＊



南側（海側）立面図　1:100

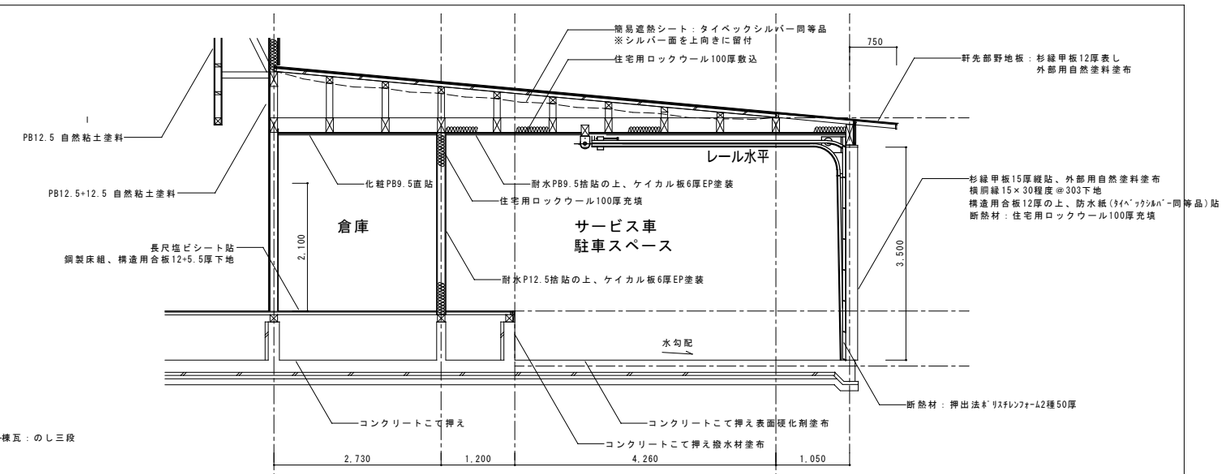


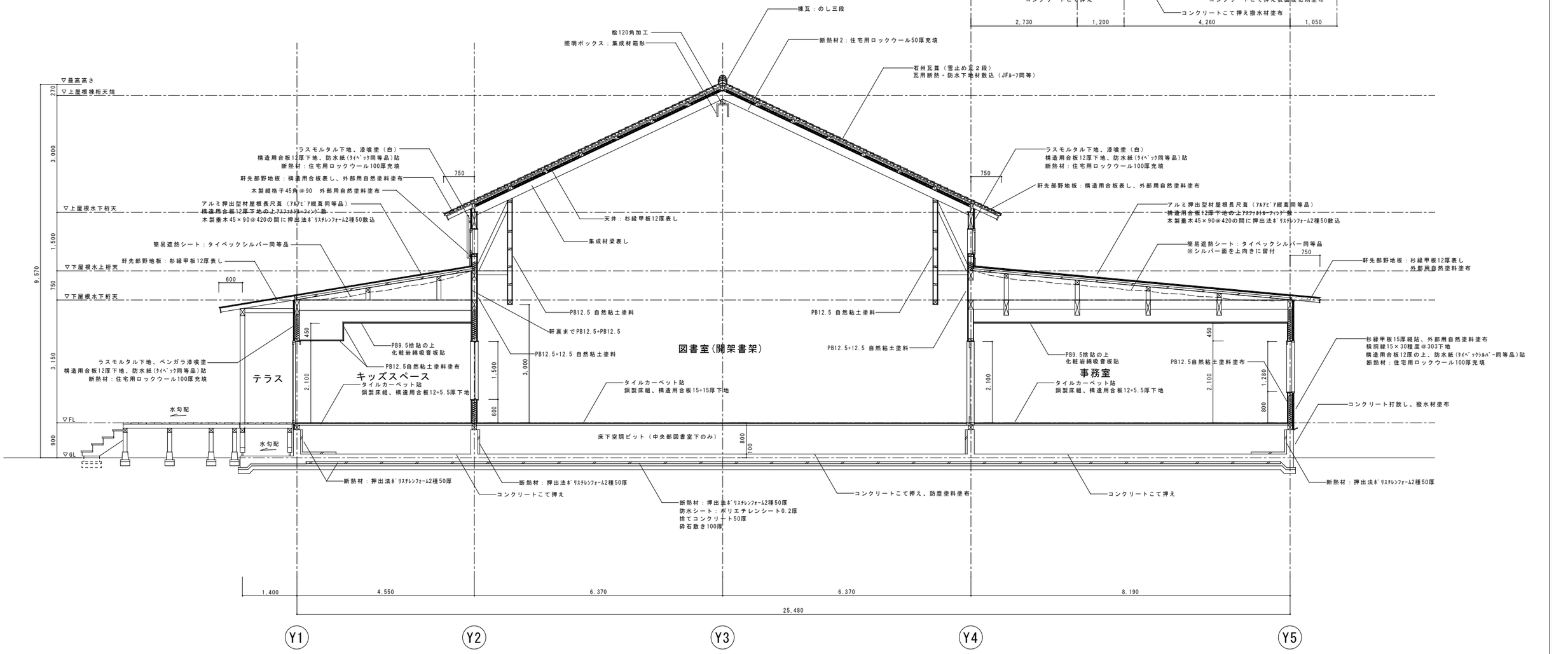
北側（山側）立面図　1:100

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　基本設計			種別 A-15
図面名称	立面図・断面図２			縮尺	1:100
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	



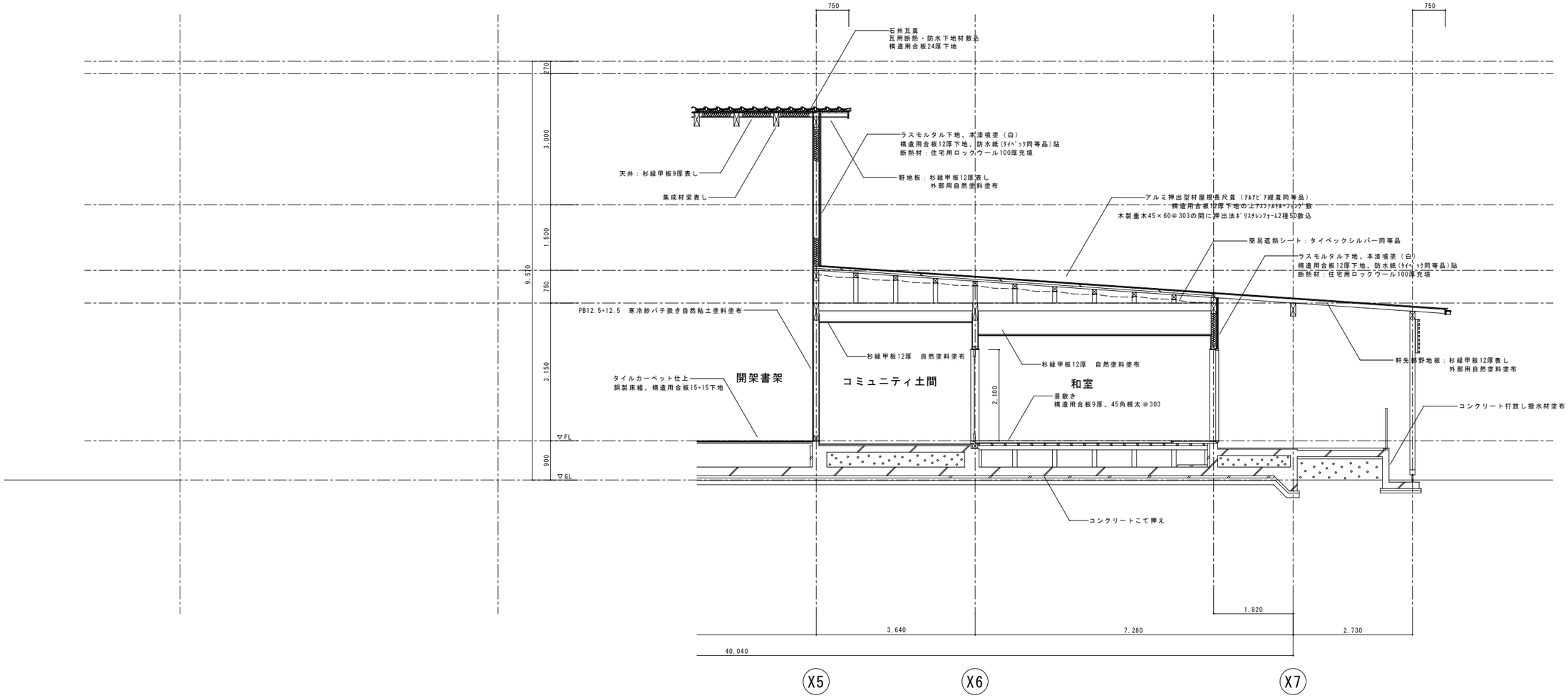


断面詳細図１　1：50

特記事項：

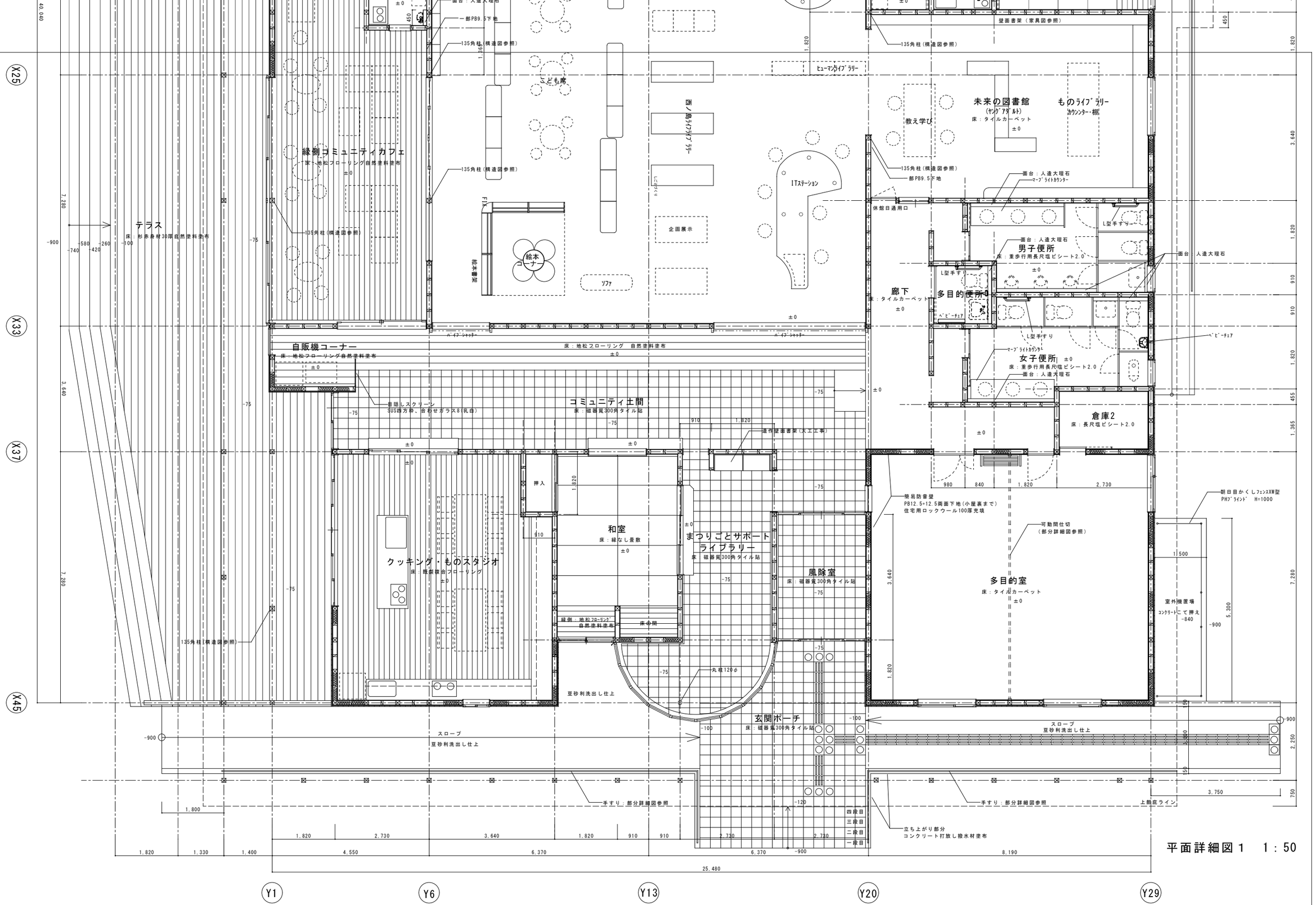
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館　実施設計			種別 A-16
図面名称	断面詳細図１		縮尺 1:100	
所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人	作成日	通し番号 **
			他	



断面詳細図２　1：50

特記事項：	株式会社 丹羽建築設計事務所 岡山県知事登録第1776号 1級建築士登録第320100号 丹羽雅人 〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21 TEL: 086-226-1135	設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事		種別 A-18
		図面名称	断面詳細図２	縮尺 1:50	
		所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人	作成日 他
					通し番号 **

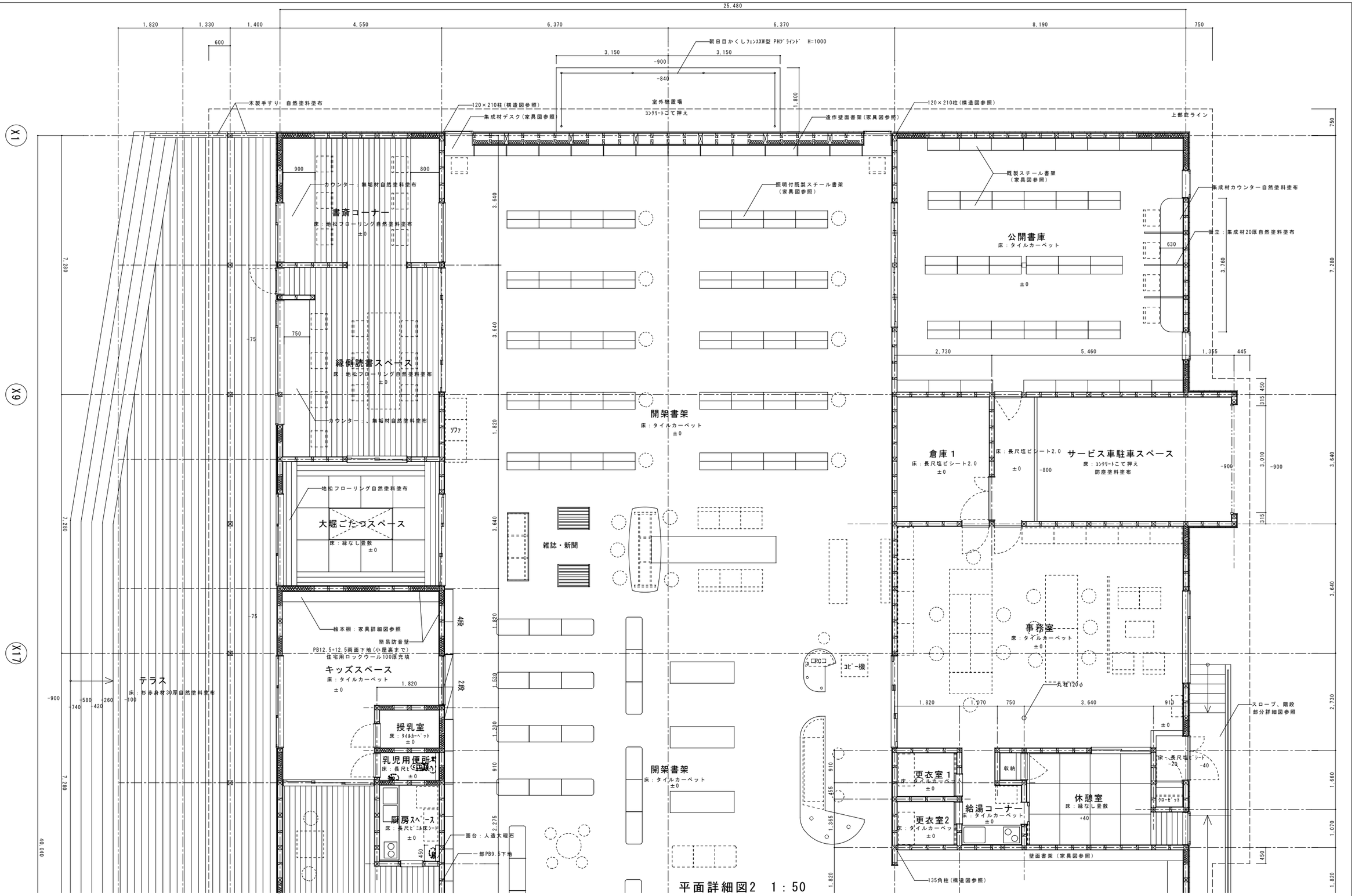


平面詳細図１　1：50

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　実施設計			種別 A-18
図面名称	平面詳細図１			縮尺	1：50
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	＊＊

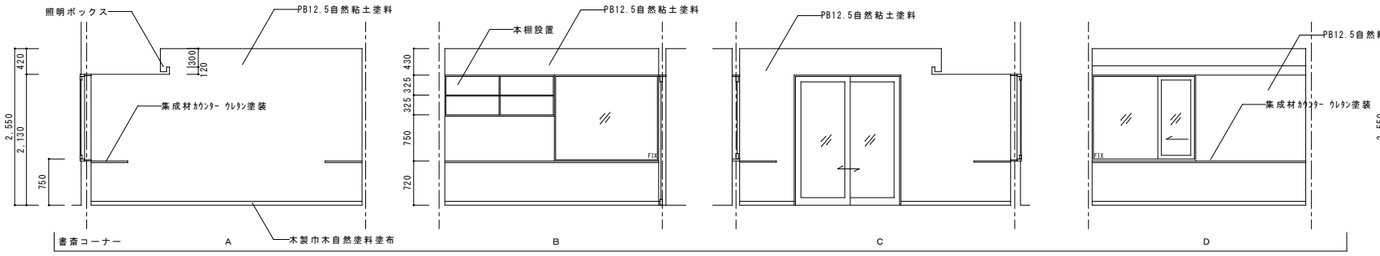


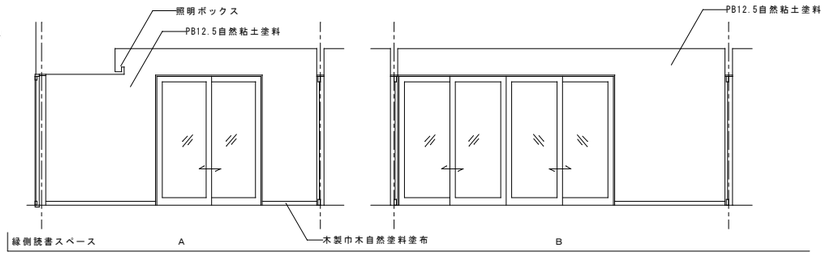
平面詳細図2　1：50

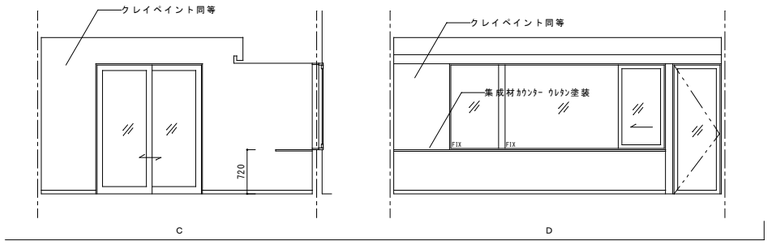
特記事項：

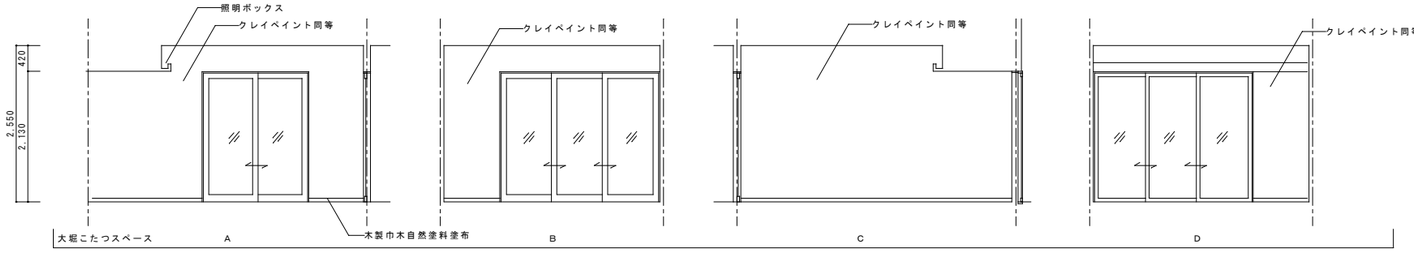
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

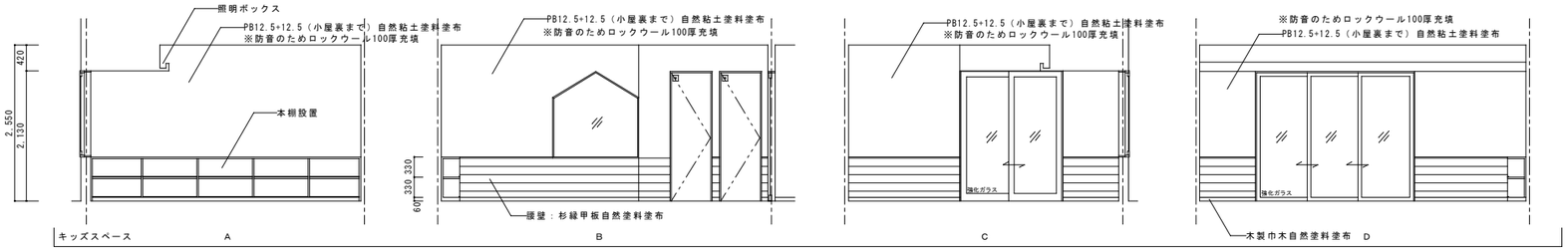
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　実施設計		種別	A-19
図面名称	平面詳細図2		縮尺	1:50	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	

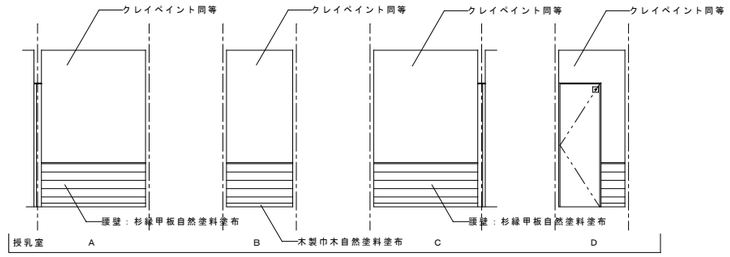


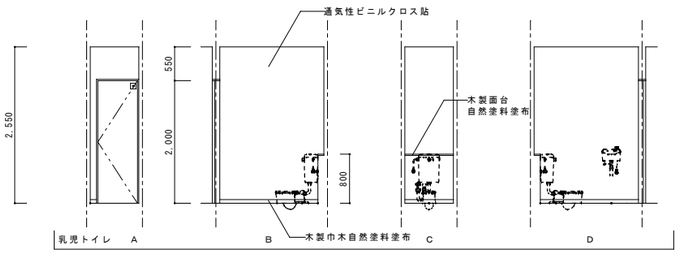


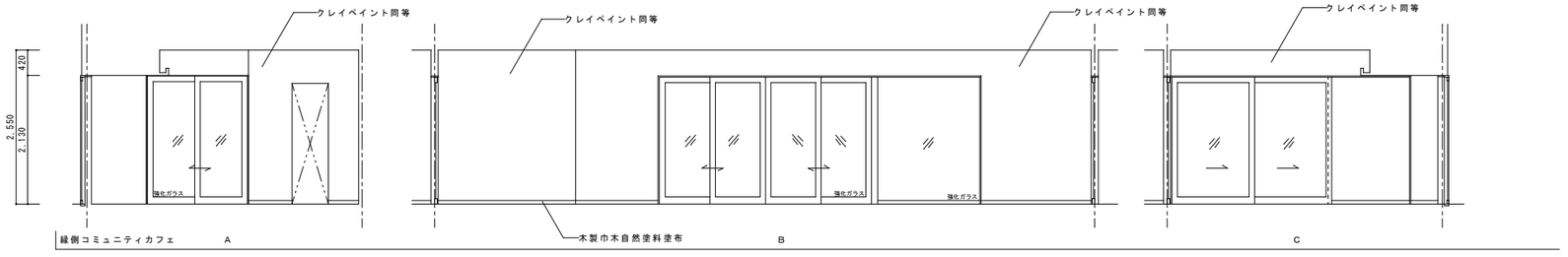


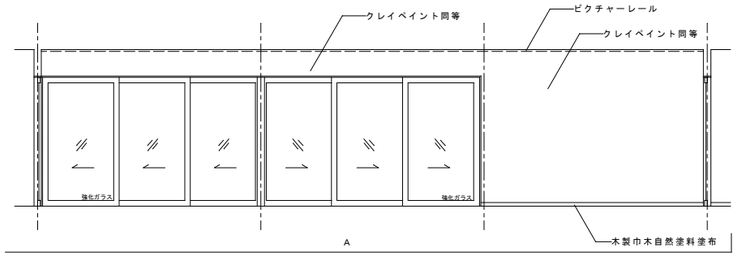


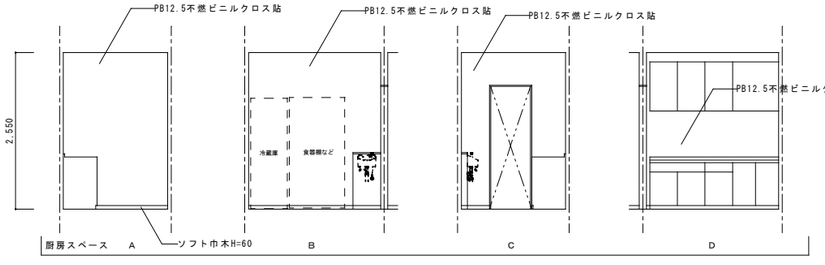


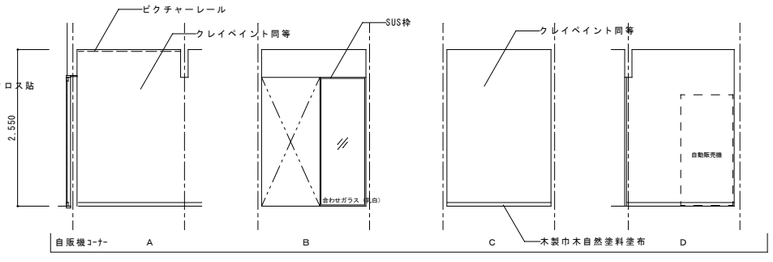






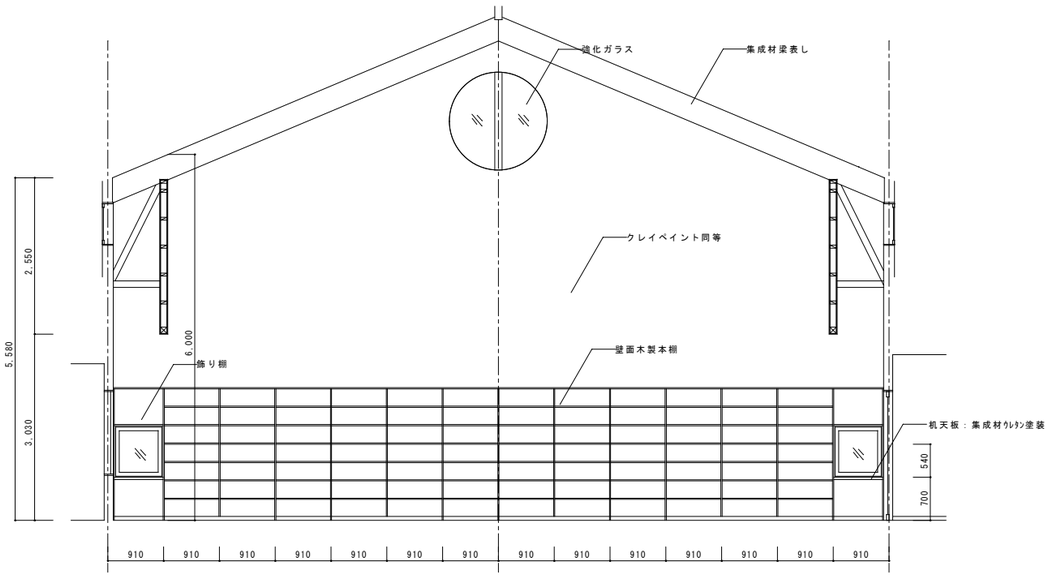


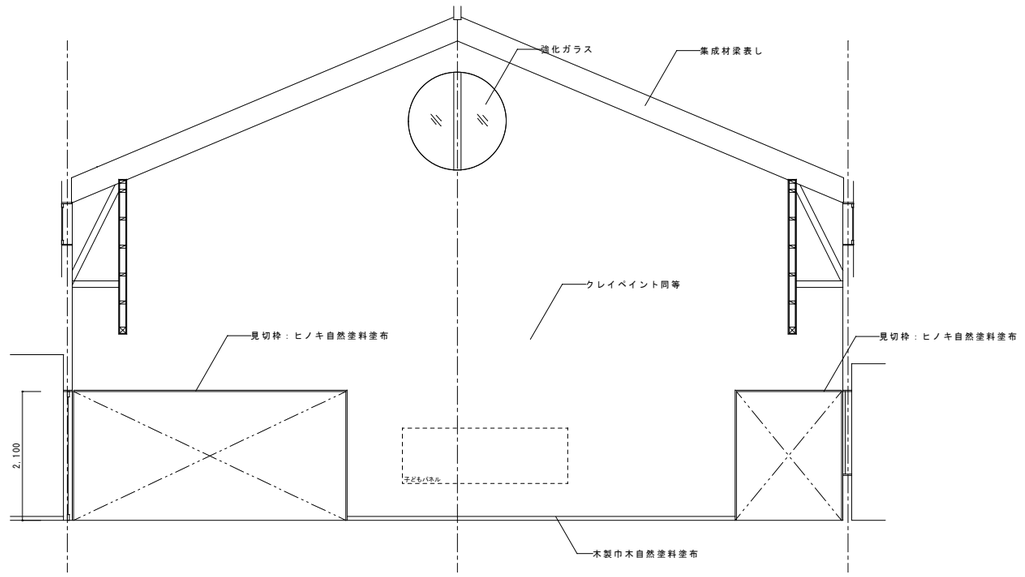


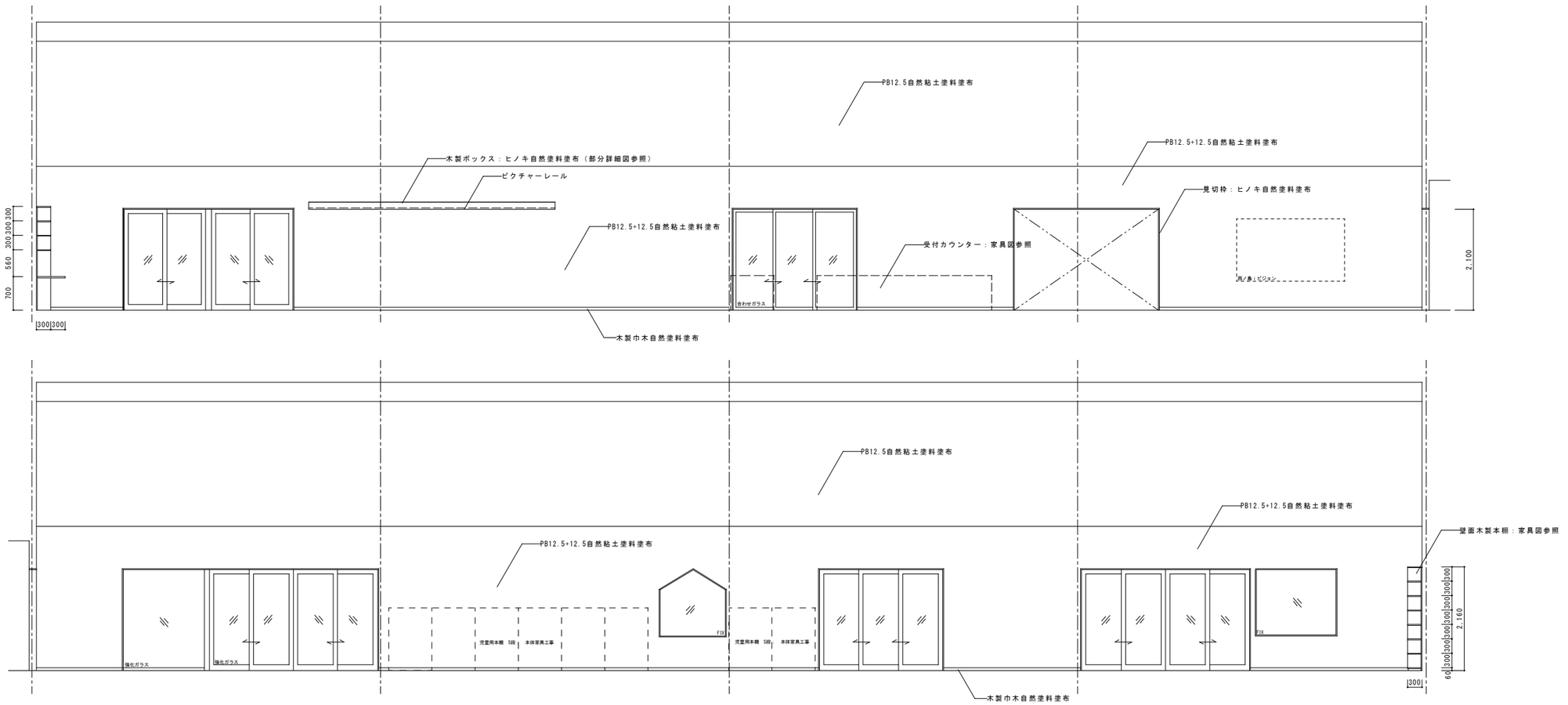


株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 A-20
図面名称	展開図 1		縮尺	1:50
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	＊＊

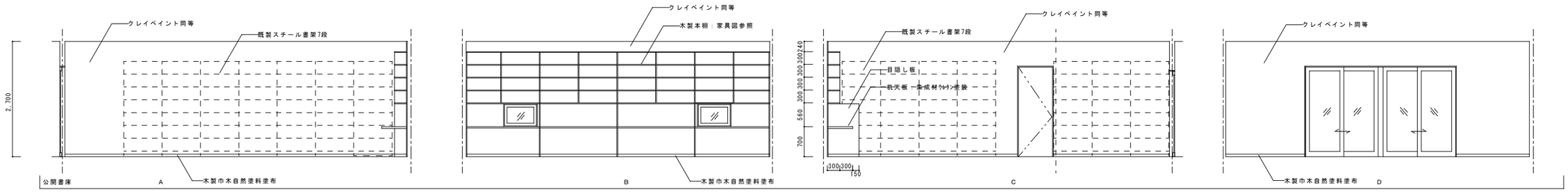


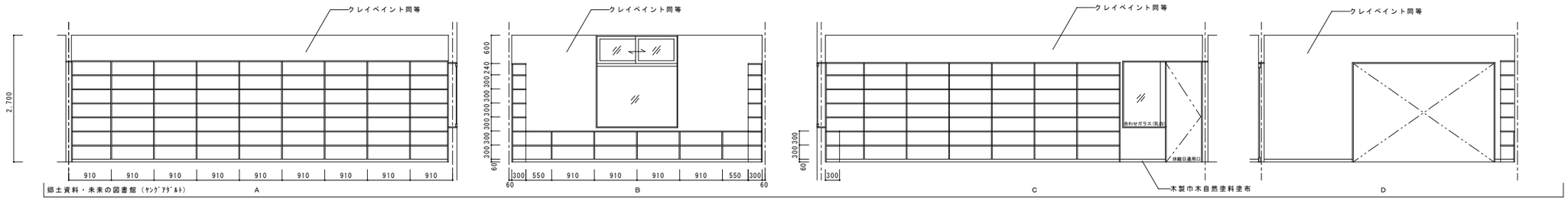


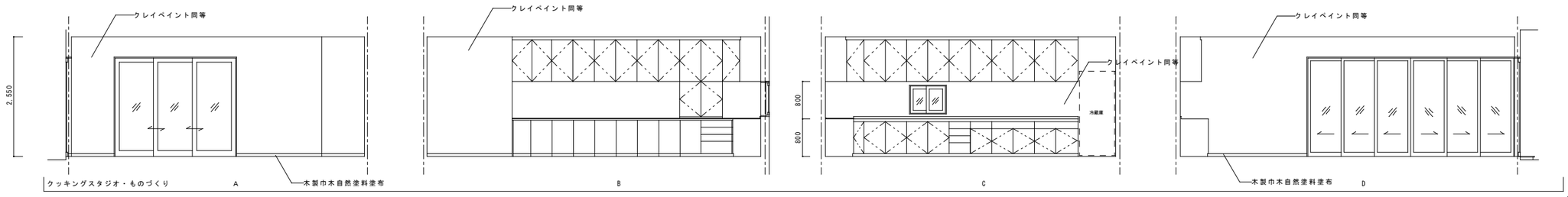


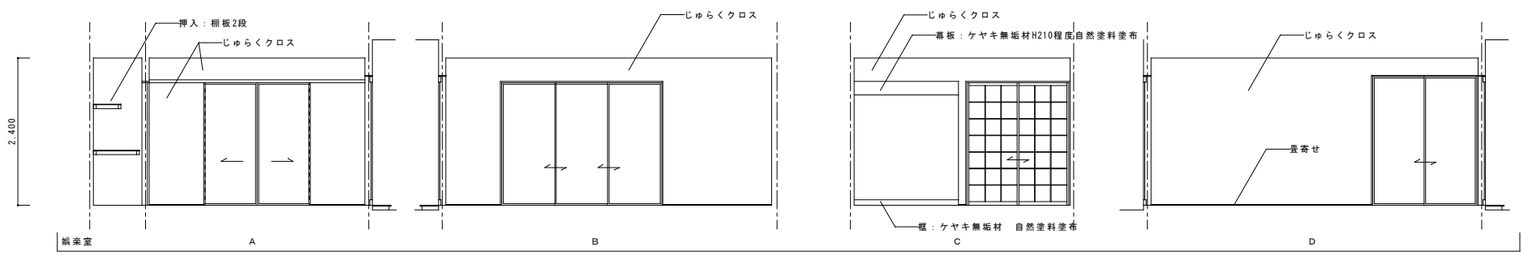
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

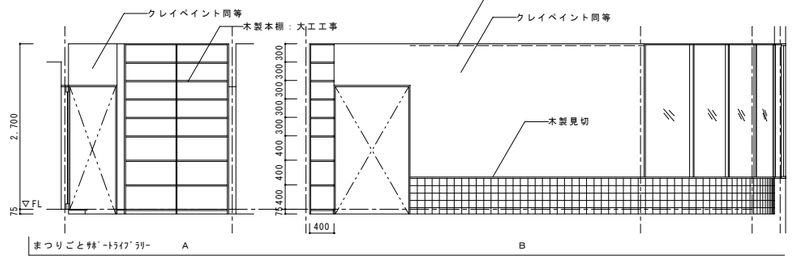
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 A-21
図面名称	展開図２		縮尺 1:50	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	＊＊

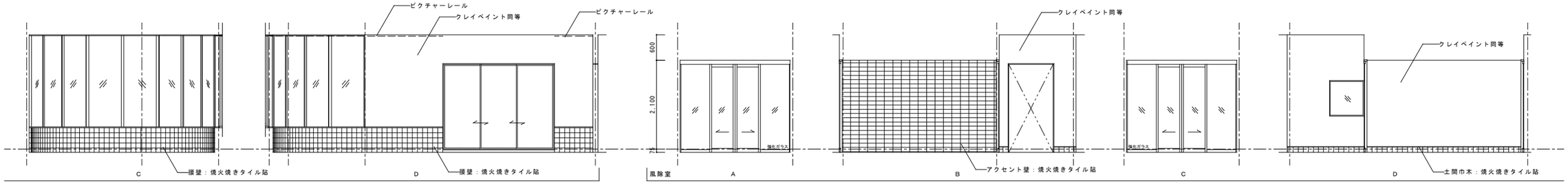




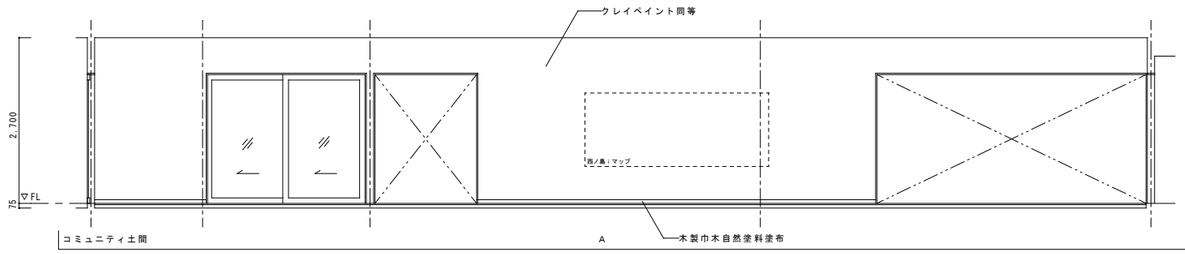


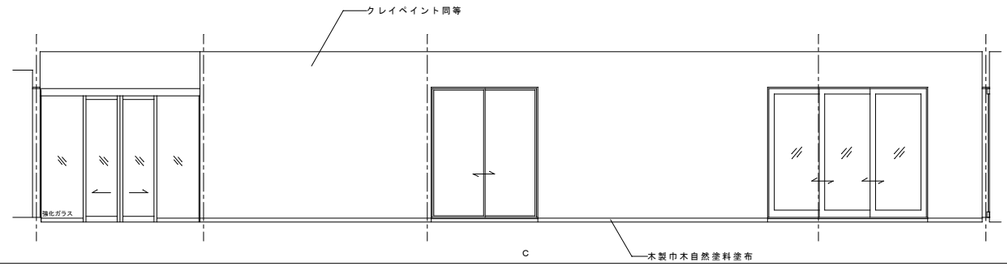


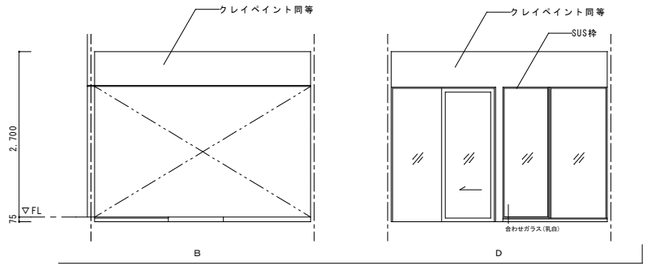


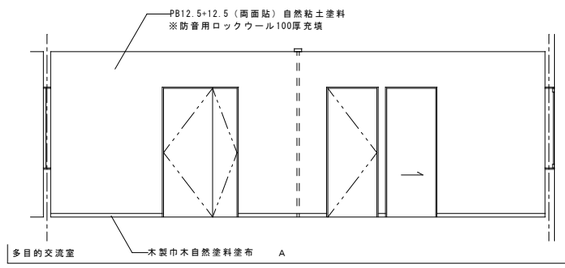


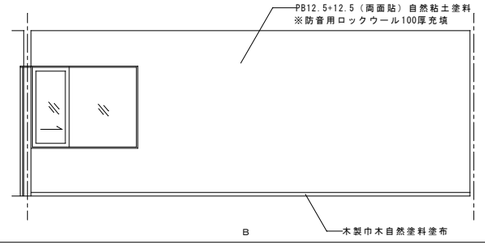
株式会社 丹羽建築設計事務所 岡山県知事登録第1776号 1級建築士登録第320100号 丹羽雅人 〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21 TEL: 086-226-1135	設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事		種別 A-22
	図面名称 展開図３		縮尺 1:50	
	所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人	作成日
				他
				通し番号 **

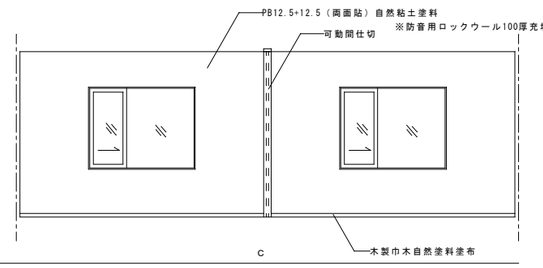


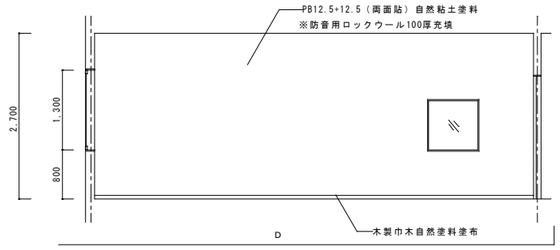


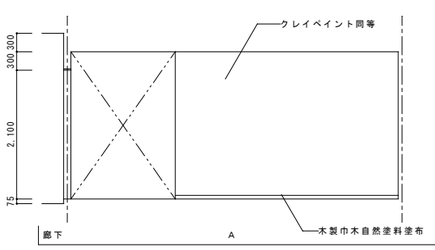


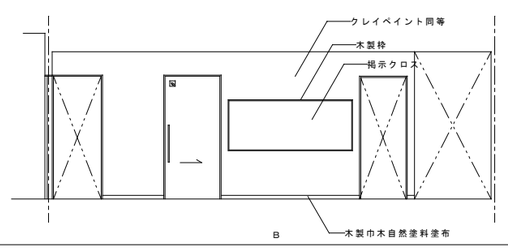


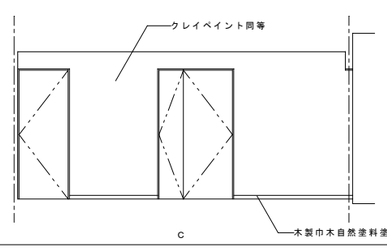


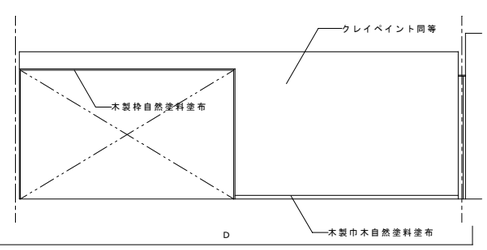


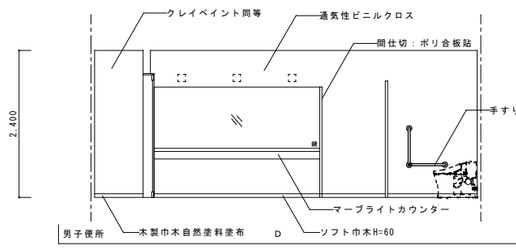


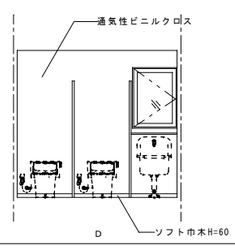


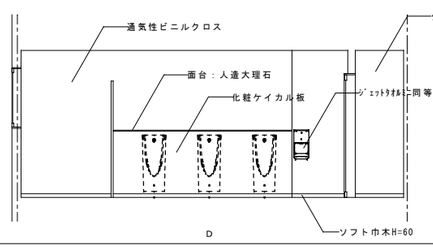


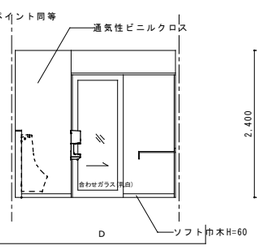


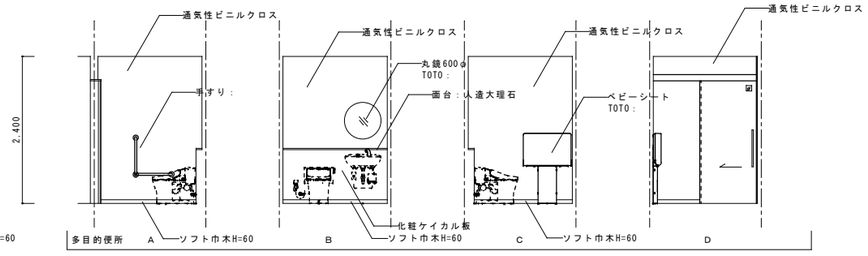


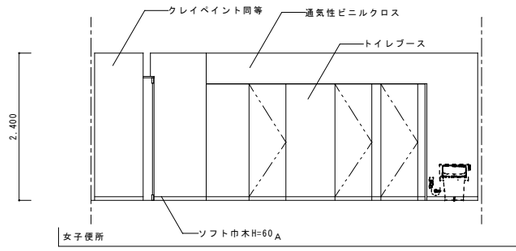


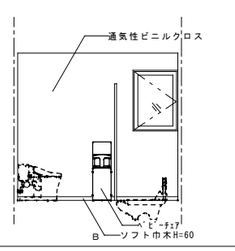


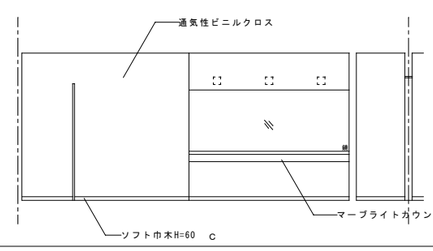


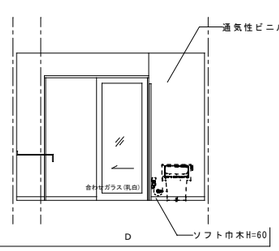




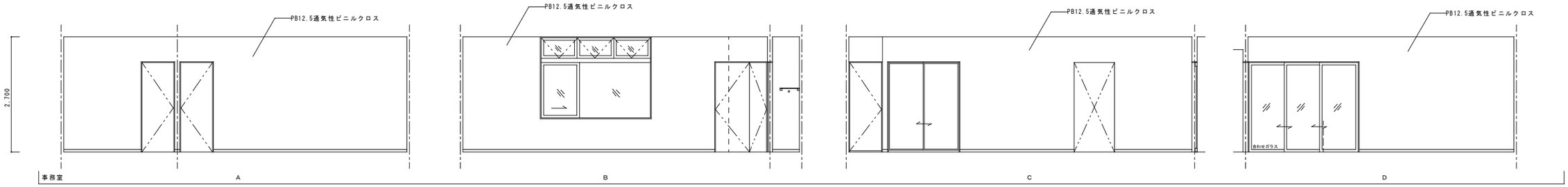


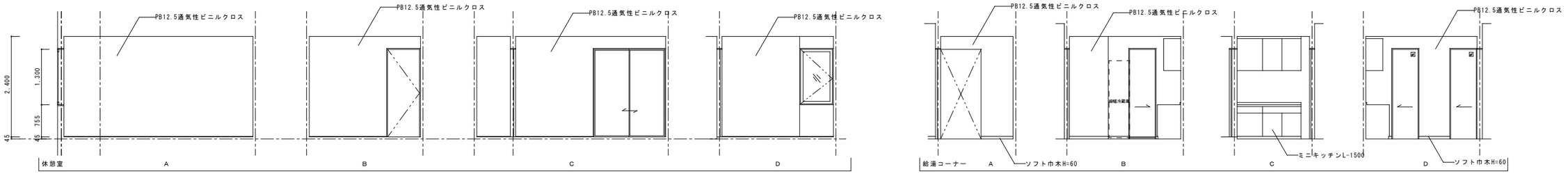


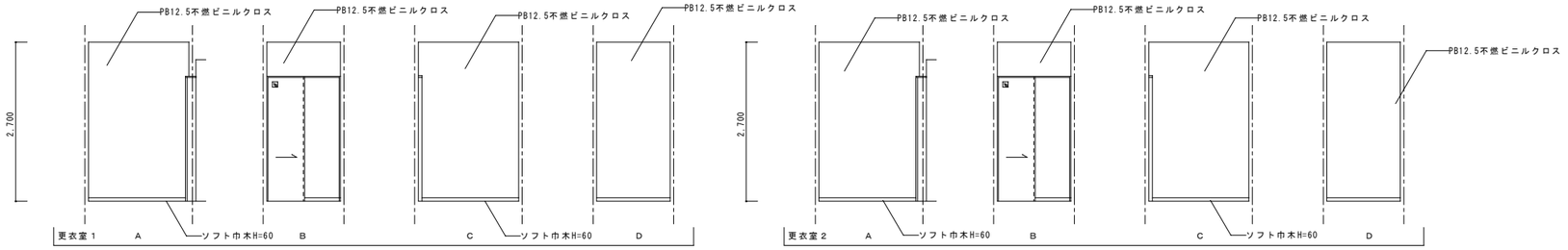


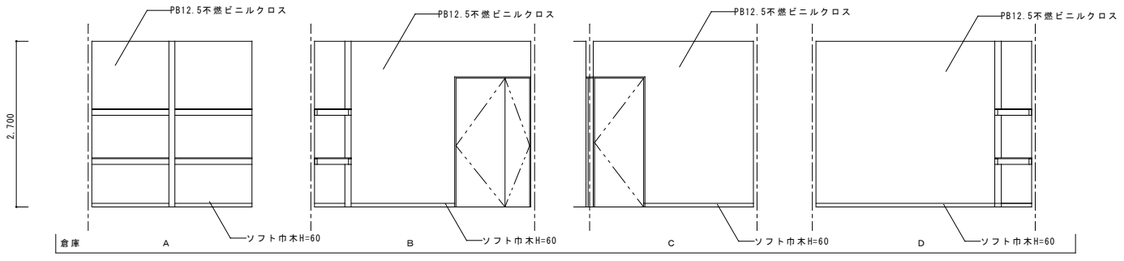


株式会社 丹羽建築設計事務所 岡山県知事登録第1776号 1級建築士登録第320100号 丹羽雅人 〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21 TEL: 086-226-1135	設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-23
	図面名称	展開図 4		縮尺 1:50	
	所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人	作成日	通し番号 ＊＊
				他	

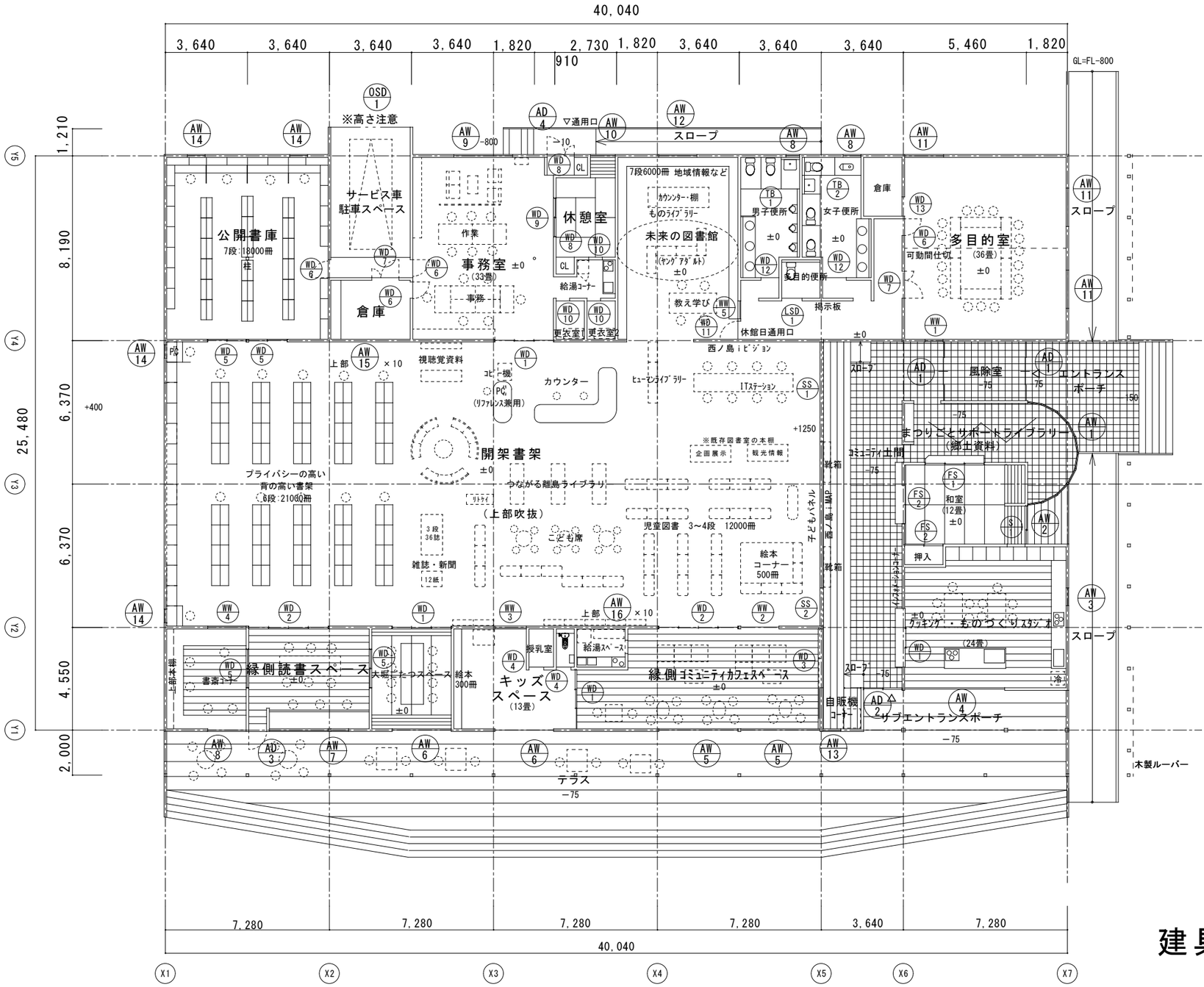








株式会社 丹羽建築設計事務所 岡山県知事登録第1776号 1級建築士登録第320100号 丹羽雅人 〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21 TEL: 086-226-1135	設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-24
	図面名称 展開図５			縮尺 1:50	
	所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人	作成日	通し番号 **
				他	



建具配置図　1:100

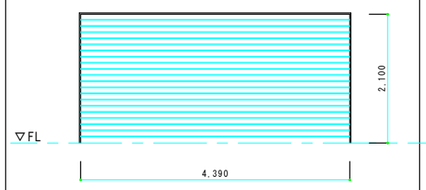
地松フローリング　イメージ

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

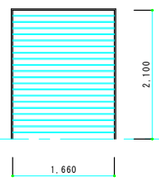
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 A-25
図面名称	平面図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

SS 1 開架書架 1ヶ所



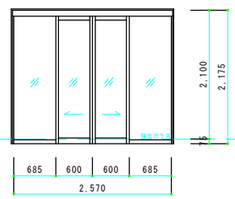
形状	手動パイプシャッター
見込・仕上	ステンレスパイプ
金物	標準金物一式、鍵付き
ガラス	ー
その他	

SS 2 開架書架 1ヶ所



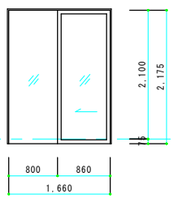
形状	手動パイプシャッター
見込・仕上	ステンレスパイプ
金物	標準金物一式、鍵付き
ガラス	ー
その他	

AD 1 コミュニティ土間、風除室 2ヶ所



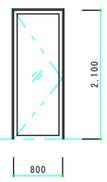
形状	アルミ両開き自動ドア
見込・仕上	70 ステンカラー
金物	標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、内部ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	透明強化ガラスFL4
その他	衝突防止シール

AD 2 コミュニティ土間 1ヶ所



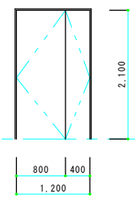
形状	アルミ框片引き戸＋アルミはめ殺し窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内部ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	衝突防止シール、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ貼

AD 3 縁側読書スペース 1ヶ所



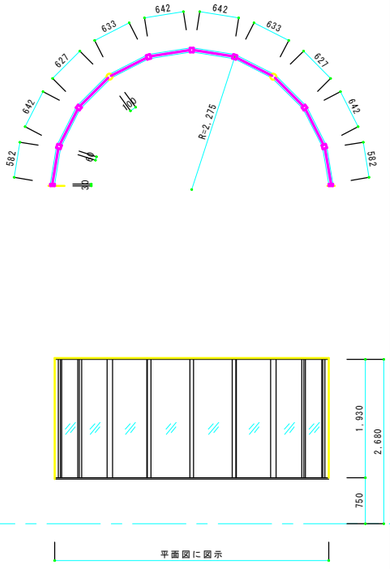
形状	アルミ框戸
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内部ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	ドアチェック（常閉）、衝突防止シール、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ

AD 4 事務室 1ヶ所



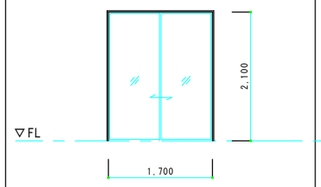
形状	アルミ両開きフラッシュ戸
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内部ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ー
その他	ドアチェック（常閉）、ﾌﾗﾝｽ落し

AW 1 まつりごとサポートライブラリー 1ヶ所



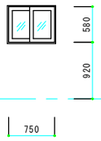
形状	アルミFIX複合窓
見込・仕上	70 ステンカラー
金物	標準金物一式
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	

AW 2 娯楽室 1ヶ所



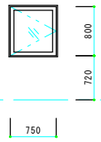
形状	アルミ框引違い窓
見込・仕上	70 ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	衝突防止シール、網戸

AW 3 コミュニティスペース 1ヶ所



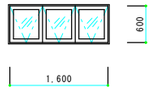
形状	アルミ引違い窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸

AW 14 開架書架 2ヶ所



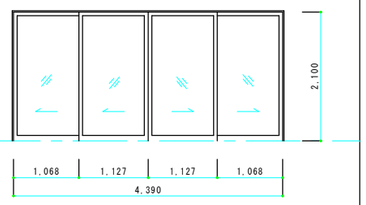
形状	アルミ片開き窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ

AW 15 開架書架北側上部 10ヶ所



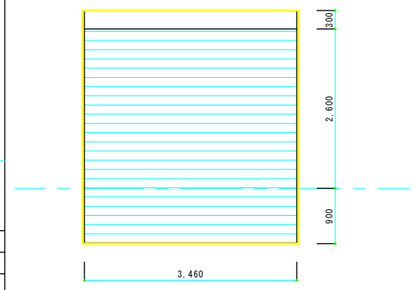
形状	アルミ外倒し排煙窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、オペレーター
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ

AW 4 コミュニティスペース 1ヶ所



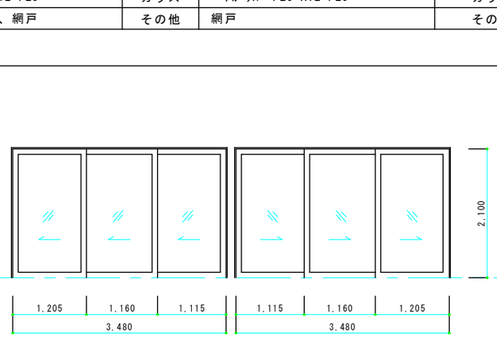
形状	４枚引違い窓（木・アルミ複合サッシ）
見込・仕上	木アルミ複合（ステンカラー）
金物	標準金物一式、本締り錠　内ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	衝突防止シール

OSD 1 サービス車駐車スペース 1ヶ所



形状	オーバースライダー
見込・仕上	スチール焼付塗装
金物	標準金物一式、鍵付き
ガラス	ー
その他	

AW 5 縁側コミュニティカフェ 1ヶ所



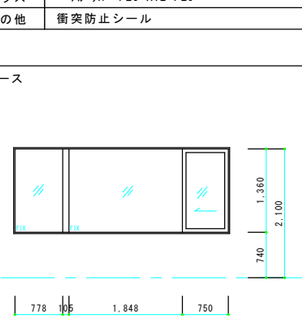
形状	3連引き込み窓（木・アルミ複合サッシ）×２
見込・仕上	木アルミ複合（ステンカラー）
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	衝突防止シール、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ

AW 6 キッズスペース、大掘ごたつスペース 1ヶ所



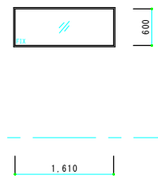
形状	3連引き違い窓
見込・仕上	100 ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5、飛散防止ﾌｨﾙﾑ（ｷｯｽﾞｽﾍﾟｰｽ）
その他	衝突防止ﾌｨﾙﾑ、網戸

AW 7 縁側読書スペース 1ヶ所



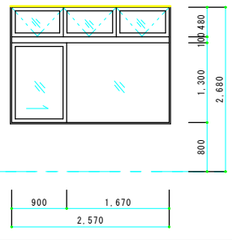
形状	FIX窓＋FIX窓＋片引き窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	

AW 16 開架書架南側上部 10ヶ所



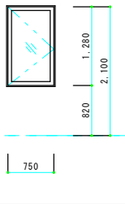
形状	FIX窓
見込・仕上	ステンカラー
金物	標準金物一式
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	

AW 9 事務室 1ヶ所



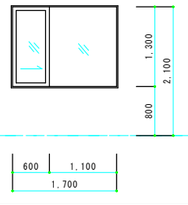
形状	アルミ片引き窓＋排煙窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント、オペレーター
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸

AW 10 休憩室 1ヶ所



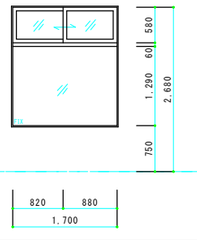
形状	アルミ片開き窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、カムラッチハンドル
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽFL5+A12+FL5
その他	網戸

AW 11 多目的交流室、書斎コーナー 4ヶ所



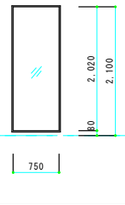
形状	アルミ片引き窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ（書斎ｺｰﾅｰのみ）

AW 12 未来の図書館 1ヶ所



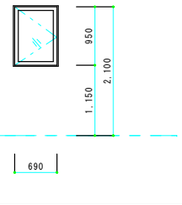
形状	FIX窓＋引き違い窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、クレセント、オペレーター
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	網戸、紫外線ｶｯﾄﾌｨﾙﾑ

AW 13 自販機コーナー



形状	FIX窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　FL5+A12+FL5
その他	

AW 8 男子便所・女子便所 2ヶ所



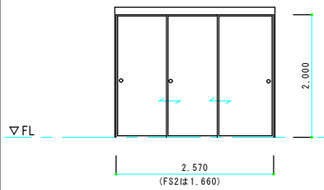
形状	アルミ片開き窓
見込・仕上	70　ステンカラー
金物	標準金物一式、ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ
ガラス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽFL5+A12+FL5
その他	網戸

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市内山下1-4-21
TEL. 086-226-1135

設計番号		工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事
図面名称	建具表－1	縮尺	1:50
担当	丹羽英喜	照合	丹羽雅人
作成者		作成日	
改		通し番号	

A-26

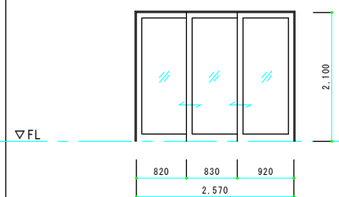
FS 1 ×1ヶ所　FS 2 ×2ヶ所



形状	3枚引ふすま戸（FS2は2枚）
見込・仕上	30　ふすま紙
金物	ー
ガラス	ー
その他	引手

WD 1　4ヶ所

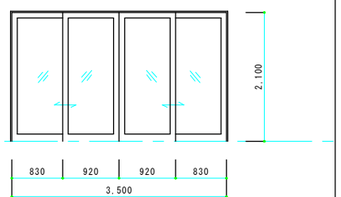
開架書架（大堀ごたつｽﾍﾟｰｽｽ、事務室）、ｸｯｷﾝｸﾞ・ものｽﾀｼﾞｵ



形状	木製３枚引き違い框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	付属金物一式、フランス落し、錠錠
ガラス	強化ガラスFL4
その他	ー

WD 2　2ヶ所

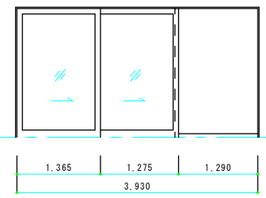
開架書架（縁側読書スペース）、縁側コミュニティカフェ



形状	木製２連引き違い框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	付属金物一式、本締錠　（ｶﾌｪ）
ガラス	強化ガラスFL4
その他	ー

WD 3　1ヶ所

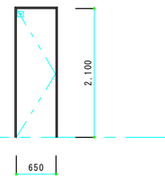
縁側コミュニティカフェ



形状	木製２連引き込み框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	付属金物一式
ガラス	強化ガラスFL4
その他	ー

WD 4　1ヶ所

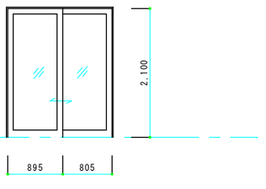
キッズスペース



形状	木製片開きフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	SUS丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ
ガラス	額窓90□　型板4
その他	MIWA U9ALV2　JP66-1型

WD 5　2ヶ所

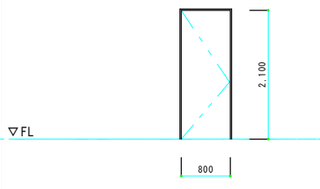
開架書架（公開書庫）



形状	木製引き違い框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	付属金物一式、本締錠
ガラス	強化ガラスFL4
その他	ー

WD 6　4ヶ所

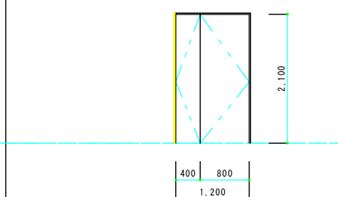
公開書庫、事務室、倉庫



形状	木製片開きフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	SUS丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ー
その他	戸当り

WD 7　2ヶ所

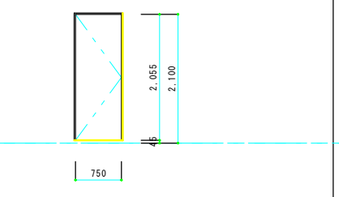
倉庫、多目的室



形状	木製両開き框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	SUS丁板、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内ｻﾑﾀｰﾝ、フランス落し
ガラス	ー
その他	ﾄﾞｱﾁｪｯｸ

WD 8　2ヶ所

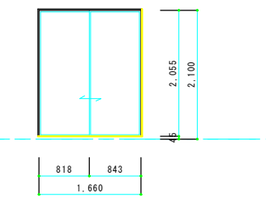
事務室、休憩室（CL扉）



形状	木製片開きフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	SUS丁番、取手
ガラス	ー
その他	戸当り

WD 9　1ヶ所

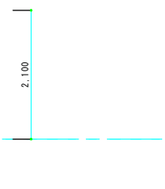
休憩室



形状	木製引き違いフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	Vﾚｰﾙ
ガラス	ー
その他	

WD 10　3ヶ所

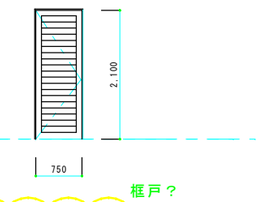
休憩室、更衣室（10'）



形状	木製片引きフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	Vﾚｰﾙ
ガラス	ー
その他	MIWA U9ALV2　JP66-1型

WD 11　1ヶ所

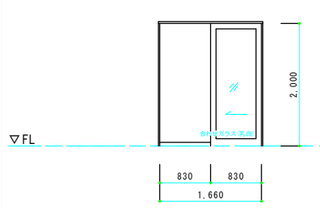
未来の図書館



形状	木製片開きフラッシュ戸
見込・仕上	40　桧　自然塗料塗布
金物	SUS丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　内ｻﾑﾀｰﾝ
ガラス	ー
その他	MIWA U9ALV2　JP66-1型

WD 12　2ヶ所

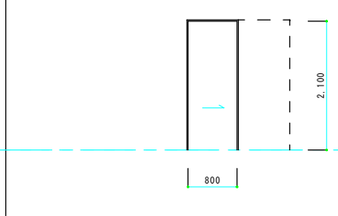
男子便所、女子便所



形状	木製２連引き込み框戸
見込・仕上	40　ｽﾌﾟﾙｰｽ　自然塗料塗布
金物	付属金物一式　Vﾚｰﾙ
ガラス	合わせガラス8mm（乳白）
その他	ー

WD 13　1ヶ所

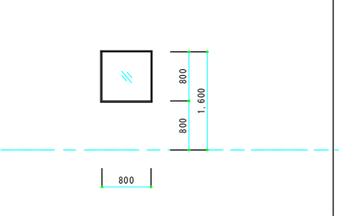
多目的室



形状	木製片引きフラッシュ戸
見込・仕上	40　ｼﾅﾍﾞﾆﾔ　自然塗料塗布
金物	Vﾚｰﾙ
ガラス	ー
その他	MIWA U9ALV2　JP66-1型

WW 1　1ヶ所

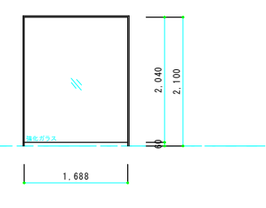
多目的室



形状	木製FIX窓
見込・仕上	ー
金物	ー
ガラス	ペアガラスFL5+A6+AL5
その他	ー

WW 2　1ヶ所

縁側コミュニティカフェ



形状	木製FIX窓
見込・仕上	ー
金物	ー
ガラス	強化ガラスFL4
その他	飛散防止ﾌｨﾙﾑ

WW 3　1ヶ所

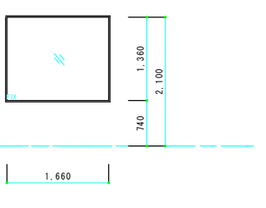
キッズスペース



形状	木製FIX窓
見込・仕上	ー
金物	ー
ガラス	強化ガラスFL6
その他	ー

WW 4　1ヶ所

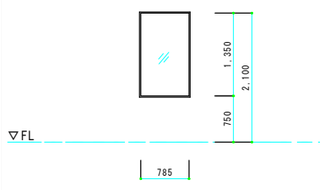
書斎コーナー



形状	木製FIX窓
見込・仕上	ー
金物	ー
ガラス	FL6
その他	ー

WW 5　1ヶ所

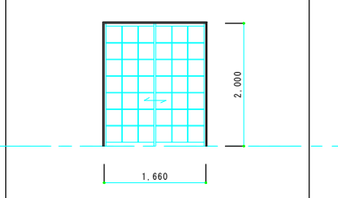
未来の図書館



形状	木製FIX窓
見込・仕上	ー
金物	ー
ガラス	合わせガラス8mm（乳白）
その他	ー

S 1　1ヶ所

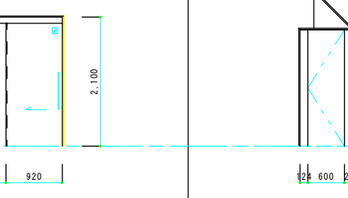
和室



形状	引違い障子
見込・仕上	100　框・組子　杉
金物	舟底引手、敷居滑り
ガラス	ー
その他	本美濃紙

LSD 1　1ヶ所

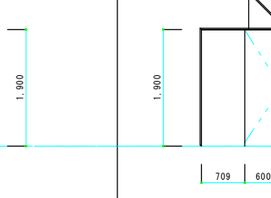
多目的便所



形状	軽量スチール引戸
見込・仕上	40　化粧鋼板フラッシュ
金物	標準金物一式、引き棒、表示錠
ガラス	額窓90□　型板4
その他	吊り金物

TB 1　1ヶ所

男子便所



形状	トイレブース
見込・仕上	46　高圧メラミン樹脂化粧板　ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ
金物	標準金物一式、表示錠
ガラス	ー
その他	吊り金物

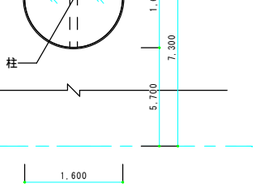
TB 2　1ヶ所

女子便所

形状	トイレブース
見込・仕上	46　高圧メラミン樹脂化粧板　ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ
金物	標準金物一式、表示錠
ガラス	ー
その他	吊り金物

SUSW 1　2ヶ所

開架書架上部



形状	ステンレス丸窓
見込・仕上	70　ステンレスヘアライン
金物	標準金物一式
ガラス	強化ガラスFL6
その他	ー

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	2016-01	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事
図面名称	建具表－1	縮尺	1:50
作図	丹羽英喜	照合	丹羽雅人
作成者		作成日	16.07.19.
		改	
		差し番号	

A-27



カーテン・ブラインド配置図　1:100

番号	種別	寸法W×H（m）	仕様・参考品番	個数
①	ロールスクリーン	1.65m×1.35m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	1
②	ロールスクリーン	1.3m×1.35m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	2
③	ロールスクリーン	0.75m×1.35m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	1
④	ロールスクリーン	1.3m×2.1m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	4
⑤	ロールスクリーン	1.75m×2.1m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	4
⑥	ロールスクリーン	0.75m×2.1m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	1
⑦	ロールスクリーン	1.5m×2.1m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	3
⑧	ロールスクリーン	0.75m×0.5m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	1
⑨	採光ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ（暗転可）	0.8m×0.8m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ﾘﾌﾚｸﾄ同等品	1
⑩	採光ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ（暗転可）	1.7m×1.3m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ﾘﾌﾚｸﾄ同等品	3
⑪	採光ブラインド	1.7m×1.95m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ｱｶﾘﾅ・ﾐﾙｷｰ同等品	1
⑫	ロールスクリーン	0.75m×1.25m	ニチベイ すだれ調　トキワ同等品	1
⑬	採光ブラインド	2.55m×1.9m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ｱｶﾘﾅ・ﾐﾙｷｰ同等品	1
⑭	採光ブラインド	0.75m×0.8m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ｱｶﾘﾅ・ﾐﾙｷｰ同等品	2
⑮	採光ブラインド	1.25m×2.15m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ﾘﾌﾚｸﾄ同等品	5
⑯	採光ブラインド	0.75m×0.8m	樹脂ｽﾗｯﾄ、あかりｶﾝﾊﾞﾆｰ：ﾘﾌﾚｸﾄ同等品	2

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	−	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別
図面名称	カーテン・ブラインド図			縮尺 1:100	A-28
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	

サインリスト

-

No.	外部サインアイテム	数量	外部	1F	備考
EX-01	施設名称サイン（A）	×1	×1	-	-
EX-02	駐車場誘導サイン	×2	×2	-	-
EX-03	駐輪場サイン	×1	×1	-	-
EX-04	車いす専用駐車場サイン	×1	×1	-	-
EX-05	施設名称サイン（B）	×1	×1	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
EX-99	デザイン費用（￥1,500,000）	×1	-	-	※サイン工事費用に、サインデザイン料[￥1,500,000-]を含む
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

No.	内部サインアイテム	数量	外部	1F	備考
IN-01	全館案内板（A）	×1	-	×1	-
IN-02	全館案内板（B）	×1	-	×1	-
IN-03	書架案内サイン	×1	-	×1	-
IN-04	サービスカウンターサイン	×1	-	×1	-
IN-05	室名表示（突出し）	×9	-	×9	-
IN-06	室名表示（平付）	×9	-	×9	-
IN-07	室名表示（シート切り文字貼）	×8	-	×8	-
IN-08	ガラス面利用案内兼コーナー名表示	×9	-	×9	-
IN-09	多目的スタンド	×10	-	×10	※プロットせず
IN-10	衝突防止	×45m	-	×39m	+[予備]×6.0m
IN-11	エントランスガラス面施設名称サイン	×6	-	×6	-
IN-12	書架番号表示（大／置式）	×10	-	×10	※想定数量（プロットせず）
IN-13	書架番号表示（大／平付）	×10	-	×10	※想定数量（プロットせず）
IN-14	書架番号表示（小／置式）	×10	-	×10	※想定数量（プロットせず）
IN-15	書架番号表示（小／平付）	×10	-	×10	※想定数量（プロットせず）
IN-16	インフォメーションモニター筐体	×1	-	×1	-
IN-17	掲示板	×1	-	×1	-
IN-18	こどもパネル筐体	×1	-	×1	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【サインリスト】

E X T E R I O R　S I G N　L I S T ／ I N T E R I O R　S I G N　L I S T

タイプフェイス／ピクトグラム

-

西ノ島町 NISHINOSHIMA TOWN COMMUNITY LIBRARY

コミュニティ図書館

西ノ島町コミュニティ図書館

本日は 閉館いたしました

開館時間 8:30~17:30（祝日、年末年始を除く）

多目的室 1

倉庫　STAFF ONLY

NISHINOSHIMA TOWN COMMUNITY LIBRARY

図書館からのおしらせ

西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	□ 和文（細） AXIS ProN L AXIS Inc.
西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	□ 和文（中） AXIS ProN R AXIS Inc.
西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	西ノ島町コミュニティ図書館 あいうえお カキクケコ 島根県 隠岐郡 西ノ島町	□ 和文（太） AXIS ProN M AXIS Inc.
1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	□ 英数字（A） Avenir Next Condensed Ultra Light Linotype GmbH
1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	□ 英数字（B） Avenir Next Condensed Regular Linotype GmbH
1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	1234567890 PH RF ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ / abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	□ 英数字（C） Avenir Next Condensed Medium Linotype GmbH

男子トイレ　女子トイレ　男女トイレ　多目的トイレ　オストメイト　オムツ交換台　駐車場　駐輪場　車いす専用駐車場　車両進入禁止　関係者以外立入禁止　矢印　インフォメーション　西ノ島町章

【タイプフェイス】

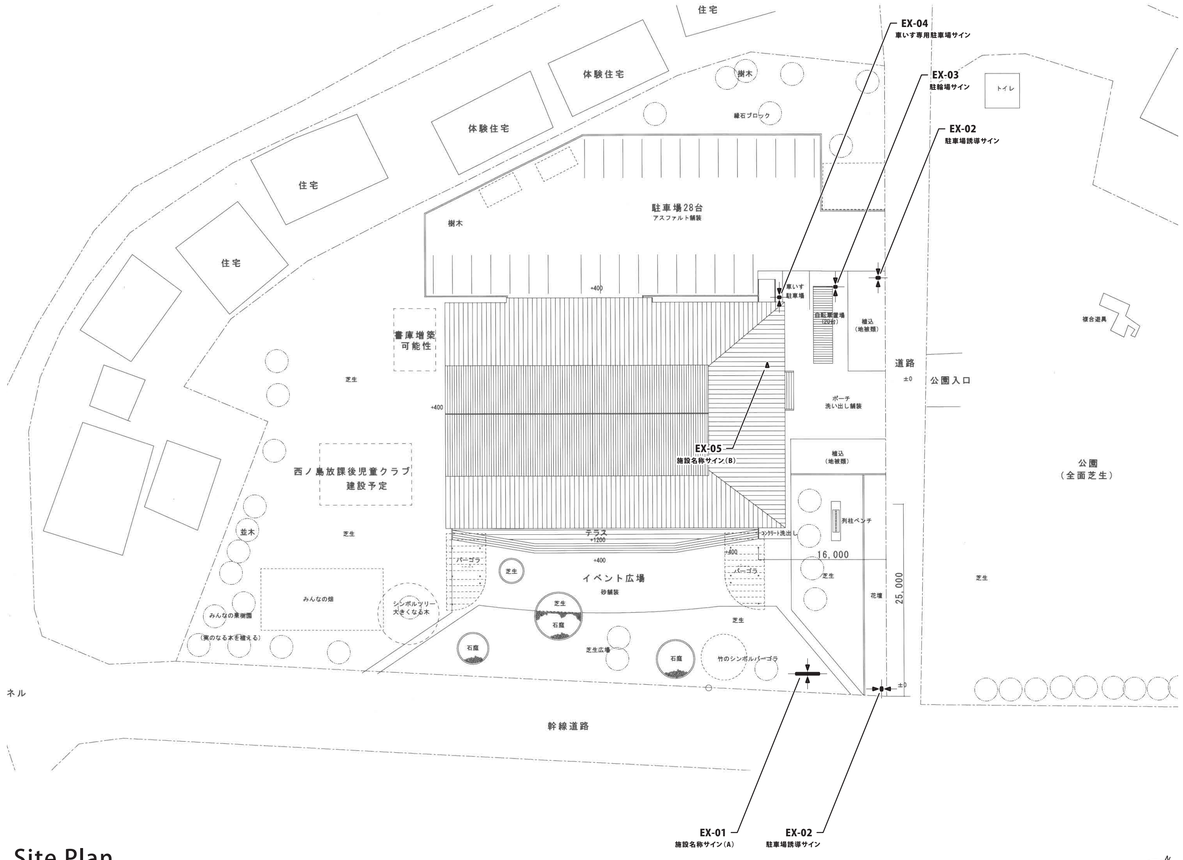
□ 使用するウエイトは、背景色や表示内容により適宜使い分けることとする。

【ピクトグラム】

□ 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団により策定された【標準案内用図記号】を主に使用することとし、要望に応じて適宜作成することとする。

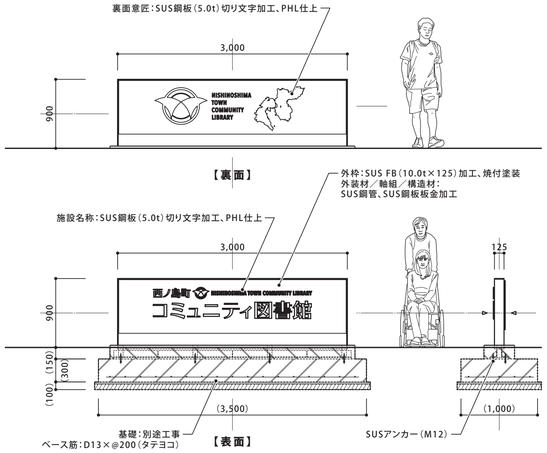
外部・外構サイン／キープラン

1/400


住宅
体験住宅
体験住宅
住宅
住宅
樹木
樹木
緑石ブロック
トイレ
EX-04
車いす専用駐車場サイン
EX-03
駐輪場サイン
EX-02
駐車場誘導サイン
駐車場28台
アスファルト舗装
車いす駐車場
自転車置場（220台）
植込（地被類）
ポーチ
洗い出し舗装
道路
±0
公園入口
場合遊具
書庫増築可能性
芝生
+400
西ノ島放課後児童クラブ建設予定
芝生
芝生
芝生

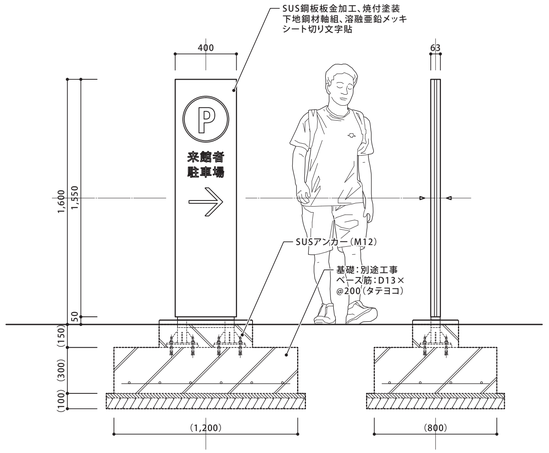
EX-01 施設名称サイン（A）　自立　×1　1/40

【外構】×1



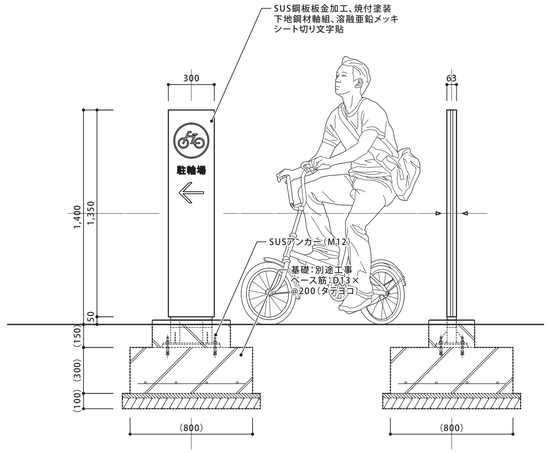
EX-02 駐車場誘導サイン　自立　×2　1/20

【外構】×2



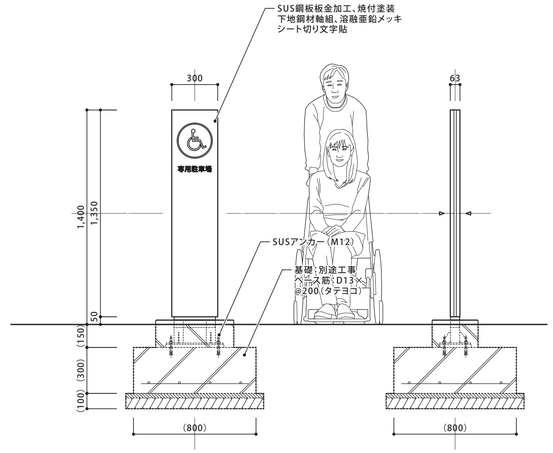
EX-03 駐輪場サイン　自立　×1　1/20

【外構】×1



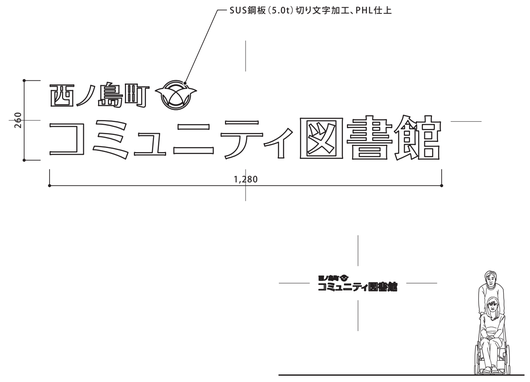
EX-04 車いす専用駐車場サイン　自立　×1　1/20

【外構】×1



EX-05 施設名称サイン（B）　壁付　×1　1/10、1/50

【外部】×1



EX-99 デザイン費用（￥1,500,000）　-　×1　-

【デザイン料】×1

□サイン工事費用に、サインデザイン料［￥1,500,000-］を含みます。

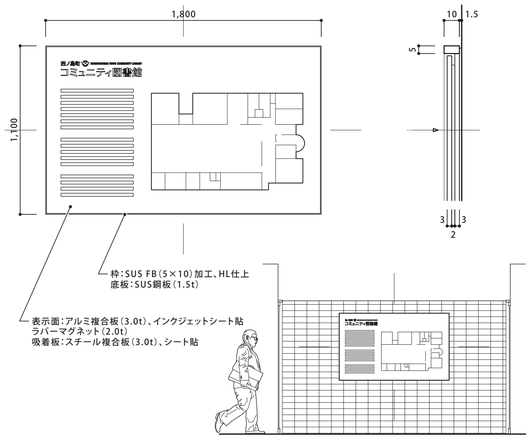
□地域にゆかりのあるデザイナーを工事監理人が選定し、業務を依頼します。

□グラフィックデザインは、すべて製作展開可能データの支給といたします。

□ただし、サインの施工図・製作図などはサイン工事請負者が作図し、
製作上のデータ微調整は、サイン工事請負者が行うこととします。

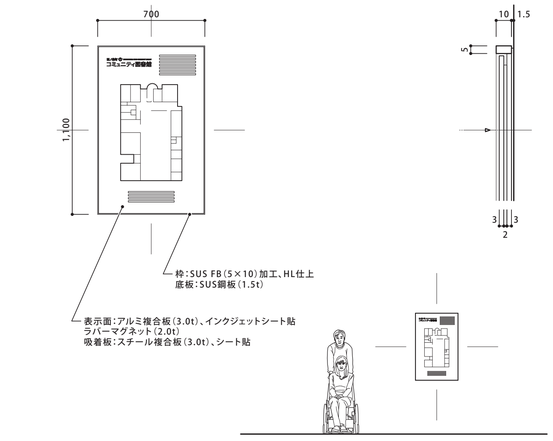
IN-01 全館案内板（A）　壁付　×1　1/20、1/2、1/50

1F×1



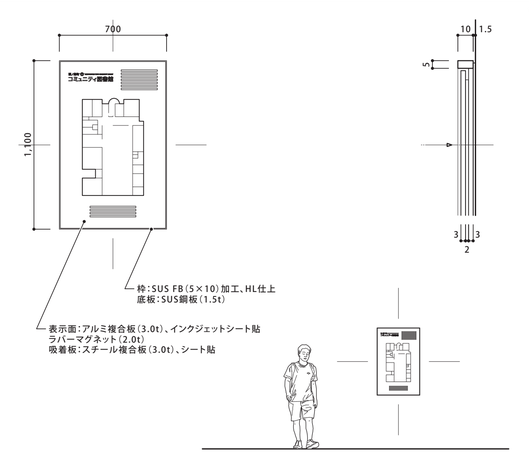
IN-02 全館案内板（B）　壁付　×1　1/20、1/2、1/50

1F×1



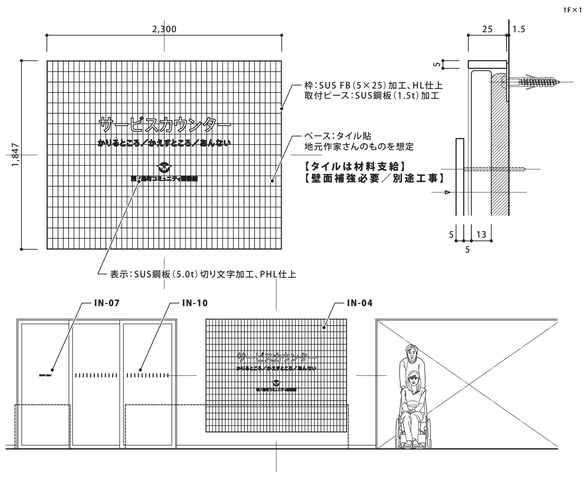
IN-03 書架案内サイン　壁付　×1　1/20、1/2、1/50

1F×1



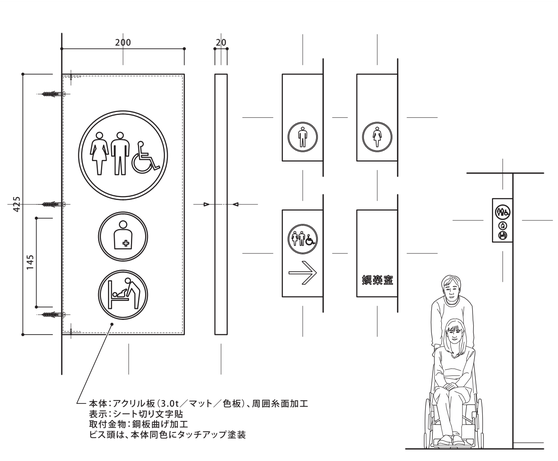
IN-04 サービスカウンターサイン　壁付　×1　1/30、1/2、1/50

1F×1



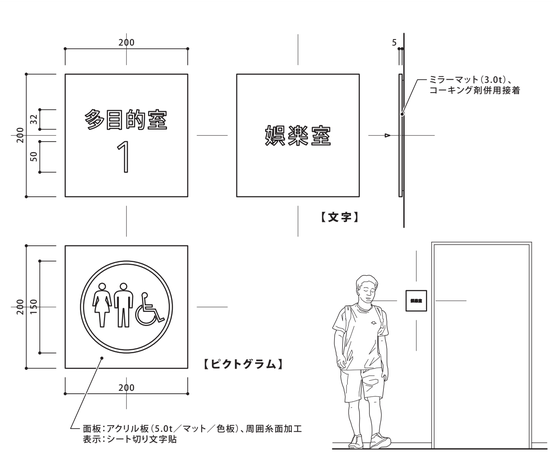
IN-05 室名表示（突出し）　突出し　×9　1/5、1/15、1/30

1F×9



IN-06 室名表示（平付）　壁付　×9　1/5、1/30

1F×9



特記事項：

【サイン設計協力】株式会社デンショク／TEL 086-274-0022／FAX 086-274-0201

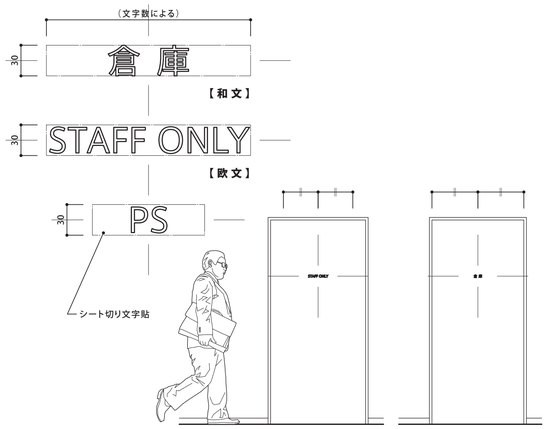
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL：086-226-1135

設計番号	-	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別 A-30
図面名称	サイン図（1）	縮尺	図示
所長	丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者 丹羽雅人
作成日		他	通し番号 ＊＊

IN-07 室名表示（シート切り文字貼）

貼付 ×8 1/3、1/30

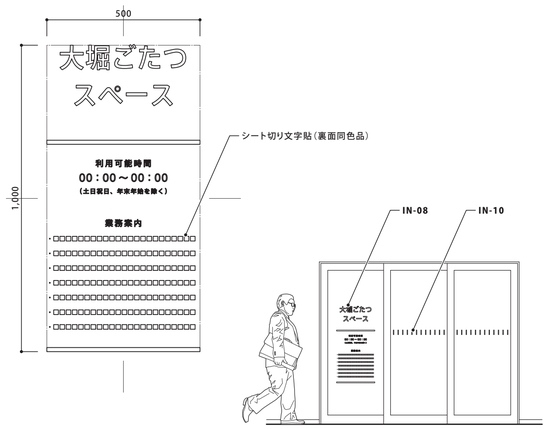
1F×8



IN-08 ガラス面利用案内兼コーナー名表示

貼付 ×9 1/10、1/40

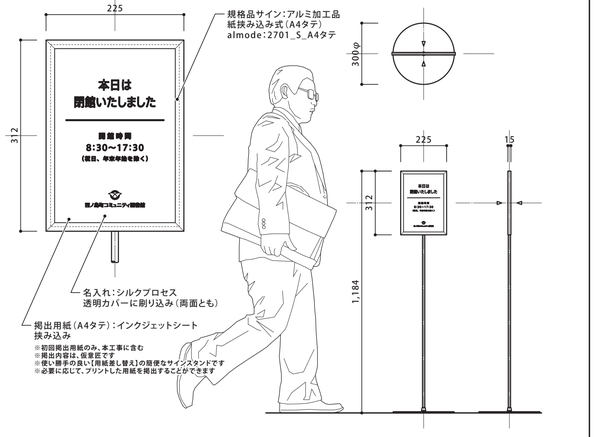
1F×9



IN-09 多目的スタンド

置式 ×1 1/5、1/15

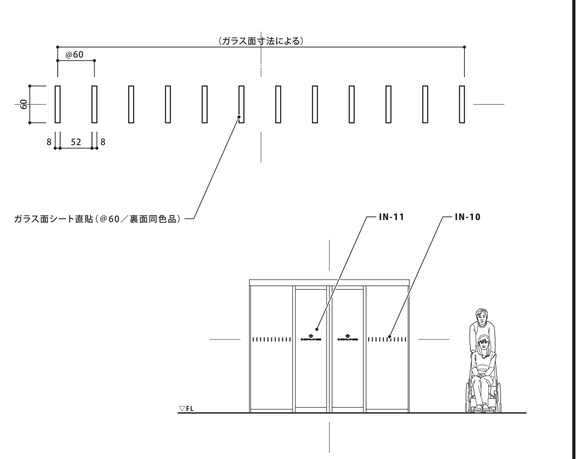
1F×10（プロットせず）



IN-10 衝突防止

貼付 ×45.0m 1/5、1/50

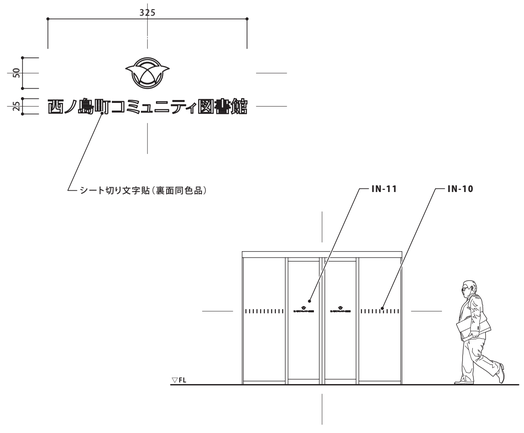
1F×39.0m
予備×6.0m



IN-11 エントランスガラス面施設名称サイン

貼付 ×6 1/5、1/50

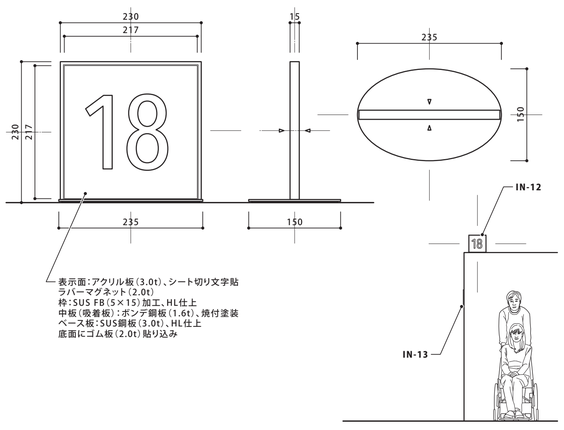
1F×6



IN-12 書架番号表示（大／置式）

置式 ×10 1/5、1/40

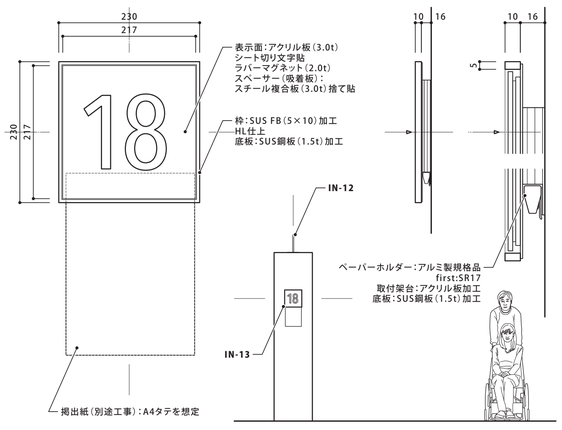
1F×10（想定数量）



IN-13 書架番号表示（大／平付）

壁付 ×10 1/5、1/2、1/40

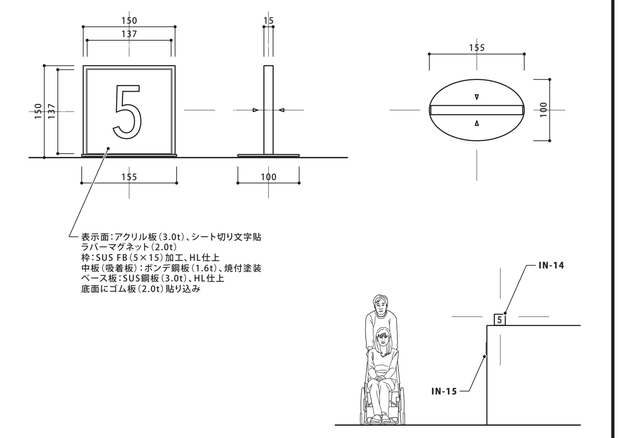
1F×10（想定数量）



IN-14 書架番号表示（小／置式）

置式 ×10 1/5、1/40

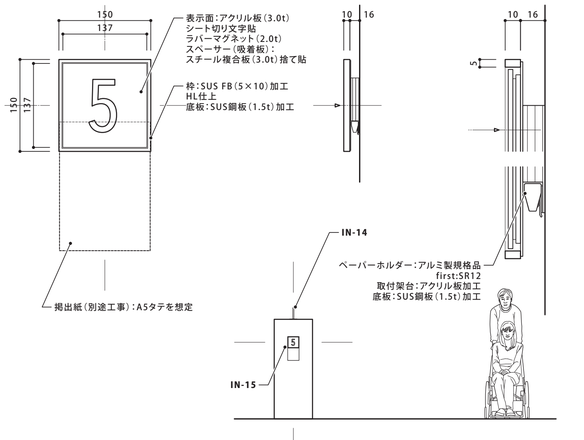
1F×10（想定数量）



IN-15 書架番号表示（小／平付）

壁付 ×10 1/5、1/2、1/40

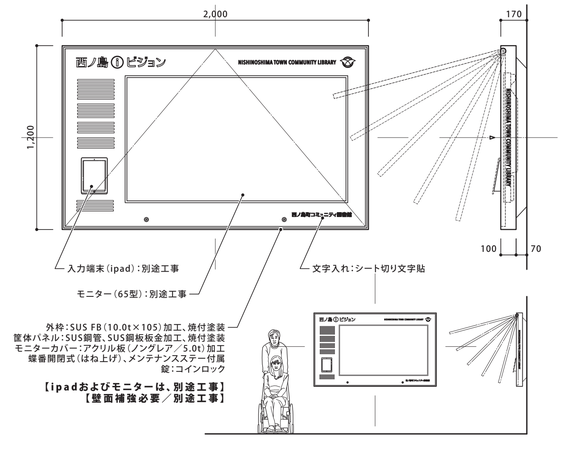
1F×10（想定数量）



IN-16 インフォメーションモニター筐体

壁付 ×1 1/20、1/50

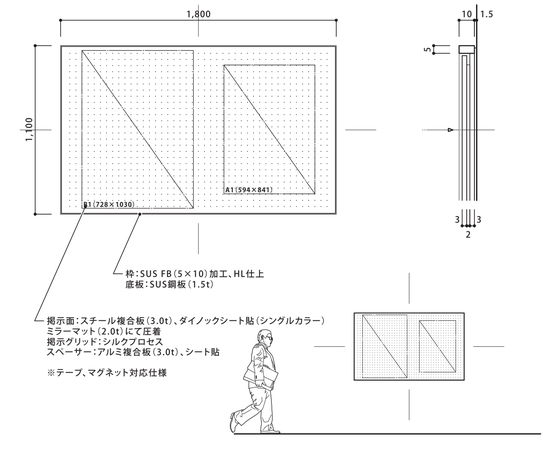
1F×1



IN-17 掲示板

壁付 ×1 1/20、1/2、1/50

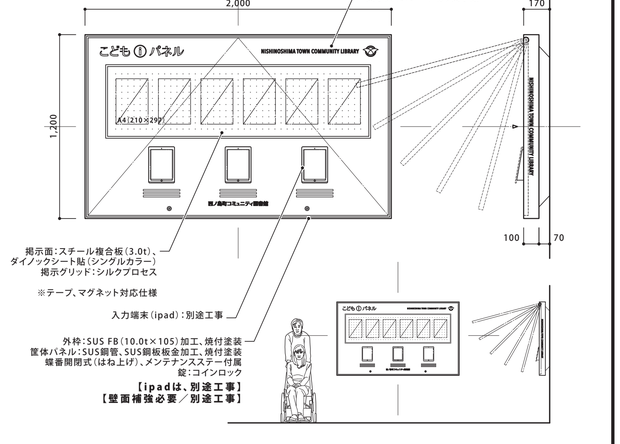
1F×1



IN-18 こどもパネル筐体

壁付 ×1 1/20、1/50

1F×1



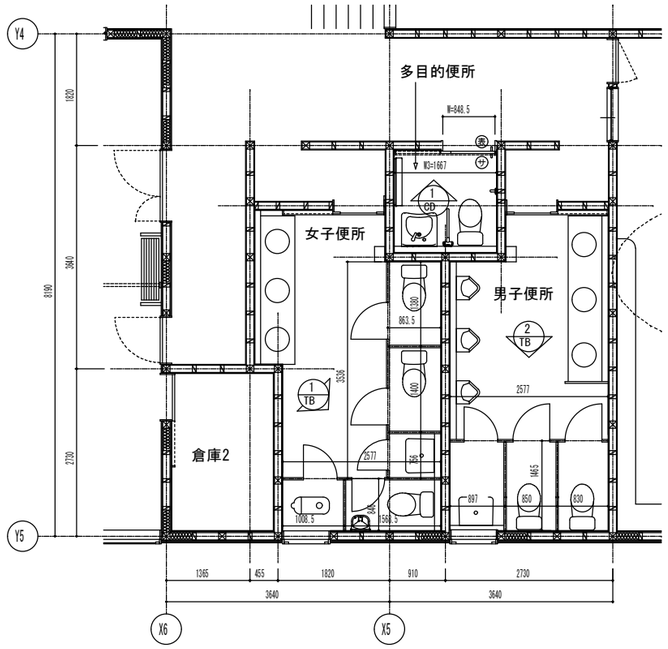
特記事項：

【サイン設計協力】株式会社デンショク／TEL 086-274-0022／FAX 086-274-0201

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL：086-226-1135

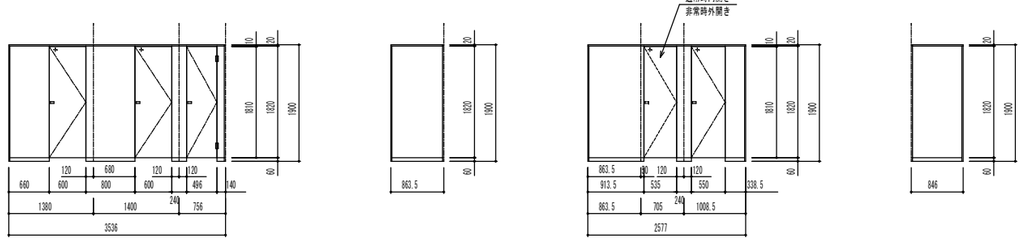
設計番号	-	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事	種別 A-31
図面名称	サイン図（2）	縮尺 図示	
所長	丹羽雅人	担当 丹羽雅人 / 作成者 丹羽雅人	作成日 / 他 / 通し番号 ＊＊

トイレブース　平面詳細図　1/50

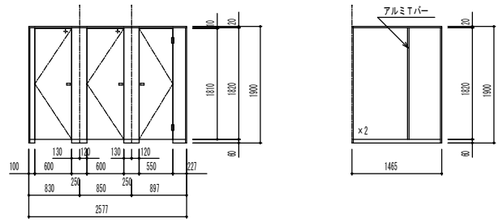


展開図　1/50

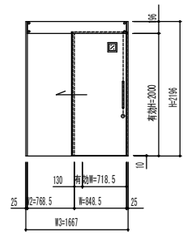
1 TB トイレブース



2 TB トイレブース



1 CD 鋼製軽量吊戸



仕様書

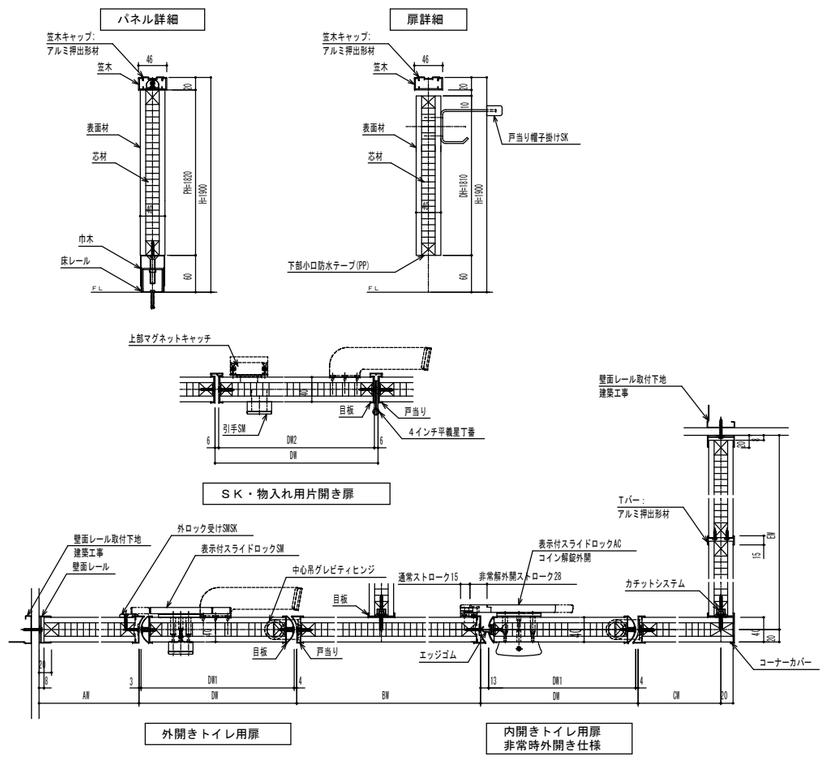
◇トイレブース　(小松ウオール　サニティTB－GPタイプ)

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板 （下地：パーティクルボード9mmウラ打ち）
	芯　材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス　0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	笠木	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	壁面レール／コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	スライドロックSM
	その他金物	戸当り帽子掛けSK

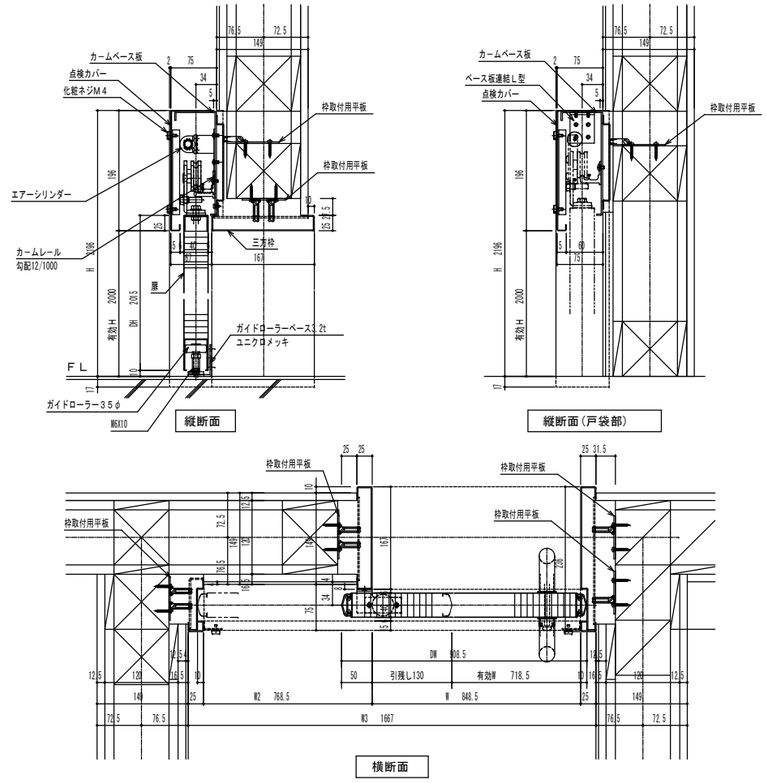
◇鋼製軽量吊戸　(小松ウオール　カームドア外付け枠タイプ同等品)

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
駆動	駆動方式	傾斜レール　制御装置エアダンパ
装置	カームベース板	亜鉛めっき鋼板　2.3mm 〈防錆塗装仕上〉
	カームレール	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
	ハンガー戸車	樹脂製戸車　ブラケットはめっき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板　1.6mm 〈指定色塗装仕上〉
	点検カバー	冷間圧延鋼板　1.2mm 〈指定色塗装仕上〉
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板　0.6mm 〈指定色焼付塗装仕上〉
	芯　材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル 〈ブラック色〉
	切窓	アルミ押出形材 〈指定色焼付塗装仕上〉
	切窓ピート	ポリ塩化ビニル　対応ガラス厚3～6mm〈グレー色〉
	ロック	ミワロック　POSTE錠
	取手	ステンレス鏡面ハンドルφ25　L=450

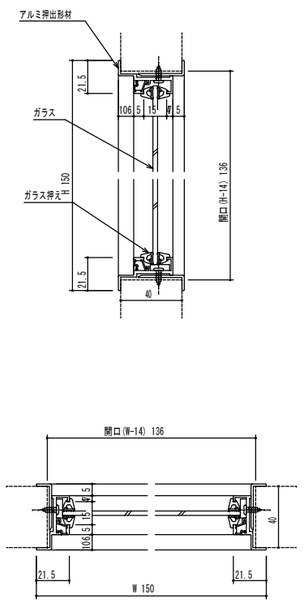
トイレブース詳細図　1/5



鋼製軽量吊戸詳細図　1/5



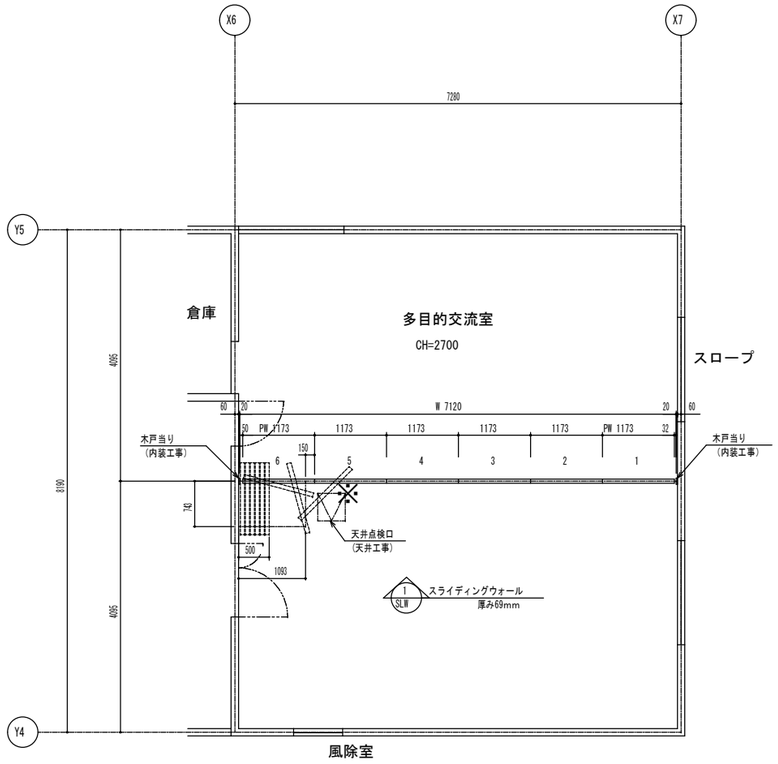
扉窓詳細図　1/2



特記事項：

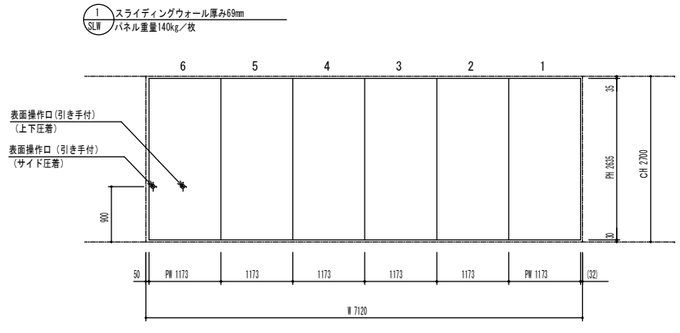
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別	A-32
図面名称	部分詳細図１（トイレブース詳細）		縮尺	図示	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	



1階平面図 S=1:50

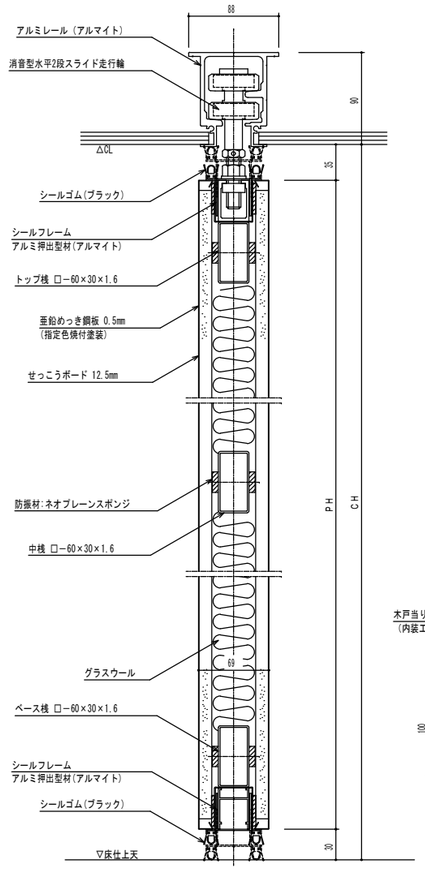
※印 操作口化粧プレート取付側



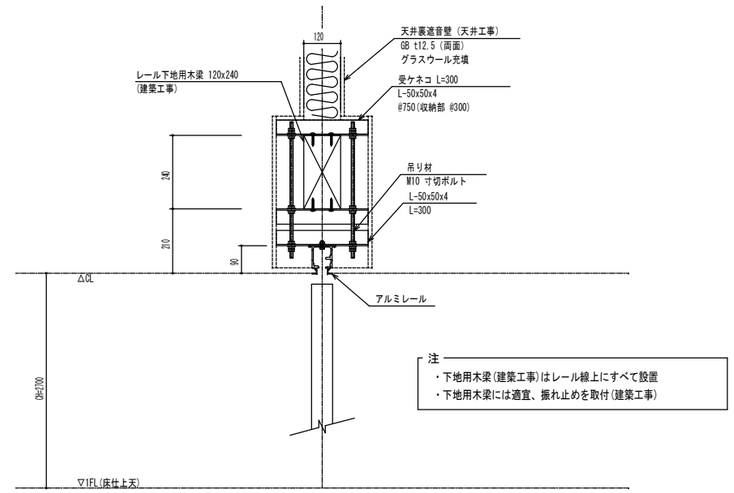
展開図 S=1:50

スライディングウォール 厚み69mm(60D)

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (指定色焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃業時分別可能)・・・環境対応型	

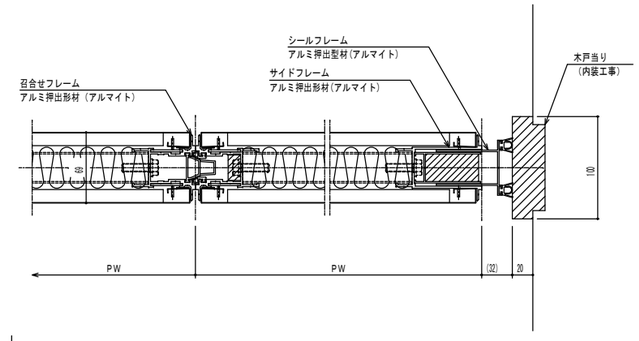


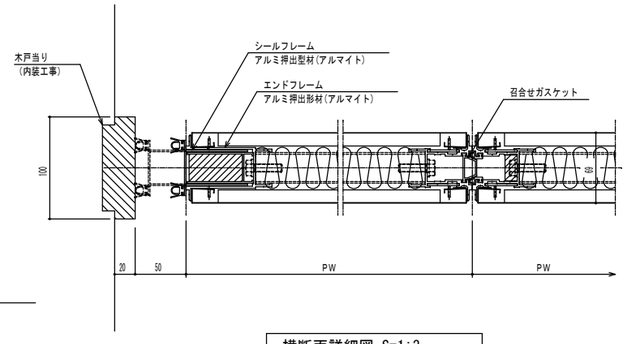
縦断面詳細図 S=1:3



注
・下地用木梁(建築工事)はレール線上にすべて設置
・下地用木梁には適宜、振れ止めを取付(建築工事)

レール取付断面図 S=1:10





横断面詳細図 S=1:3

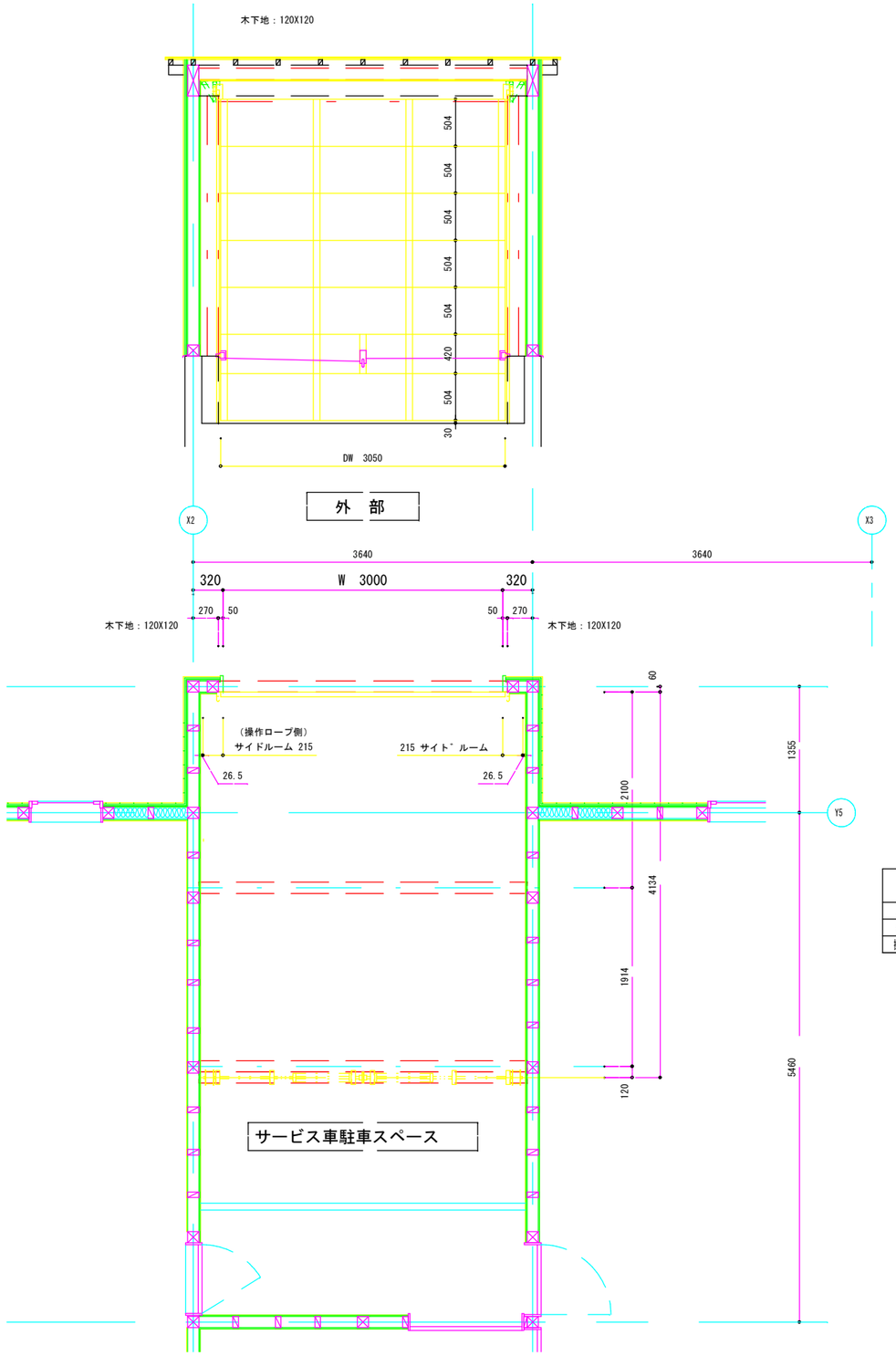
<スライディングウォール 厚み69mm> (60D)

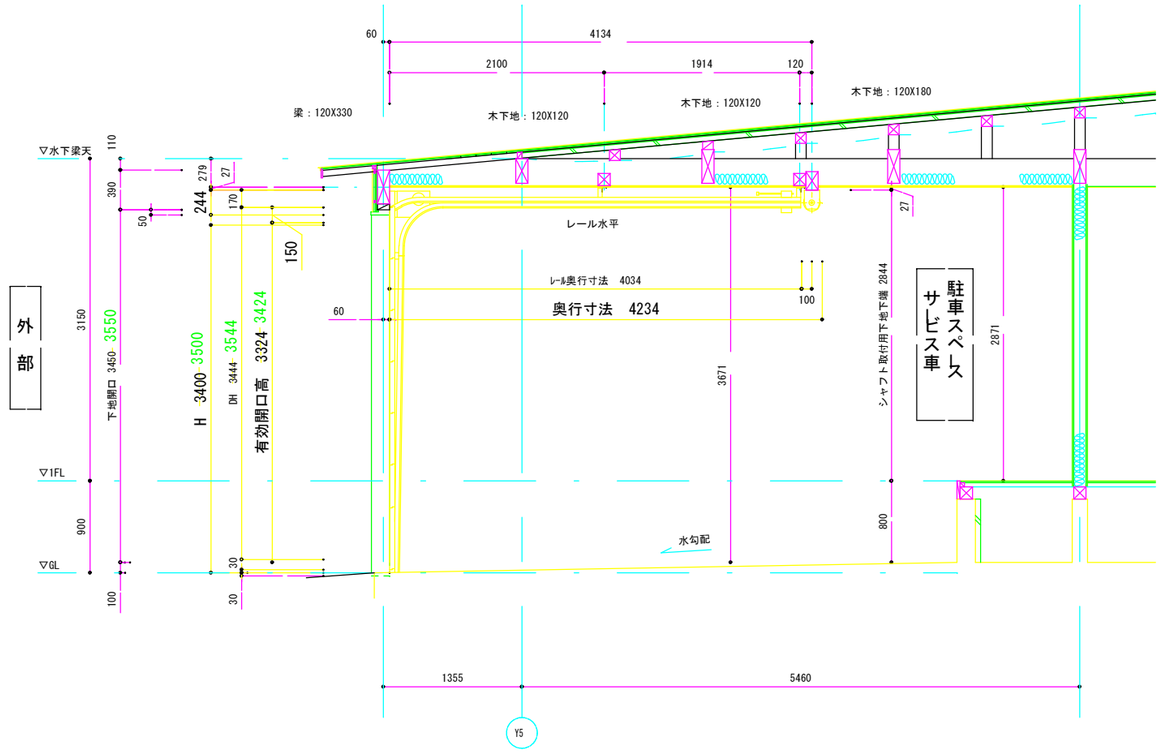
特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	–	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-33
図面名称	部分詳細図２			縮尺 A1:図示	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

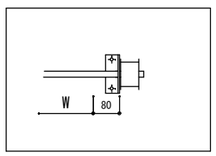
20171209-97090B





重量スライダー		耐風圧性能 750 Ｐａ		備 考
パネル	ｱﾙﾐ（AL）	色	ｱｰｸﾃｯｸﾎﾜｲﾄ	明窓：なし
納まり	ﾛｰﾍｯﾄﾞ形（LH-A）	ウェザー	H型（WS=30mm）	三方枠：錆止塗装
操作方法	ﾊﾟﾗﾝｽ式	レール・アングル	ｵｰﾙｽﾁｰﾙ	「錠はゴール製」のみ

質疑内容	1．各部寸法、納まり、ご確認願います。 2．構造図無しで作図しています。 構造材寸法、位置、ご確認願います。
御回答	



※一液型ウレタン塗料はシャッターには不適合です。
樹脂及びゴム等の接触面が付着により軟化したり、塗膜が剥離・変色します。

□当社標準錆止め塗料サンプライマー１回塗り
※本サビ止め塗料は「アルキド樹脂塗料」です。
現地上塗り塗装は下記塗料にて塗装願います。

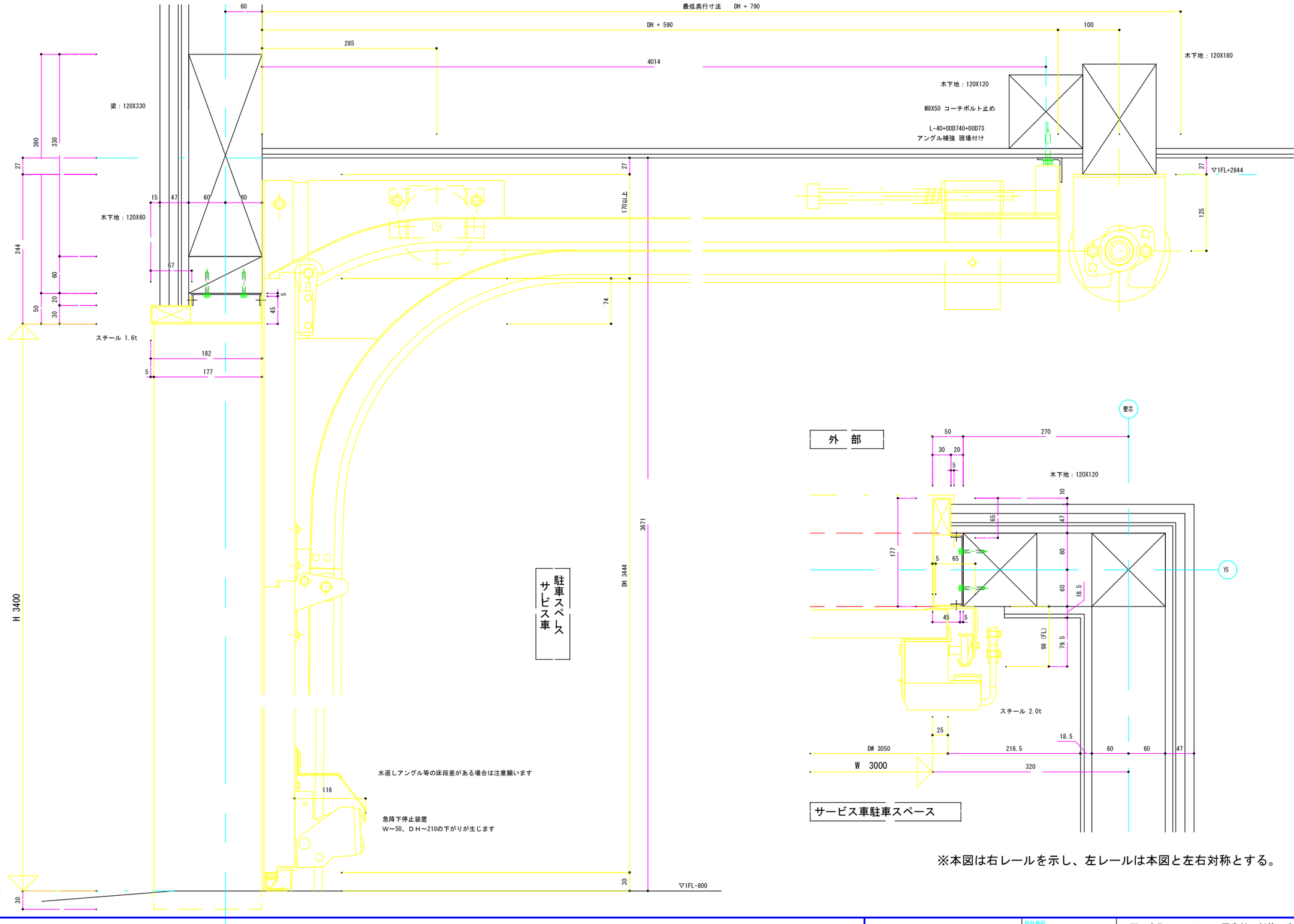
下塗り塗装（当社）	適合する上塗り塗装（当社外工事）		
	塗料種別	日本工業規格	官庁記号
当社標準錆止めサンプライマー	合成樹脂調合ペイント塗料	JIS K 5516	SOP
	フタル酸樹脂エナメル塗料	JIS K 5572	FE

OSD 1

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-34
図面名称	部分詳細図３（ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ詳細１）			縮尺 図示	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	**	



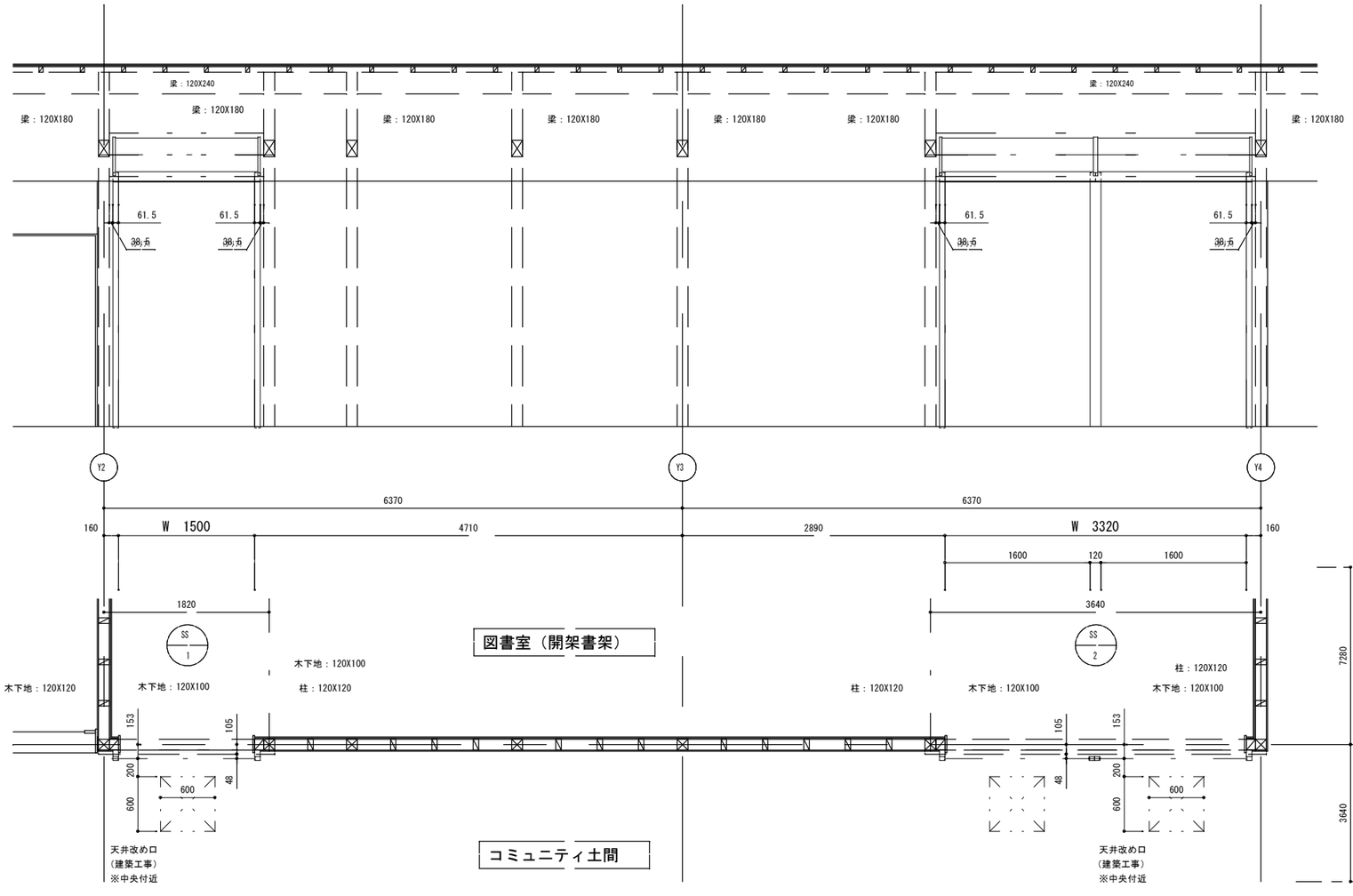
※本図は右レールを示し、左レールは本図と左右対称とする。

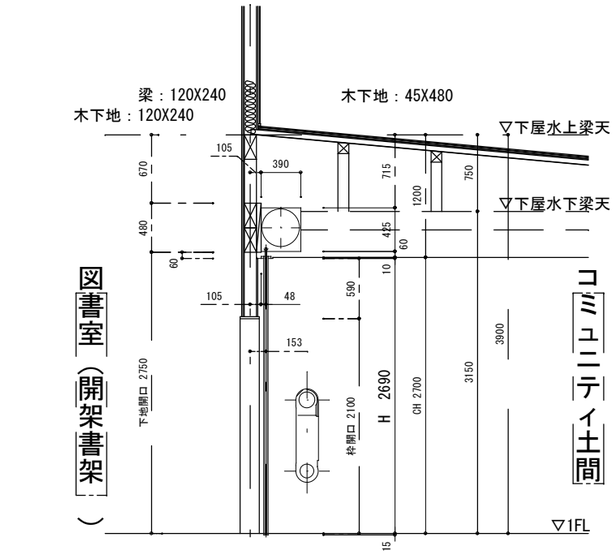
OSD 1

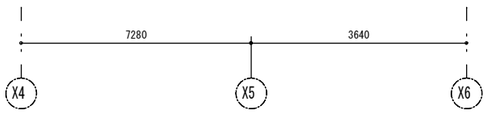
特記事項：

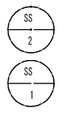
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 A-35
図面名称	部分詳細図４（ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ詳細２）			縮尺	図示
所長	丹羽雅人	担当	丹羽雅人	作成者	丹羽雅人	作成日	通し番号 ＊＊
						他	









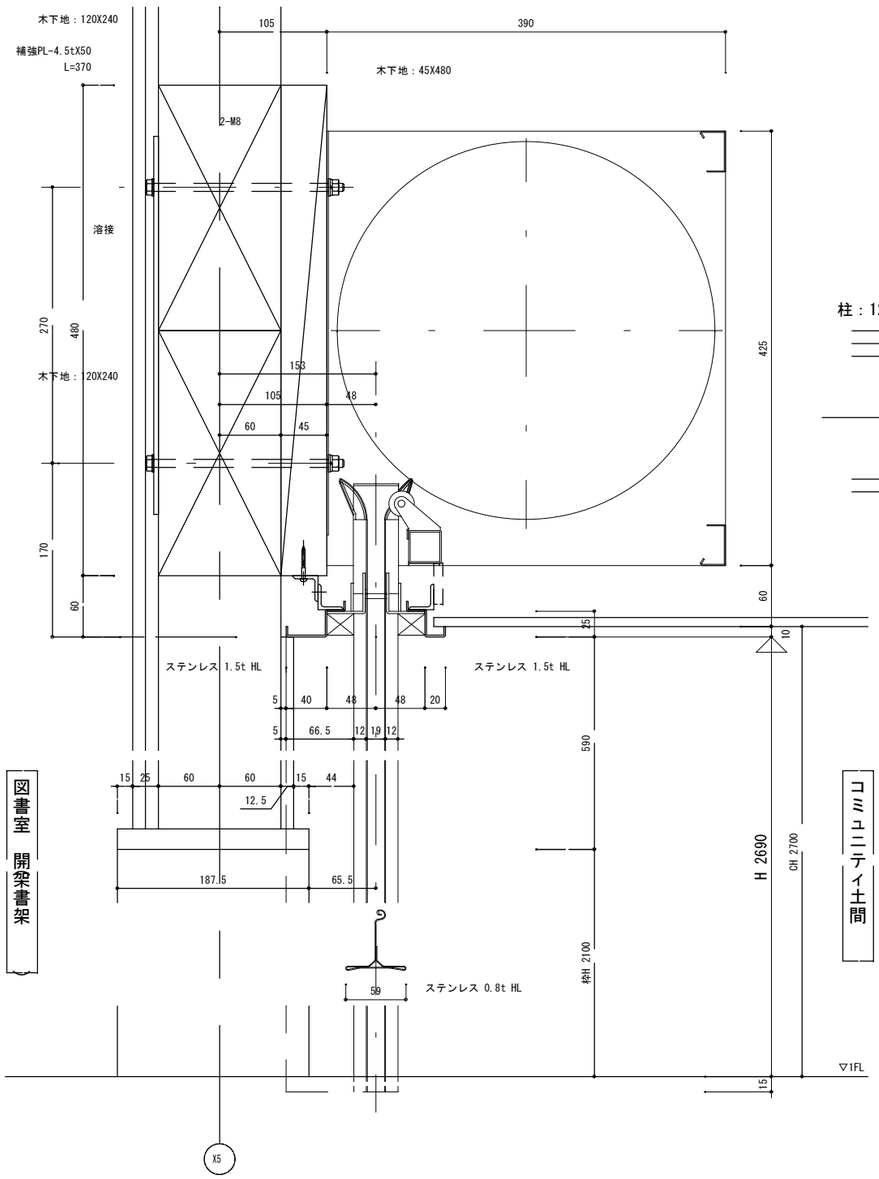
軽量バランス式グリルシャッター

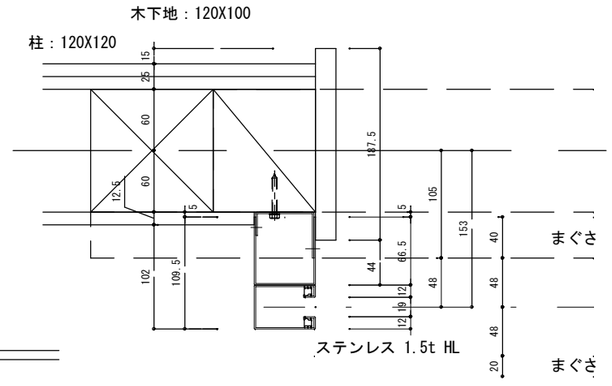
スラット	PSN13B	ステンレス13WU+0306	開閉機		電源		設計範囲
座板		ステンレス	巻取シャフト	175WU+0306	備考		
ガイドレール		ステンレス	軸受	駆 No.3			
まぐさ		ステンレス		従 No.3			
ケース			押ボタン				

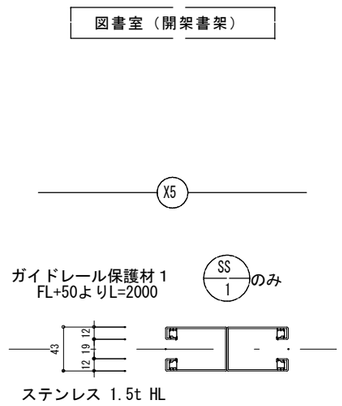
特記事項：

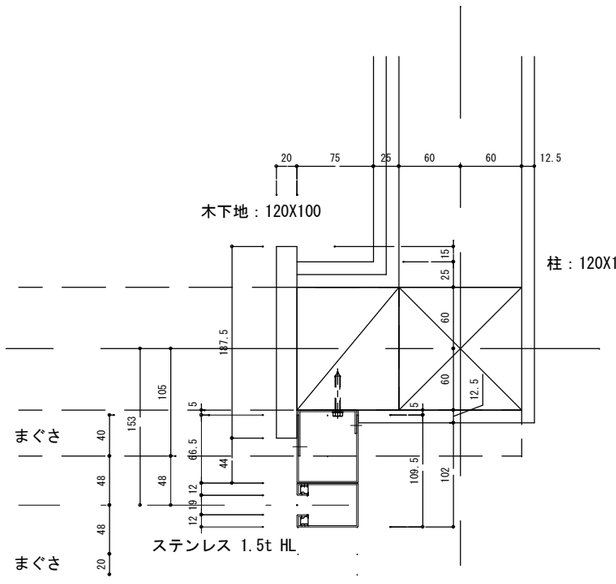
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

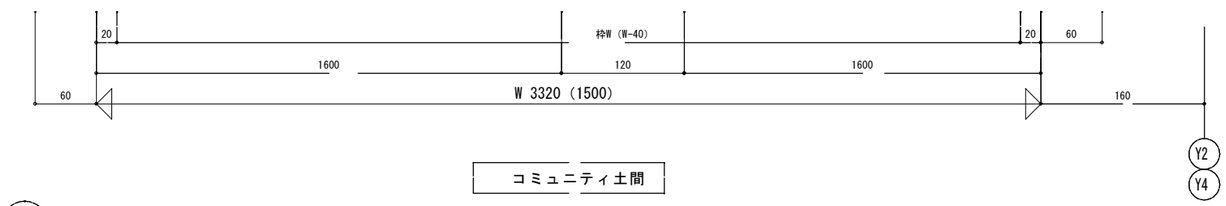
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事		種別 A-36
図面名称	部分詳細図５（ﾊﾟｲﾌﾟｼｬｯﾀｰ図１）		縮尺 図示	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	＊＊

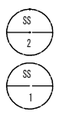










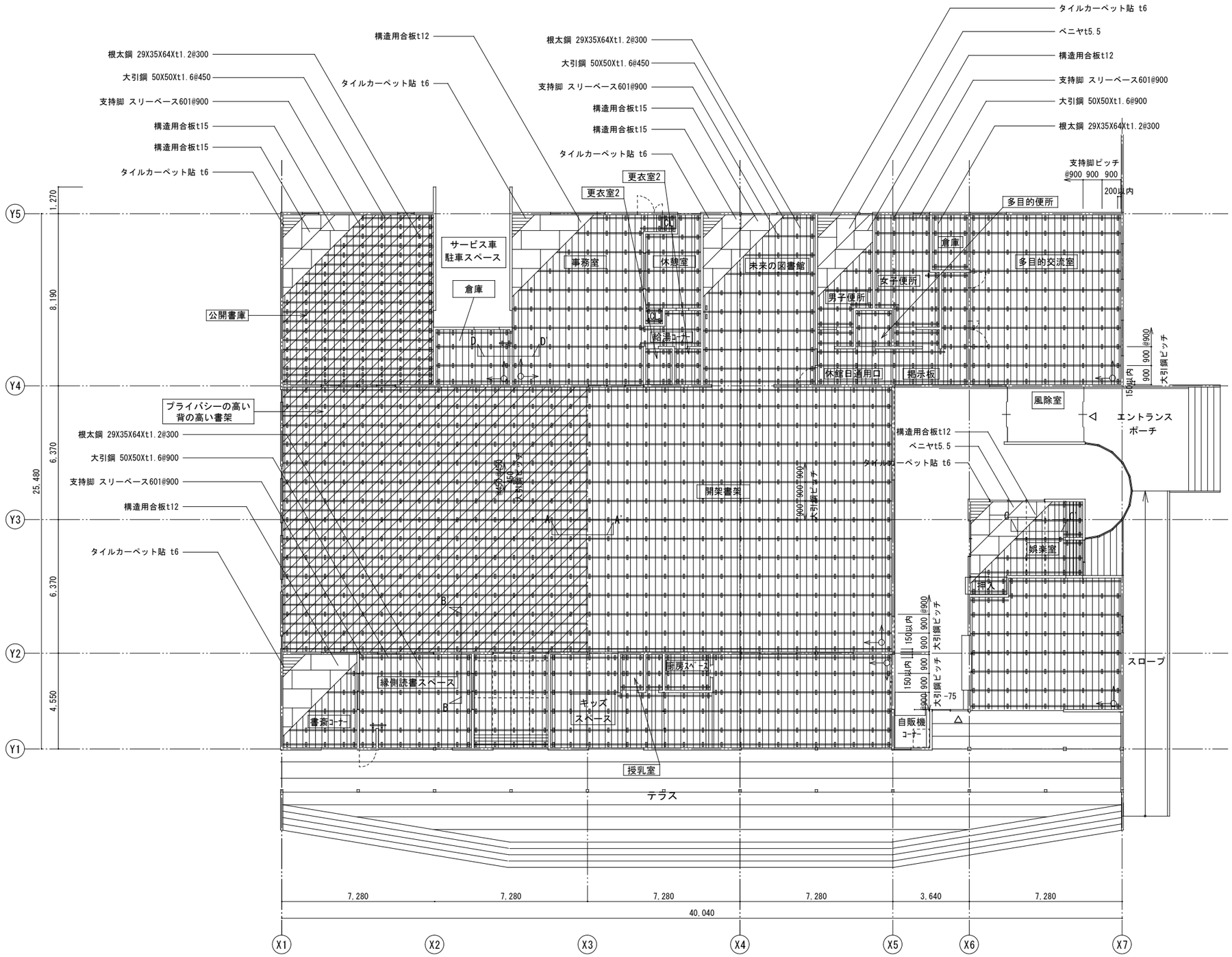


※詳細図は施工図で監理者に確認の上施工のこと

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 A-37
図面名称	部分詳細図６（ﾊﾟｲﾌﾟｼｬｯﾀｰ図２）			縮尺 図示	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**



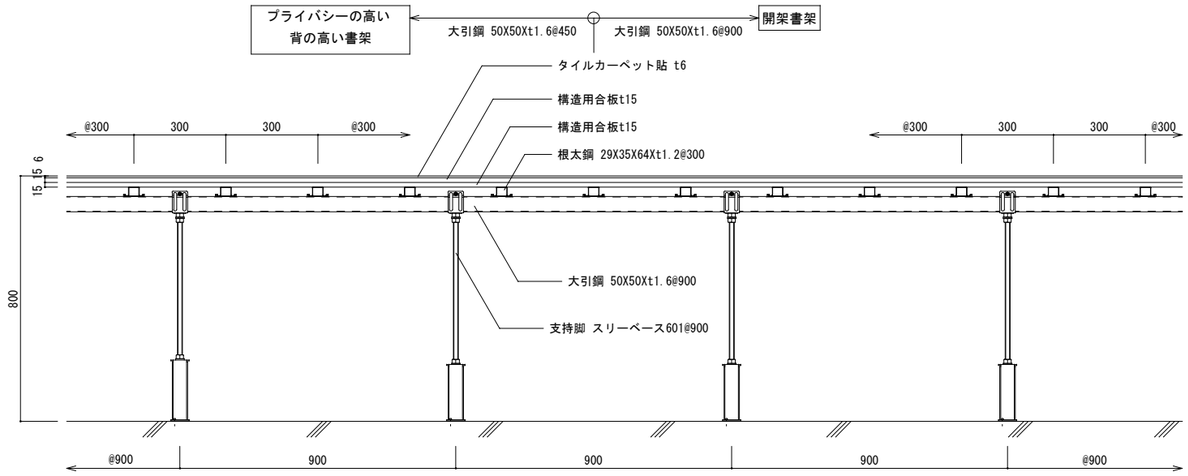
鋼製床組割付図 S=1/100

室 名	休憩室・給湯ｺｰﾅｰ・更衣室1,2・女子便所 多目的便所・休館日通用口・掲示板・多目的交流室 縁側読書スペース・授乳室・厨房ｽﾍﾟｰｽ・キッズ	H=250
仕上げ	タイルカーペット貼 t6	
捨 張	ベニヤt5.5	
	構造用合板t12	
根太鋼	29X35X64Xt1.2@300	
大引鋼	50X50Xt1.6@900	
支持脚	スリーベース601@900	

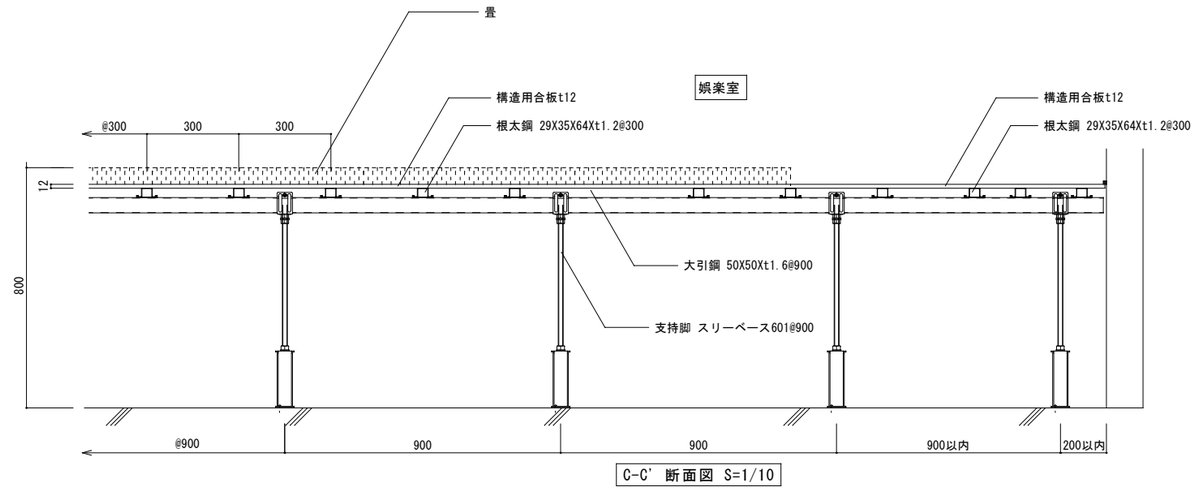
特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

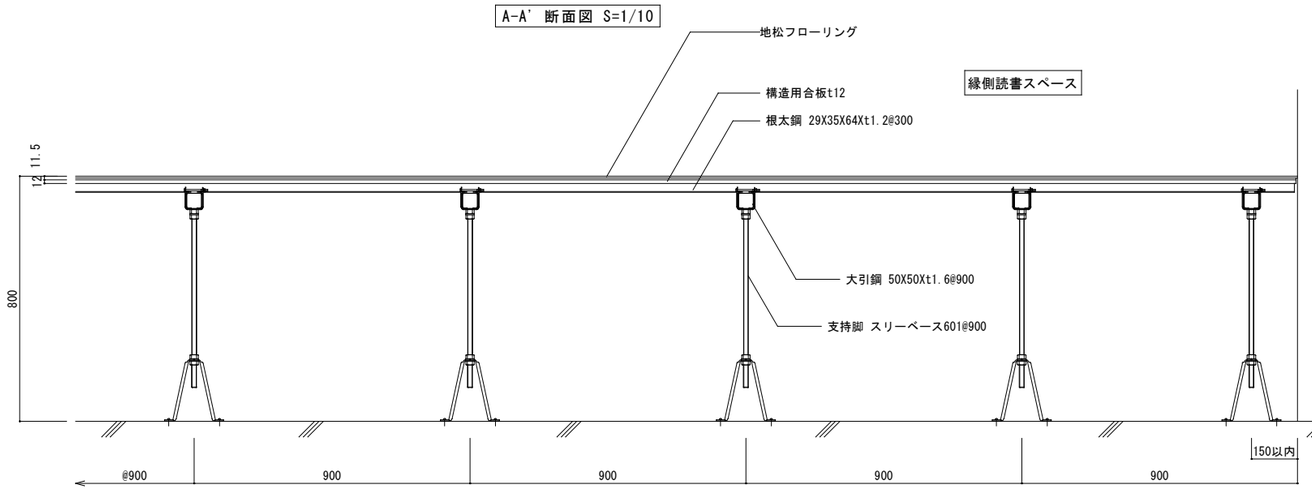
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事		種別 A-38
図面名称	部分詳細図７（鋼製床組割付図 ）		縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人	他	＊＊

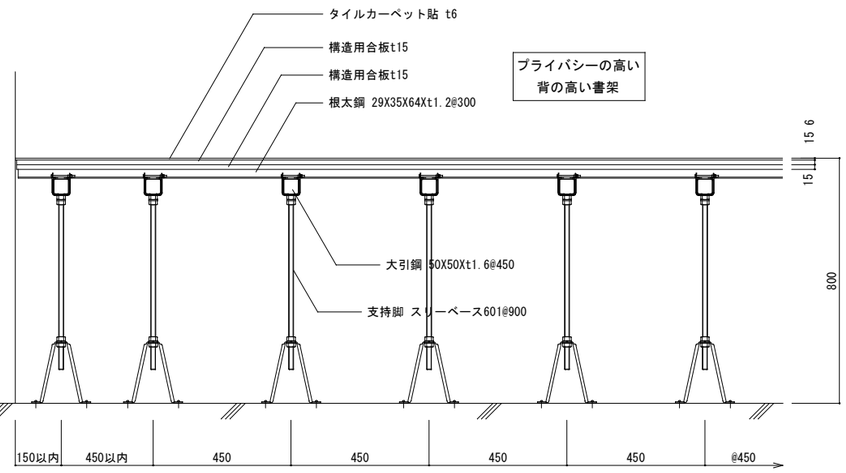


A-A' 断面図 S=1/10

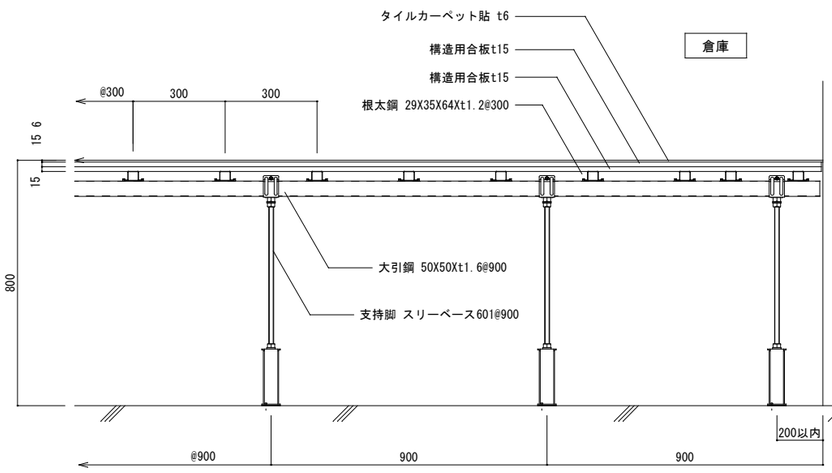


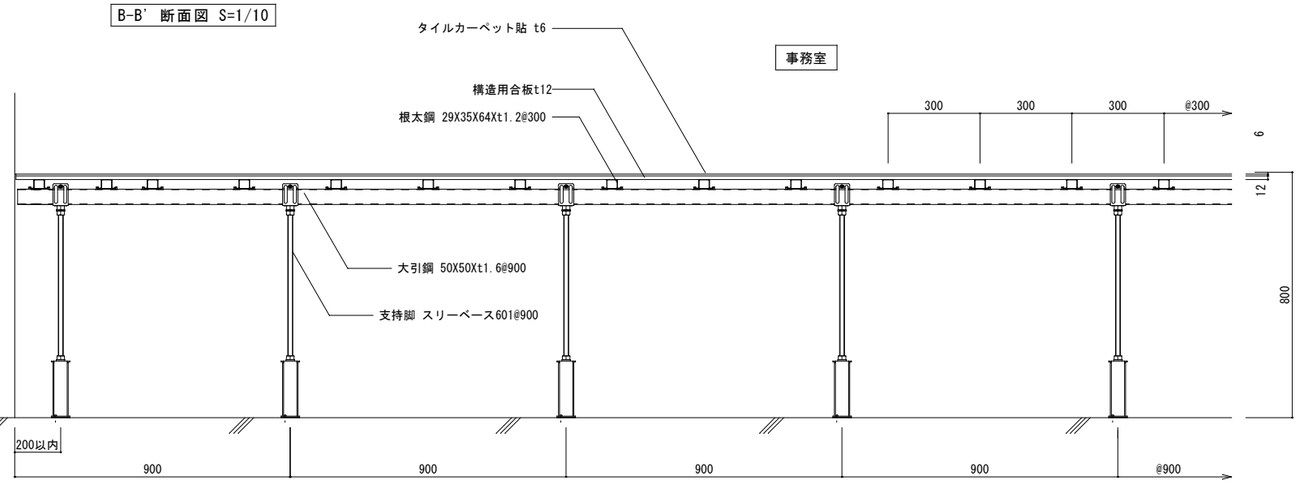
C-C' 断面図 S=1/10





B-B' 断面図 S=1/10





D-D' 断面図 S=1/10

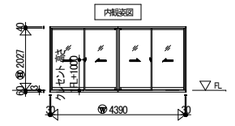
特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

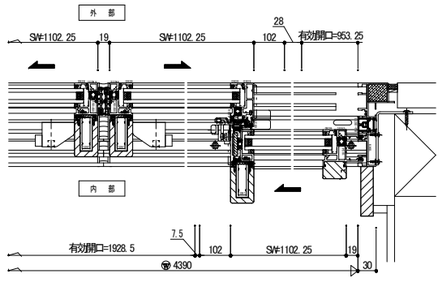
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館 基本設計			種別 A-39
図面名称	部分詳細図８（鋼製床組断面図）			縮尺 1:10	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

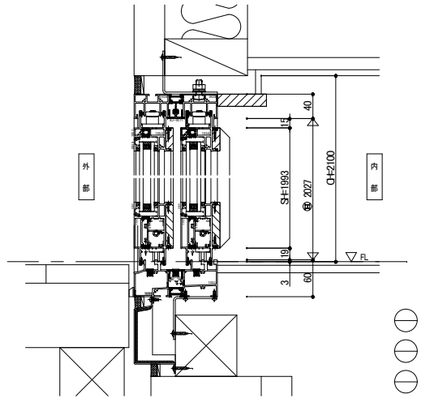
アルミ・木　複合サッシ詳細図　ＡＷ－４

１：１０



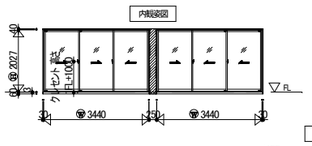
スリム超大型断熱窓ワイドネス	
耐風圧性	2400pa(S-5)
仕上げ	外部アルミ材：二次電解着色塗装複合皮膜　Al 標準色
	内部集成材：広葉樹集成材(ウレタン塗装)（F☆☆☆☆）
形　式	断熱材：グラスファイバー入りポリアミド樹脂
	嵌合：加締め方式 （ PA66GF25）
ガラス	FL5+A6+FL5 （ ガラス工事）

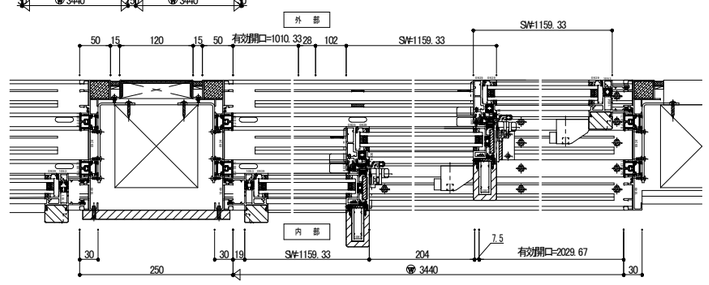


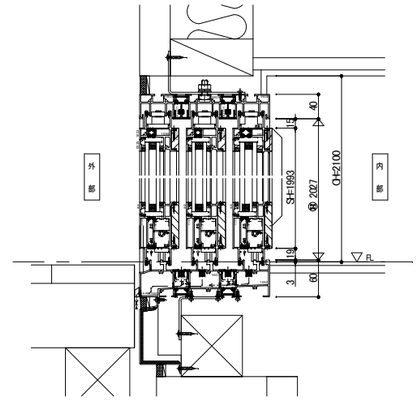


アルミ・木　複合サッシ詳細図　ＡＷ－５

１：１０





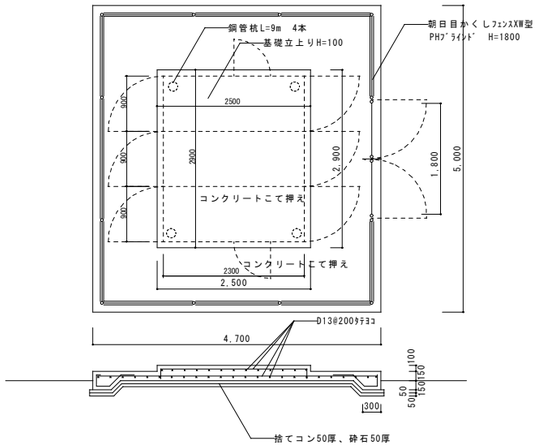


特記事項：設計協力　株式会社ニュースト

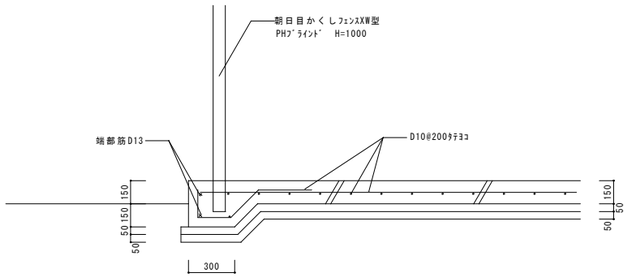
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別
図面名称	部分詳細図９			縮尺 －	A-40
所長	担当	作成者	作成日	他	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人			＊＊

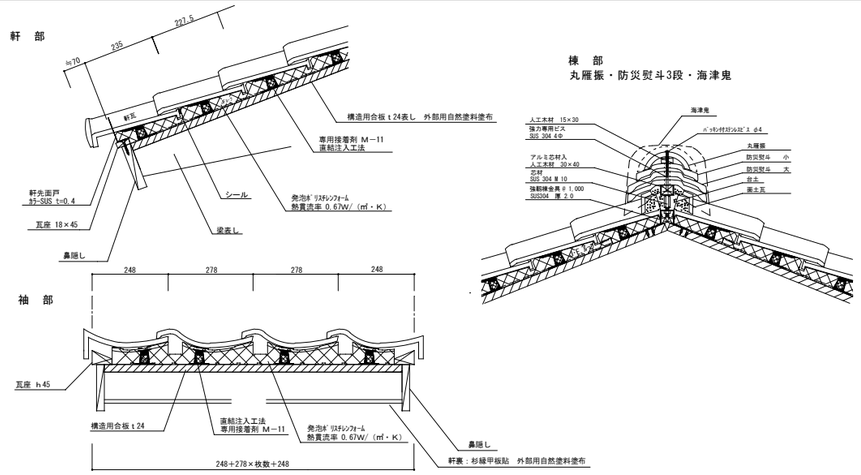
キュービクル基礎　1:50



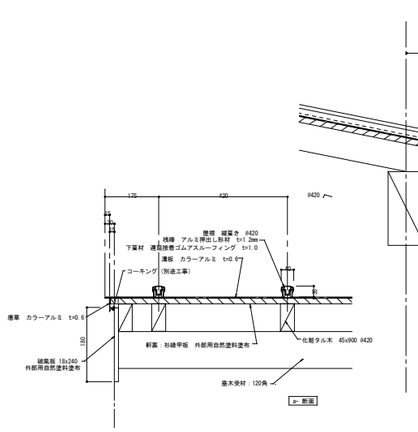
その他設備基礎　1:20



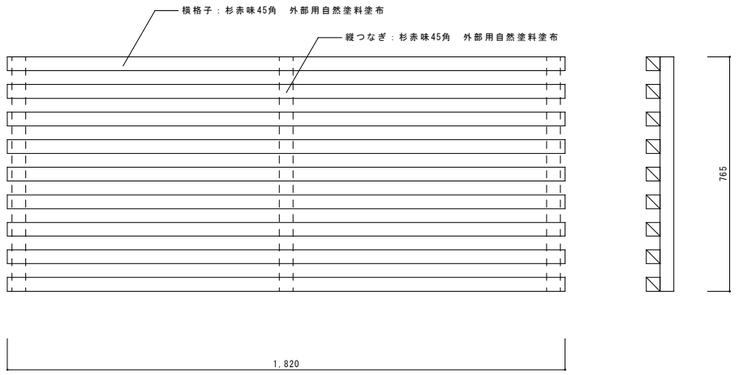
瓦屋根部分端部詳細図　1:10



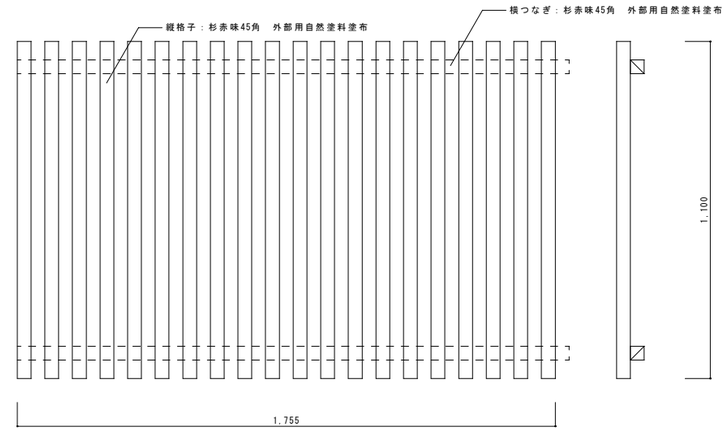
アルミ屋根部分端部詳細図　1:50



木製ルーバー詳細図１（西面）　1:10

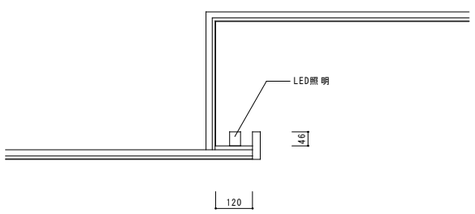


木製ルーバー詳細図２（南面上部）　1:10



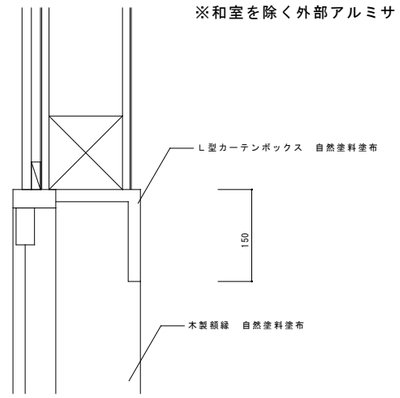
照明ボックス形状　1:10

※縁側スペースに設置



カーテンボックス詳細　1:5

※和室を除く外部アルミサッシ部分に設置

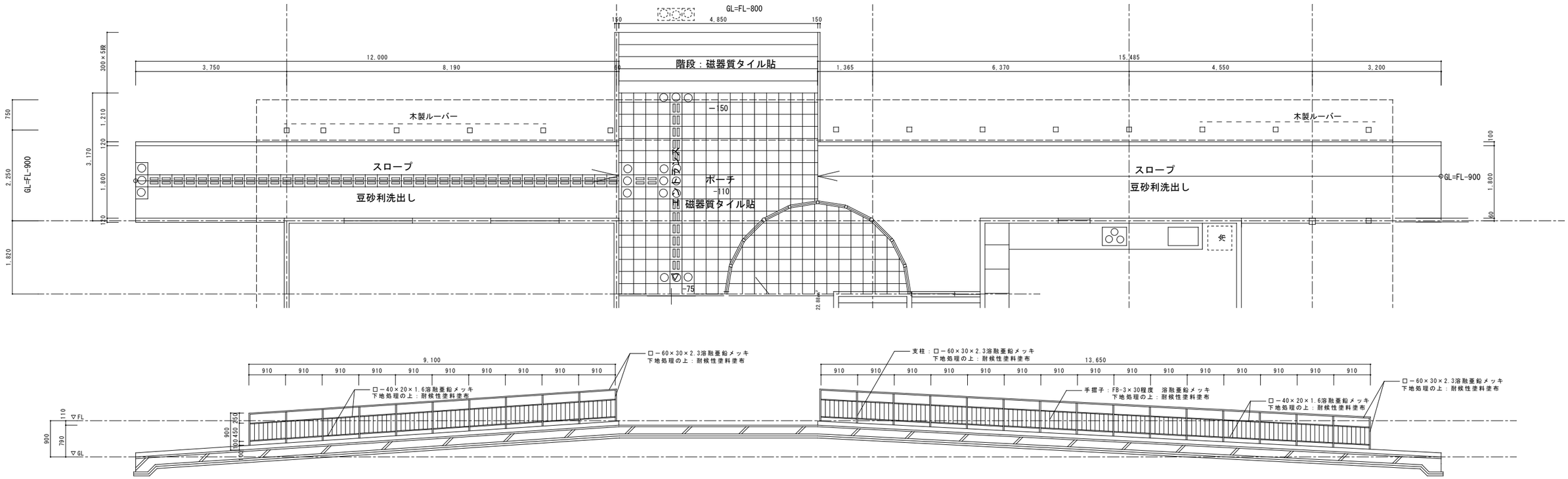


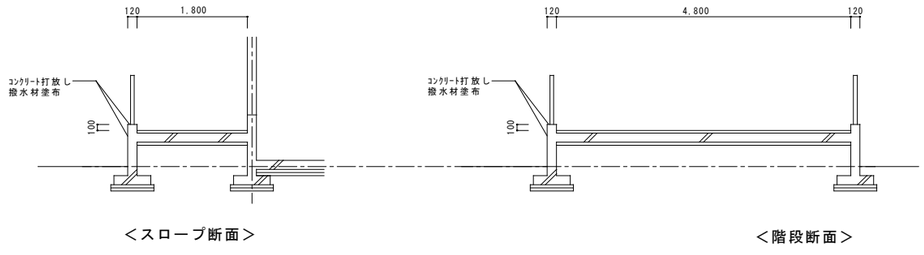
特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 A-41
図面名称	部分詳細図10			縮尺 1:50	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人			**
			他		

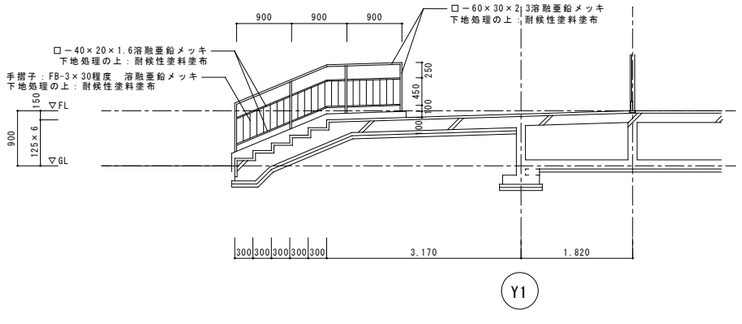
玄関スロープ・階段詳細図　1:50





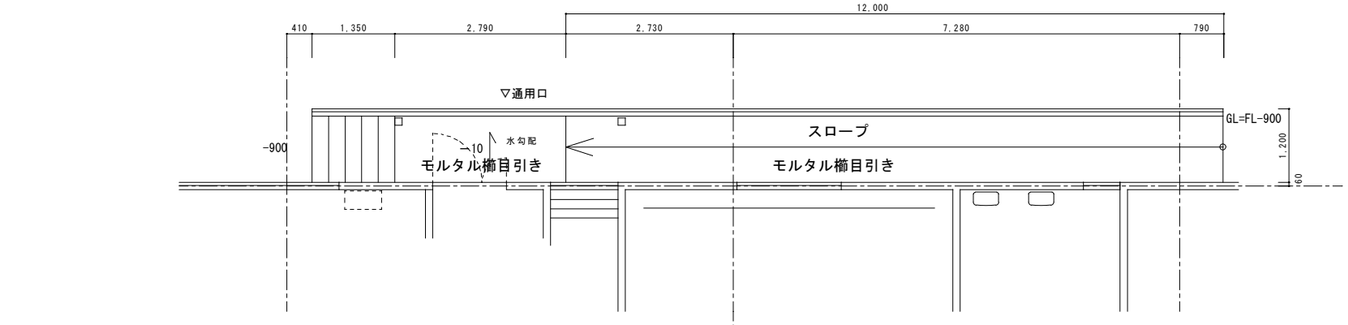
＜スロープ断面＞　＜階段断面＞

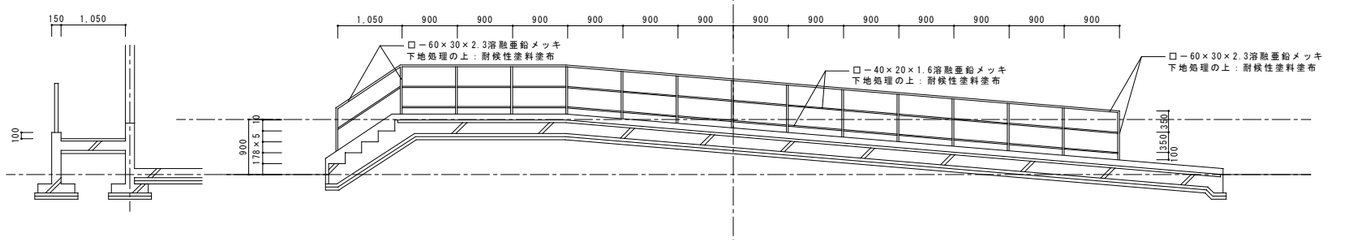
※　手すりは階段左右両側に設置



Y1

通用口階段・スロープ詳細図　1:50



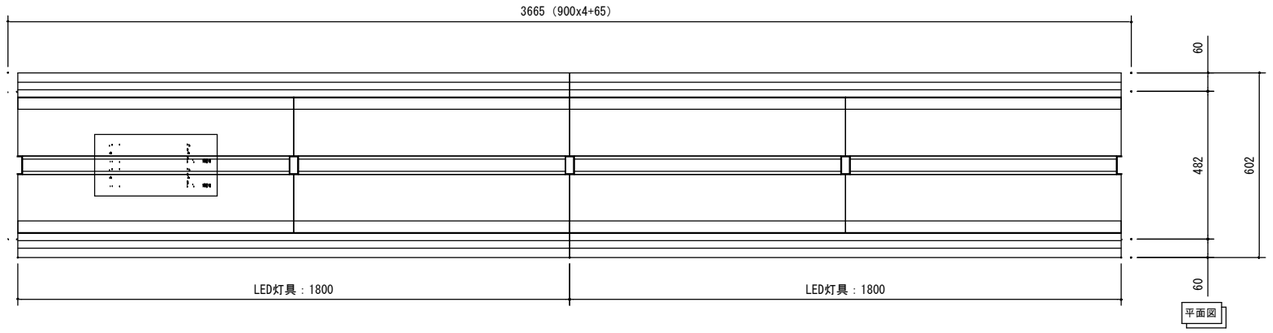


特記事項：

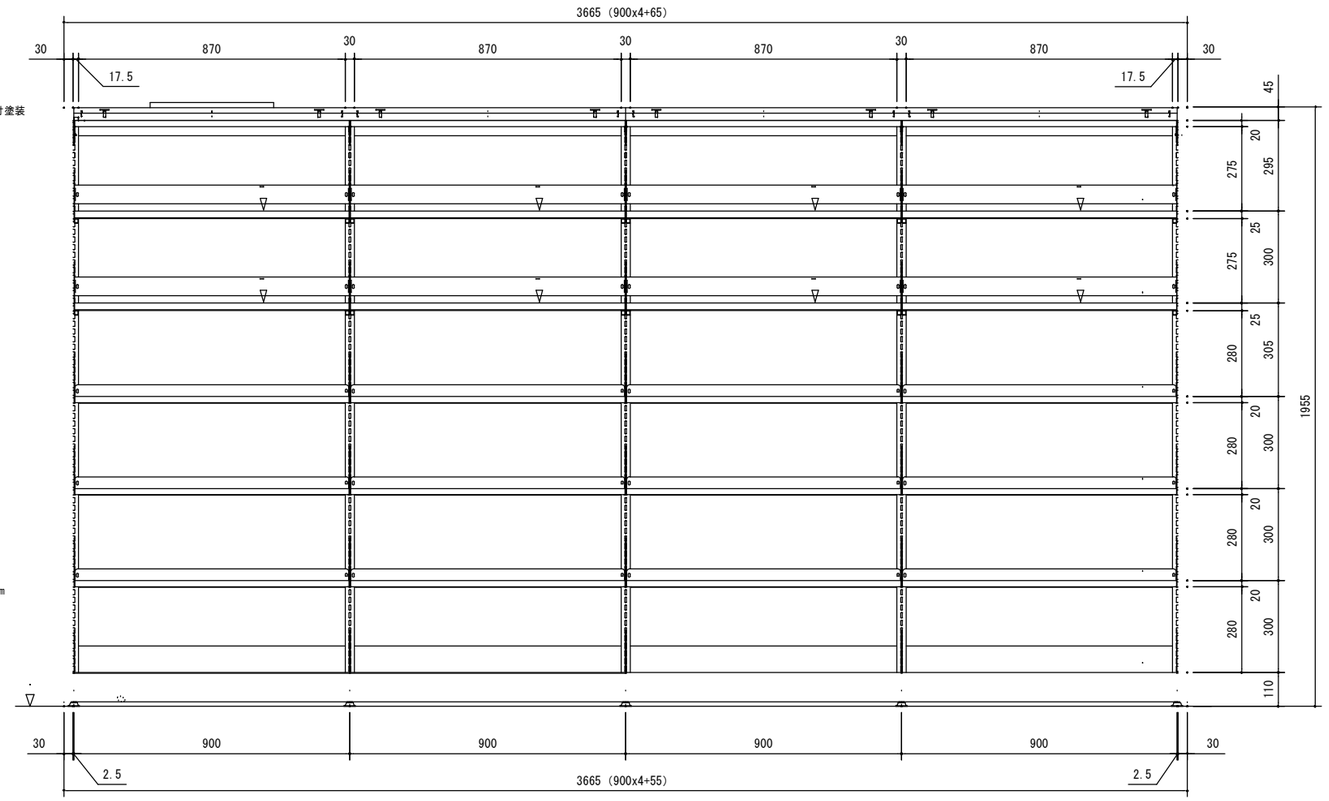
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824　岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 A-42
図面名称	部分詳細図11		縮尺	1:50	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

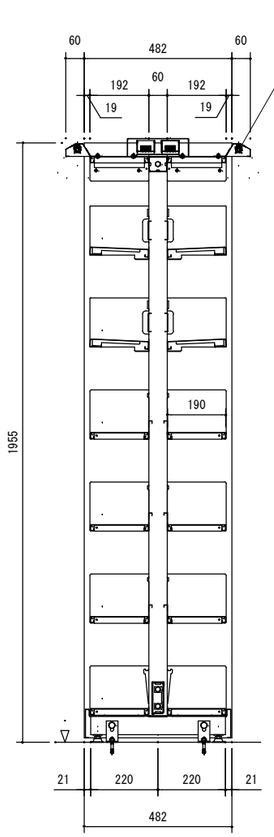
型式：LBA 364-197WOR／D2
付属品：背受、LED灯具、スチール巾木
地震対策：傾斜スライド棚板（5・6段目）、床固定
※側板は、メーカー工事ではなく、現場での大工工事にて取付



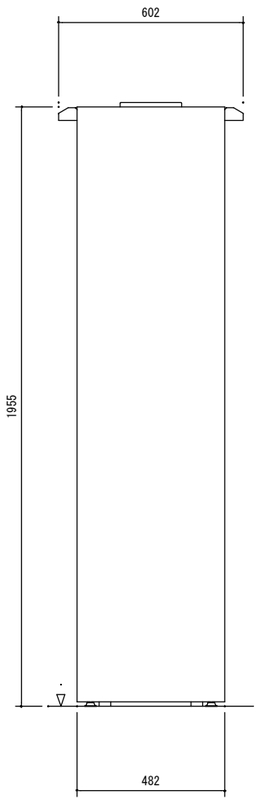
平面図



正面図



側面断面図

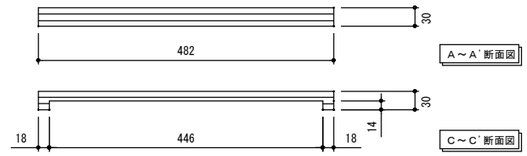


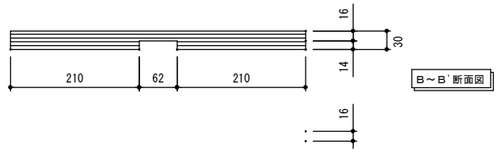
側面図

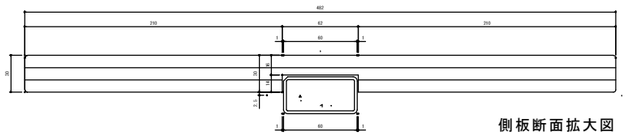
設計協力：金剛、DAIKO

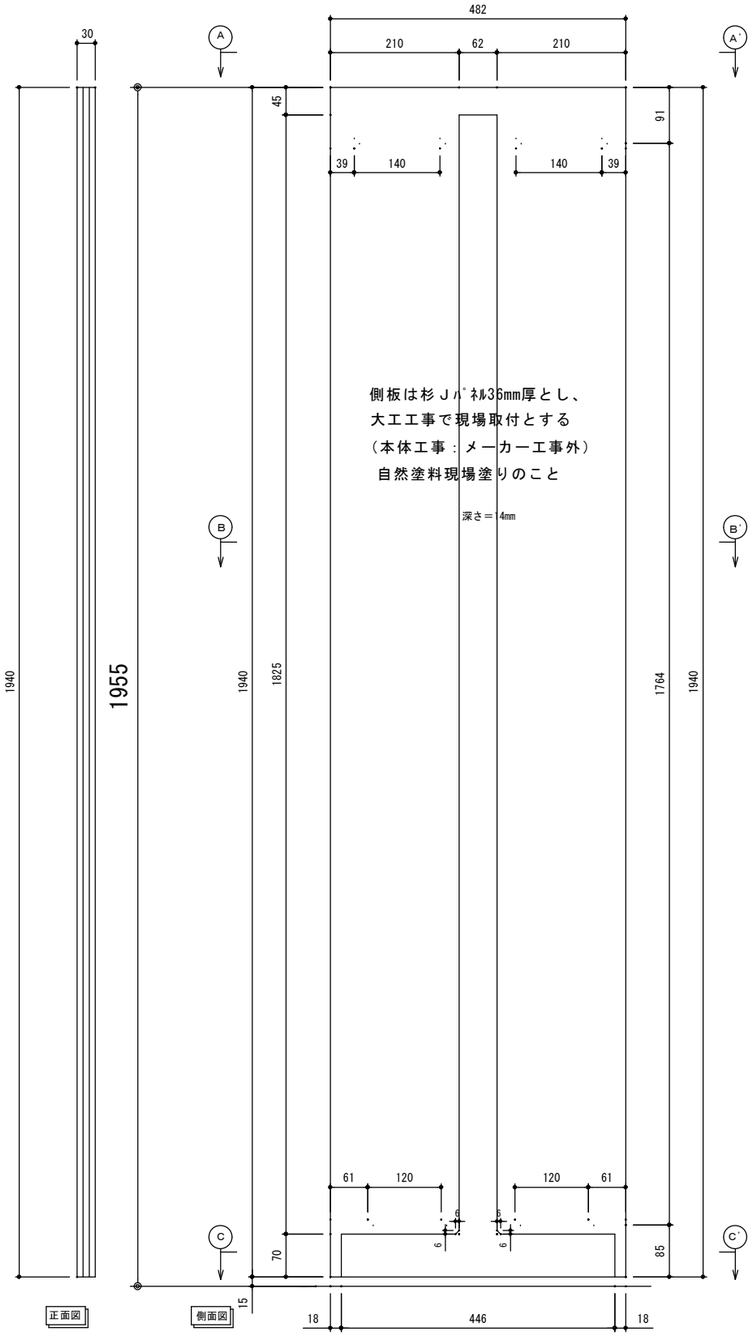
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

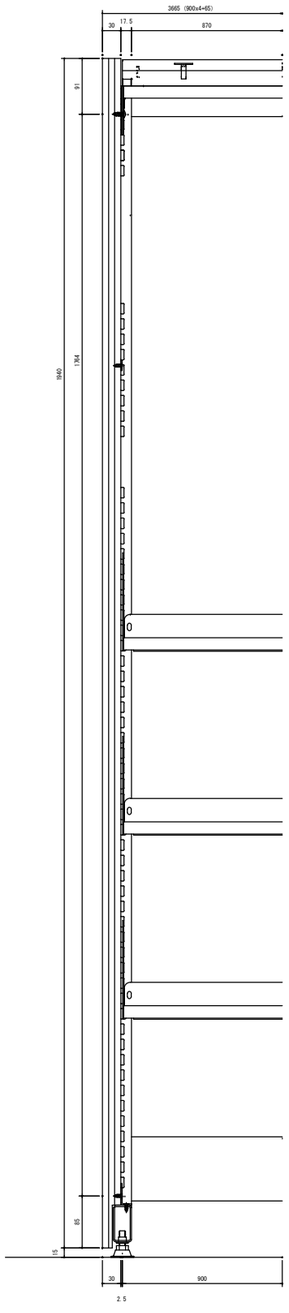
設計番号	―	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別	A-43
図面名称	既製書架図 1		縮尺　1:10		
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者	作成日　―
					他　―
					通し番号

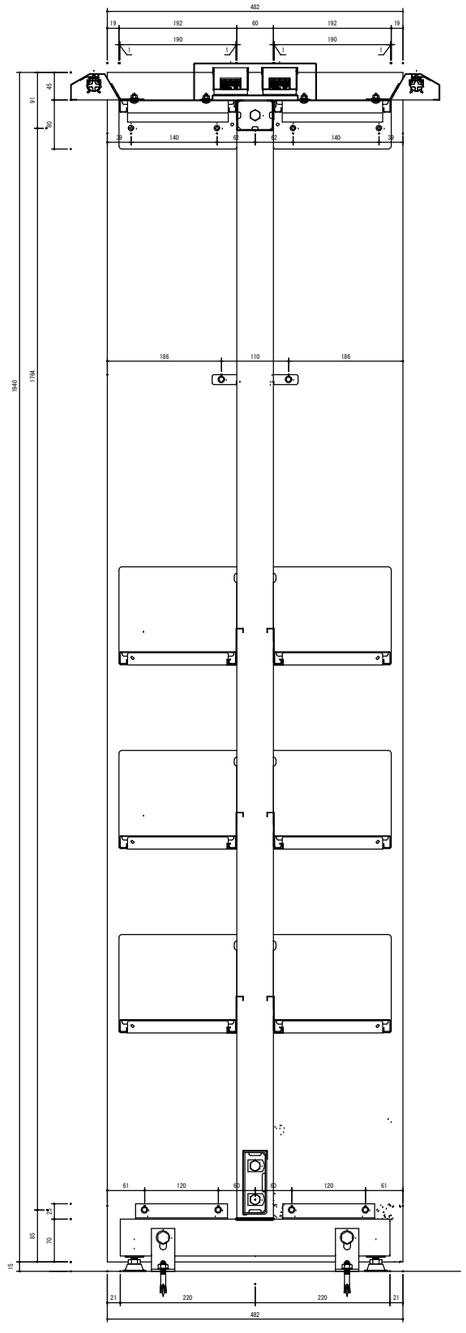








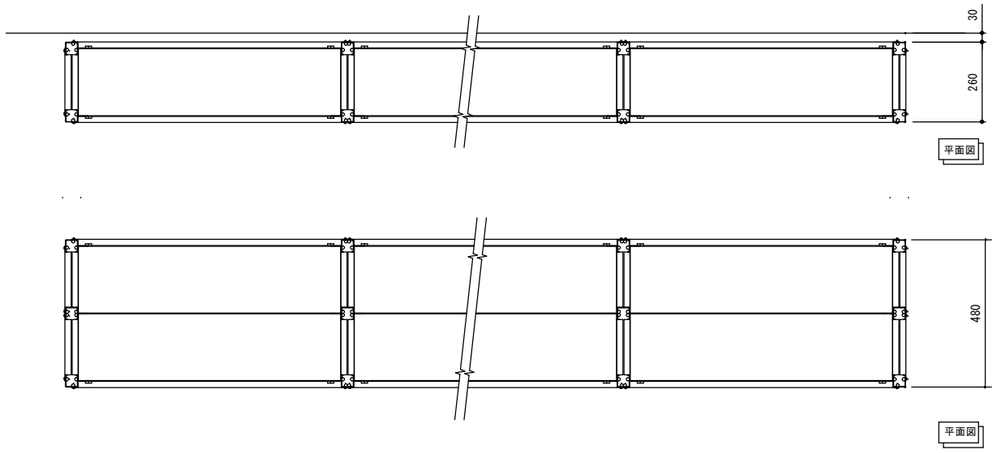




設計協力：金剛、DAIKO

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL. 086-226-1135

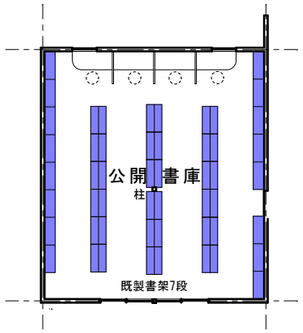
設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事	種別 A-44
図面名称	既製書架図 2		縮尺 —	
所長 丹羽英喜	担当 丹羽雅人	作成者	作成日 —	通し番号
			他 —	



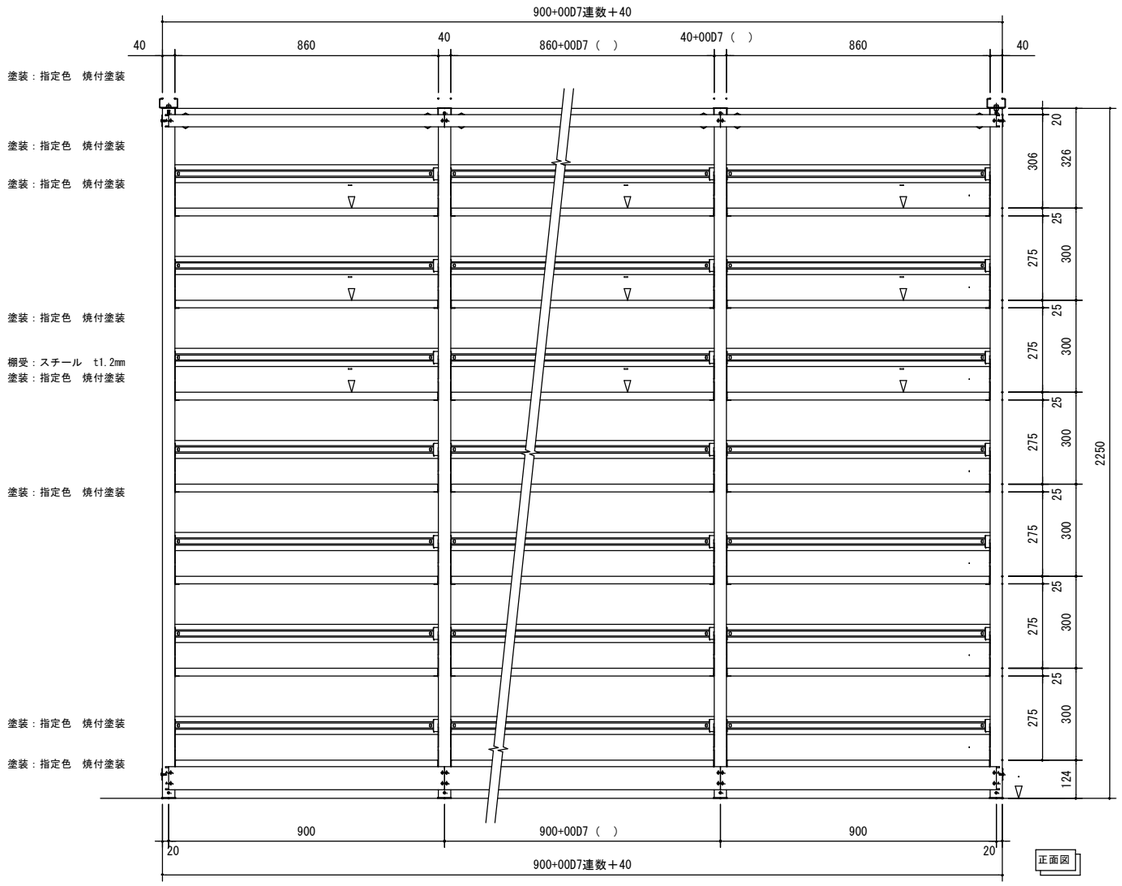
型式：KCJA 37X-268WOR／D3
KCJA 37X-268SOR／D3
X=連数（3連・4連・6連・7連）

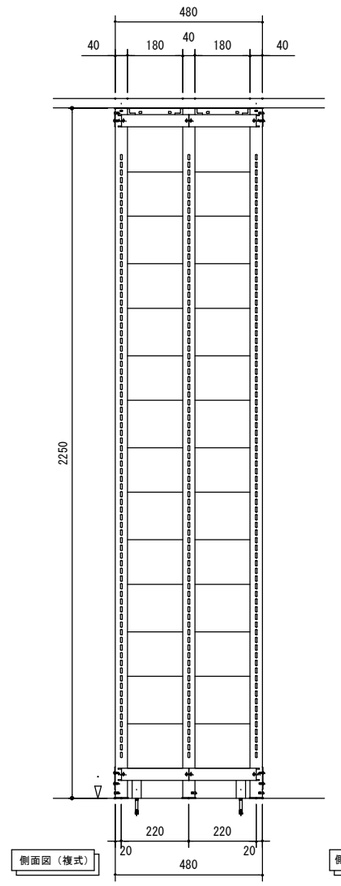
付属品：背受

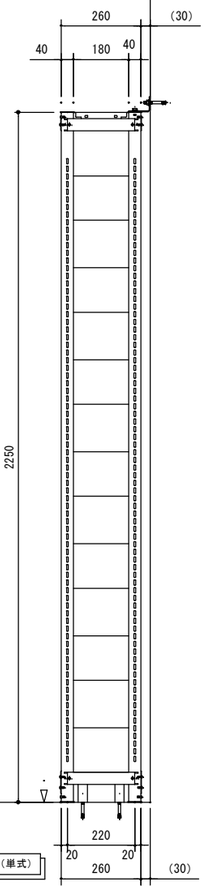
地震対策：傾斜スライド棚板(5/6/7段目)、床固定、壁固定、天つなぎ



配置平面図1:100





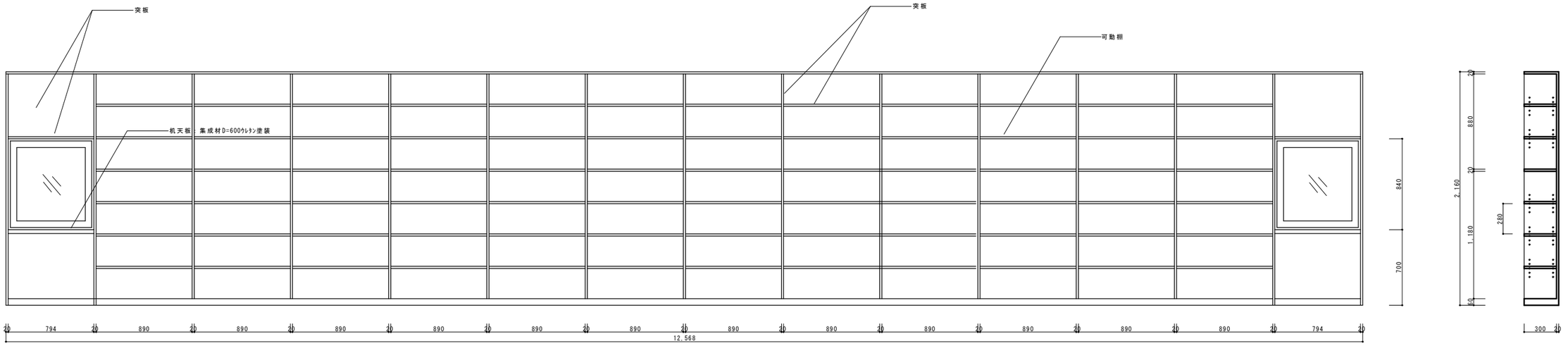


設計協力：金剛

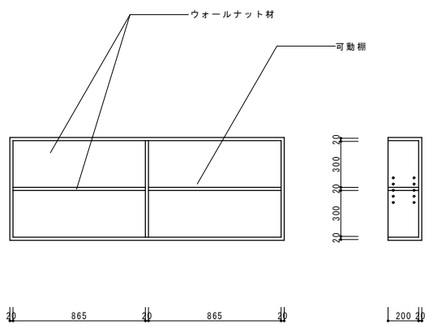
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別 A-45
図面名称	家具図 3		縮尺 —	
所長 丹羽英喜	担当 丹羽雅人	作成者	作成日 —	通し番号
			他 —	

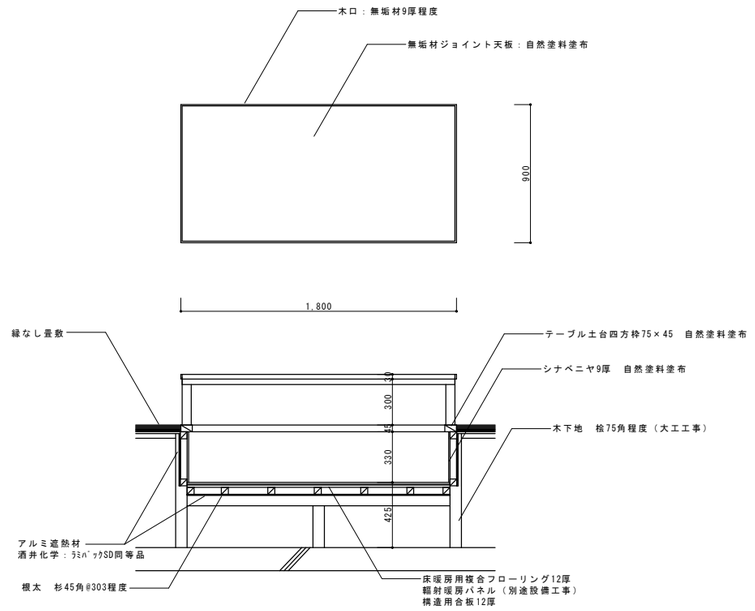
開架書架西面　壁面書架　1:20



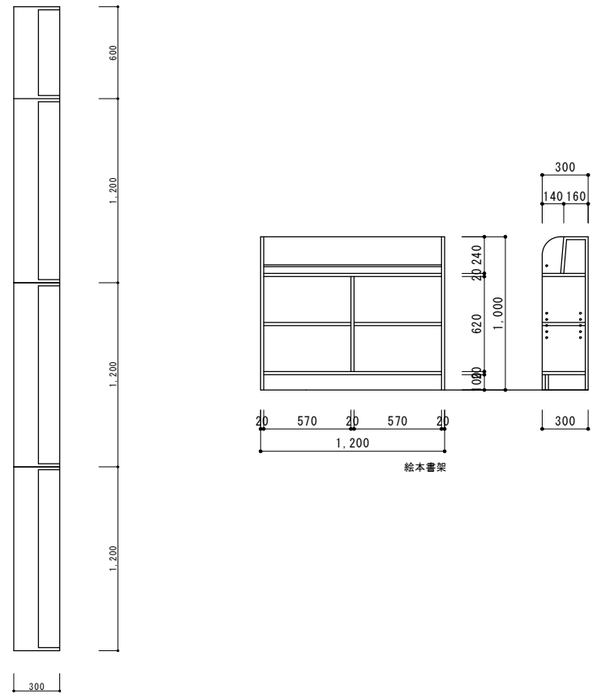
書斎コーナー　壁面書架　1:20



大掘こたつスペース　テーブル等詳細図　1:20



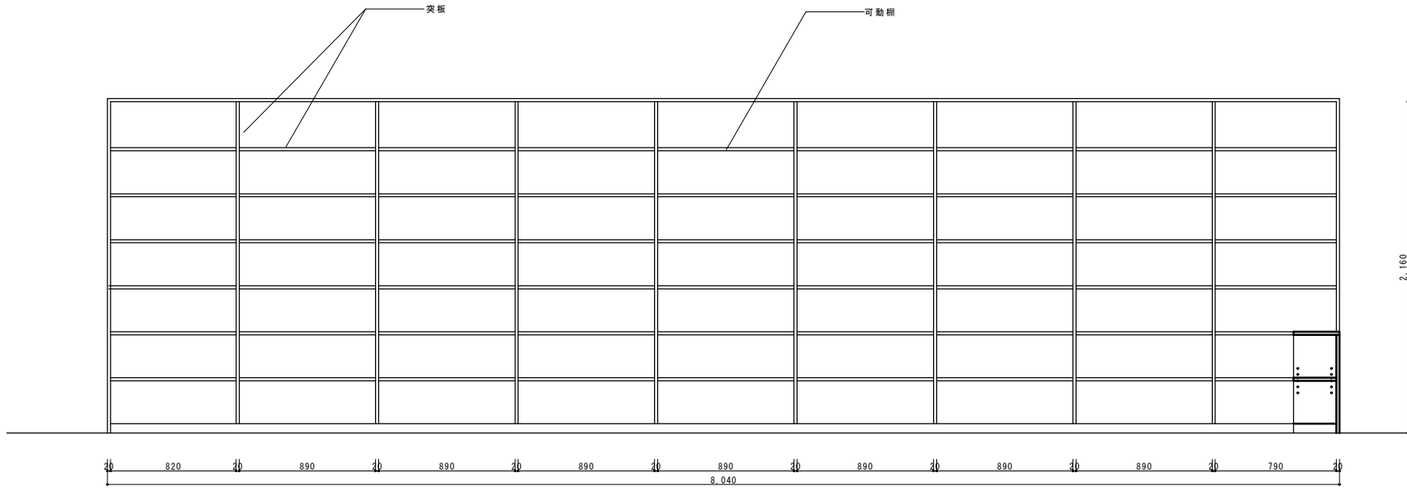
キッズスペース　絵本書架　1:20

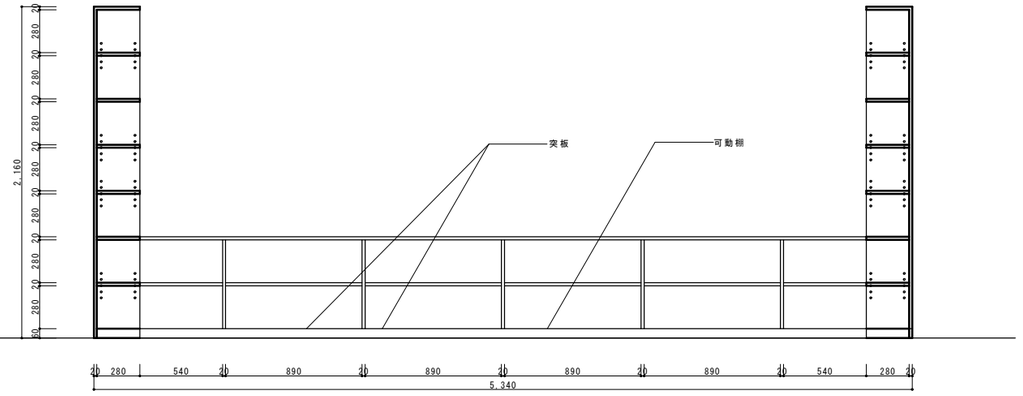


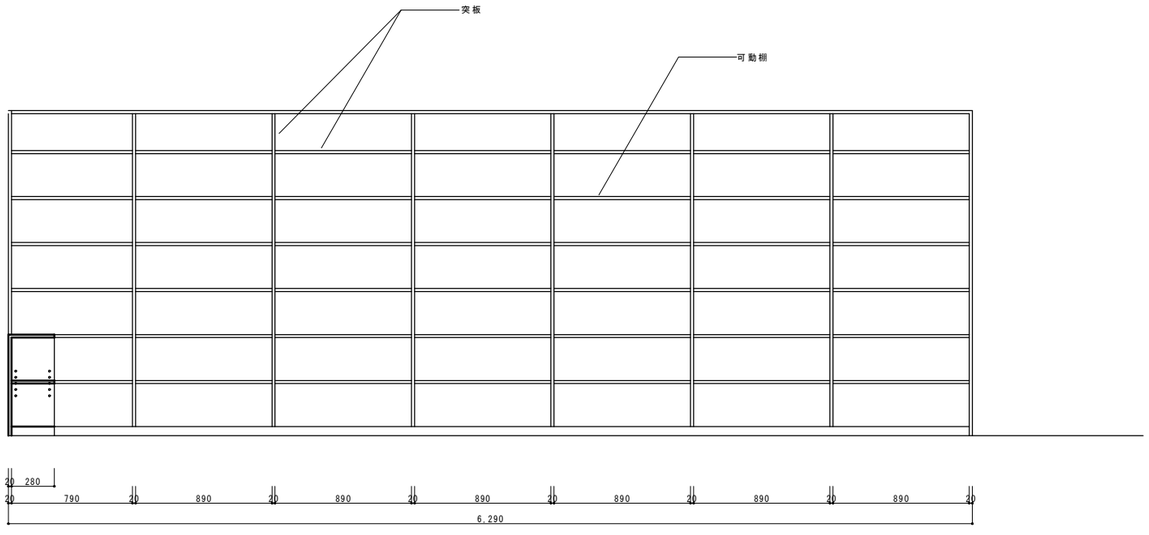
設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

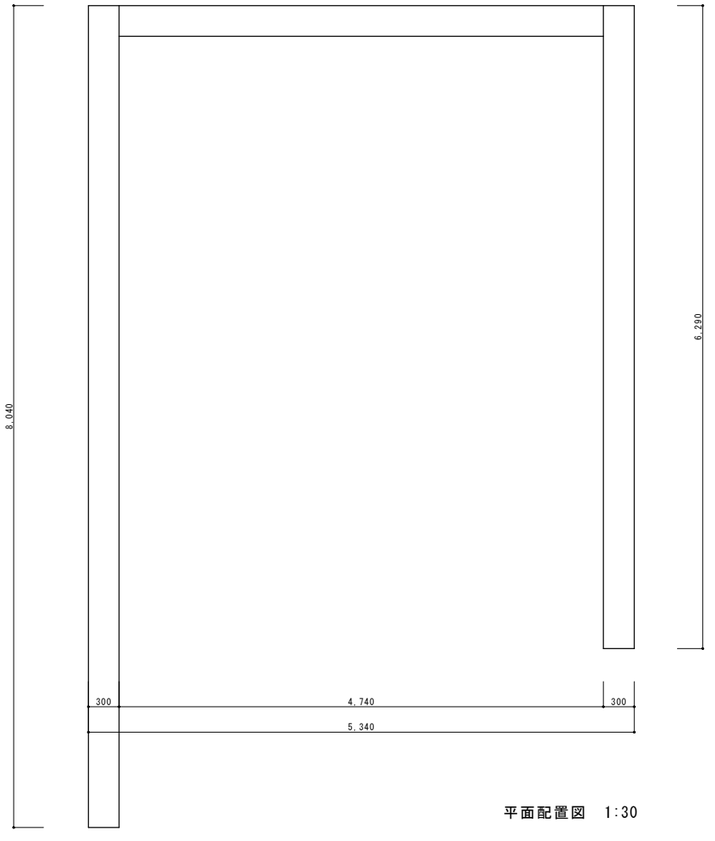
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別 A-46
図面名称	家具図4		縮尺 —	
所長	丹羽英喜	担当 丹羽雅人	作成者	作成日 —
				他 —
				通し番号









平面配置図　1:30

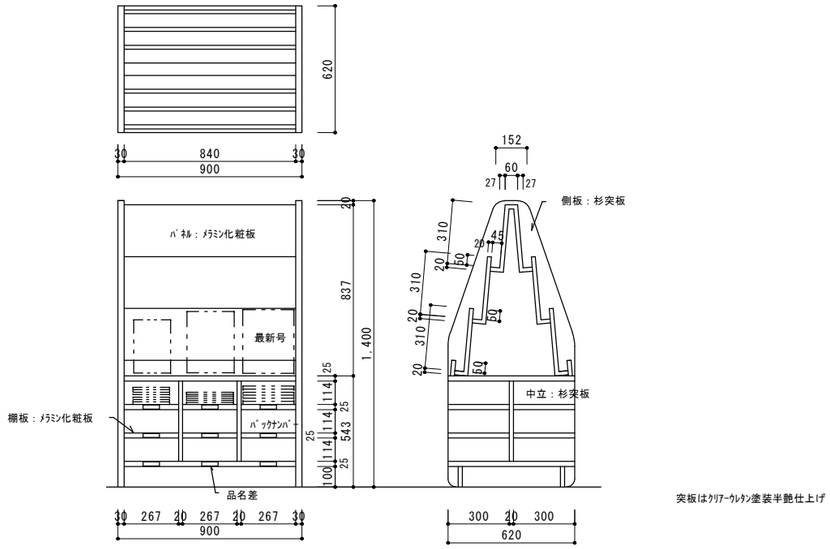
設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

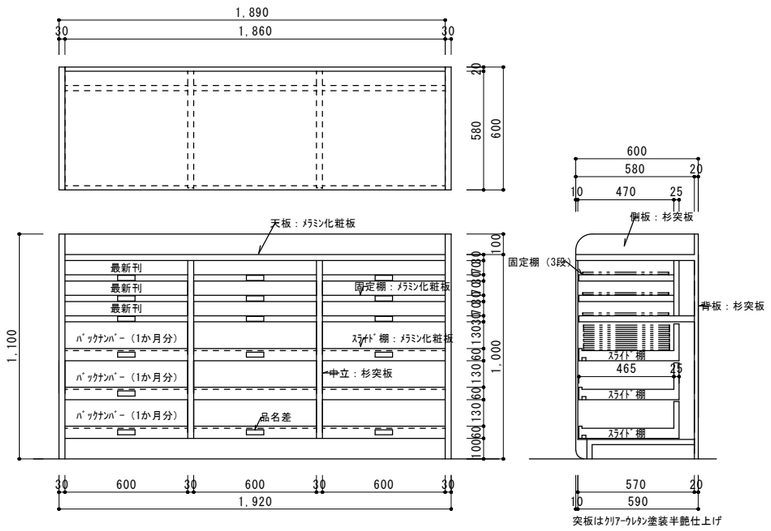
設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事	種別	A-47
図面名称	家具図5			縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者	
				作成日	—
				他	—
				通し番号	

雑誌用書架　1:10

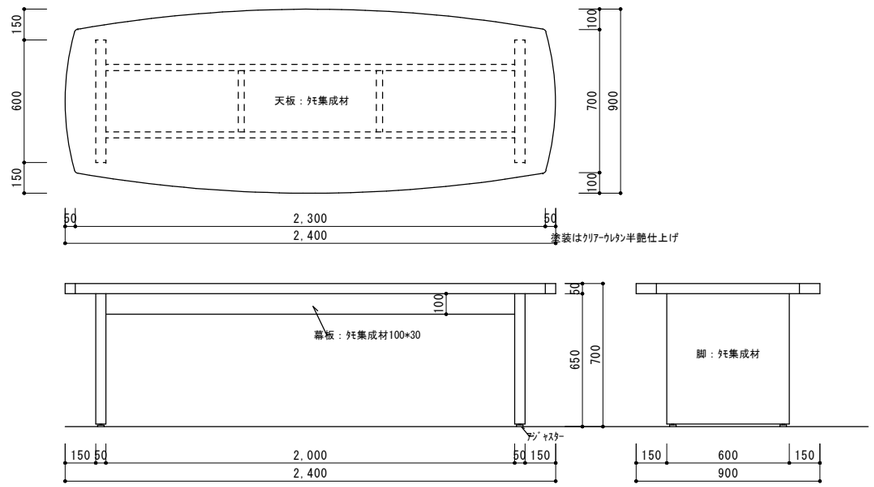
計２ヶ所



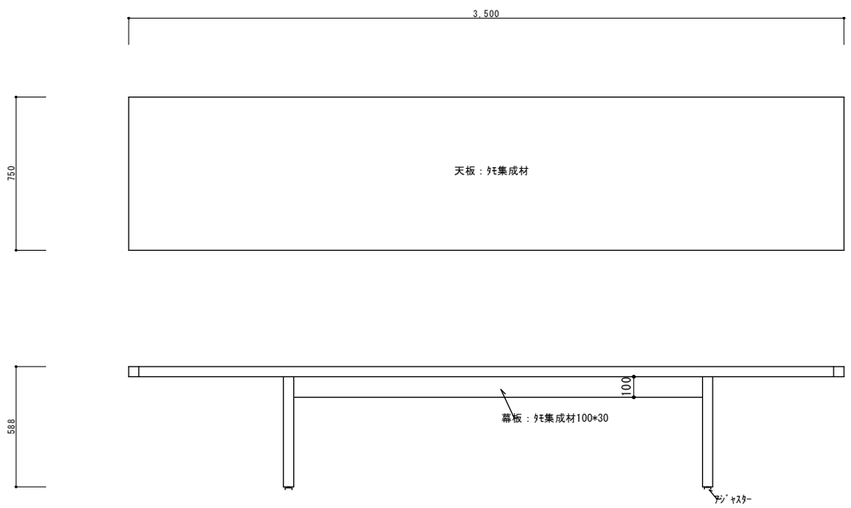
新聞用書架　1:10



閲覧用製作テーブル　1:15



読書コーナー家具　1:15

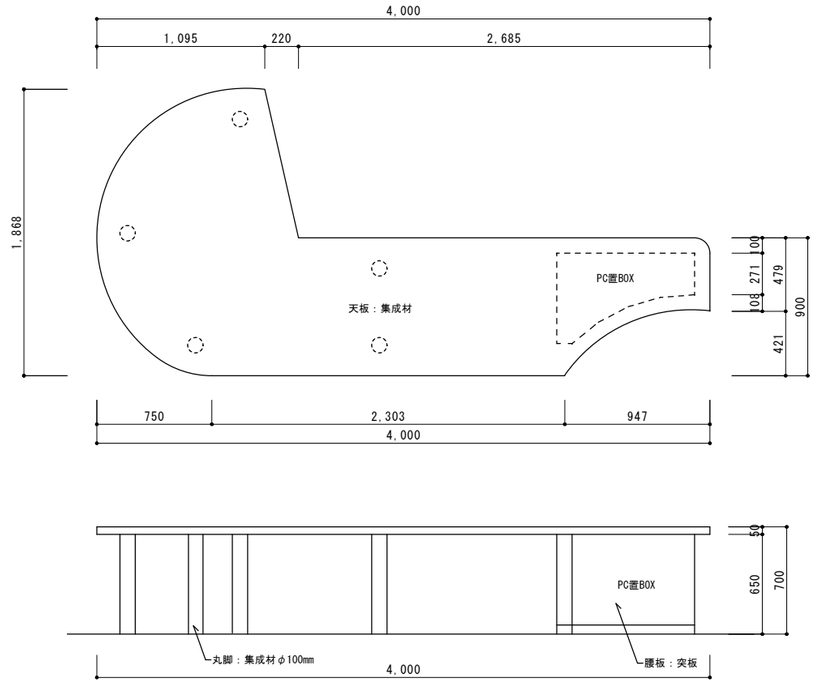


設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

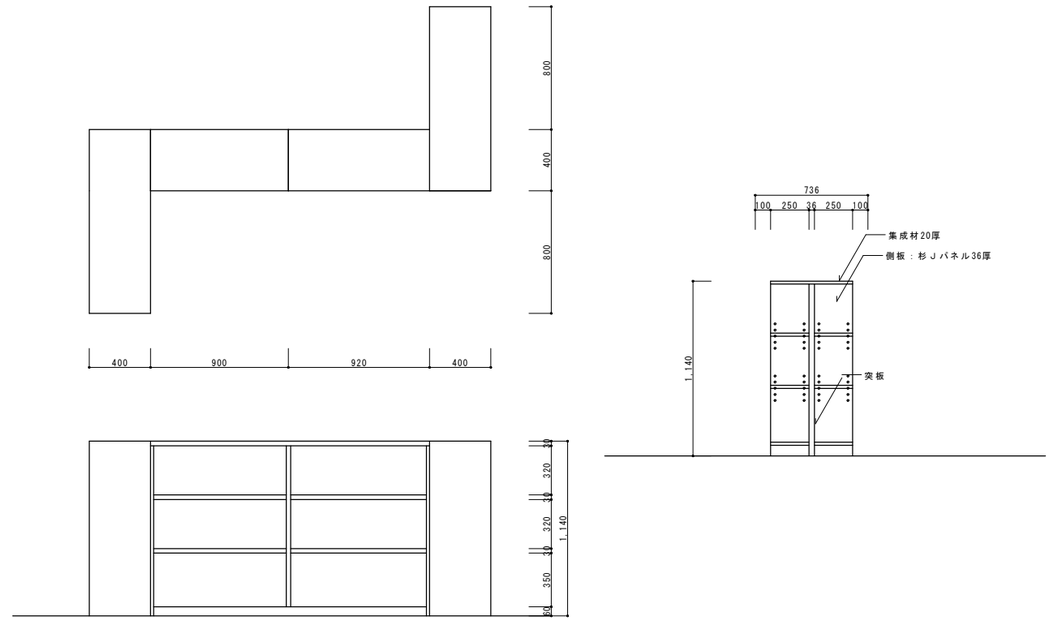
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別	A-48
図面名称	家具図6			縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者	
				作成日	—
				他	—
				通し番号	

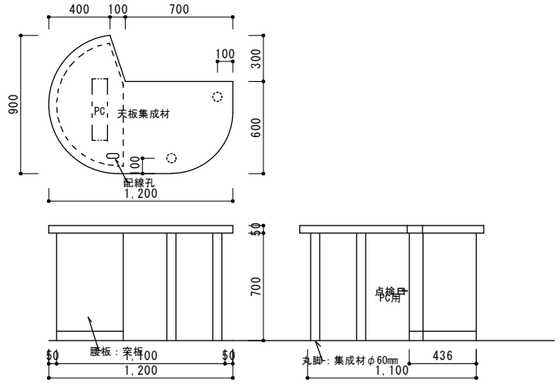
ＩＴステーション　テーブル　1:20



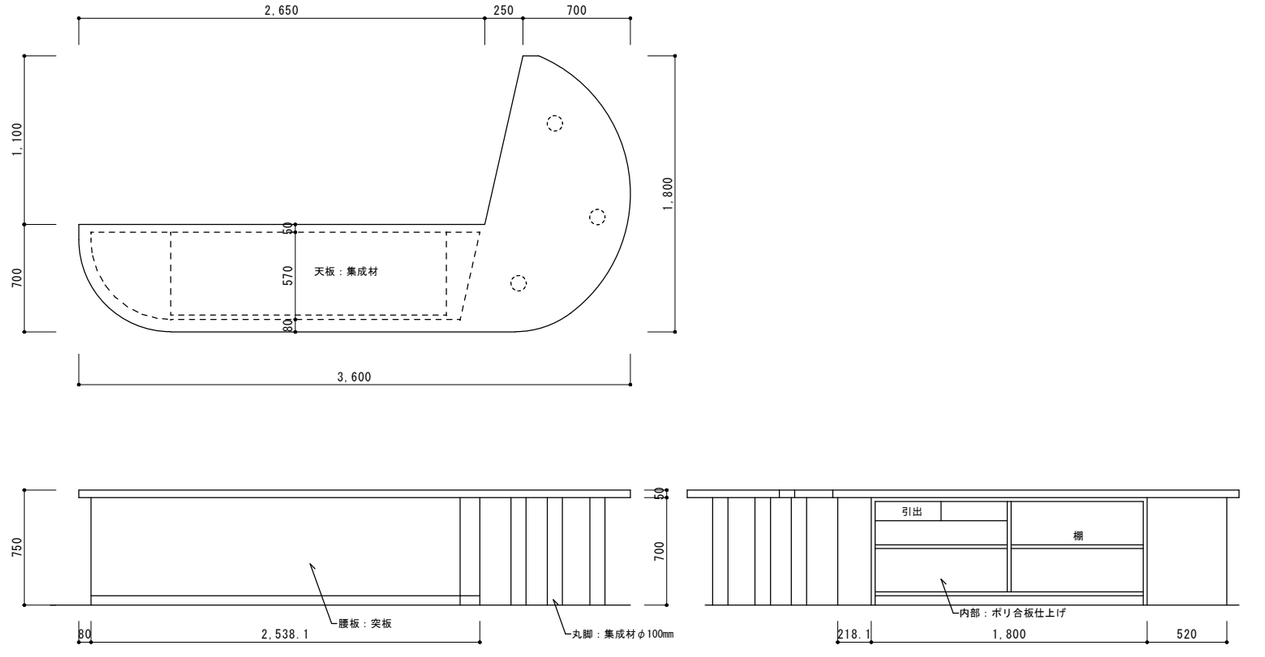
ヤングアダルト用書架（未来の図書館）　1:20



リファレンスカウンター（受付カウンター脇）　1:20



受付カウンター　1:20



設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

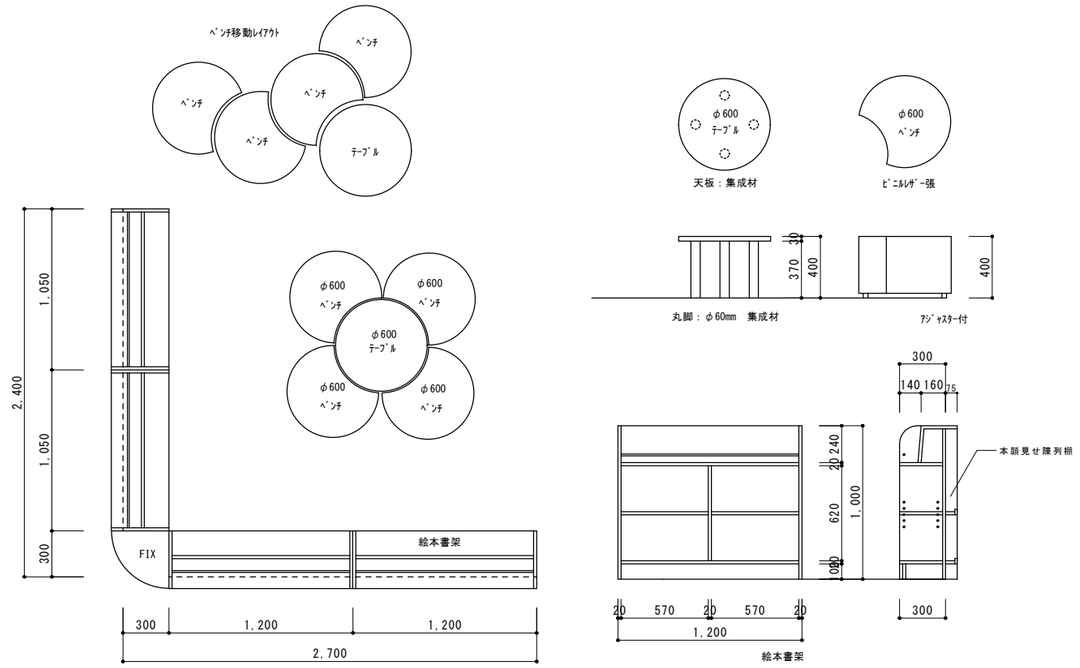
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事
図面名称	家具図7	縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人
作成者		作成日	—
		他	—

種別　A-49

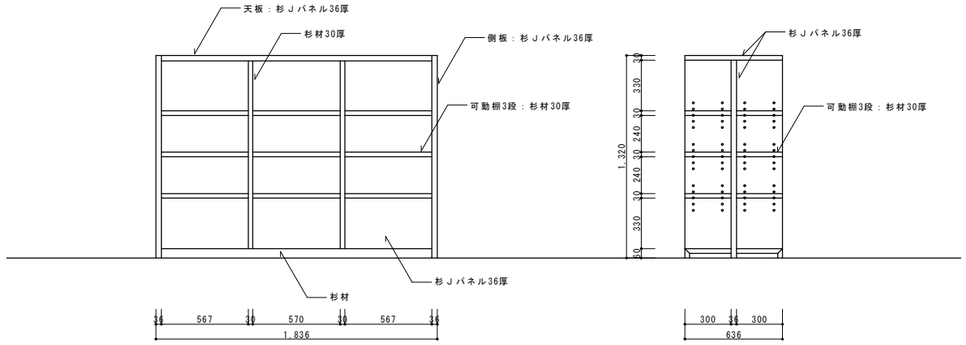
通し番号

絵本コーナー　1:20



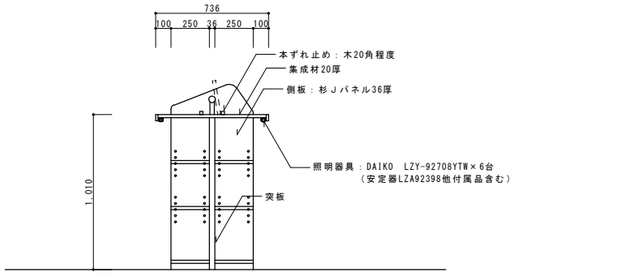
大人用製作書架（西ノ島ライフライブラリー、つながる離島ライブラリー）　1:20

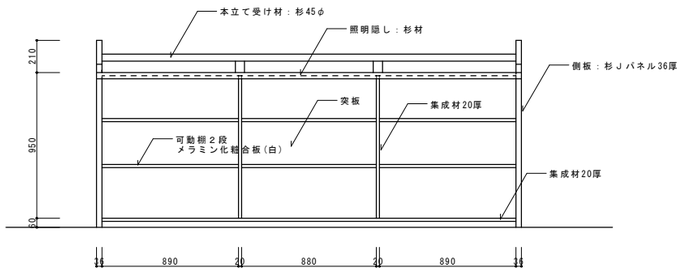
×6ヶ所



子ども用書架１　1:20

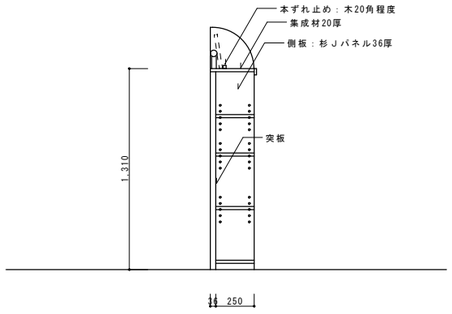
×10ヶ所

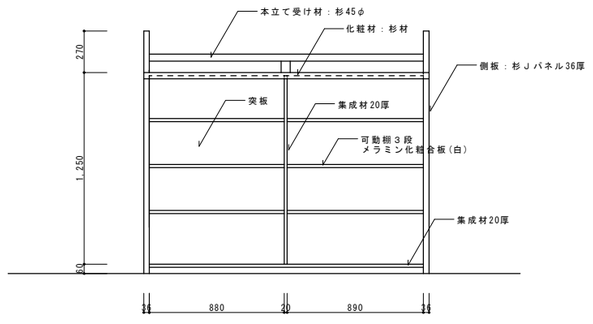




子ども用書架２　1:20

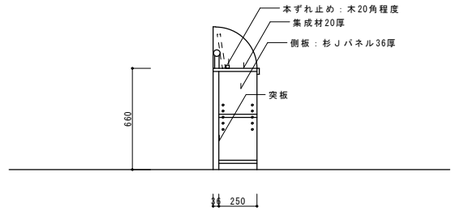
×4ヶ所

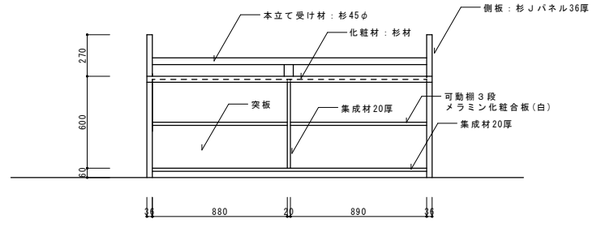




子ども用書架３　1:20

×1ヶ所





設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

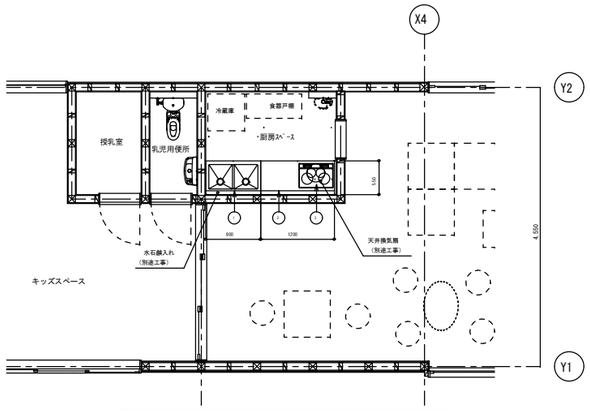
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

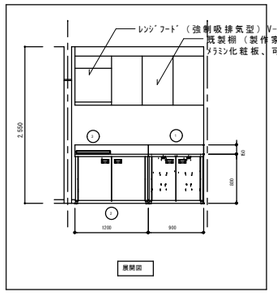
設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事
図面名称	家具図8	縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人
作成者		作成日	—
		他	—

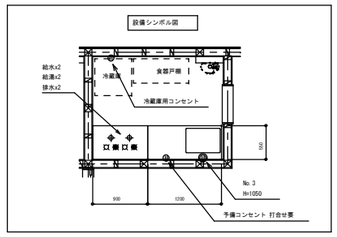
種別 A-50　通し番号

給湯スペース　調理台（縁側コミュニティカフェスペース）　1:20

設計協力：(株)ホシザキ　岡山営業所







※ 搬入経路　確認要

・（　）内寸法は、現場寸法とする
・給湯器 取付位置は、打合わせにより決定とする（別途設備工事）
・給水・給湯・排水・ガス・電気の一次側・二次側接続工事
　及び、カラン・フード・ダクト工事等は、別途工事とする
・供給設備周辺図（壁・柱・天井・床・カウンター）は下地・仕上げ
　共に不燃材造であることを前提とした確認配布です。

- 既存品を示す
- 新設品・見積製作品を示す
- 現場寸法合せ品を示す
（現場搬入後7日間の納期を要します）

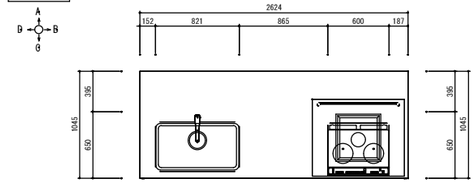
No.	品　名	形　式	台数	寸法(mm) W	D	H	配管口径(A) 給水	給湯	排水 機器側	排水 設備側	LPG 口径	kW	電気(60Hz,kW) 単相100V	単相200V	三相200V	フード	備考
1	二槽手洗シンク	KCS-940-A1(R) 調付	1	900	550	800	15×2	15×2	40×2	50×2							水石鹸入れ(別途工事)
2	ワークテーブル	HMT-1260-A1(R) 調付	1	1200	550	800											
3	電磁調理器	IHC-S35-B	1	560	400	60								4.0			

クッキング・ものスタジオ　アイランドキッチン　1:20

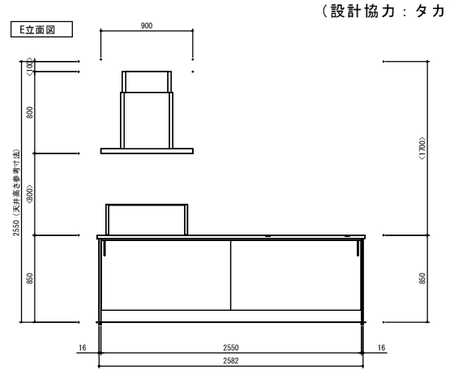
ホーローシステムキッチン　　シリーズ名　LEMURE　レミュー

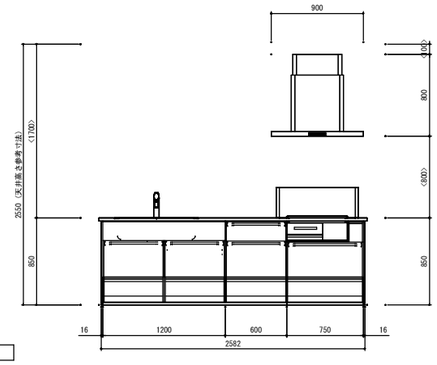
（設計協力：タカラスタンダード）

平面図

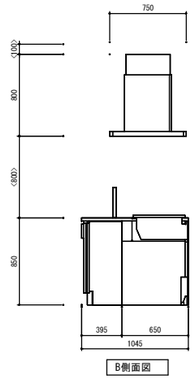


E立面図

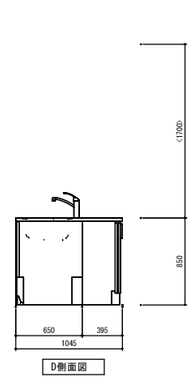




A正面図

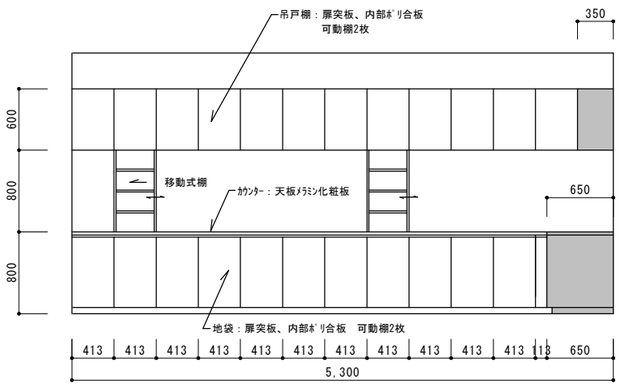


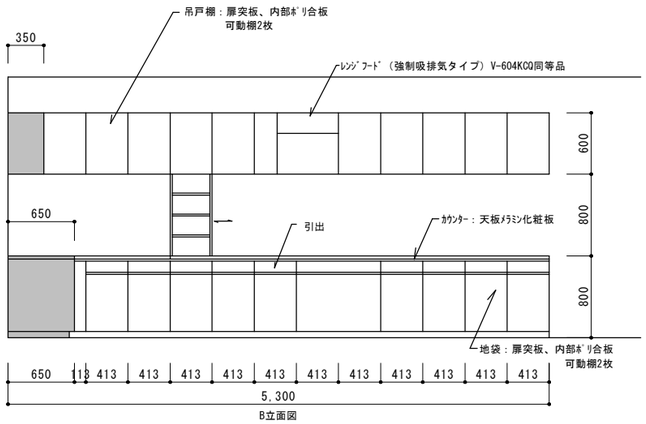
B側面図



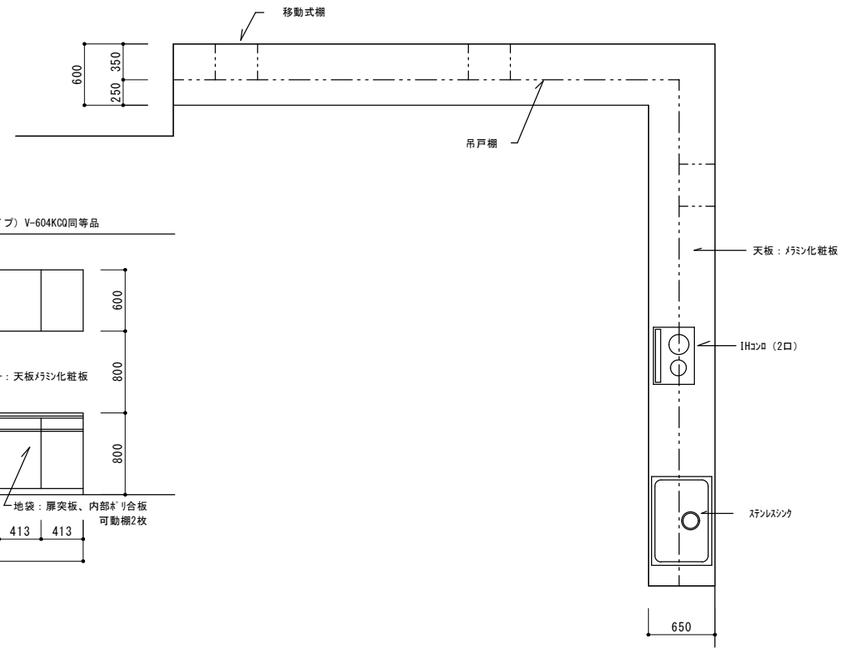
D側面図

クッキング・ものスタジオ　壁面収納　1:20





B立面図



設計協力：小松木工　TEL 0848-62-2371

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号　丹羽雅人
〒700-0824岡山市北区内山下1-4-21
TEL: 086-226-1135

設計番号	—	工事名称	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別	A-51
図面名称	家具図9			縮尺	—
所長	丹羽英喜	担当	丹羽雅人	作成者		作成日	—	通し番号	
						他	—		

木質工事特記仕様書

1．一般事項

（1）適用範囲
※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

（2）設計図書
設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。

（3）準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（4）設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）　3. 特記仕様書
2. 設計図　4. 標準図

（5）疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（6）製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（7）施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（8）製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。

（9）各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2．材料の品質

☑は適用項目を示すものとする。

2.1　木質材料

（1）構造用製材
本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

☑【構造用製材】

部　位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
柱	スギ	Z種構造材1級	仕上げ材SD20		
梁	ベイマツ	甲種構造材2級			
横架材	ベイマツ	甲種構造材2級			
土台	ヒノキ	Z種構造材1級			

☑主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
背割りを行う部材の有無
☑有（背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。）
☐無
☑強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように注意する。
☑材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級１級相当とする。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)
本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

☑【構造用集成材・LVL】
ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。

部　位	樹種名	品　名 (LVLの場合は区分)	強度等級 (LVLの場合は曲げ性能)	材面の品質	使用環境	ホルムアルデヒド 放　散　量
梁	欧州アカマツ	対称異等級構成	E105-F300			
柱	欧州アカマツ	同一等級構成	E65-F255			

（3）構造用合板、構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等
本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。

☑【構造用合板・構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等】
単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。

部　位	強度等級 (OSBの場合は曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸　法	ホルムアルデヒド 放　散　量
耐力壁	2　級	C-D	屋外・常時湿潤な場合は特類 断続的に湿潤な場合は1類	12,24,28	F☆☆☆☆等で指定
屋根構面					

注1.　構造用合板の板面の品質は、通常は１級がB-C、２級がC-D
OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること。
注2.　特注品の場合は納期に注意すること(2ヶ月以上)

（4）丸太・そま角

☑【丸太・そま角】
本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部　位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等　級
(記入例)		Ef150など測定した縦振動ヤング係数で定められる区分で示す	材の品質を１等、２等、３等、４等で示す
柱	スギ		

2.2　接合具
接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。
接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27(JIS G 3302)　電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

（1）くぎ、ホネジ

種　類	材　質			径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所	頭部／胴部形状
☑ N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	皿頭鋼目付き/スムース
☑ CN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット
☐ ZN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			補強金物	平頭 フラット/パープ
☐ S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び鋼目付き/スムース
☐ GN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			石膏ボード用	平頭フラット
☐							

（2）木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
☑ パネリード　PX-290	8	290	
☐			
☐			
☐			

（3）ボルト、ナット、座金
ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種　類	材　質			径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☑ 呼び径六角ボルト ☐ 有効径六角ボルト ☑ 全ネジボルト ☐	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SWRM6～10 SWRCH8～10			☐ 電気亜鉛めっき ☐ (　　)
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
☑ アンカーボルト ☐	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SNR400B, 490B SWRM6～10 SWRCH8～10			☐ 電気亜鉛めっき ☐ (　　)
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
☑ 角座金 ☐ 丸座金 ☐	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400			☐ 電気亜鉛めっき ☐ (　　)
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地

・設計図及び標準図記載以外の産金は、特記なき限り用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。
尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様に準ずる。（単位：mm）

座金の大きさ　＼　ボルト径		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68

（4）ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種　類	材　質			径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☐ ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼			☐ 電気亜鉛めっき ☐ (　　)
☑ ラグスクリュー（コーチボルト）	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼			☐ 電気亜鉛めっき ☐ (　　)
☐ 木栓	堅木（樹種：　　）					

・ドリフトピンの先端テーパー部の長さ：10mm以下
・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3~5mm程度面取りすること。

（5）接合金物、鋼材

種　類	品　名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
☑ 筋かい耐力壁の接合部	PS筋かい金物	壁倍率2.0倍	BXカネシン株式会社	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☑ 柱頭・柱脚接合部	ビス止めホールダウンS15	15.0kN	BXカネシン株式会社	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
	ブルースホールダウン40	40.0kN	BXカネシン株式会社	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☐ 横架材接合部	羽根ﾌﾟﾚｰﾄ(L880)	40.0kN		☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☐ 鋼材				☐ (　　)
☐ (　　)				☐ (　　)
☐ (　　)				☐ (　　)
☐ (　　)				☐ (　　)

（6）接着剤（接着接合）
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備　考
☐		
☐		
☐		

3．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（1）木材の防腐・防蟻処理
木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。
・高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする）
・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる）
保存処理材（性能区分）　：　K5　K4　K3　K2　K1
AQ認証保存処理材：　１種　２種　３種
・現場処理：塗布、吹付、浸漬（特記無き場合は、処理量：　300 ml/m² 、処理回数：2回）
（注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。
処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。）
使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐　塗布
外周柱下部1m	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐ (　　)
外周筋かい下部1m	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐ (　　)
外周木質系面材耐力壁下部1m	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐ (　　)
水周り	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐ (　　)
その他	☐ (　　)	☐ K3　☐ (　　)	☐ (　　)

（2）土壌処理
☐防蟻薬剤による処理：薬剤（　　）
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
☐防蟻薬剤による処理と同等以上の対策　（　べた基礎　　）
☐土壌処理省略 ☐北海道　☐東北　☐北陸　☐（　　）
注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺２０ｃｍ、束石等の周囲２０ｃｍを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（3）耐候処理（塗装）：劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部位	製品名（会社名）	塗り回数

4．材料品質の検査方法

☑は適用項目を示すものとする。

（1）構造用製材
現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

検査項目

☑ 含水率測定	☑ 抜き取り（部位：　　）	☐ 全数
☑ ヤング率測定	☑ 抜き取り（部位：　　）	☐ 全数
☑ 材種・等級の確認	☑ 抜き取り（部位：　　）	☐ 全数
☑ 外観検査	☑ 抜き取り（部位：　　）	☐ 全数
☑ 寸法検査	☑ 抜き取り（部位：　　）	☐ 全数

☐　日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。
☐　含水率測定の時期は、監理者の指示による。
☐　（　　）
・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
・全乾重量法や静的ヤング係数試験は１荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
・特記無き場合は、動的試験は製材後（継手などの工場加工前に）に行う。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)、構造用合板、構造用パネル等
・搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格(JAS)－MDF等の場合は日本工業規格(JIS)－の表示ラベルまたは出荷証明書で確認すること。

（3）接合具
・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承認を得る。
☐　木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（4）接合金物
・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承認を得る。

5．木材の加工

（1）刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（2）加工寸法の精度
図面表示は仕上がり寸法である。
下記を除き、2．1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。
材種：☐（　　）　☐（　　）
構造用製材、構造用集成材、LVLの材長
☑　軸組み工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.0mm以下
☑　調整代をとったボルト接合工法の場合（大断面集成材、LVL）：材長の±0.04%以下
せん断用ボルト穴径　（ｄはボルト径）
集成材　：ｄ+1.0mm　（ｄ≦M12）、ｄ+2.0mm（ｄ≧M16）
接合金物等：ｄ+1.0mm　（ｄ≦M12）、ｄ+1.5mm（ｄ≧M16）
ドリフトピン・木栓の木材の穴径：ｄ±0mm（dはドリフトピン・木栓径）
ドリフトピンの接合金物等の穴径：ｄ+1.0mm(ｄ≦M12)、ｄ+1.5mm(ｄ≧M16)（dはドリフトピン径）

（3）表面仕上げ
☐製材（　　）　☐集成材-LVL（　　）　☐その他（　　）

（4）面取り
☐柱：（　　）mm　　☐梁：（　　）mm

（5）加工状況の検査
☑立ち会い検査
☑外観検査　☑加工寸法検査
☑施工者自主検査記録の提出〔　　〕

6．運搬・建方

（1）輸送計画
製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
☑　輸送計画書の提出　〔　　〕

（2）集積・保管
集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。
降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
☑　集積場の確認　〔　　〕

（3）建方計画
☑　建方計画書の提出
アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

（4）施工時の安全性
建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
☑　施工時の安全性に対する検討書の提出　☑　施工時荷重条件の通知

（5）アンカーボルトの施工
・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
・アンカーボルトはダブルナットとする。　☐適用除外　〔　　〕
・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

（6）建方精度
・建方の精度基準は下記による。
☑建物の倒れ　：　☐　e≦H／2500+10mm　かつ　e≦50mm
☐　〔　　〕
☑梁の水平度　：　☐　e≦L／700+ 5mm　かつ　e≦15mm
（節点間のレベル差）　☐　〔　　〕
☑建物のわん曲　：　☐　e≦L／2500mm　かつ　e≦25mm
☐　〔　　〕
☑柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差　：　☐±3mm以下　☐〔　　〕
通り芯からの誤差　：　☐±3mm以下　☐〔　　〕
階高　：　☐－5mm≦△H≦+5mm
☐〔　　〕
・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

（7）施工状況の検査
☑　アンカーボルト施工時の立会い検査
☑　施工者自主検査記録の提出〔　　〕
☑　地組み時の立会い検査
☑　施工者自主検査記録の提出〔　　〕
☑　建方時の立会い検査
☑　施工者自主検査記録の提出〔　　〕
☑　建方後の施工状況の検査
☑　施工者自主検査記録の提出〔　　〕
☑　最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
☑　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

平成27年9月15日発行　一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事	種別 S-01
図面名称	木質工事特記仕様書	縮尺 －	
所長	担当	作成者	作成日 / 他
丹羽雅人	丹羽雅人		通し番号 **

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（１）

１．一般事項

（１）適用範囲
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

（２）設計図書
設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。

（３）準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）

「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（４）設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 設計図
3. 特記仕様書
4. 本標準図

（５）疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（７）施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（８）製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける

（９）各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

（10）接合工法
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。
・継手仕口による在来工法
・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。
また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。
本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。

（11）加工部材に関する留意事項
本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

・梁:部材断面が幅90㎜～150㎜、梁成が幅と同寸～450㎜、及び材長６ｍ以下
・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

２．材料

（１）木材及び木質材料
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。

（２）接合具
a)くぎ
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。

b)木質構造用ビス
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。
使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

c)ボルト・ナット・座金

1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
・ボルトはJIS B 1051，ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
【 Zマーク表示金物 】
【 Dマーク表示金物 】
【 Sマーク表示金物 】
・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット

2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。
3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。

※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。

d)ドリフトピン・ラグスクリュー
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

e)木栓・木ダボ
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。
樹種・径等については、特記仕様書で指定する。
節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。

（３）接合金物
a)規格金物
構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。
・JIS A 5531：木構造用金物
・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；
Zマーク表示金物 、又は Cマーク表示金物
・同等認定金物；Dマーク表示金物
・性能認定金物；Sマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。
使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。

b)製作金物
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。

（４）接着剤
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。
建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。

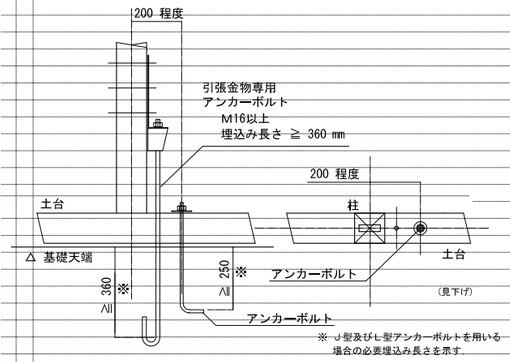
（５）防腐防蟻処理及び耐候処理
防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。
土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。
適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

３．アンカーボルト

※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

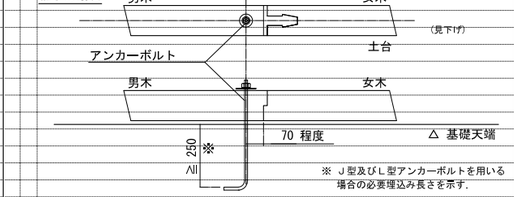
（１）土台固定用アンカーボルト
a)．アンカーボルトの埋設位置： アンカーボルトの埋設位置は以下による。

-1. 耐力壁（筋交い，合板仕様共通）の下部：
耐力壁（筋交い，合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200㎜内外）とする。

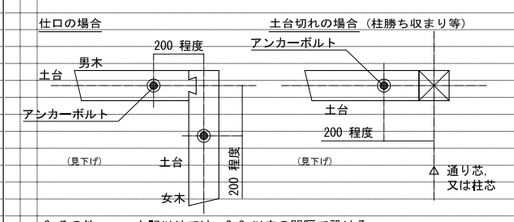


※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す．

-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口：
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に配する。
当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。



※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す．



-3. その他： 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

（２）引張金物専用アンカーボルト

a)．引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

b)．引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、
J型アンカーボルトを用いる場合は、360 ㎜ 以上とする。その他の
アンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満た埋込み長さとする。

４．接合一般

（１）釘接合
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

（２）木質構造用ビス接合
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。：
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。

（３）ボルト接合
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。

（４）ラグスクリュー接合
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。：
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。
・呼び径 M12以下：＋1.0mm
・呼び径 M16以上：＋1.5mm

（５）ドリフトピン接合
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・ドリフトピンは、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、孔に対しテーパーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。

（６）木栓接合
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・木栓は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

（７）グルードインロッド接合
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

平成27年 9月15日発行　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

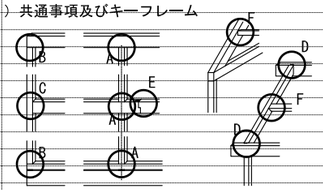
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-02
図面名称	木造軸組接合部標準図（1）			縮尺 －	
所長	担当	作成者		作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人			他	**

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図（２）

５．軸組標準接合部

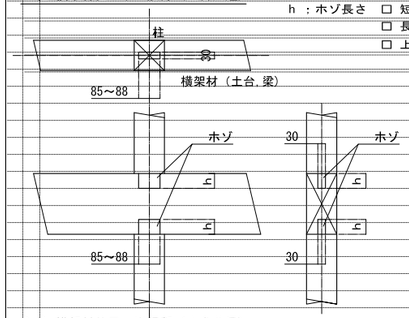
（１）共通事項及びキーフレーム



（２）標準的な継手仕口 (mm)

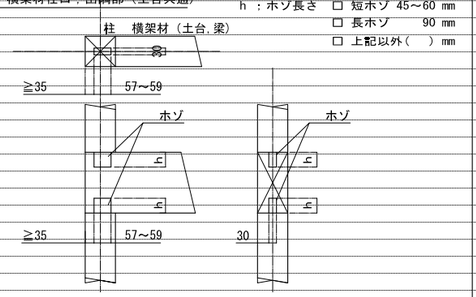
A 柱−横架材仕口：一般部（土台共通）

h ：ホゾ長さ　□ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（ ） mm

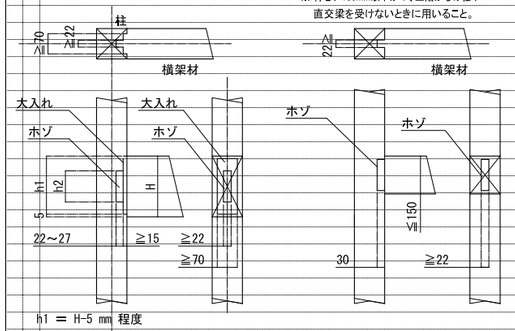


B 柱−横架材仕口：出隅部（土台共通）

h ：ホゾ長さ　□ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（ ） mm



C 通柱—横架材仕口：胴差し

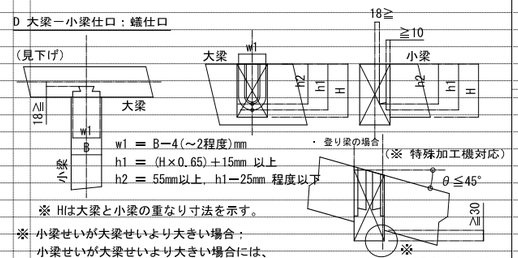


※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、2方向までとする。

C 通柱—横架材仕口：桁差し

※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

D 大梁ー小梁仕口：蟻仕口

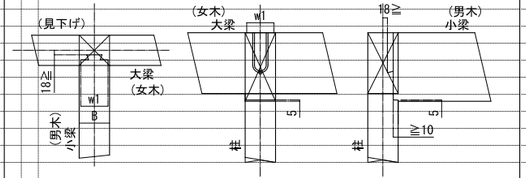


w1 ＝ B−4（～2程度）mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1−25mm 程度以下

・ 登り梁の場合 （※ 特殊加工機対応）

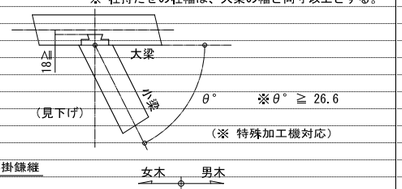
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

※ 小梁せいが大梁せいより大きい場合：
小梁せいが大梁せいより大きい場合には、
柱持たせのおさまりとしなければならない。（下図参照）

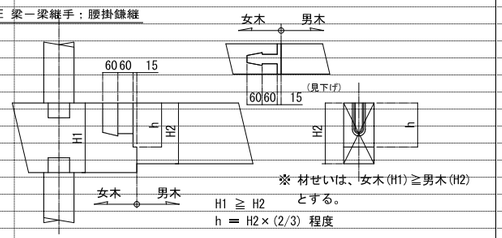


※ 柱持たせの柱幅は、大梁の幅と同寸以上とする。

※ 斜め鏃の場合：



E 梁ー梁継手：腰掛鎌継

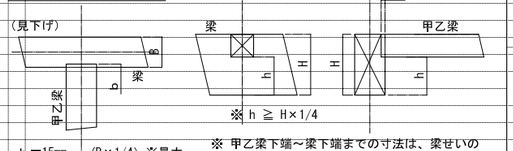


※ 材せいは、女木(H1)≧男木(H2)とする。

H1 ≧ H2

h ＝ H2×(2/3) 程度

F 梁ー甲乙梁仕口：大入れ



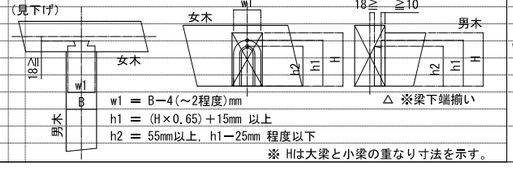
※ h ≧ H×1/4

b＝15mm ～ (B×1/4) ※最大

※ 甲乙梁下端～梁下端までの寸法は、梁せいの1/4以上確保すること。 (h≧H×1/4)

G 梁ー梁仕口：逆鏃仕口

※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。



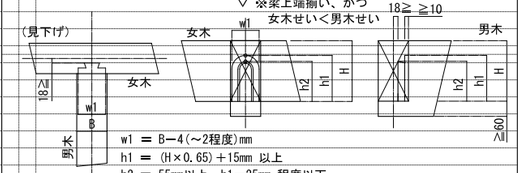
w1 ＝ B−4（～2程度）mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1−25mm 程度以下

※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

H 梁ー梁仕口：茶臼仕口

※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。

▽ ※梁上端揃い、かつ女木せいく男木せい



w1 ＝ B−4（～2程度）mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1−25mm 程度以下

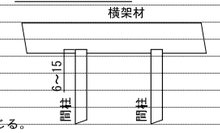
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

I その他：まぐさ欠き

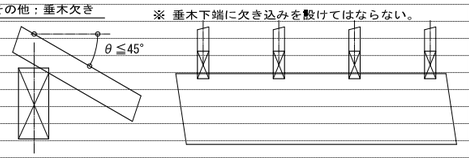


※ 筋交い耐力壁の中桟も上図に準じる。

J その他：間柱欠き



K その他：垂木欠き

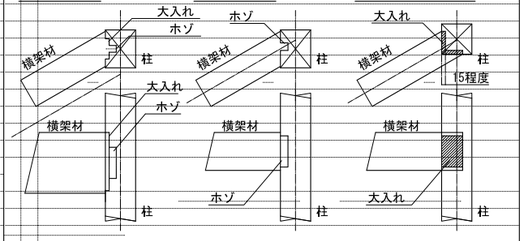


※ 垂木下端に欠き込みを設けてはならない。

（３）特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

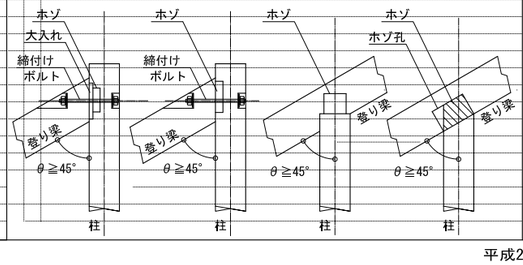
L 斜め胴差し　M 斜め桁差し　N 斜め柱差し大入れ



※ L，Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。

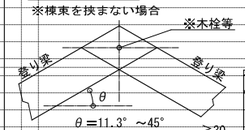
※ L，Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

O 登り胴差し　P 登り桁差し　Q 登り斜めホゾ　R 登り座付きホゾ

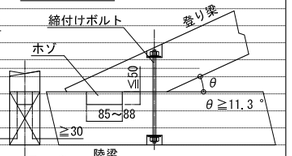


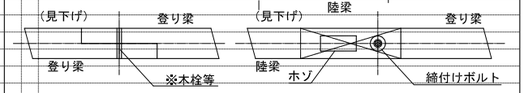
S 登り梁合掌部

※棟束を挟まない場合

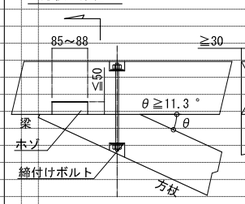


T 登り梁合掌尻

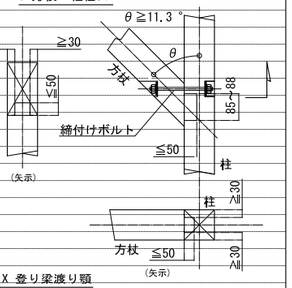




U 方杖ー梁仕口



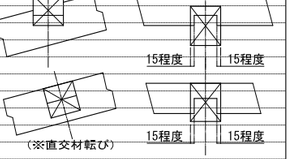
V 方杖ー柱仕口



W 渡り顎



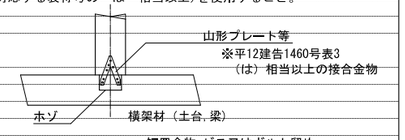
X 登り梁渡り顎



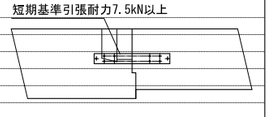
（４）継手・仕口の補強金物

・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。

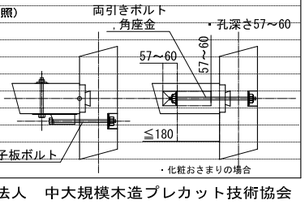
・上記以外の柱脚接合部には、5.1KN以上の引張耐力を保有する接合金物（平12建告1460号表３に対応する表符号の"（は）"相当以上）を使用すること。



（梁−梁 接合部）
・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5KN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。（右図参照）



（小梁端部接合部）
・小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。



構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

平成27年 9月15日発行　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号 −	西ノ島町コミュニティ図書館 新築工事			種別 S-03
図面名称	木造軸気味接合部標準図（2）		縮尺 −	
所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者	作成日	通し番号 **
			他	

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（３）

６．耐力壁

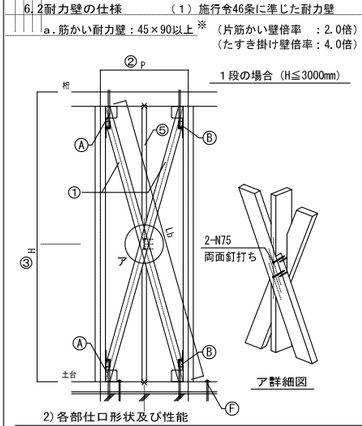
（注）（単位）mm

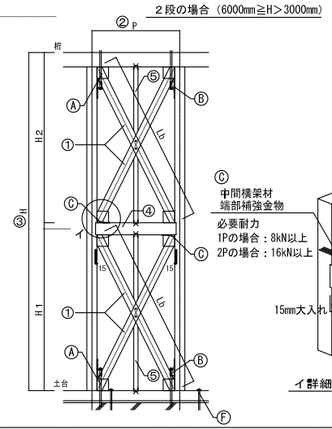
6.1共通事項

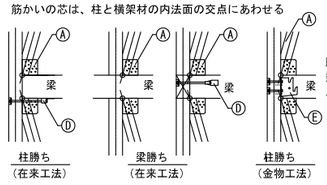
各部仕口形状は、（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図（２）5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2㎜を限度とする。2㎜を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比（断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比）は、150以下とすること。

6.2耐力壁の仕様　　（１）施行令46条に準じた耐力壁

a.筋かい耐力壁：45×90以上 ※　（片筋かい壁倍率　：2.0倍）　（たすき掛け壁倍率：4.0倍）







1）各部材料および寸法

①	筋かい：45㎜×90㎜以上 ※（節，目切れ等軽微なもの）
②	柱間隔：900㎜≦P≦2000㎜
③	高さH≦3000㎜：１段、　H＞3000㎜：２段 ２段の場合：6000㎜≧H＞3000㎜ Ｈ１及びH２は、H／2内外
④	中間横架材：　幅：柱と同寸、せい≧柱幅
⑤	間柱：幅45㎜以上、間隔500㎜以下　　端部は上下横架材の間柱欠きに6～15㎜大入れの上、2-N75斜め釘打ち

※ 筋かい断面は、内法対角長さLbに応じて、以下の断面寸法以上とする。
Lb≦2700 → 45×90以上　　Lb≦3150 → 45×135以上
Lb≦2850 → 45×105以上　　Lb≦3300 → 45×150以上
Lb≦3000 → 45×120以上

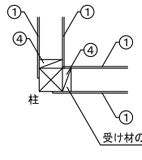
2）各部仕口形状及び性能

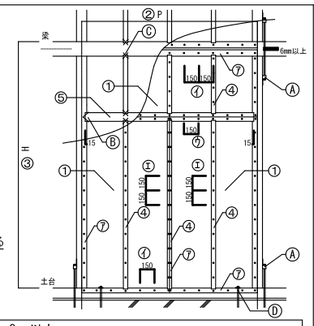
Ⓐ	筋かい端部：突き付けの上 筋かいプレート（２倍用）を使用　　在来工法及び金物工法とも柱梁ビスどめタイプを基本とする
Ⓑ	各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
Ⓒ	中間横架材端部：15㎜大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用　　必要耐力：1Pの場合→8kN以上、2Pの場合→16kN以上
Ⓓ	梁端部在来仕口部補強金物：　耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする　Ⓔ　梁端部金物工法梁受け金物：　耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする
Ⓕ	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200㎜内外）に１本ずつ設ける

（２）昭56建告1100号に準じた耐力壁

a.面材張り大壁仕様耐力壁

（片面張り壁倍率：2.5倍）
（両面張り壁倍率：5.0倍）





両面張り耐力壁出隅部要領図

1）各部材料および寸法

①	面材：構造用合板　t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
②	柱間隔：600㎜≦P≦2000㎜
③	高さ：H≦6000㎜、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下
④	間柱：幅45以上、間隔500㎜以下
⑤	中桟：幅90㎜以上

2）各部仕口形状及び性能

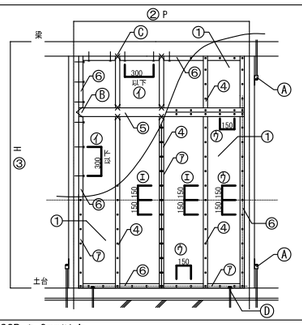
Ⓐ	各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
Ⓑ	中桟端部：まぐさ欠きに15㎜大入れの上、2-N75斜め釘打ち
Ⓒ	間柱端部：間柱欠きに6～15㎜大入れの上、2-N75斜め釘打ち
Ⓓ	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200㎜内外）に１本ずつ設ける

3）構造用合板の釘打ち方法

	構造用合板（又はOSB）の４周を釘打ちする
㋐	柱及びはりに対するかかり寸法：22.5㎜以上 合板に対するへり空き：10㎜以上 柱はりのへり空き：12.5㎜以上 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする
㋑	横架材・柱：N50@150㎜以下
㋒	中桟：N50@150㎜以下　　㋓　間柱：N50@150㎜以下

b.受け材付き真壁仕様耐力壁

（片面張り壁倍率：2.5倍）
（両面張り壁倍率：5.0倍）



1）各部材料および寸法

①	面材：構造用合板　t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
②	柱間隔：600㎜≦P≦2000㎜
③	高さ：H≦6000㎜、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下
④	間柱：幅45以上、間隔500㎜以下
⑤	中桟：幅90㎜以上　　⑥　受け材：幅45㎜以上

2）各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
Ⓑ	中桟端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
Ⓒ	間柱端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
Ⓓ	耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200㎜内外）に１本ずつ設ける

3）構造用合板の釘打ち方法

	構造用合板（又はOSB）の４周を釘打ちする
㋐	受け材に対するかかり寸法：22.5㎜以上 合板に対するへり空き：10㎜以上 受け材のへり空き：12.5㎜以上 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする
㋑	受け材と柱梁：N90@300㎜以下（両面構造用合板（又はOSB）張りの場合は@150以下）
㋒	受け材、中桟：N50@150㎜以下　　㋓　間柱：N50@150㎜以下

（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁（JIS A 3301標準仕様）：　短期許容せん断耐力⊿Qa＝29.6kN/m

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

a.条件及び仕様

1）各部材料

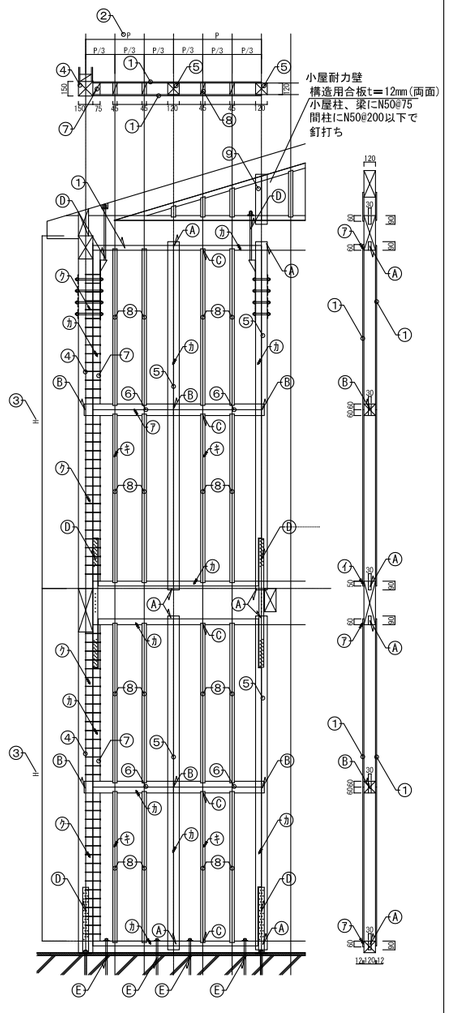
①	面材：構造用合板　t=12㎜　両面張り
②	間隔：900㎜≦P≦1000㎜
③	高さ：1800㎜≦H≦3650㎜
④	高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150㎜×150㎜以上 （グリッド柱：Ｘ方向とＹ方向の主要鉛直構面の交点の柱）
⑤	高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120㎜×120㎜以上
⑥	構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120㎜×120㎜以上
⑦	グリッド柱に取付く受け材：75㎜×120㎜以上
⑧	間柱：見付け45㎜以上、見込み120㎜以上、間隔Ｐ/3以下
⑨	小屋柱：120㎜×120㎜以上

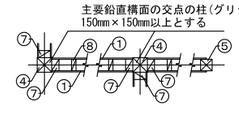
2）各部仕口形状及び性能

Ⓐ	柱頭柱脚ホゾ：厚さ30㎜×深さ90㎜以上
Ⓑ	中桟端部ホゾ： 片側から柱に取り付く場合：厚さ30㎜×深さ90㎜ホゾ差し 両側から柱に取り付く場合：厚さ30㎜×深さ60㎜ホゾ差し
Ⓒ	間柱両端：横架材への溝加工及び15㎜程度大入れ
Ⓓ	各階の柱頭柱脚部： 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓔ	耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M16アンカーボルト耐力壁１P当り２本設ける

3）各部への釘打及びビス止め

	構造用合板はたて張り、４周を釘打ちする
⑦	㋑を除き、柱及びはりに対するかかり寸法：60㎜以上
㋑	2階耐力壁合板を２階床大梁へ留め付ける場合かかり代：50㎜以上
㋒	㋺を除き、合板に対するへり空き：15㎜以上
㋓	柱はりのへり空き：25㎜以上
㋔	金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き：8㎜以上
㋕	横架材・柱・受け材：N50@60㎜チドリ打ち
㋖	間柱：N50@90㎜打ち
㋗	㋒の受け材とグリット柱： 木質構造用ビスφ6、L130～150@100（2列）で留め付ける。





6.3その他の耐力壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）の群細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に準拠することとする。
・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

平成28年10月24日改訂　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-04
図面名称	木造軸組接合部標準図（3）		縮尺 －	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（4）

7．水平構面

(注)　(単位)mm

7.1共通事項

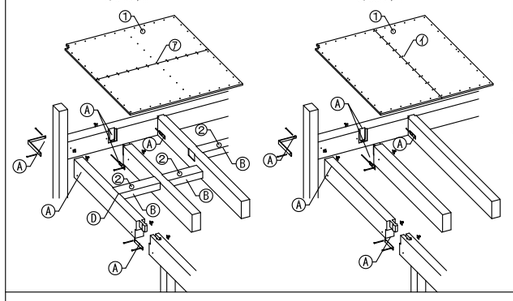
・各部仕口形状は、（3）高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図（2）5.軸組標準接合部に準ずる。
・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計（2008年）の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

（１）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

(a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m

(b) ロの字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	甲乙梁:幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分： 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓓ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ　N75　1本斜め打ち

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mm目の字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける
④	構造用合板はN75@150mmロの字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける

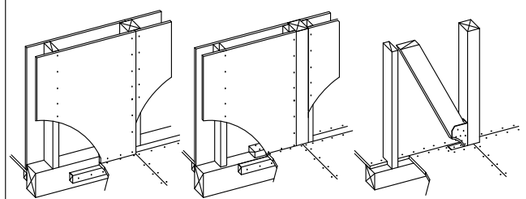
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする
2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
ロの字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
撓み等に注意する事

告示耐力壁-床納まり

大壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）

真壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）

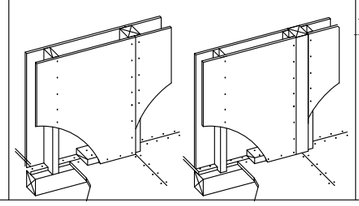
筋違耐力壁-床構面
（筋違勝）



認定仕様例示）日合連（JPMA）仕様耐力壁-床勝納まり

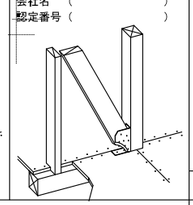
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0296

真壁合板耐力壁-床構面
認定番号：FRM-0298



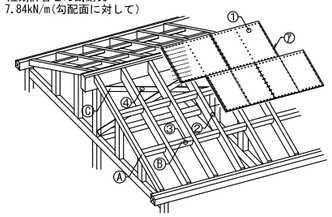
筋違金物による床勝ち納まり

筋違耐力壁-床構面
（床勝;大臣認定仕様）
会社名（　　）
認定番号（　　）

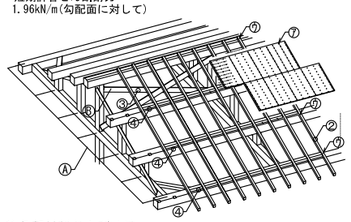


（２）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

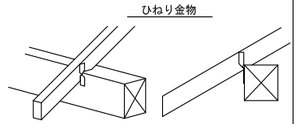
(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)



(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)

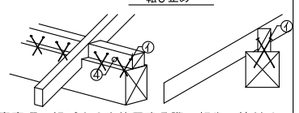


ひねり金物

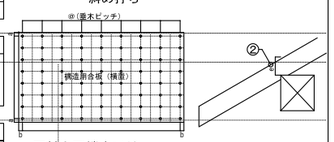


注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木ー母屋の接点全てに使用する

転び止め



注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木ー母屋の接点全てに使用する
N75釘4本（表2本と裏2本を千鳥配置）
斜め打ち



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	登梁：幅105mm以上×せい105mm以上　間隔1000mm以下
③	甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上　間隔1000mm以下
④	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける

1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=9mm～15mm（横置）
②	垂木：幅45mm以上×せい45mm～90mm@500mm以下
③	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）
④	転び止め：45mm×60mm程度

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	母屋ピッチ:1000mm以下
Ⓑ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

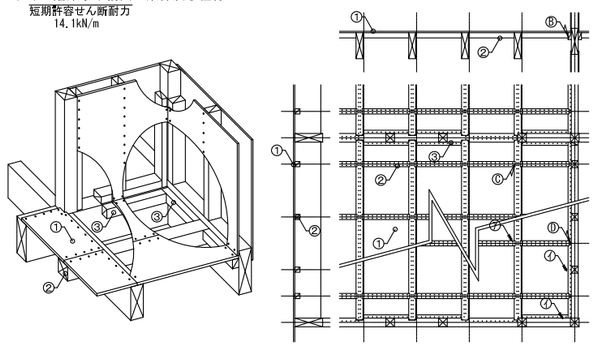
3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
④	転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
⑦	垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対して2N75釘2本打ち

注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

7.3　JISA3301仕様高耐力水平構面

（１）2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm又は28mm横架材に直張り
②	甲乙梁:90mm×90mmの正角材又は幅75mm×成120mm製材を平使い
③	大梁側面に取り付ける床受材:幅55mm～75mm×成120mmの製材

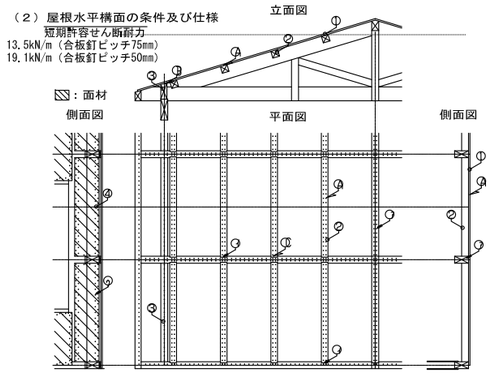
2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓑ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ
Ⓓ	甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ15mm×成60mm 切り欠き甲乙梁は成60mm分大入れし床受け材勝ちの納まりとする

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@75mm目の字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける
④	大梁側面へ取り付ける床受材は木質構造用ビスφ6,L130～150 を150 mmピッチの二列打ちとして留め付ける

（２）屋根水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
13.5kN/m（合板釘ピッチ75mm）
19.1kN/m（合板釘ピッチ50mm）



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm登梁及び母屋に直張り
②	母屋:幅120mm×成120mmの製材 多雪区域(3級及び4級)の場合は幅120mm×成150mmの製材
③	軒先転び止め:幅105mm×成300mmの製材を用い，天端は屋根面に合わせ切り欠く
④	軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板：t=12mm

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
Ⓑ	屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	母屋端部は登梁に対して深さ15mm程度の大入れ

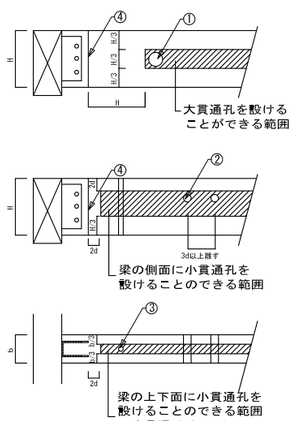
3)各部への釘打及びビス止め

⑦	13.5kN/m仕様:構造用合板はN75@75mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける 19.1kN/m仕様:構造用合板はN75@50mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
④	母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビスφ5,L150（頭部径φ12.5以上 ねじ部長さ50以上）1本を斜め打ちとする
⑦	軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は，N50くぎを50 mmピッチの 千鳥打ちとして留め付ける

8．貫通孔

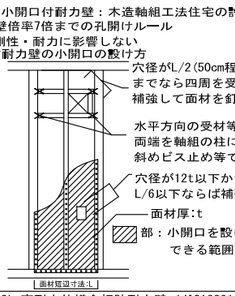
8.1　梁貫通孔の条件及び仕様

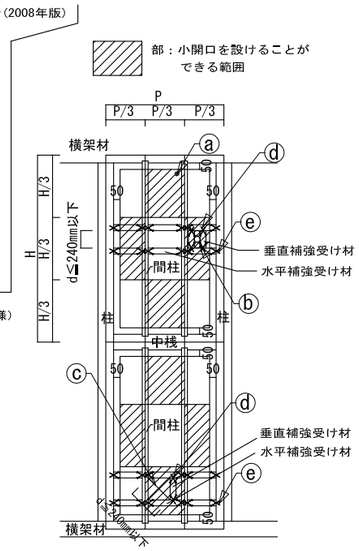
①	大貫通孔:d≦H/4かつ150mm
②	小貫通孔:d≦30mm(隣り合う孔は3d以上離す)
③	縦小貫通孔:d≦b/6かつ30mm
④	接合金物用切り欠きライン



8.2　耐力壁貫通孔

(1)小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール
剛性・耐力に影響しない
面材耐力壁の小開口の穿け方





(2)高耐力仕様合板貼耐力壁（JISA3301標準仕様）
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール（JISA3301仕様）
a)貫通孔基準

ⓐ	小貫通孔(d≦30mm) 1区画につき1か所までなら補強不要
ⓑ	小貫通孔×3(外接円の径d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可
ⓒ	大貫通孔(d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可

b)釘打ち及び断面

ⓓ	合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち 補強受材は間柱と同寸以上の断面
ⓔ	補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め

構造設計：西　伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

平成27年 9月15日発行　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-05
図面名称	木造軸組接合部標準図（4）			縮尺 －	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他		**

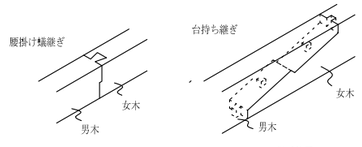
木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（５）

軸組構法接合部の標準仕様

各接合部共通：プレカット製品を使用する場合はその形状および許容耐力に及ぼす影響を確認する。

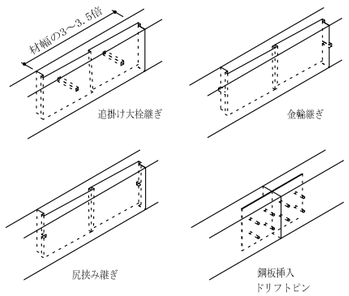
（1）横架材どうしの継手

1．曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
- せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
- 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
- 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
- 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。
- 土台の場合は、継手から男木側100mm付近にアンカーボルトを設ける。



プレカット機械による継手・仕口

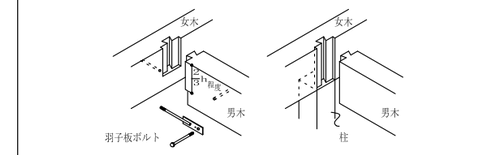
2．曲げ応力や引張力を負担する継手
：追掛け大栓継ぎ、金輪継ぎ、尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
- 伝達できる曲げモーメントや引張力は母材全断面強度の20%以下と考えること。

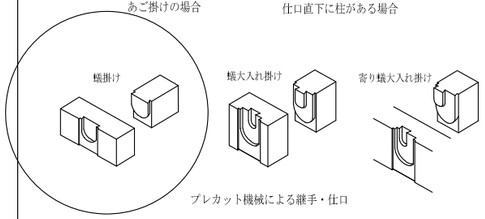


（2）柱の継手
- 階の中間部における柱の継手は原則として禁止する。
- やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

（3）横架材どうしの仕口

1．せん断力が母材全断面強度の30%以下の仕口：（大入れ）蟻掛け
- 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
- 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
- 男木の梁せいが女木の２／３以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの２／３程度のあごをかける。

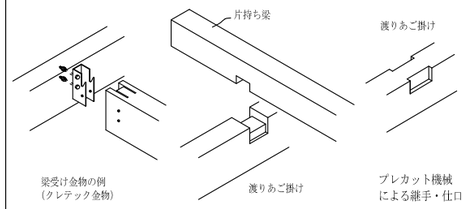




プレカット機械による継手・仕口

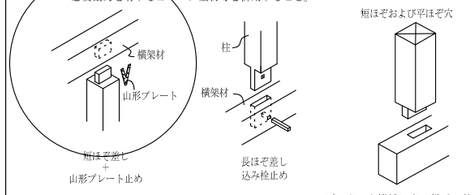
2．せん断力が母材全断面強度の30%を超える仕口：梁受け金物
- 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認する。

3．一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡りあご掛け
- 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用する。

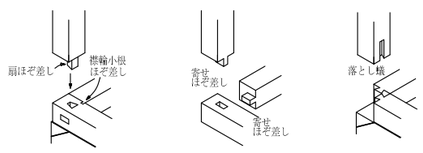


（4）柱と横架材の仕口

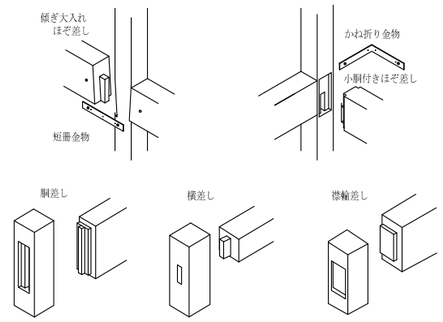
1．柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め
- 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。



2．土台の出隅入隅部
：土台どうしは隅輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は扇ほぞ差し又は寄せほぞ差し又は寄せほぞ差し（柱勝ちの場合、落とし蟻、あるいは土台を寄せほぞ差しとする。）
- 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。

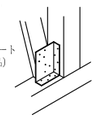


3．通し柱と胴差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
- 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。

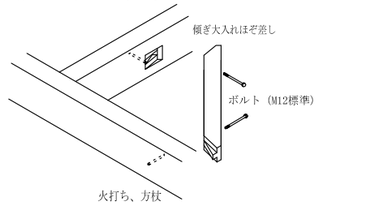


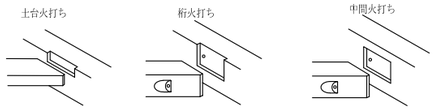
プレカット機械による継手・仕口

（5）筋かい端部
- 平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。



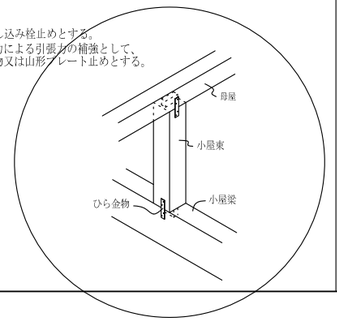
（6）火打ち、方杖
- 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し＋ボルト締めとする。
- Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。



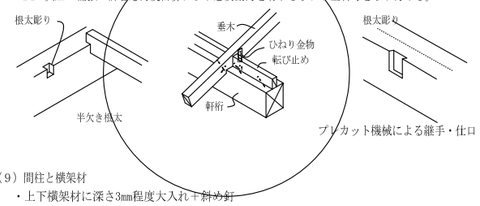


プレカット機械による継手・仕口

（7）小屋束の上下端部
- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
- 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい２本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



（8）根太、垂木と横架材
- 落とし込み根太：横架材に大入れ　または根太掛け＋斜め釘
- 半欠き根太：横架材に大入れアゴ掛け＋斜め釘
- 転ばし根太：根太が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め
　根太が縦長角断面の場合、斜め釘２本＋転び止め
- 垂木：横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。
- 風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。

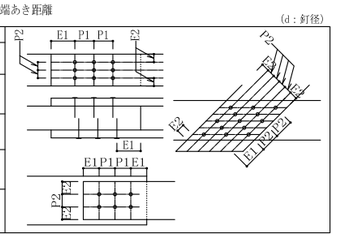


（9）間柱と横架材
- 上下横架材に深さ3mm程度大入れ＋斜め釘
- 上部ほぞ差し、下部突き付け＋斜め釘

（10）釘の最小間隔及び最小端あき距離

（d：釘径）

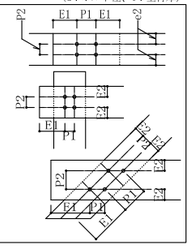
		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	15d	10d
	P1	12d	10d
繊維直交方向	E2	5d	8d
	P2	5d	8d



（11）ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

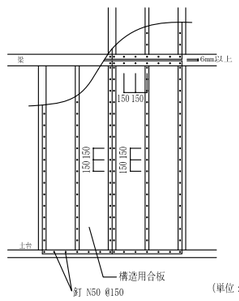
（d：ボルト径、t：主材厚）

		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	7d（荷重負担側） 4d（荷重非負担側）	7d
	P1	7d	t/d=2　3d 2≦t/d<6　3d～5d t/d>6　5d
繊維直交方向	E2	t/d≦6　1.5d t/d>6 1.5dかつP2/2	4d（荷重負担側） 1.5d（荷重非負担側）
	P2	3d	4d

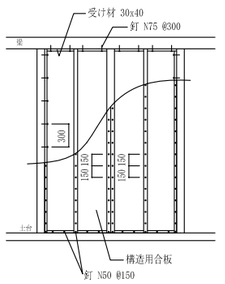


（12）面材耐力壁

1．大壁造の場合



2．真壁造の場合



（単位：mm）

・受け材は柱や横架材にN75-@300以下で平打ちする。

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-06
図面名称	木造軸組接合部標準図（5）		縮尺 －	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

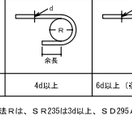
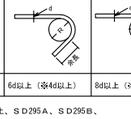
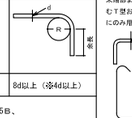
（１） 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２） 記号

d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　B･･･部材の成　　R･･･直径
@･･･間隔　　r･･･半径　　℄･･･中心線　　ℓ_0･･･部材間の内法距離　　h　･･･部材間の内法高さ
ＳＴ･･･あばら筋　　ＨＯＯＰ･･･帯筋　　Ｓ．ＨＯＯＰ･･･補強帯筋　　φ･･･直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

（１） 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）

折曲げ内法寸法Ｒは、ＳＲ235は3d以上、ＳＤ295Ａ、ＳＤ295Ｂ、
ＳＤ345のＤ16以下は、3d以上、Ｄ19以上は4d以上



（２） 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度９０°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法Ｒ
	帯筋、あばら筋、スパイラル筋	ＳＲ235、ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ、ＳＤ345	16φ Ｄ16 以下	3d以上
			16φ Ｄ19 以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	ＳＲ235、ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ、ＳＤ345	16φ Ｄ16 以下	6d以上
			19φ～25φ Ｄ19～Ｄ25	6d以上
			28φ～32φ Ｄ29～Ｄ38	8d以上

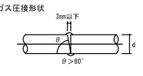
（３） 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

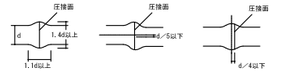
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（Ｎ／㎟）	定着の長さ			特別の定着および重ね継手の長さ（ℓ_1）
		一般（ℓ_d）	下端筋（ℓ_a）		
			小梁	スラブ	
ＳＲ235	21～36	35dフック付	25dフック付	15cmフック付	35dフック付
	18以下	45dフック付			45dフック付
ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ	21～36	40dまたは　30dフック付	25dまたは15d フック付	10dかつ15cm以上	40dまたは　30dフック付
ＳＤ345	18以下	40dまたは　30dフック付			45dまたは　35dフック付

継手

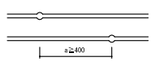
1．末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細いほうの鉄筋の継手長さとする
4．Ｄ29以上の異径鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5．鉄筋径の差が７㎜を越える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

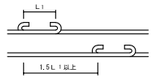


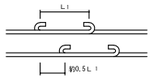


圧接継手



重ね継手（下記のいずれかとする）

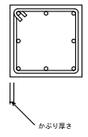




（４） かぶり厚さ　（単位：㎜）

ひび割れ発生目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

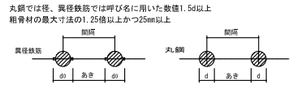
部位			設計かぶり厚さ（㎜）	最小かぶり厚さ（㎜）
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40（1）	30（20）
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50（2）	40（1）（30）
	擁壁		50（3）	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40（4）
	基礎・擁壁		70	60（4）



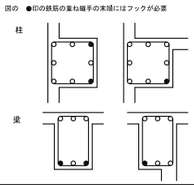
（注）（１）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30㎜とすることができる。
（２）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40㎜とすることができる。
（３）コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40㎜とすることができる。
（４）軽量コンクリートの場合は、10㎜増しの値とする。
（５）（ ）内は仕上げがある場合。

（５） 鉄筋のあき

丸鋼では径、異径鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25㎜以上



図の　●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

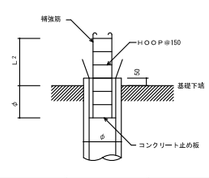
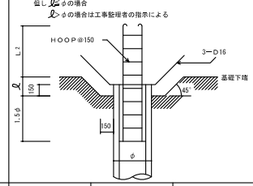


（６） 鉄筋のフック　（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける）

a. 丸鋼　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出隅部分の鉄筋（右図参照）
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

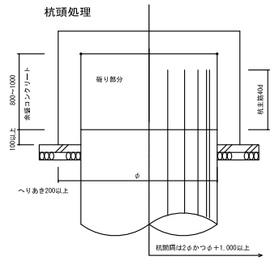
３．杭　（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること）

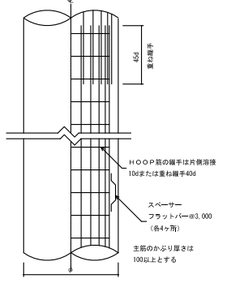
（１） ＰＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
					
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6－D13	8－D13	10－D13	8－D16	10－D16
ＨＯＯＰ	Ｄ10－@150				

（２） 現場打ちコンクリート杭

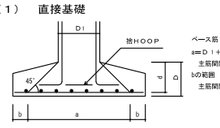
杭頭処理



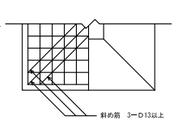


４．基　礎

（１） 直接基礎

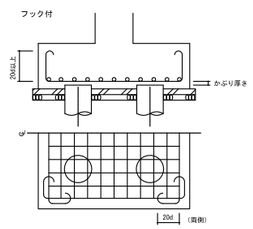


ベース筋
≧＝Ｄ１＋2d0範囲
主筋間隔は200以下
50範囲
主筋間隔の1.5倍かつ300以下

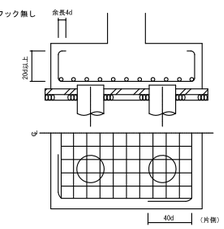


（２） 杭基礎

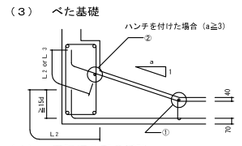
フック付



フック無し

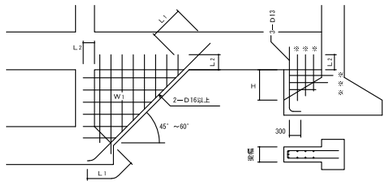


（３） べた基礎



1．剛圧版鉄筋の縁手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を互みかえる
2．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3．②の鉄筋はＤ13いじょうとする
4．埋戻し土のある場合は40㎜を70㎜とする

（４） 基礎接合部の補強

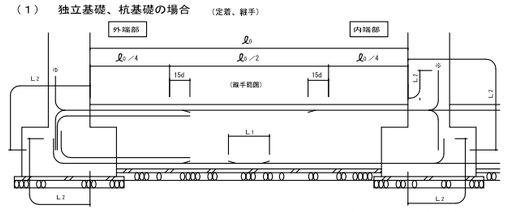


W１の三角壁厚さは、200㎜以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう。

※印筋はＤ10@200とする
Ｈ≦500のときは、※印筋は不用とする

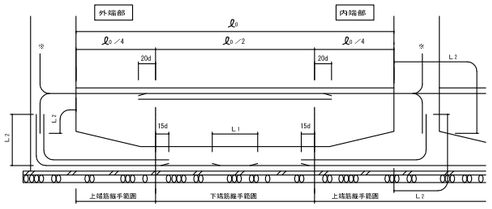
５．地中梁

（１） 独立基礎、杭基礎の場合　（定着、縁手）



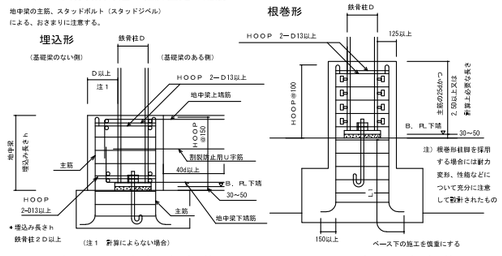
（２） 布基礎、べた基礎の場合　（定着、縁手）

※上端主筋の定着は、やむを得ない場合上向きとすることができる

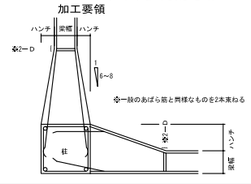


（３） 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

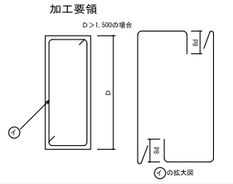
地中梁の主筋、スタッドボルト（スタッドジベル）による、おさまりに注意する。



（４） 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

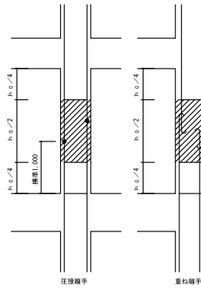


（５） せいの高い梁のあばら筋加工要領



６．柱

（１） 柱主筋の継手


h－2t－150
h－2t－150
h－2t－150

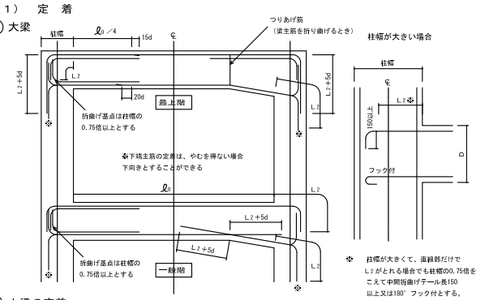
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

Ｌ：鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）の２－（３）による

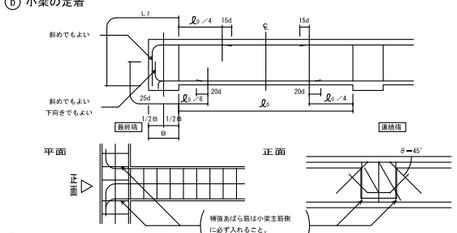
７．大梁、小梁、片持梁

（１） 定 着

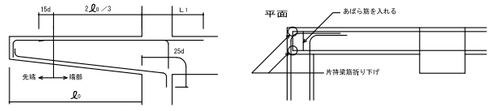
ⓐ 大梁



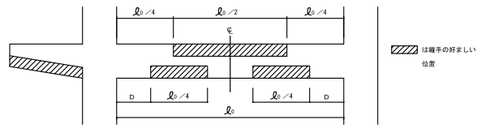
ⓑ 小梁の定着



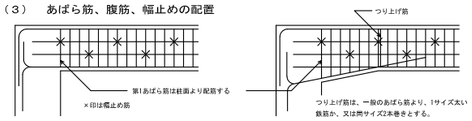
ⓒ 片持梁の定着



（２） 大梁主筋の継手



（３） あばら筋、腹筋、幅止めの配置



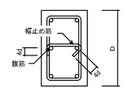
（４） あばら筋の型 （注、床版がない場合は135°以上のフックとする）



（イ）原則として ⓐ、ⓑ フックは先曲げとする。片側床板付（L型）梁で ⓒ、ⓓ
両側床板付（T型）梁で ⓔ又はⓕとすることができる。
（ロ）フックの位置は ⓐ、ⓒ、ⓔ、ⓖ では交互、 にあるⓑ、ⓕ はスラブ側とする。

（５） 幅止め筋の本数、加工

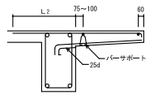
	D＜600	不要
腹筋	600≦D＜900	2－D10（9φ）1段
	600≦D＜1,200	4－D10（9φ）2段
	1,200≦D	D10（9φ）@300以内
幅止め筋	D10（9φ）@1,000以内で割り付ける	



８．床 板

（１） 定着および継手

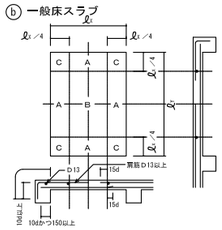
ⓐ 片持床スラブ



鉄筋位置は原則として下表による

		標準鉄筋位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ


ℓ1／4
ℓ1／4
C
A
C
A
B
A
C
A
C
ℓ1／4
ℓ2／4
D13
D13
15d
15d
150以上
10dかつ150以上
ℓ2／4
ℓ2
ℓ1
ℓ2
ℓ1
ℓ2
ℓ1

平成２２年７月１日　発行　社団法人　東京都建築士事務所協会　監修　東京都建築構造行政連絡会

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は　■　印を記入する。

１．建築物の構造内容

（１）建築場所　島根県隠岐郡西ノ島町大字浦郡　地内
（２）工事種別　◎新築　□増築　□増改築　□改築
（３）構造設計一級建築士の関与　□必要　□必要としない
□　法第20条第一号（高さ 60 m超）
□　法第20条第二号（□RC造高さ 20 m超　□S造 4 階建以上　□木造高さ 13 m超　□その他　）
注(3)構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（４）構造種別
◎木造（W）　□補強コンクリートブロック造（CB）　□鉄骨造（S）
□鉄筋コンクリート造（RC）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□
（５）階　数
１棟　地下　0 階　地上　1 階　塔屋　階
（６）主要用途　図書館
（７）屋上付属物
□高 架 水 槽　kN　□キュービクル　kN　□広告塔　□煙　突
（８）特別な荷重
□エレベータ　人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式）　□リフト　kN　□ホイスト　kN
□倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　kN　□
（９）付帯工事
□門塀　□擁壁　□駐輪場　□機械式駐車場　□　□
（10）増築計画　□有（　）◎無
（11）構造計算ルート　X方向ルート　－（１）　Y方向ルート　－（１）

２．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（１）コンクリート　（レディーミクストコンクリート　JIS Q 1001、JIS Q 1011、JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質基準強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	■普通	18		15	
土間コンクリート	■普通	18		15	
基礎・基礎梁	■普通	24		15	
柱・梁・床・壁	□普通、□軽量				比重
	□普通、□軽量				比重
押えコンクリート	□普通、□軽量				比重
細骨材の種類		◎砂 □山砂	□人工 □		
粗骨材の種類		□砂利 ◎砕石	□人工 □		
水の区分		◎水道水 □地下水	□工業用水 □		
混和材料の種類（JIS　）		□AE減水剤 ◎高性能AE減水剤 □	□		
呼び強度を保証する材齢、養生		◎材齢 ◎28日 □56日 □	□	□	
		□養生（□現場封かん □現場水中	□標準	□	）

□単位水量は 185kg/m³ 以下、単位セメント量は 270kg/m³ 以上とする。

（２）コンクリートブロック　（□ JIS A 5406）
□ A種 □ B種 □ C種　厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190　使用箇所（□　□　）

（３）鉄　筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	◎ SD295 A	10,13,16		□重ね継手
	□ SD295 B			□ガス圧接継手
	◎ SD345	19		□溶接継手
	□ SD390			□機械式継手
	□			（　）
高強度せん断補強筋	□ 材種			各継手の使用詳細については本仕様5 (2)鉄筋の項の鉄筋継手等の章にて表示すること。
	□ 大臣認定番号 MSRB-			
丸　鋼（JIS G 3112）	□ SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	□			

（４）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
◎SS400 □SM400 □SN400 A, B, C		□有 □無	JIS G
□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	JIS G
□BCR295 □BCP235 □BCP325		□有 □無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
□SM490 A □SN490 B □SM490 C		□有 □無	JIS G
□SSC400 □		□有 □無	JIS G
溶接材料 □ JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

（５）ボルト
□高力ボルト
□F10T(JIS B1186)　□S10T 認定番号（　）　□F8T 認定番号（　）　（□M16、□M20、□M22、□M24）
◎ボルト(JIS B1180)　M 12　#　□ 4.8(4T)　◎ LS 16
◎アンカーボルト
□SS400　M16　L=　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
□　M　L=　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
□頭付スタッドボルト
φ=　L=　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）
φ=　L=　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）

（６）屋根、床、壁

材種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC　(JIS A 5416)	厚	□壁 □床版	□スライド □ボルト止め □ロッキング □
折 版	H= 厚	□屋根 □	□
特殊デッキプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□
デッキプレート　(JIS G 3352)	型式 厚	□床版 □	□
キーストンプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□

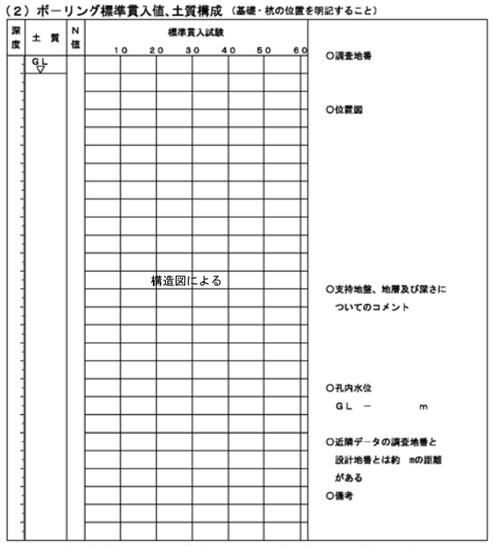
３．地　盤

（１）地盤調査資料と調査計画
◎有　（□敷地内　□近隣）　□無　（調査計画　□有　□無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験杭（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（２）ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

４．地業工事

（１）直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験坑　□有 □無
深さ GL－　m、支持層－　、長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験　□有 □無
（２）地盤改良　□浅層混合処理工法　□深層混合処理工法　□
深さ GL－　m、長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験　□有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする
（３）杭基礎　支持層－

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PRC	PRC(□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種)	□打ち込み	
□PHC □Ⅰ鋼	PHC(□A種 □B種 □C種)	□埋込み　(セメントミルク工法)	
◎鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	◎アルファフォースパイル工法	認定第　号
□SC杭 □	□JIS ◎STK400	□	年　月　日
□場所打ち	コンクリートFc　N/mm²	□オールケーシング □拡底杭	
コンクリート杭	Fq　N/mm²	□リバースサーキュレーション	認定
	スランプ　cm以下	□アースドリル □ミニアース	第　号
	セメント量　kg/m³	□ＢＨ □深礎 □手掘	年　月　日
	単位水量　kg/m³	□機械掘	
	鉄　筋　主筋 SD		
	HOOP SD		

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有・□無）　（□打ち込み・□載荷・□孔壁測定）　本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項
φ114.3	50kN	GL-9.3	292	国土交通大臣認定工法
				認定番号TACP-0241

５．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が
36 N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

（１）コンクリート
□ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
□ 耐久設計基準強度　Fd　□一般　□標準　□長期　□
□ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
□ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
□ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
□ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
□ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T － 603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをとる。
また、打込み量が 150 m³ を超える場合は 150 m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
□ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25 ℃未満の場合は 150 分以内、25 ℃以上の場合は 120 分以内とする。
□ コンクリート打込み中及び打込み後５日間は、コンクリートの温度が２度を下らないようにする。
□ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（２）鉄　筋
□ 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD 種１号溶合品とする。
□ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
■ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位(注) A級	B級	SA級	鉄筋の径
□ 重ね継手	□ 40d □35d □(　)d				□ D(　) 以下
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□ D(　) 以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D(　) 以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D(　) 以上

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
□ D19 未満は、すべて重ね継手とする。
□ 継手部分の施工要領は 社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査　□有　□無　・引張試験　□有　□無　・超音波探傷試験　□有　□無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、１回の試験は 5 本以上とする。
（１ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で 200 箇所程度とする）
□ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型（タガ型）　□W型（溶接型）　□S型（スパイラル型）とする。
□ コンクリート及び鉄筋の試験は『建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱』第４条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名　（都知事登録　号）
代行業者名
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（３）型　枠
□ 材料　合板厚 12 mm を標準とする。　□ 施工　JASS 5 による。
□ 型枠存置期間

部位 / 平均気温	せき板 基礎、はり側、柱、壁	せき板 スラブ下、はり下	支柱 スラブ下	支柱 はり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種
存置期間の平均気温 15℃以上	2 / 3	4 / 6	8 / 17	28
5℃～15℃	3 / 5	6 / 10	12 / 25	28
5℃未満	5 / 8	10 / 16	15 / 29	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²	設計基準強度の50%	設計基準強度の85%	設計基準強度の100%

注）1　片持ばり、庇、スパン９０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）7　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）8　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

６．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（１）鉄骨工事は指示のない限り下記による
□ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
（２）工事監理者の承認を必要とするもの
□製作工場　□製作要領書　□工作図　□施工計画書
□認定または登録工場（大臣認定　S H M R J グレード　都登録　T1 T2 T3 ランク）
□材料規格証明書※、または試験成績書
□鋼材　□高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
□社内検査表　□　□
（３）工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　□製品検査　□建方検査　□
（４）接合部の溶接は下記によること
□ 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」
（５）接合部の検査
□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査事又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
□完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□	超音波探傷検査	% 個	% 個	% 個	
	内質検査(注) □硬さ試験	% 個	% 個	% 個	（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	□示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
□	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名			（都知事登録　号）		

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
□ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要　□ 否　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　□ 否
□　一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
□　トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。
（６）防錆塗装
□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、□JIS K 5621、□JIS K 5625、□　、□　を使用して、
４ つ星 2 回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2 回塗りとする。
（７）耐火被覆の材料
□

７．設備関係

□ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
□ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
□ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
□ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
□ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。

８．その他

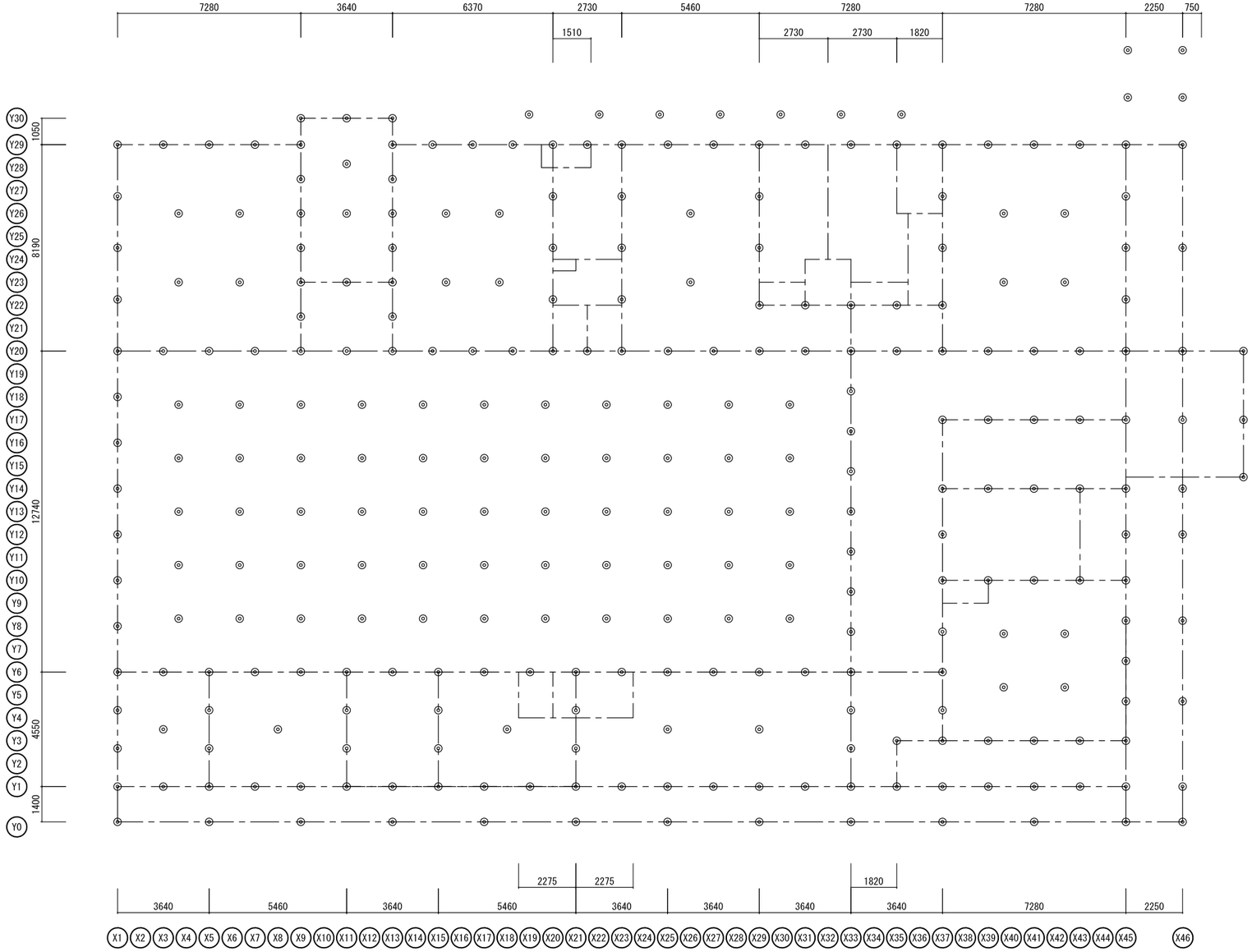
□ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
□ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
□ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

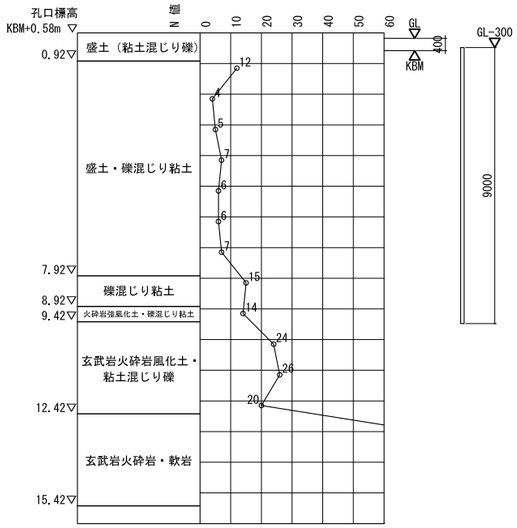
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-09
図面名称	構造設計特記仕様書		縮尺 －	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号 **
丹羽雅人	丹羽雅人		他	



杭　伏図

NO.1 土質 柱状図 GL=KBM+400



地盤改良　杭　概要

工法：アルファフォースパイル工法			
符号	全長	概要	本数
P1	9.0m	杭径：114.3φ　先端羽根径：300φ　管厚：4.5mm　羽根厚：9.1mm	292本

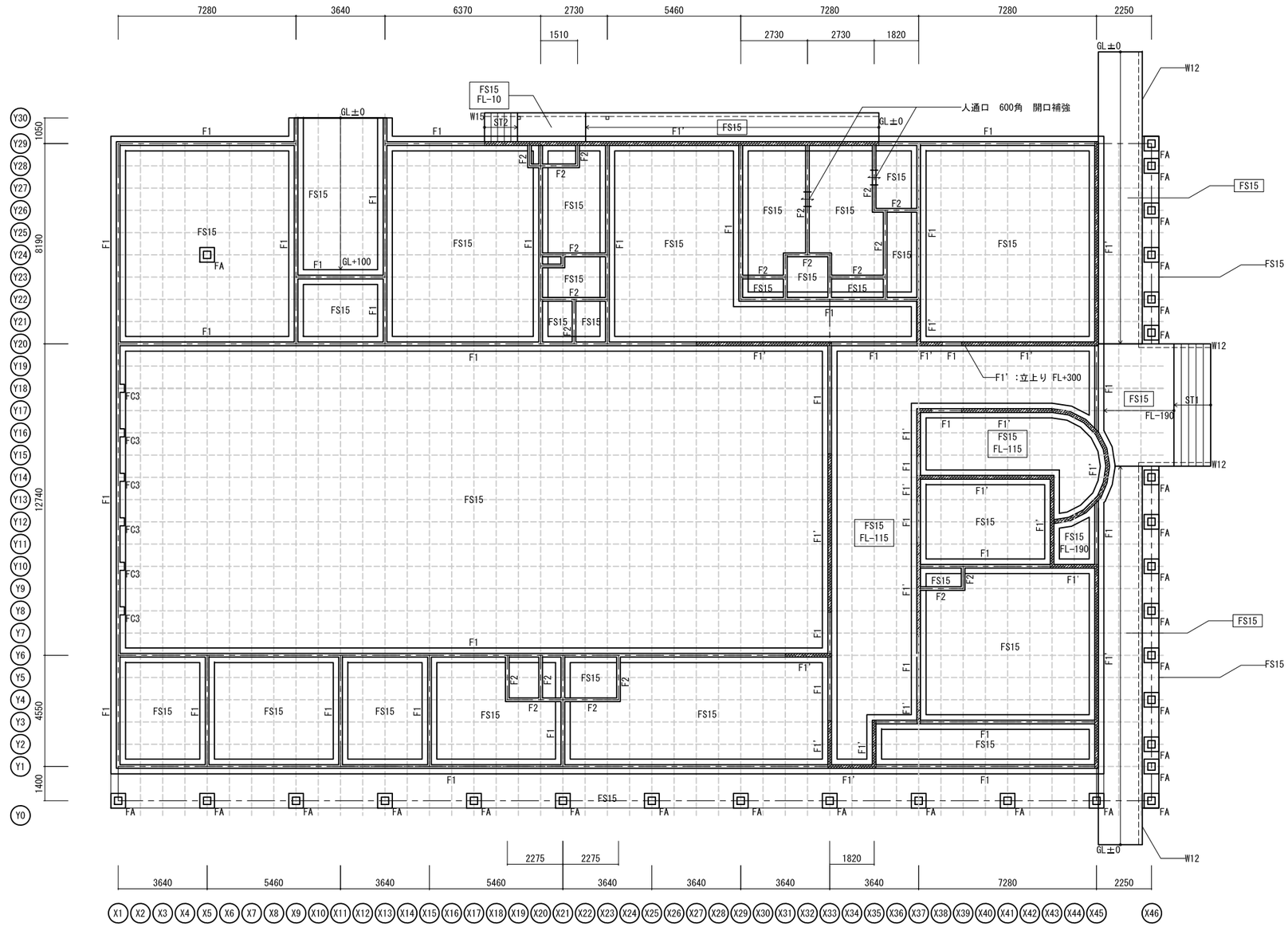
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別
図面名称	杭　伏図		縮尺 1:100	S-10
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**



基礎　伏図

※土間スラブ天端 GL+100

□ で囲ってある箇所は、真砂土埋め戻しの上にFS15

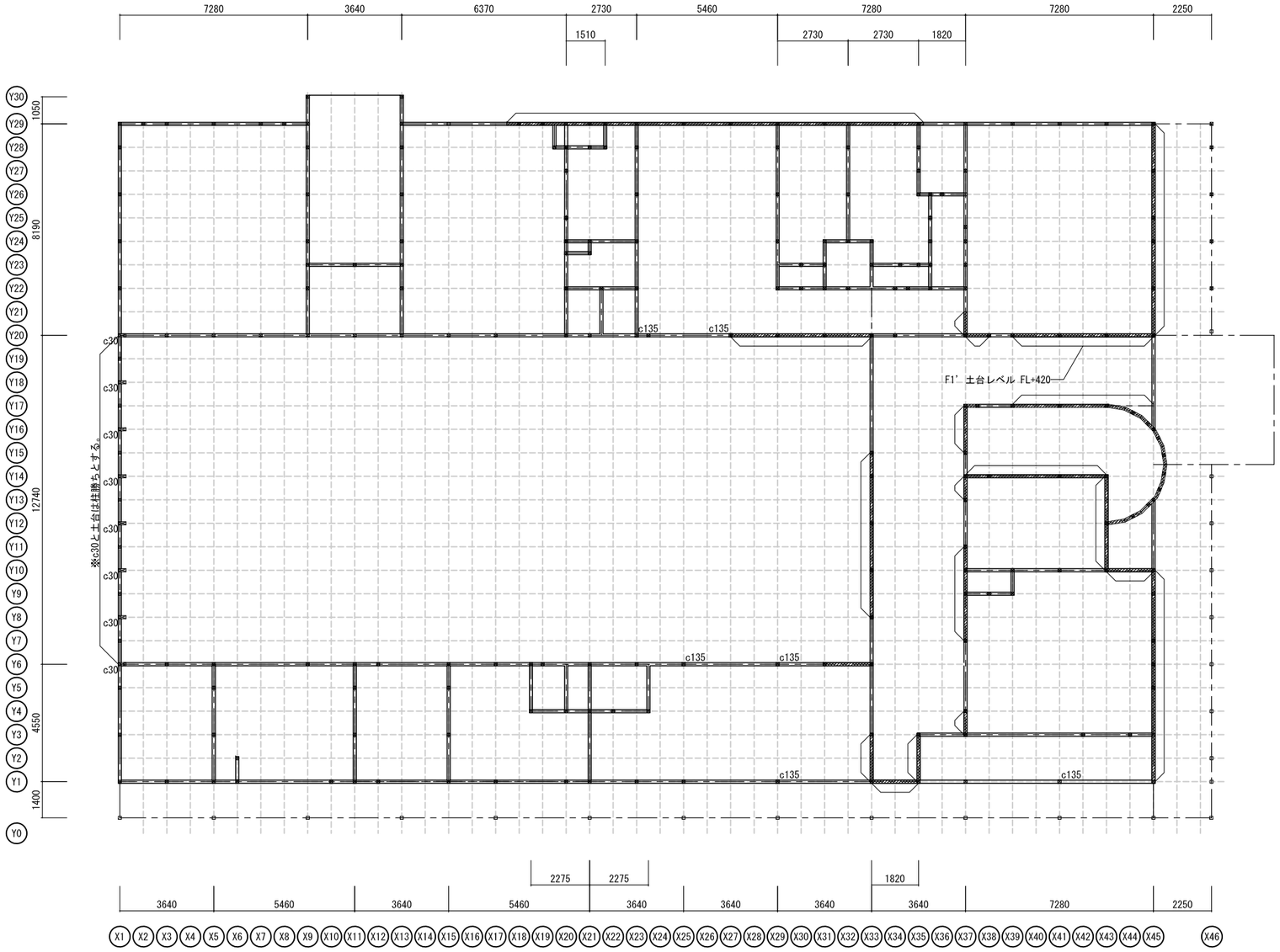
※F1'（斜線部）は、基礎天端=FL+300

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所 岡山県知事登録第1776号 1級建築士登録第320100号 丹羽雅人 〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21 TEL:086-226-1135	設計番号 –	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-11
	図面名称 基礎　伏図			縮尺 1:100	
	所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者	作成日	通し番号 **
				他	



土台　伏図

:d12　120×120　（特記なき土台は全てd12とする。）

:c12　120×120（特記なき柱は全てc12とする。）

※1階床仕様は、鋼製床組の上に構造用合板15+15とする。

※斜線部は、土台天端=FL+420

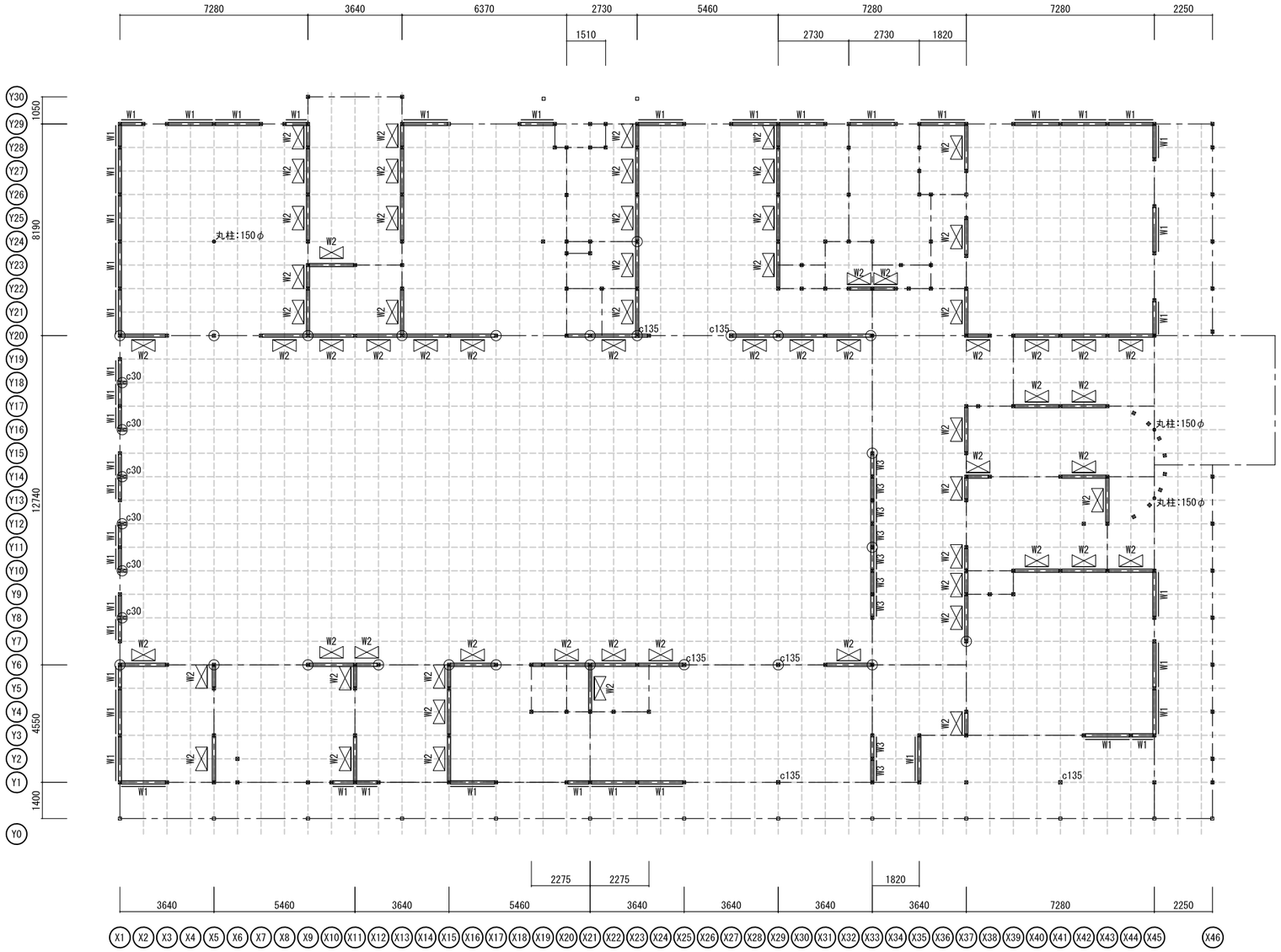
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-12
図面名称	土台　伏図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者		作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人			他	**



柱・耐力壁　伏図

■　：c12　120×120（特記なき柱は全てc12とする。）　　◉　：通し柱

W1　：耐力壁　構造用合板 t=12

W2　：耐力壁　たすき掛け筋かい 45×90

W3　：耐力壁　構造用合板 t=24

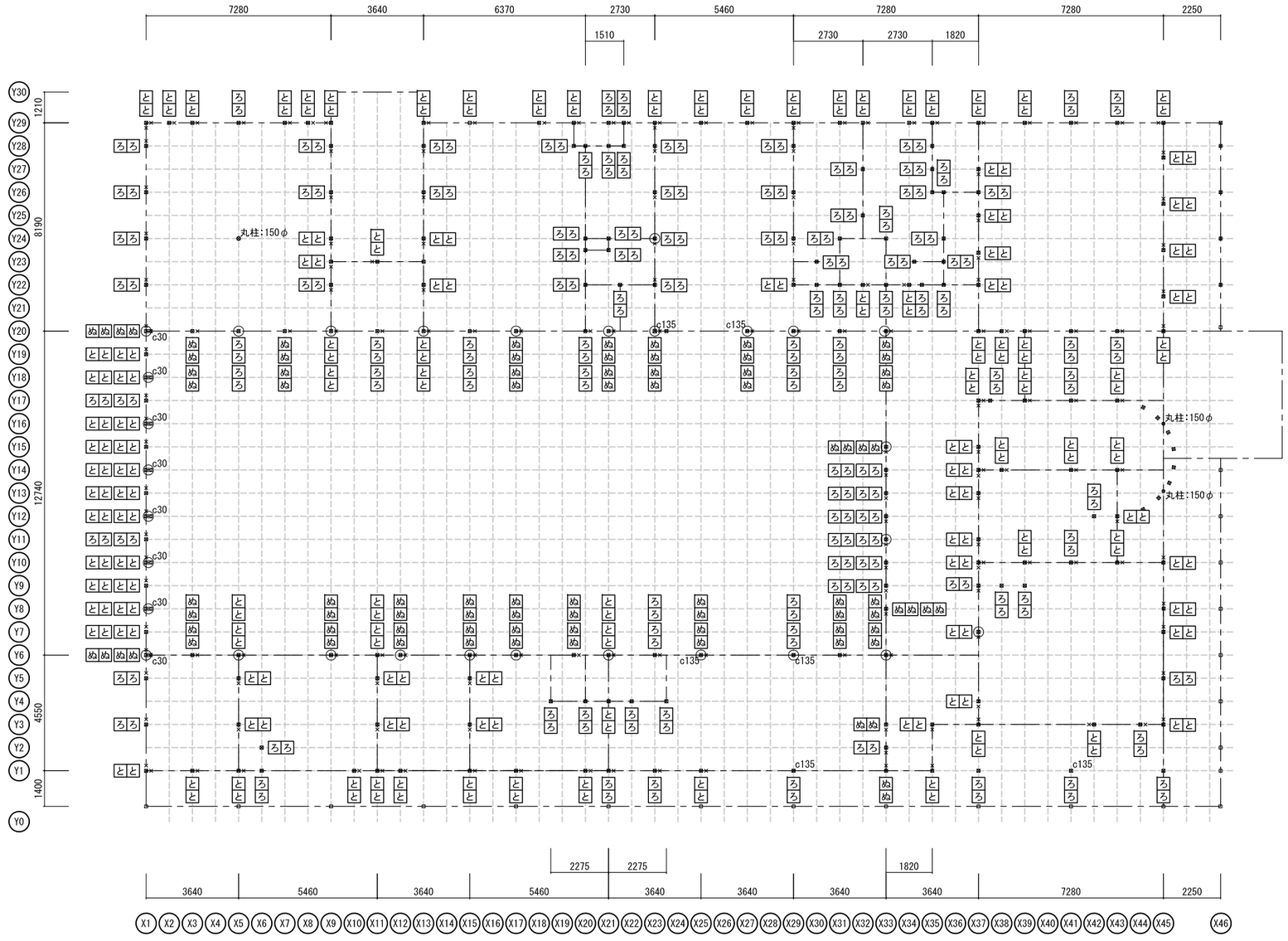
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版:1/100
A3版:1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-13
図面名称	柱・耐力壁　伏図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者		作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人			他	**



柱頭柱脚金物　伏図

■　：c12　120×120（特記なき柱は全てc12とする。）

ぬ
ぬ　：柱頭柱脚接合金物

ぬ
ぬ　：柱頭柱脚接合金物

×　：耐力壁用アンカーボルト　M16 柱心からの距離200mmとする
土台固定用アンカーボルトは標準図による

ろ：長ほぞ差し

と：ビス止めホールダウンU15

ぬ：ブルースホールダウン40

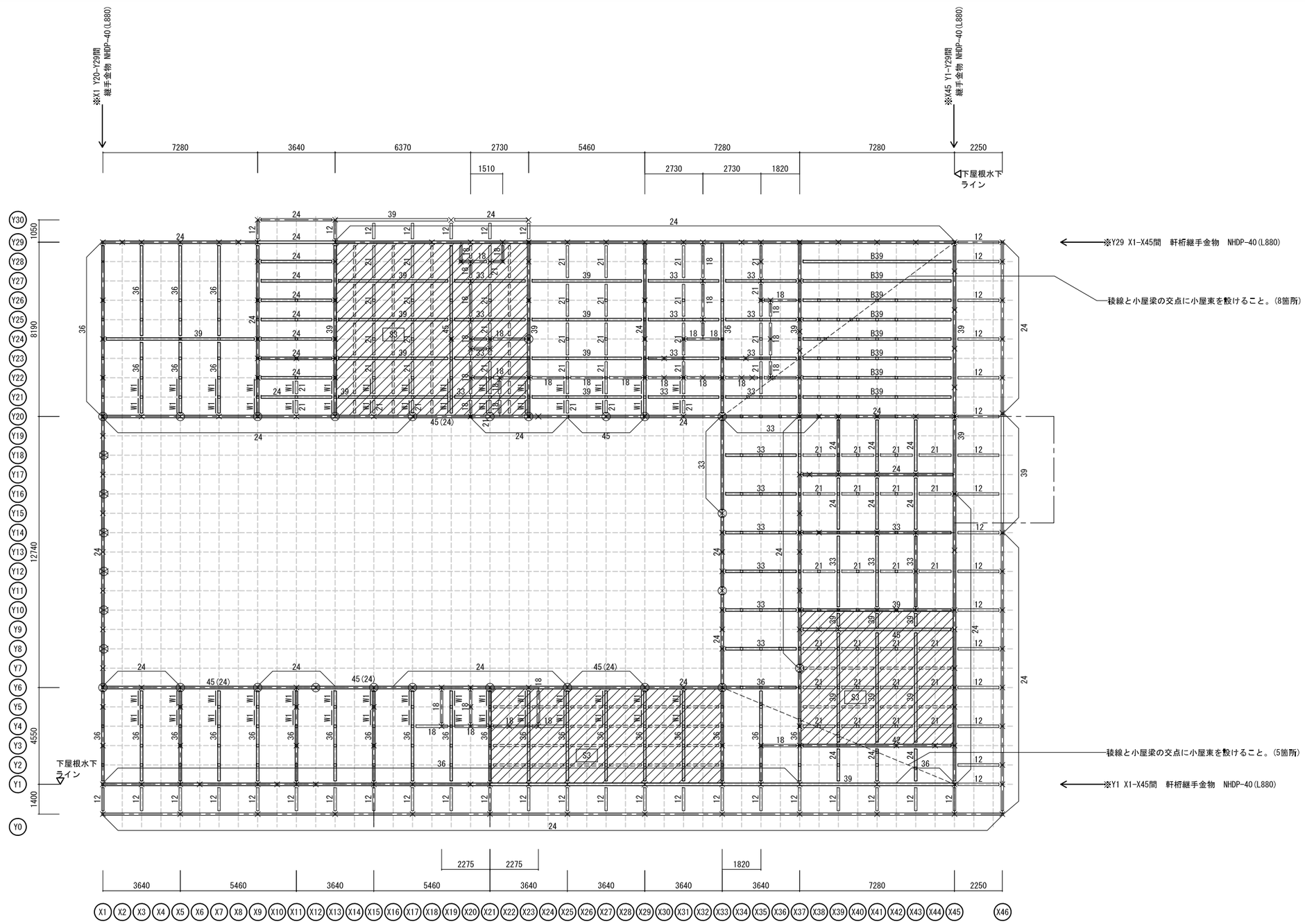
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版:1/100
A3版:1/200

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-14
図面名称	柱頭柱脚金物　伏図		縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**



下屋根　小屋伏図

梁レベル　FL+3150

18 ：頭つなぎ　120×180　　21 ：小屋束受け 120×210　　W1 ：耐力壁　構造用合板 t=12

▫ ：小屋束　120×120 @910

× ：下階柱　　⊗ ：通し柱

：水平構面　構造用合板 t=28 構造用合板受け材 105×105 @910、四周釘打ちCN75@100

※横架材接合部継手は、（1）腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物 とする。

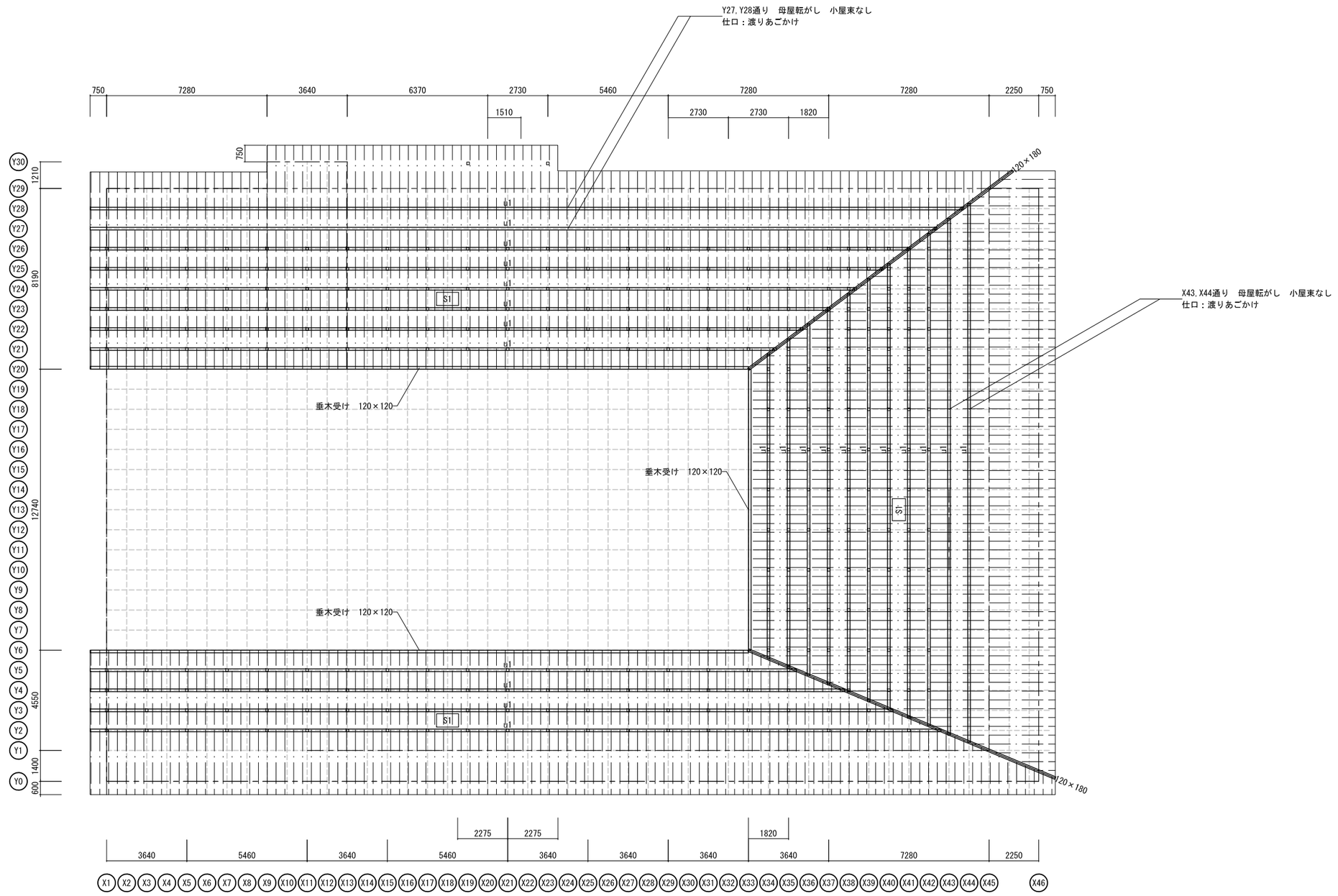
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-15
図面名称	下屋根　小屋伏図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者		作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人			他	**



下屋根　母屋・構面　伏図

S1:屋根構面　垂木 45×90 @420、構造用合板 t=12　垂木釘打付　CN50@150
u1:母屋　120×150
:小屋束　120×120

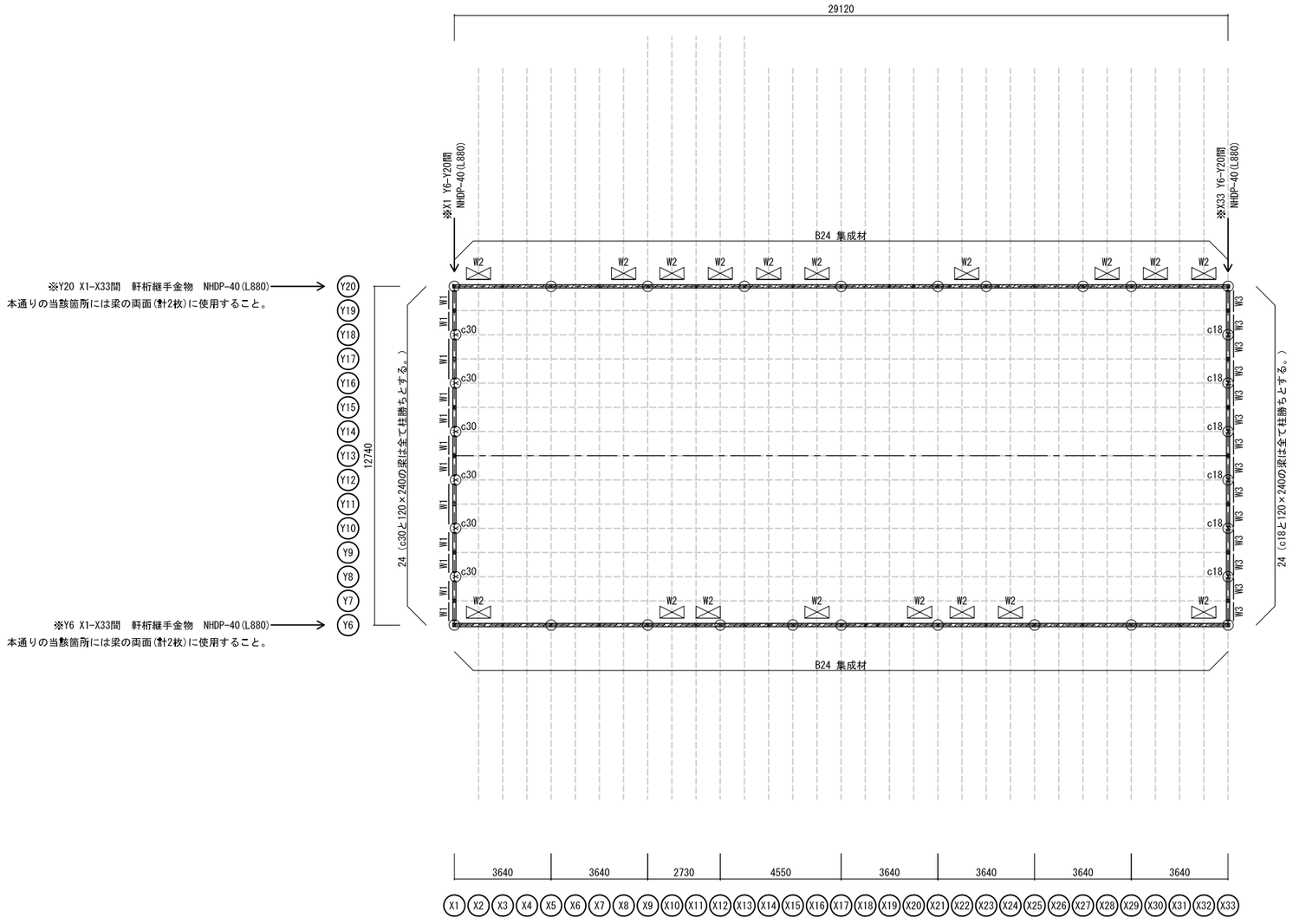
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版:1/100
A3版:1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-16
図面名称	下屋根　母屋・構面　伏図			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者		作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人			他	**



上屋根　小屋伏図　1

梁レベル　FL+5400

× ：下階柱　　⊗ ：通し柱

▫ ：小屋束　120×120

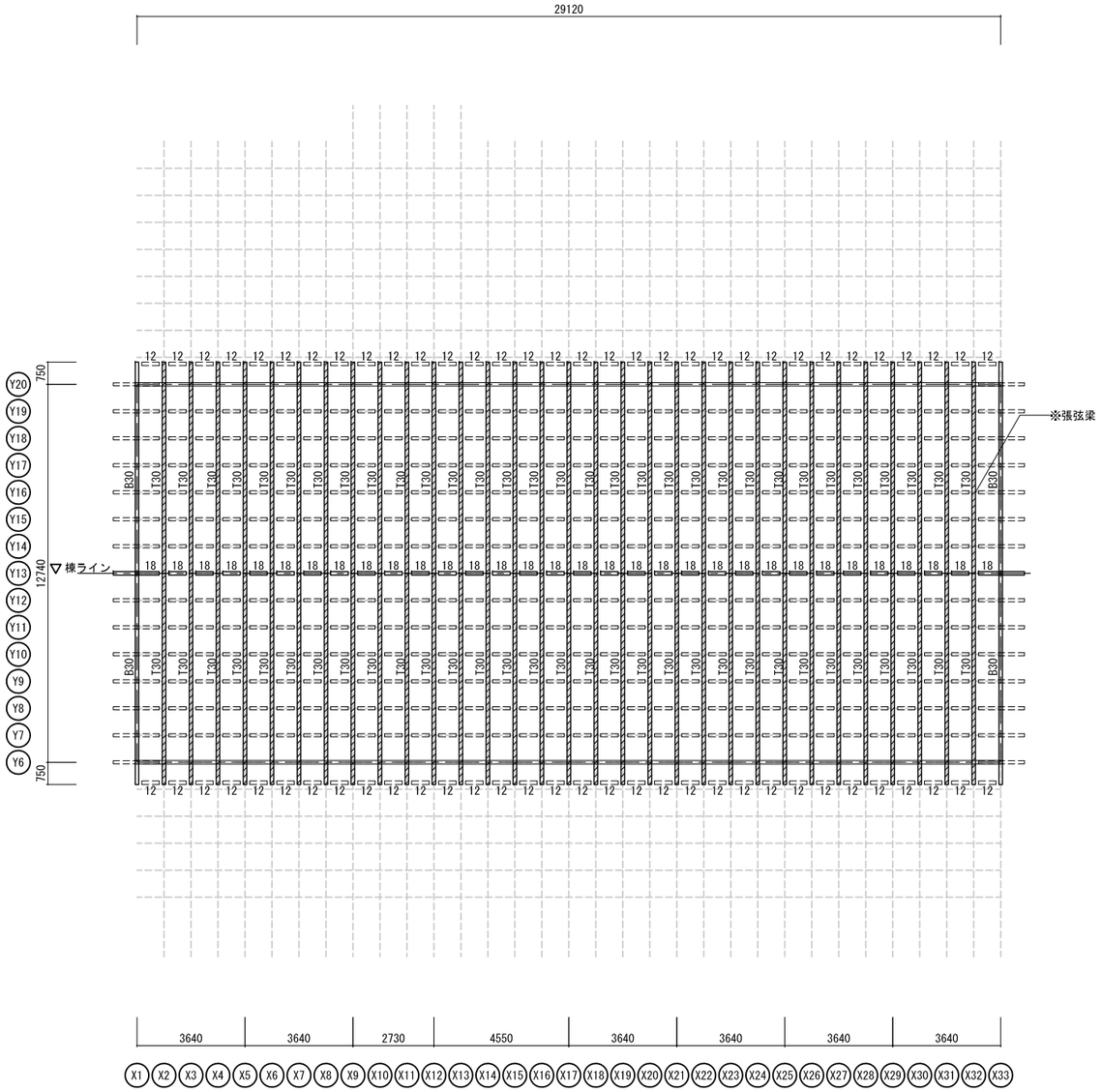
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-17
図面名称	上屋根　小屋伏図　1			縮尺 1:100	
所長	丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者	作成日	通し番号 **
				他	



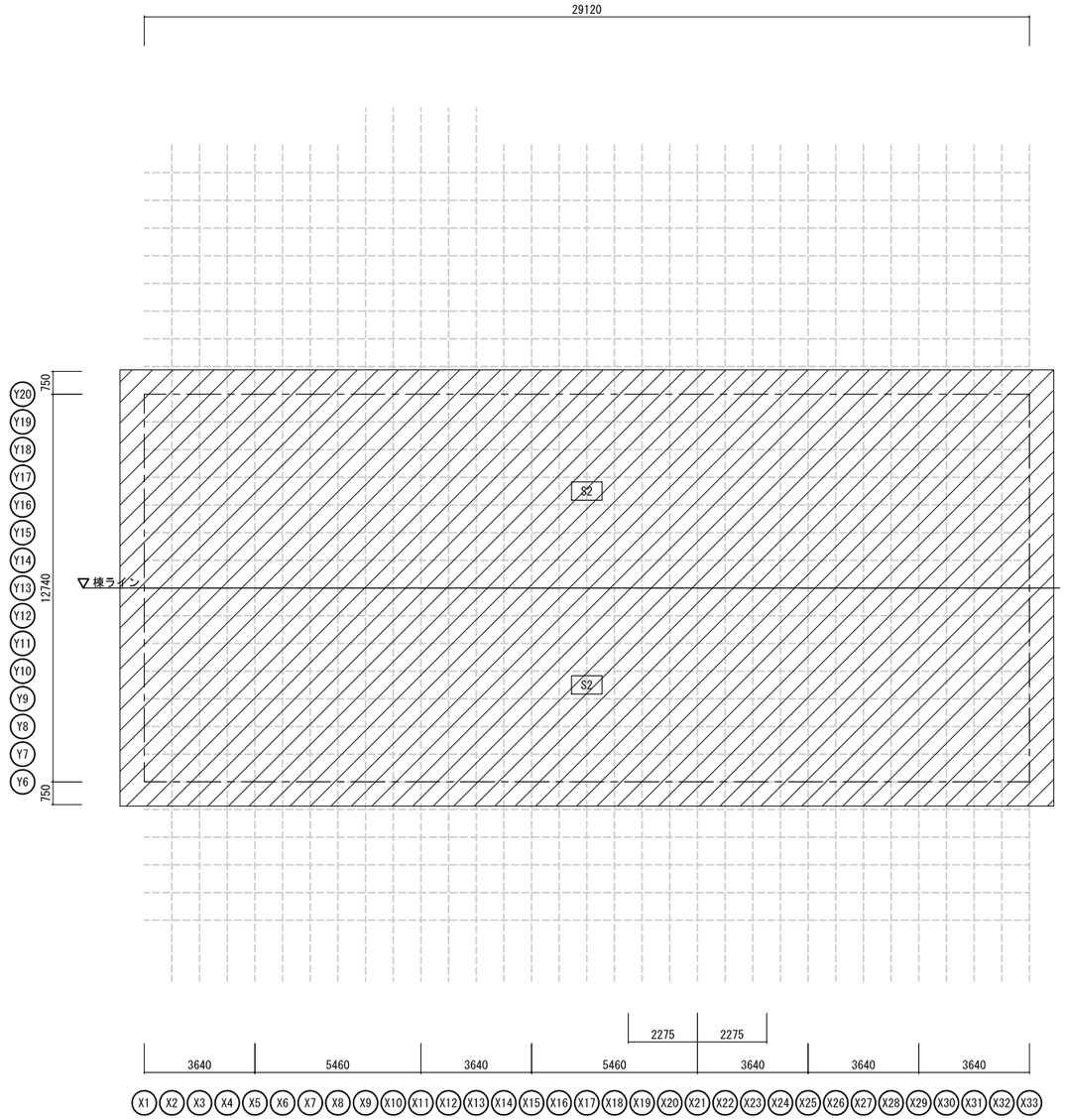
上屋根　小屋伏図 2

=== ：屋根板受け　90×90 @910

【特記事項】X2～X32通りY6-Y20のT30の梁は張弦梁とする。合計31台

（合掌材120×300　欧州アカマツ　対称異等級構成　E105-F300

束材　H-125×60×6×8　両端引張材　上部：2-M12 下部：1-S16 中央：2-S16）



上屋根　構面　伏図

S2:屋根構面　構造用合板 t=28 四周釘打ち　CN75@100

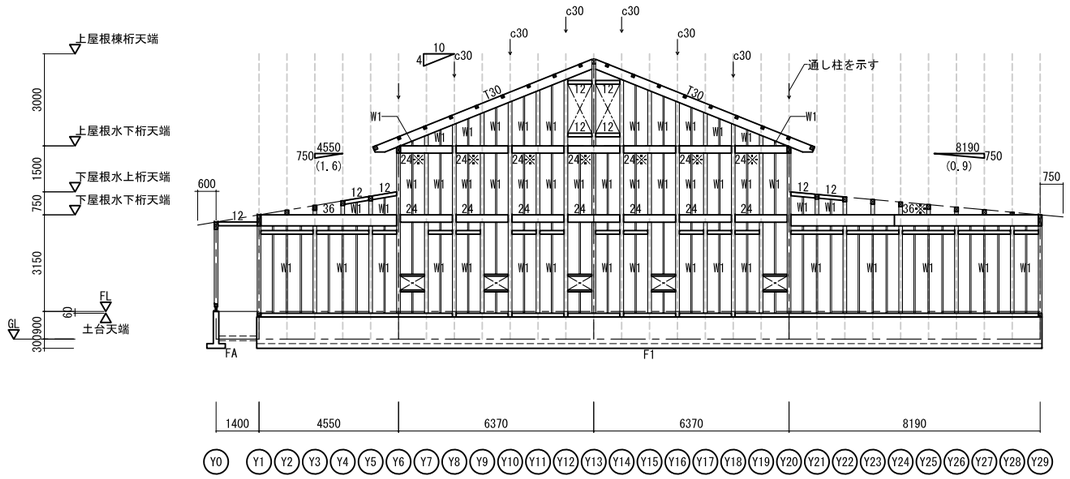
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版:1/100
A3版:1/200

特記事項：

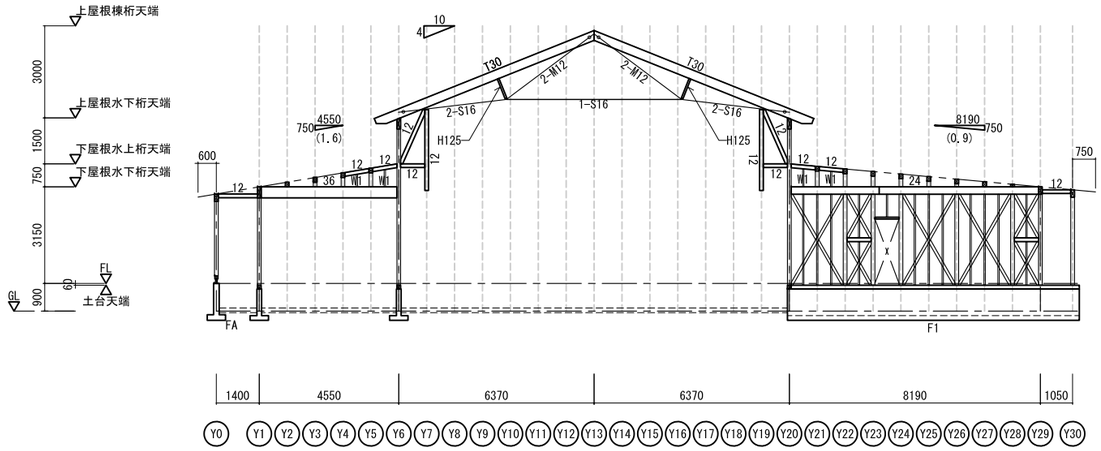
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	–	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-18
図面名称	上屋根　小屋伏図 2 / 構面　伏図			縮尺 1:100	
所長	丹羽雅人	担当	丹羽雅人	作成者	作成日
				他	通し番号 **

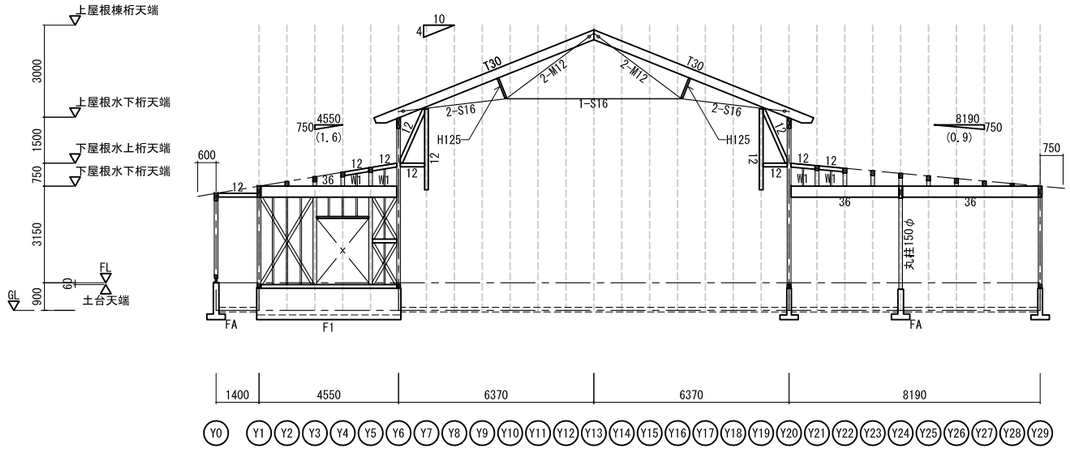


X1通り　軸組図

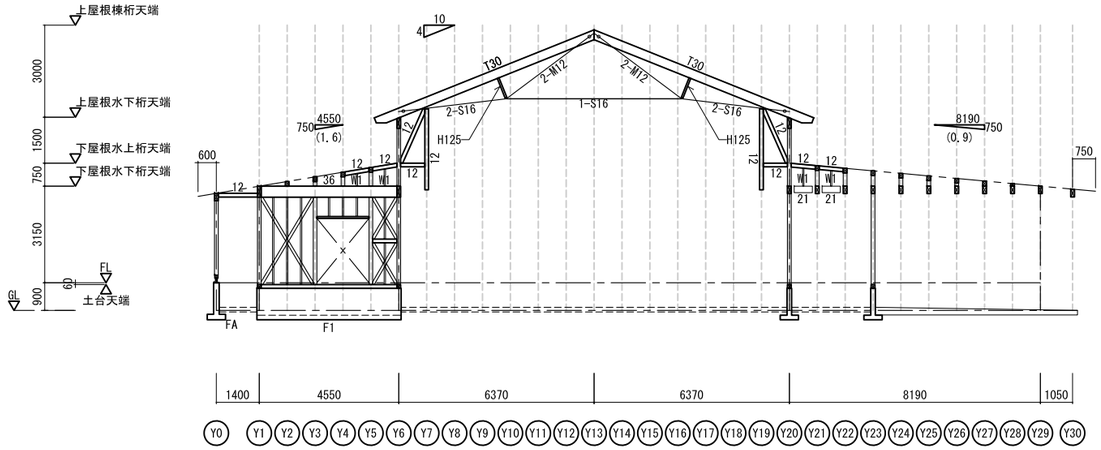
※軒桁の継手、妻面の柱梁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。



X9通り　軸組図



X5通り　軸組図



X11通り　軸組図

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

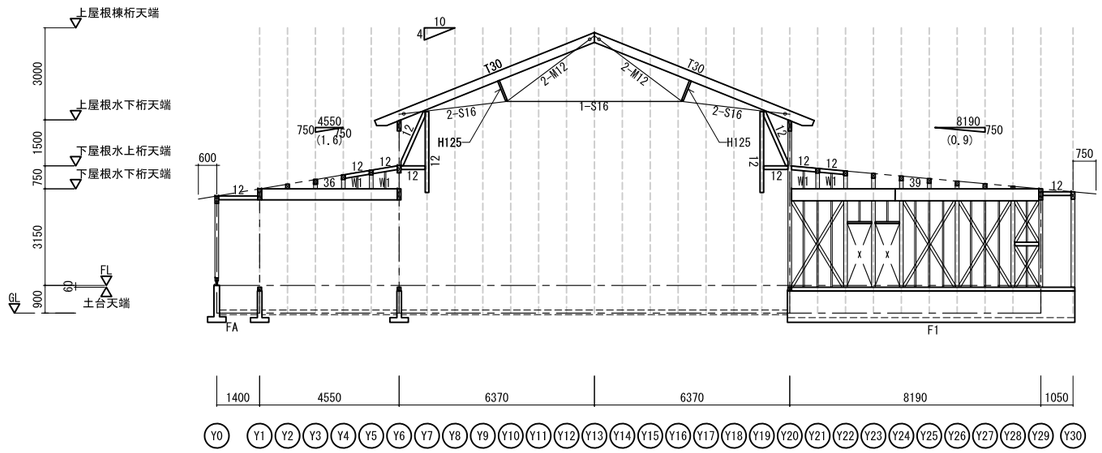
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版:1/100
A3版:1/200

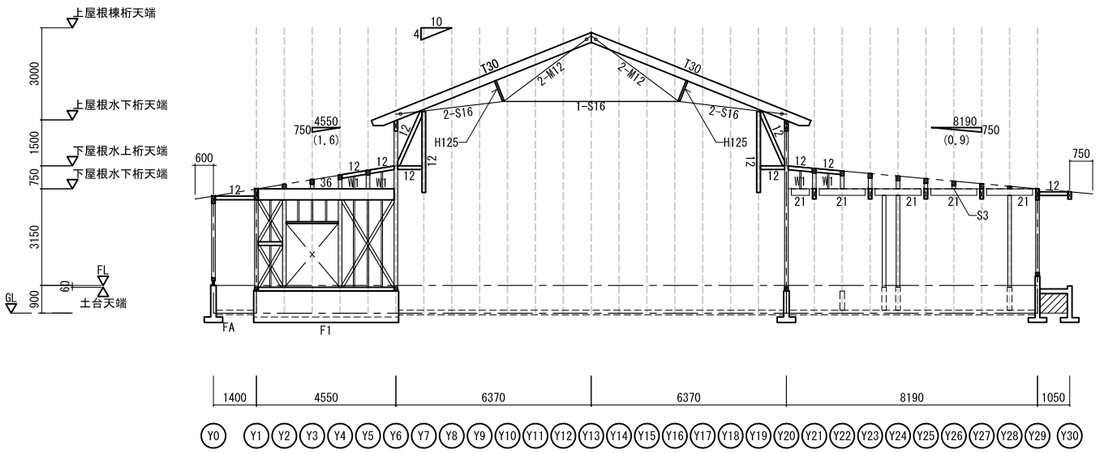
特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

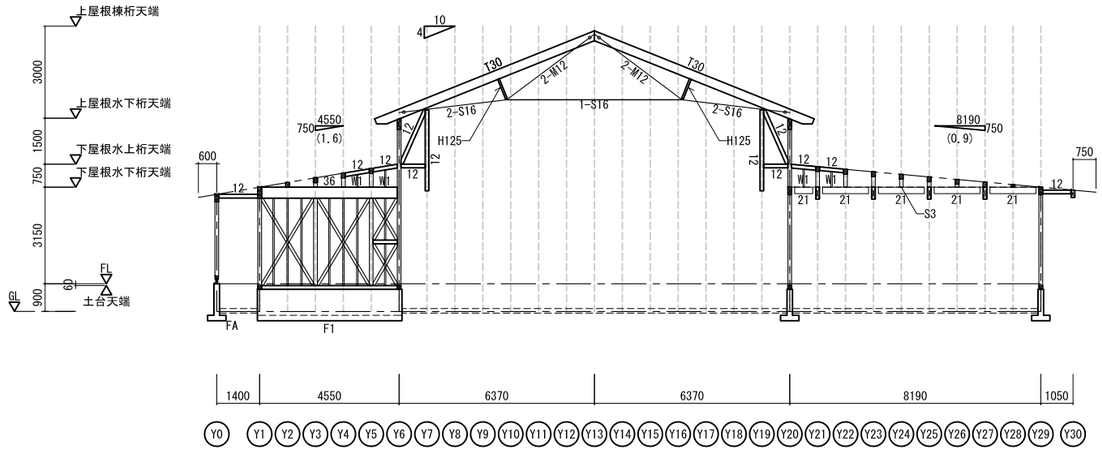
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-19
図面名称	軸組図　1		縮尺	1:100	
所長	担当	作成者	作成日		通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他		**



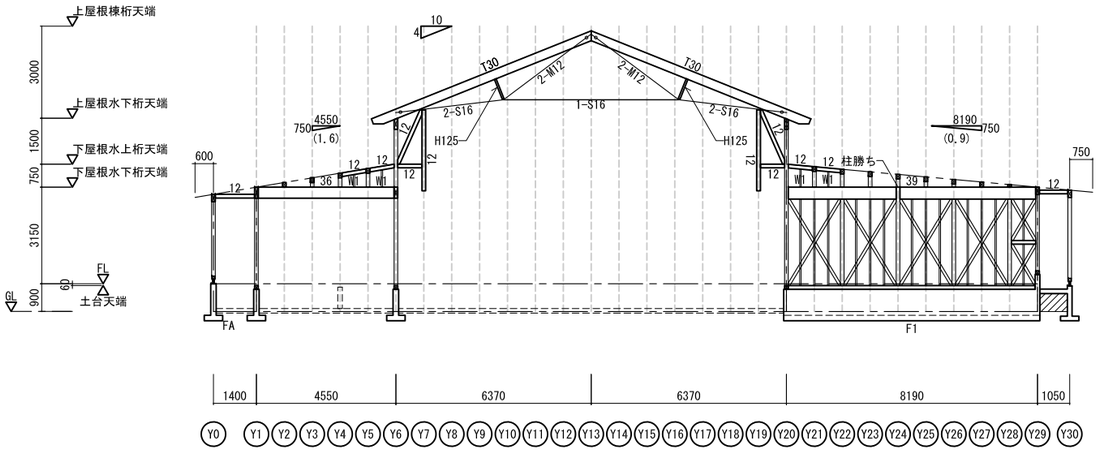
X13通り　軸組図



X21通り　軸組図



X15通り　軸組図



X23通り　軸組図

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

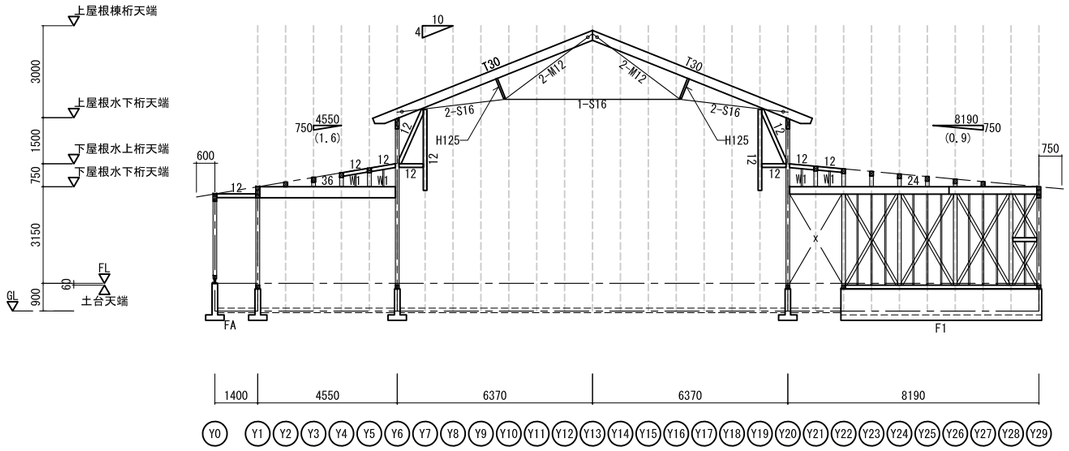
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版：1/100
A3版：1/200

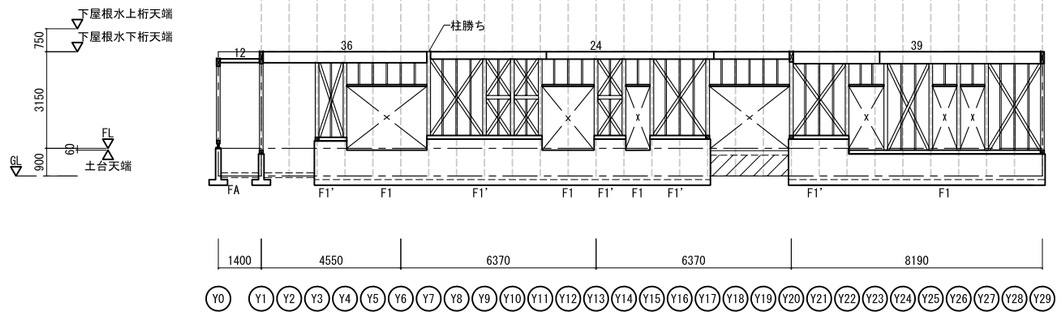
特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

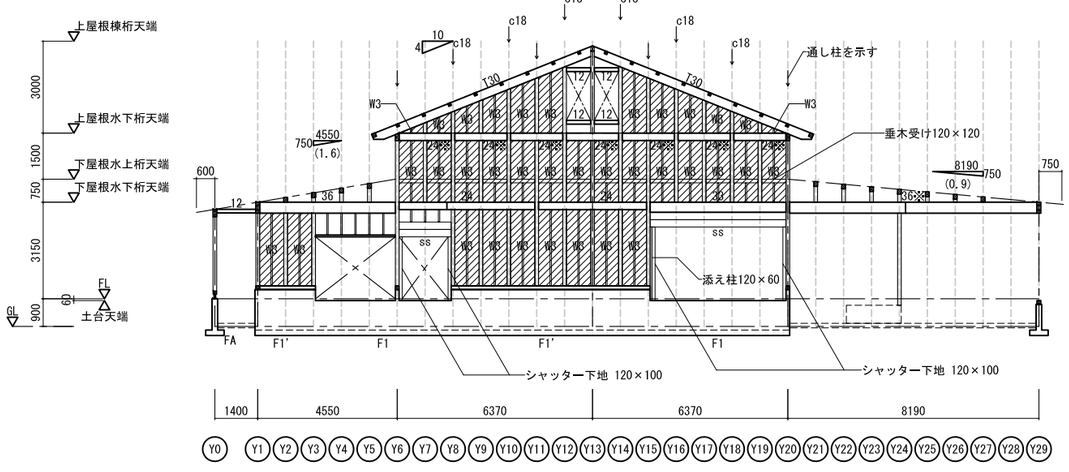
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-20
図面名称	軸組図　2		縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**



X29通り　軸組図



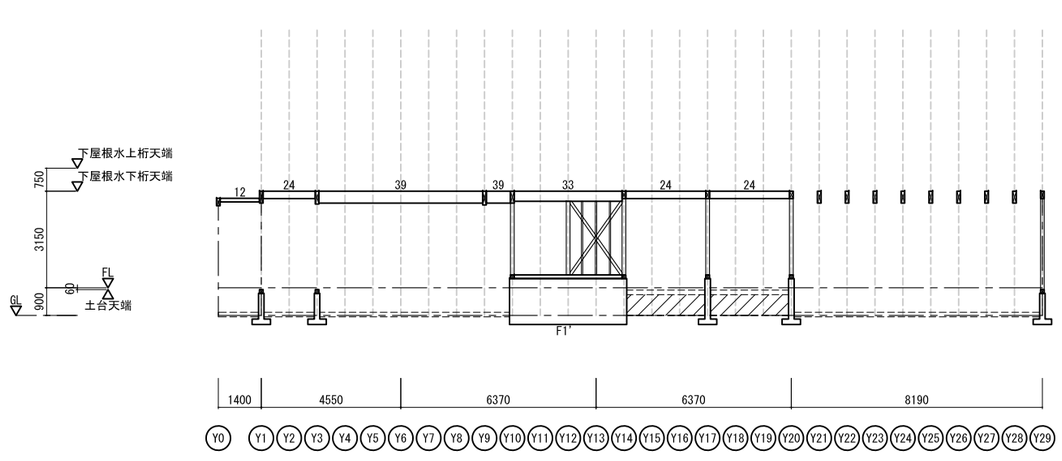
X37通り　軸組図



X33通り　軸組図

※軒桁の継手、妻面の柱梁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。

※ss:シャッター下地　2-120×240の上に木下地45×480



X43通り　軸組図

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

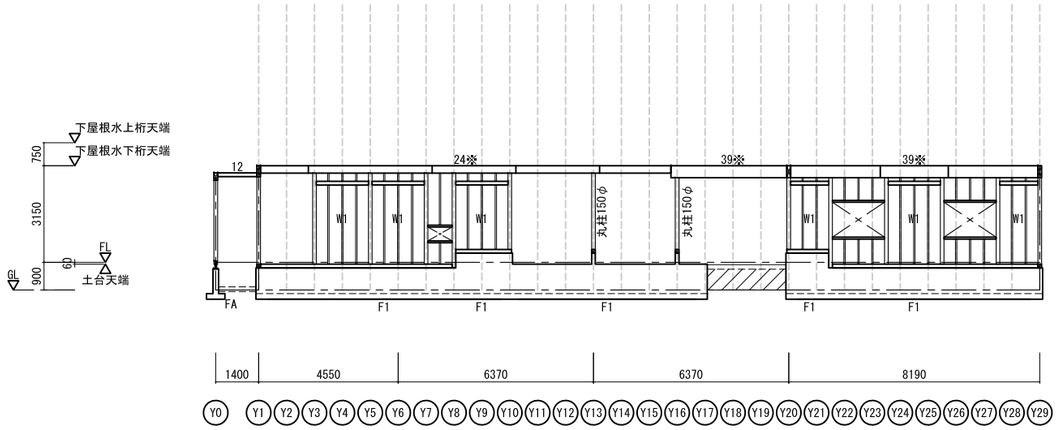
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版:1/100
A3版:1/200

特記事項：

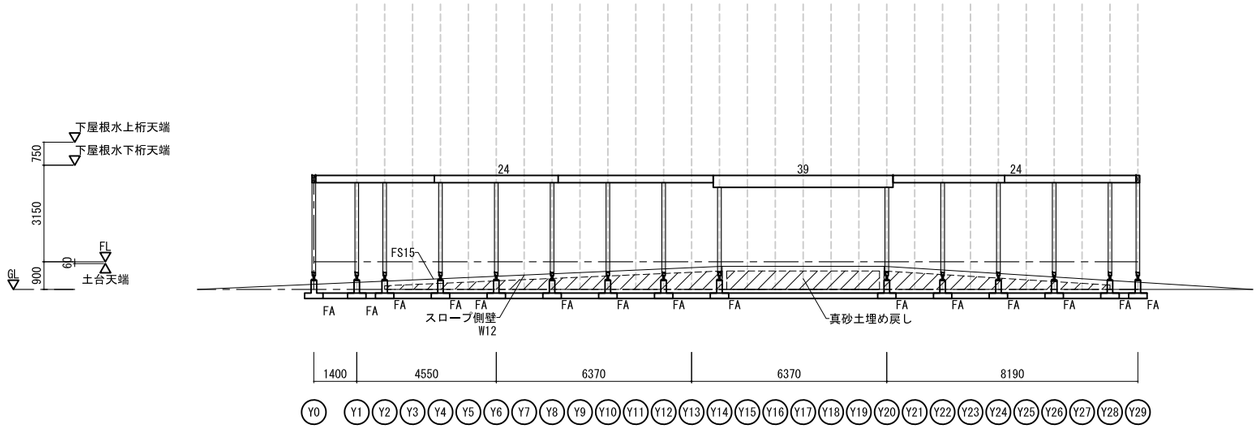
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-21
図面名称	軸組図　3			縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**	



X45通り　軸組図

※軒桁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。



X46通り　軸組図

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

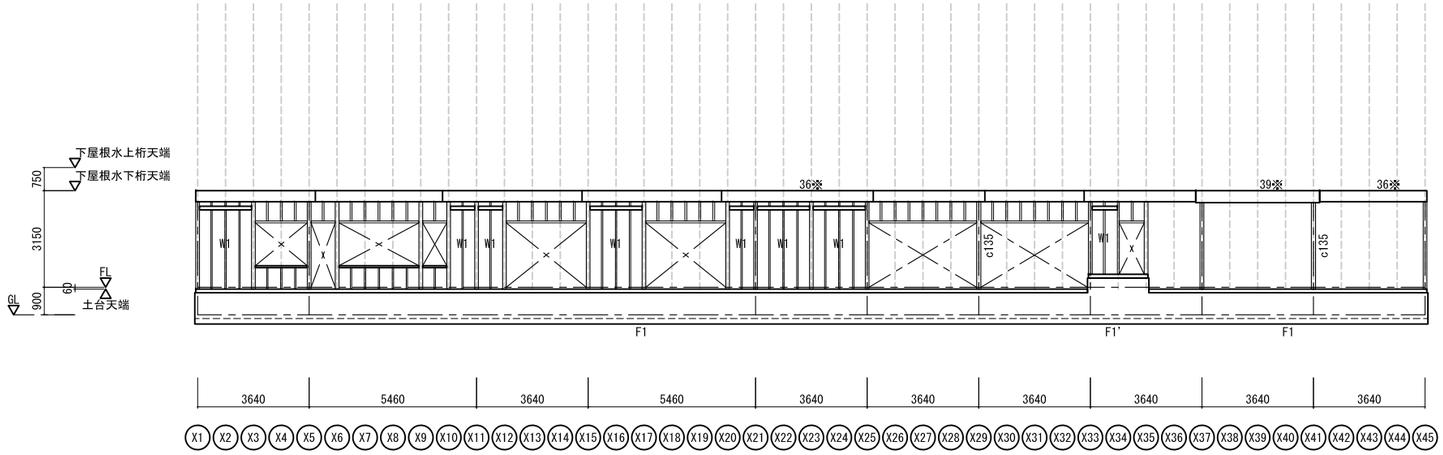
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

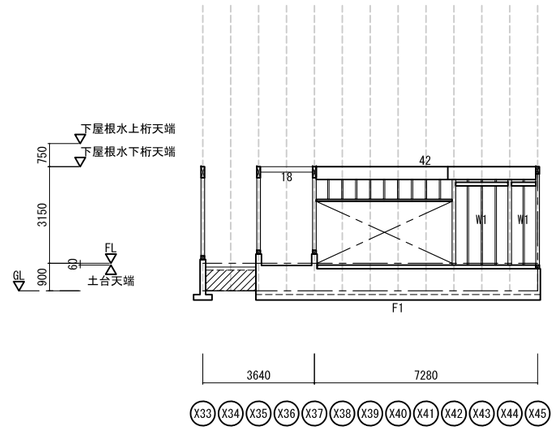
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	–	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-22
図面名称	軸組図　4			縮尺 1:100	
所長	丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者	作成日	通し番号 **
				他	

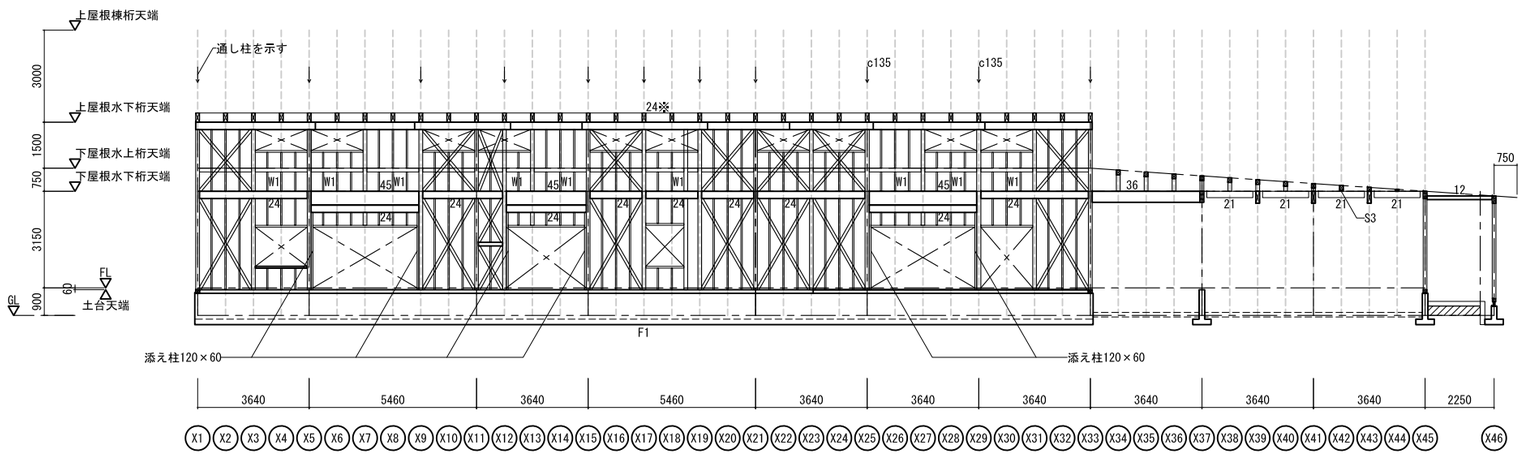


Y1通り　軸組図

※軒桁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。



Y3通り　軸組図



Y6通り　軸組図

※軒桁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。
本通りの当該箇所には梁の両面(計2枚)に使用すること。

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

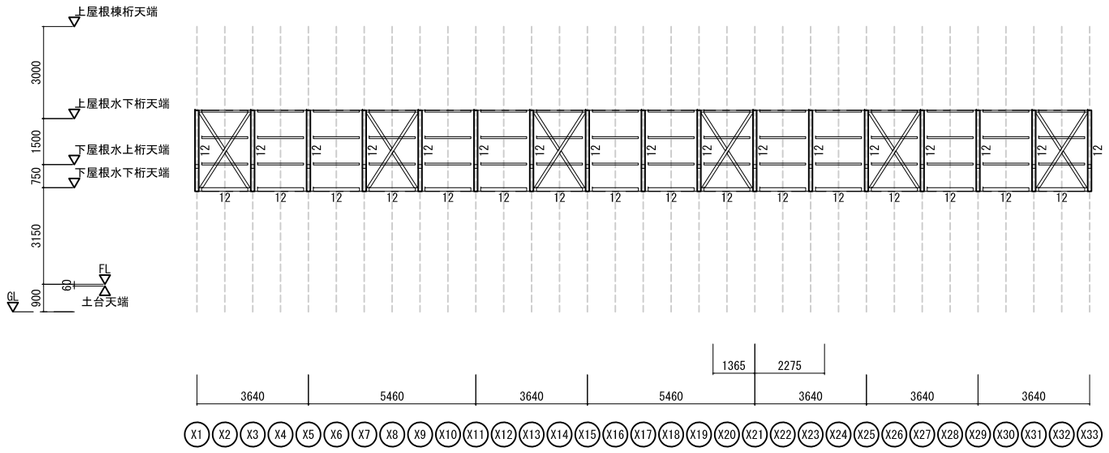
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版：1/100
A3版：1/200

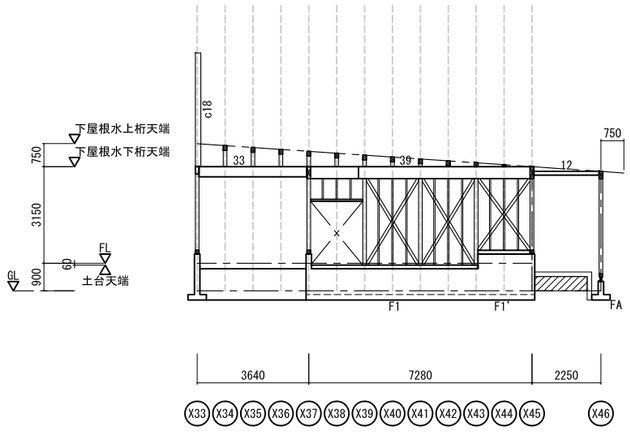
特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

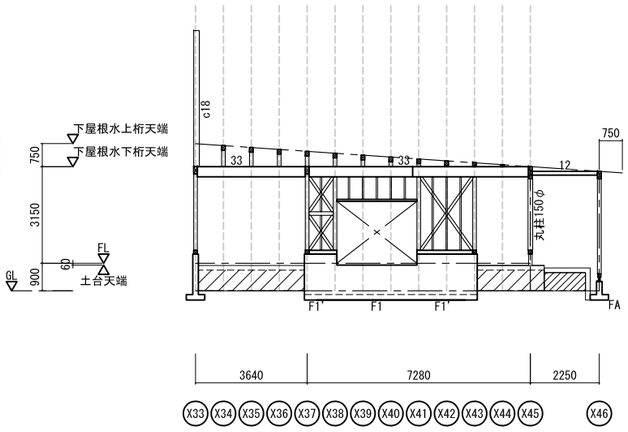
設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-23
図面名称	軸組図　5		縮尺 1:100	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**



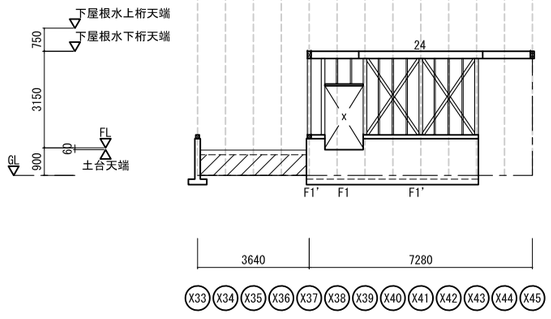
Y7通り　軸組図



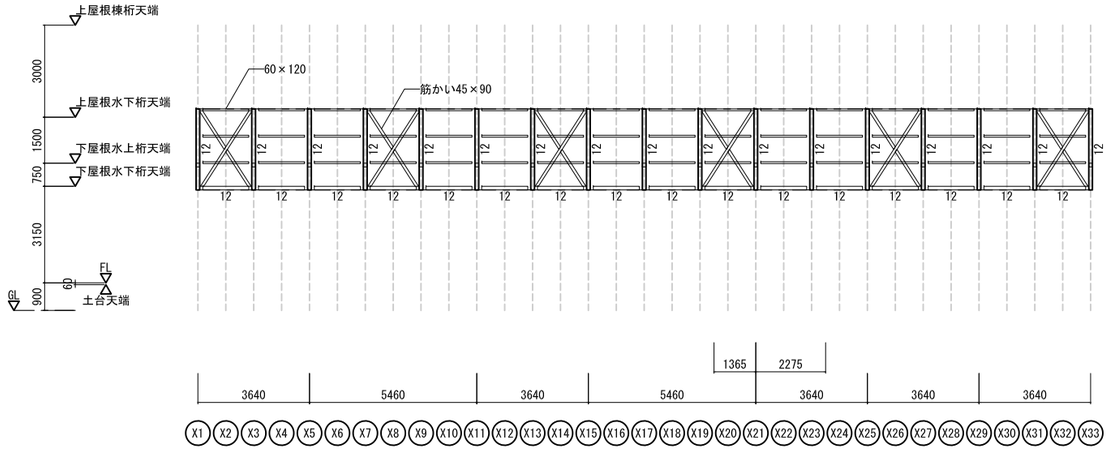
Y10通り　軸組図



Y14通り　軸組図



Y17通り　軸組図



Y19通り　軸組図

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

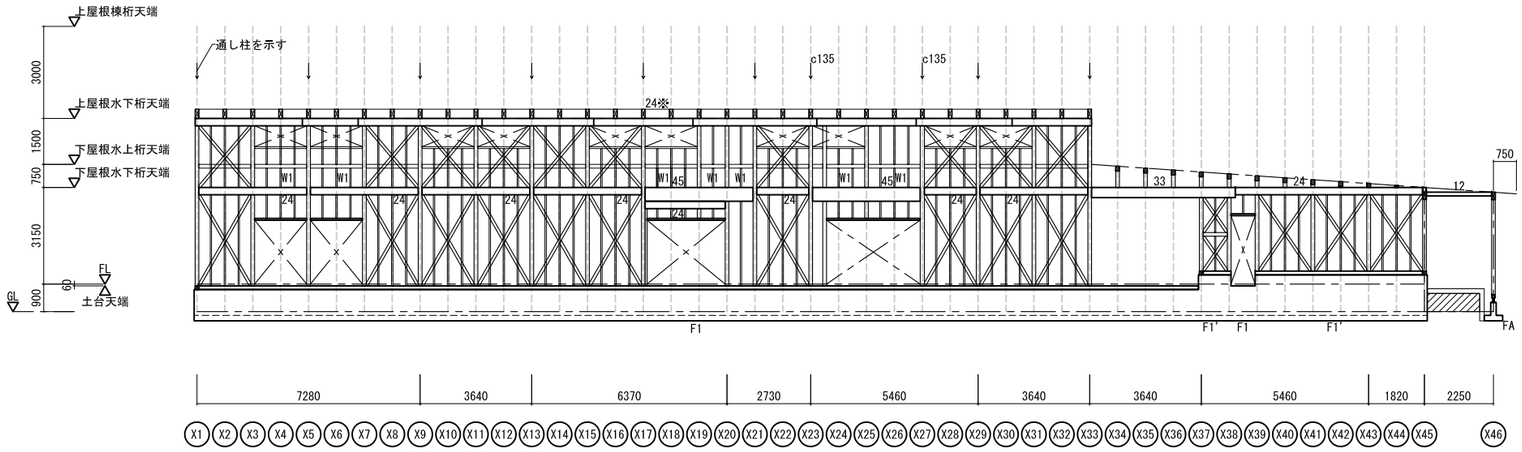
※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版：1/100
A3版：1/200

特記事項：

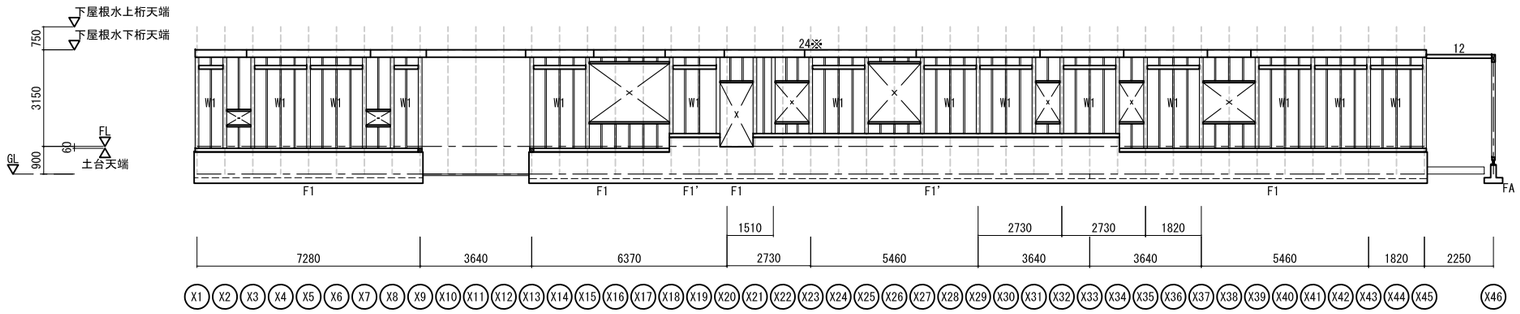
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別
図面名称	軸組図　6			縮尺 1:100	S-24
所長	担当	作成者	作成日	他	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人				**



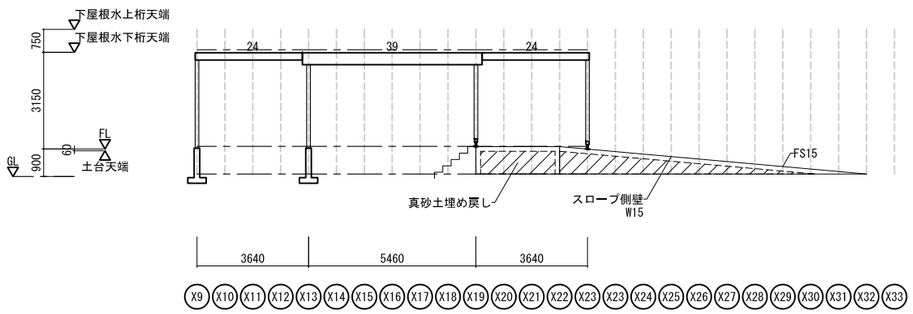
Y20通り　軸組図

※軒桁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。
本通りの当該箇所には梁の両面(計2枚)に使用すること。



Y29通り　軸組図

※軒桁の継手にはNHDP-40(L880)を使用すること。



Y30通り　軸組図

※梁継手位置は原則として@4.0以下とする。施工図で決定する。

A2版:1/100
A3版:1/200

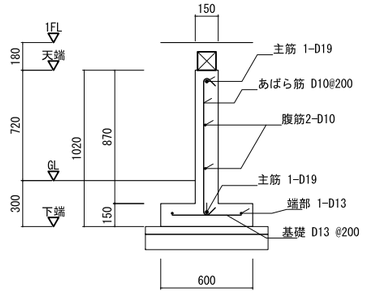
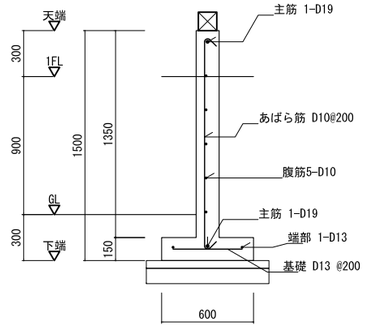
構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

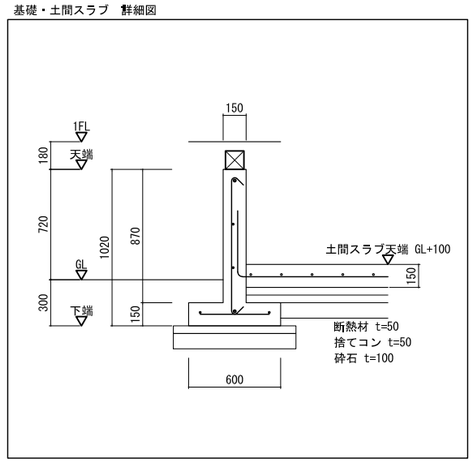
株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号 －	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事			種別 S-25
図面名称	軸組図　7		縮尺 1:100	
所長 丹羽雅人	担当 丹羽雅人	作成者	作成日	通し番号 **
			他	

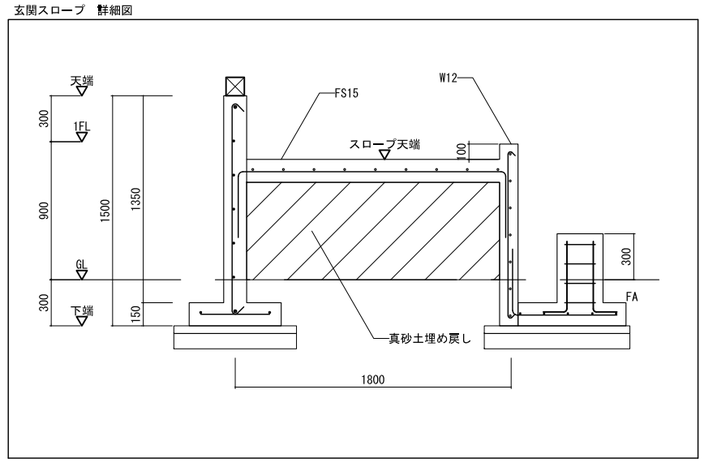
布基礎　断面リスト

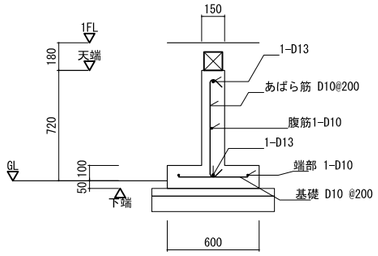
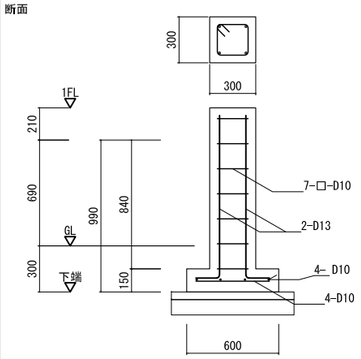
記号	F1	記号	F1'
断面		断面	
上端主筋	1-D19		1-D19
下端主筋	1-D19		1-D19
あばら筋	D10@200		D10@200
腹筋	2-D10		5-D10

基礎・土間スラブ　詳細図



玄関スロープ　詳細図



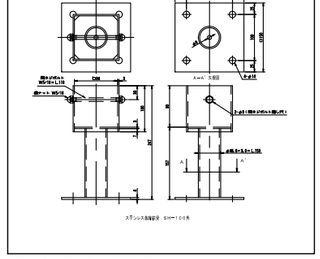
記号	F2	記号	FA
断面		断面	
上端主筋	1-D13	上端主筋	2-D13
下端主筋	1-D13	帯筋	7-□-D10
あばら筋	D10@200		
腹筋	1-D10		

柱脚　リスト

FA 柱脚

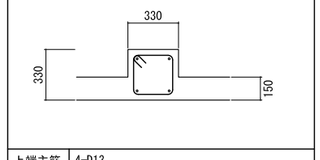
ステンレス装飾柱受け

SH-100



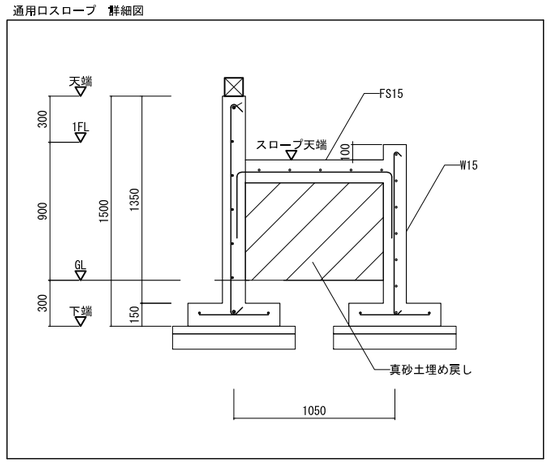
基礎柱　リスト（X1通り）

FC3



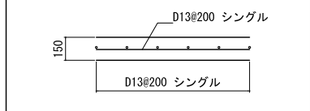
上端主筋	4-D13
帯筋	□-D10@100

通用口スロープ　詳細図

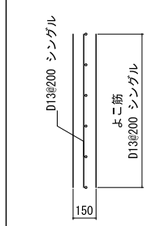
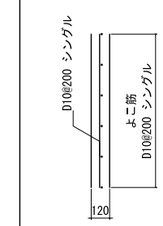


土間スラブ　断面リスト

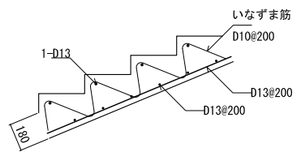
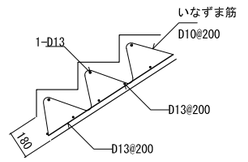
FS15



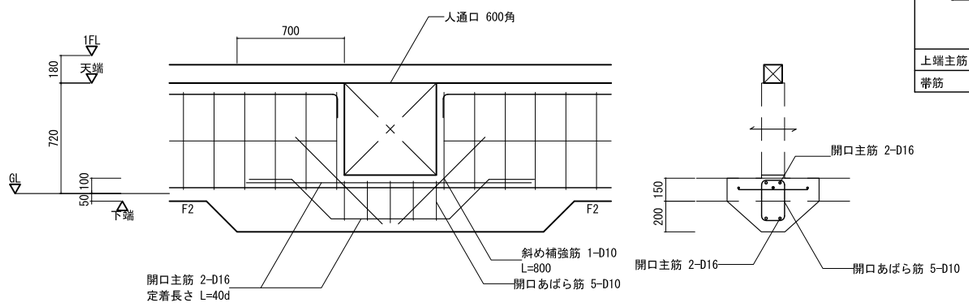
スロープ側壁　断面リスト

W15	W12
	

玄関階段　断面リスト

記号	ST1	ST2
断面		

人通口補強



構造設計：西 伸介

一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号

有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版：1/20

A3版：1/40

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所

岡山県知事登録第1776号

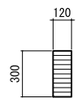
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人

〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21

TEL:086-226-1135

設計番号	–	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-26
図面名称	断面リスト　1		縮尺 1:20	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

柱　断面リスト

記号	c12	c135	丸柱	c30
断面				
寸法	□-120×120	□-135×135	150φ	□-120×300
材種	スギ	スギ	スギ	集成材　欧州アカマツ
規格	「製材の日本農林規格」目視等級区分構造用製材　スギ　乙種構造材1級			対称異等級構成E105-F300
備考	仕上げ材SD20			

土台　断面リスト

記号	d12
断面	
寸法	□-120×120
材種	ヒノキ
規格	ヒノキ　乙種構造材1級
備考	仕上げ材D20

水平構面　断面リスト

記号	面材仕様	釘打ち仕様	受け材仕様
S3	構造用合板 t=28	CN75@100 四周釘打ち	105×105 @910

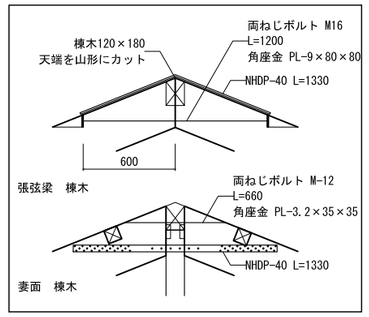
張弦梁　断面リスト

記号	部材	使用箇所	仕様・規格
T30	1-S16	中央 下部	スーパーブレース SNR490B ロックナット付
	2-S16	引張材 両端	国土交通大臣認定品　認定番号：MTRN-0022
	2-M12	中央 上部	コンパクトブレース 国土交通大臣認定品　認定番号：MTRN-0021
	H125	束材	H-125×60×6×8
	d30	合掌材	□-120×300 欧州アカマツ 対称異等級構成 E105-F300

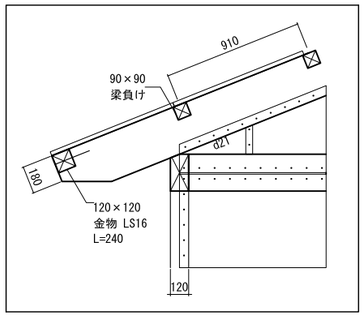
横架材接合部　継手リスト

(1)	腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物

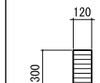
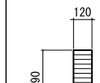
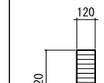
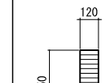
棟木　詳細部



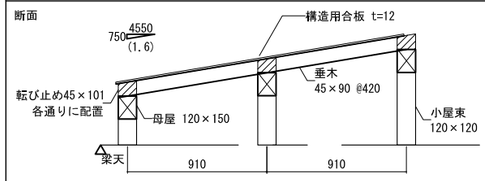
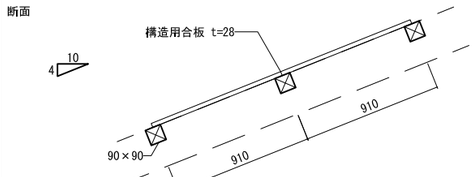
X1,X33通り妻面(けらば) 根受け材と勾配梁



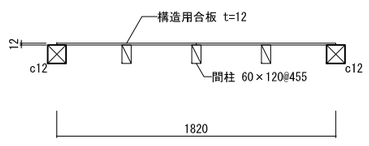
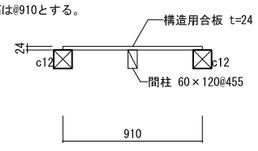
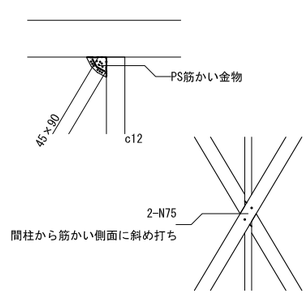
梁　断面リスト

記号	b12	b18	b21	b24	b33	b36	B24	B30	B39	B42	B45
断面											
寸法	□-120×120	□-120×180	□-120×210	□-120×240	□-120×330	□-120×360	□-120×240	□-120×300	□-120×390	□-120×420	□-120×450
材種	ベイマツ	ベイマツ	ベイマツ	ベイマツ	ベイマツ	ベイマツ	集成材　欧州アカマツ	集成材　欧州アカマツ	集成材　欧州アカマツ	集成材　欧州アカマツ	集成材　欧州アカマツ
規格	「製材の日本農林規格」目視等級区分構造用製材　ベイマツ　甲種構造材2級						対称異等級構成E105-F300				
備考	仕上げ材SD20						B24は一部に使用（Y6,Y20通り 上屋根桁梁）、その他 B30,B39,B42,B45は全ての梁使用箇所において集成材				

屋根　断面リスト

記号	S1	S2
断面		
	釘仕様：CN50@150　垂木に釘打付	釘仕様：CN75@100　四周に釘打付

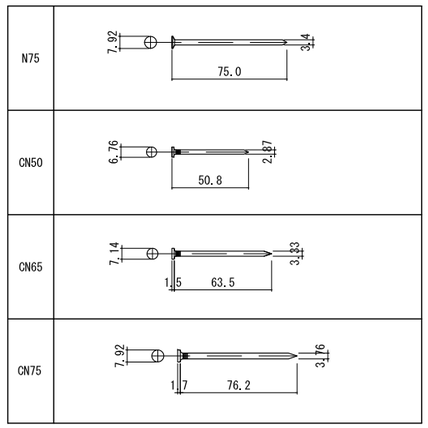
耐力壁　断面リスト

記号	W1	W3	W2
断面	構造用合板 t=12　FRM-0335 	構造用合板 t=24　FRM-0297 柱間隔は@910とする。 	たすき掛け 筋かい　45×90mm 
寸法	構造用合板t=12(FRM-0335)	構造用合板 t=24 (FRM-0297)	
材種	2種	2種	
釘打配列	CN65 1-@100 (中通@200)	CN75 1-@100 (中通@200)	
アンカーボルト	2-M16	2-M16	
柱頭柱脚金物	ビス止めホールダウンU15 (BXカネシン株式会社)	ブルースホールダウン40 (BXカネシン株式会社)	

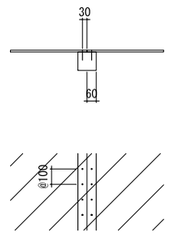
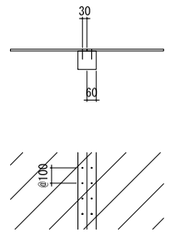
※上部にも筋かいがある場合には、中間の梁にもホールダウン金物を設置すること。

くぎ　リスト

種類	長さ　寸法	胴部径　寸法	頭部径　寸法	頭部厚さ
N75	75.0	3.4	7.92	
CN50	50.8	2.87	6.76	1.3
CN65	63.5	3.33	7.14	1.5
CN75	76.2	3.76	7.92	1.7



釘打ち　配列リスト

記号	断面
CN65 1-@100	W1 
CN75 1-@100	W3 

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

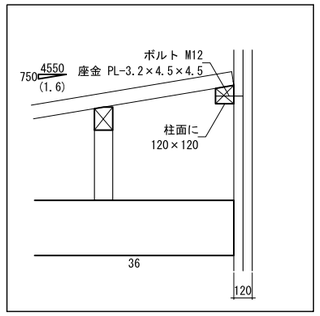
A2版:1/20
A3版:1/40

特記事項：

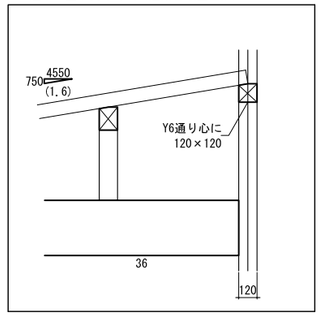
株式会社　丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別 S-27
図面名称	断面リスト　2		縮尺 1:20	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**

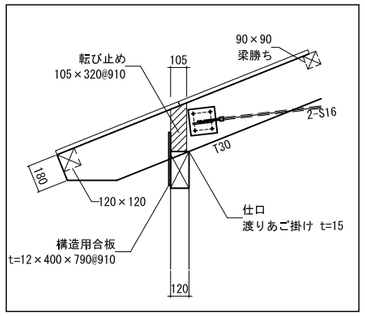
Y6通り　垂木受け材（筋かい壁面部）



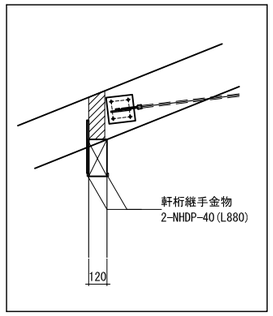
Y6通り　垂木受け材（構造用合板壁面部）



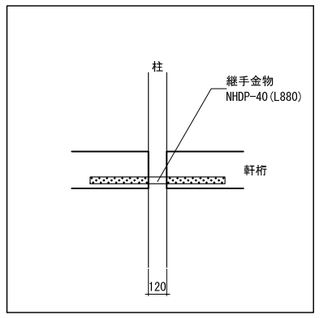
軒桁-転び止め



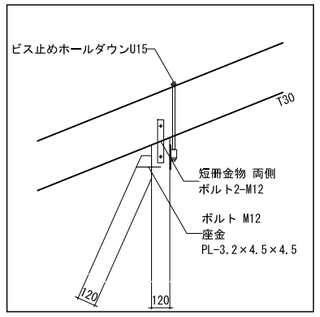
軒桁継手金物　両面の場合



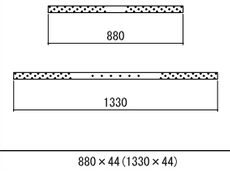
X1通り妻面　継手金物



Y7,Y19通り　接合部

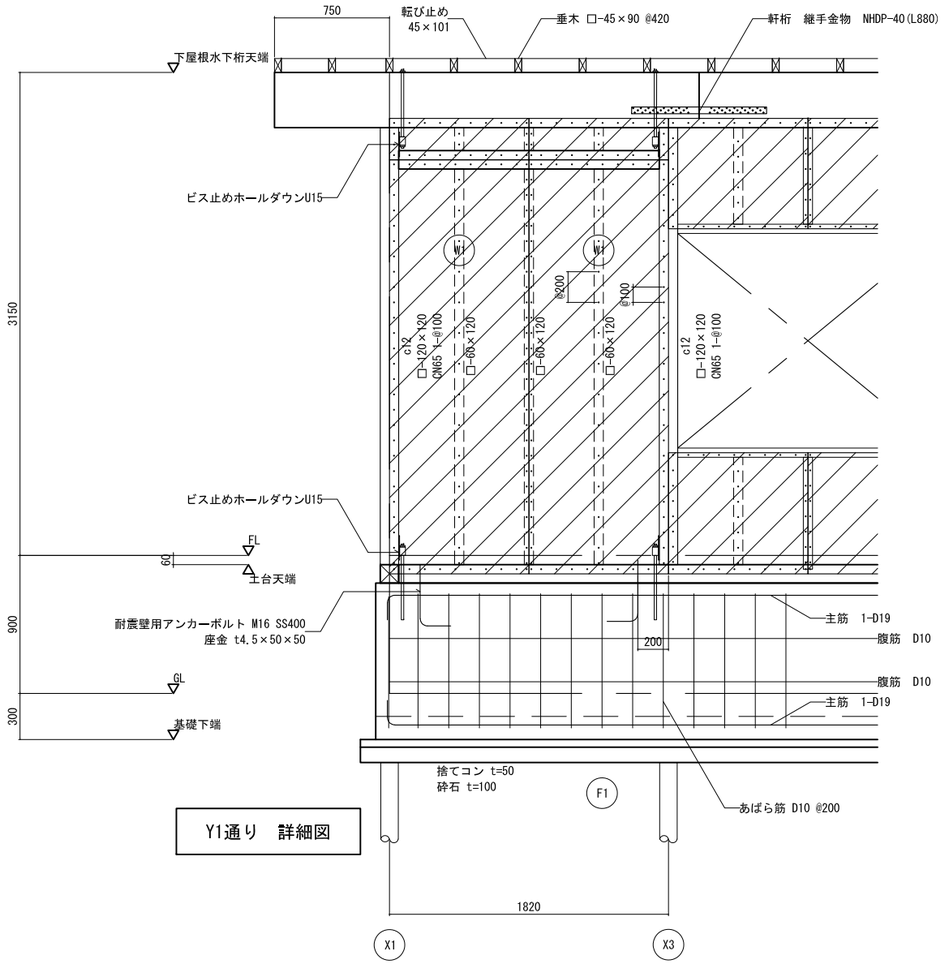


軒桁-軒桁 継手金物

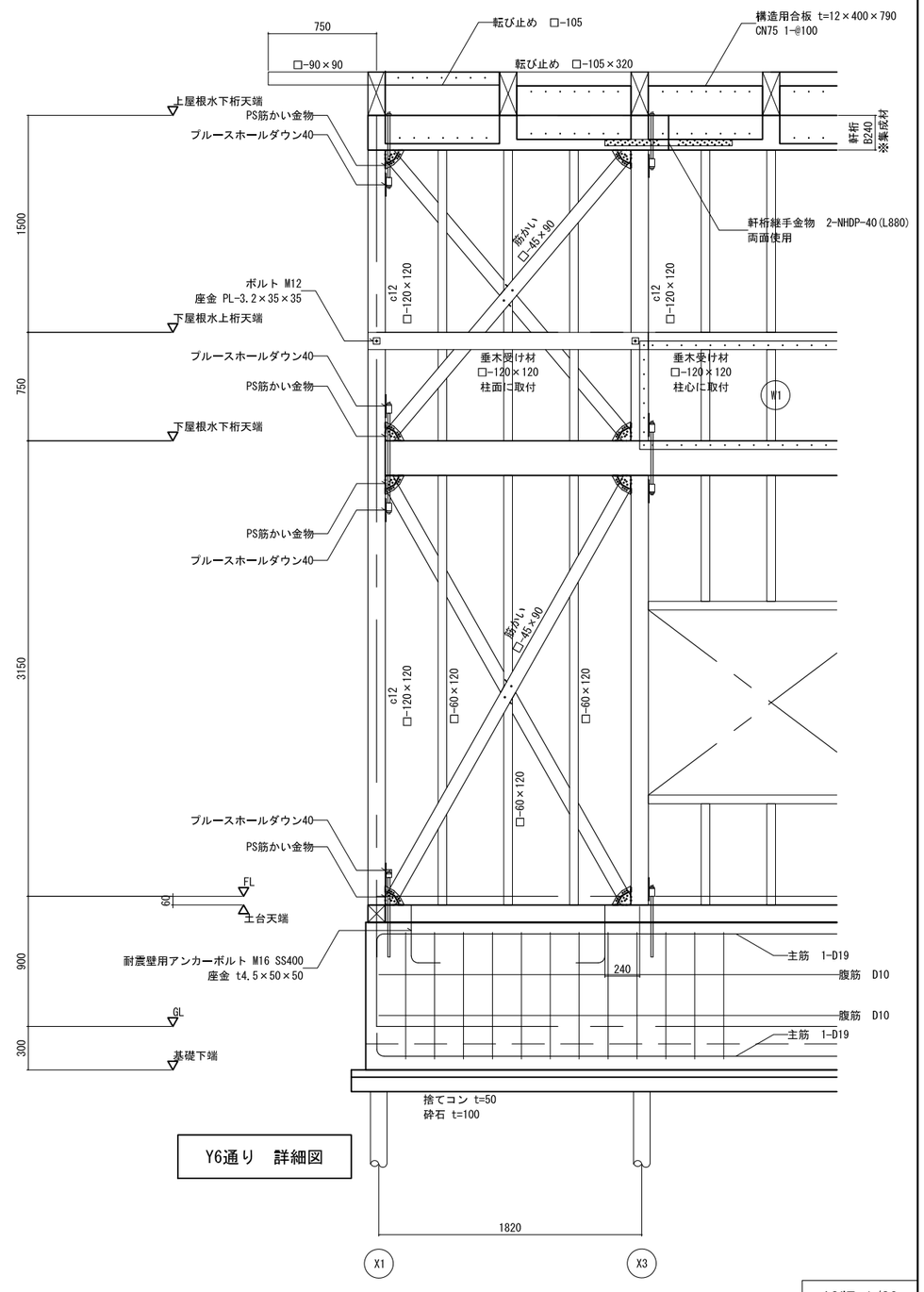
記号	NHDP-40(L880,L1330)
断面	
寸法	880×44(1330×44)
短期許容 軸方向耐力	40kN
木質構造用ビス	φ7 L75-46本(φ7 L75-46本　中央ビス6本)

【特記事項】

軒桁の継手には当該金物を使用すること。



Y1通り　詳細図



Y6通り　詳細図

構造設計：西　伸介

一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号

有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

A2版:1/20

A3版:1/40

特記事項：

株式会社　丹羽建築設計事務所

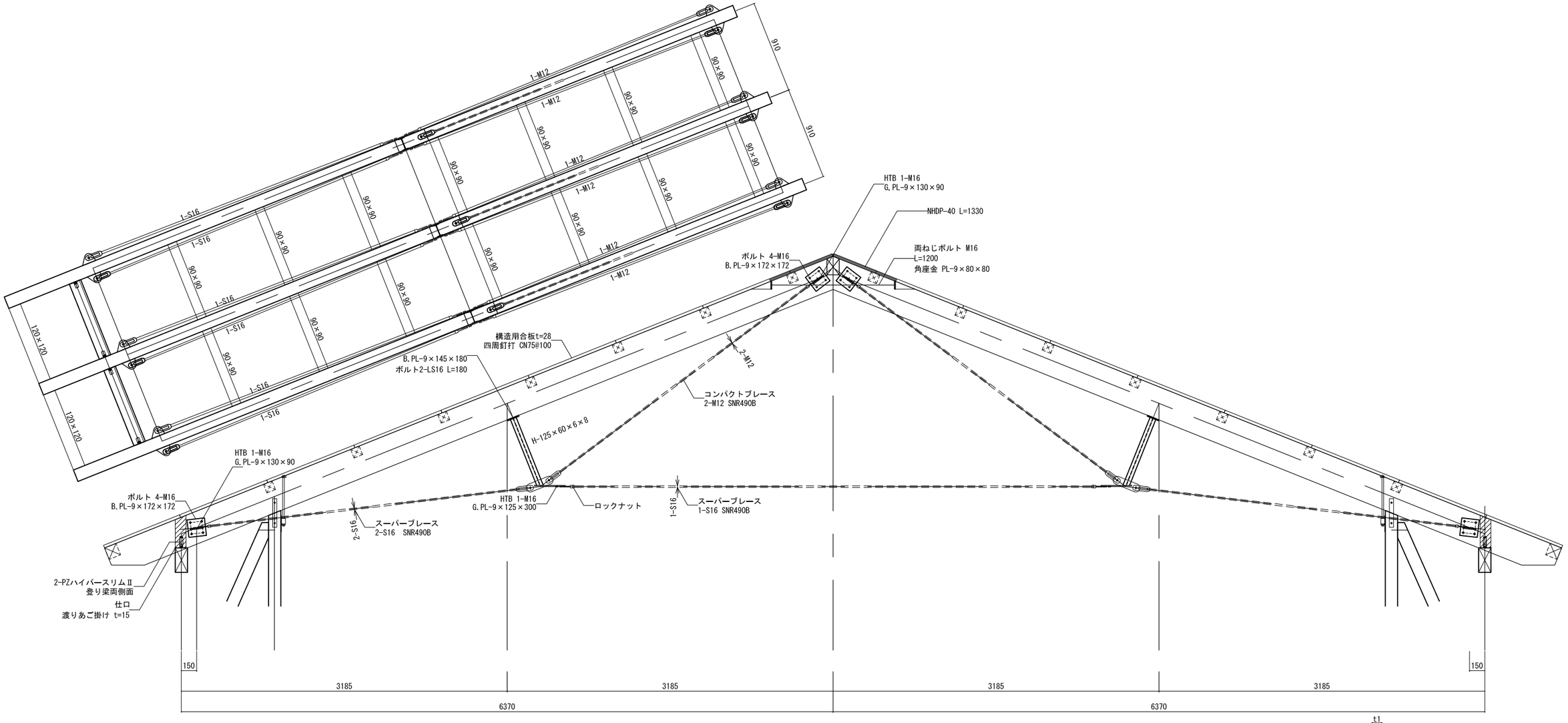
岡山県知事登録第1776号

1級建築士登録第320100号 丹羽雅人

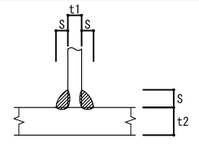
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21

TEL:086-226-1135

設計番号	–	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別	S-28
図面名称	詳細図　1		縮尺	1:20	
所長	担当	作成者	作成日	通し番号	
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**	



張弦梁　詳細図



（１）隅肉溶接

	t ≦ 16 mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合は Ｓ＝ｔ とする。
・ｔ は t1,t2 の小さい方とする。
・余盛は（ １ ＋ 0.1S ）mm　以下とする。
【特記事項】隅肉溶接は全周溶接とする。

A2版：1/20
A3版：1/40

構造設計：西 伸介
一級建築士 第228668号、構造設計一級建築士 第2849号
有限会社 西建築設計事務所、一級建築士事務所 岡山県知事登録 第1356号

特記事項：

株式会社 丹羽建築設計事務所
岡山県知事登録第1776号
1級建築士登録第320100号 丹羽雅人
〒700-0824 岡山市北区内山下1-4-21
TEL:086-226-1135

設計番号	－	西ノ島町コミュニティ図書館　新築工事		種別
図面名称	詳細図　2		縮尺 1:20	S-29
所長	担当	作成者	作成日	通し番号
丹羽雅人	丹羽雅人		他	**